RICOH

IPSiO SG 3100SF

使用説明書
〈操作ガイド〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意・操作ガイドの使いかた』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. 本機の概要

2. 印刷の準備

3. プリンター機能を使う

4. コピー機能を使う

5. スキャナー機能を使う

6. ファクス機能を使う

7. 設定・調整メニュー

8. 本機の状態を確認する

9. 保守・運用

10. トラブル解決

11. 付録

使用説明書の紹介

本機には、紙の使用説明書と、画面で見る使用説明書（HTML/PDF）が用意されています。

画面で見る使用説明書は付属の CD-ROM に収録されています。操作ガイドの使いかたは、『安全上のご注意・操作ガイドの使いかた』「操作ガイド（HTML 形式）をパソコンにインストールして使う」、および「操作ガイド（HTML 形式）を CD-ROM を使って見る」を参照してください。

以下は本機で用意されている説明書の一覧です。

紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じです。

かんたんセットアップ（）

本機を箱から取り出し、印刷ができるまでの手順を説明しています。

安全上のご注意・操作ガイドの使いかた（）

「安全上のご注意」を記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。

また、『操作ガイド』のインストール方法や使いかたも説明しています。

フォルダー送信設定ガイド（）

スキャナーのフォルダー送信機能をお使いいただくために必要なセットアップの手順と、基本的な操作方法を説明しています。

ファクス設定ガイド（）

ファクス機能をお使いいただくために必要なセットアップの手順を説明しています。

操作ガイド（）

付属の CD-ROM に収録されています。

本機の詳しい使いかたを説明しています。

ネットワーク環境で使うための設定方法や各種ドライバーのインストール方法、各機能の設定方法、Web ブラウザーやユーティリティーを使っての本機の状態確認や設定などの説明をしています。

またセットアップがうまくいかないときの対処方法、印刷が始まらないときや思いどおりに印刷されないときの解決方法、紙づまりの対処方法、困ったときの対処方法、用紙に関する情報、消耗品の交換など使用するための重要な情報をまとめて説明しています。

すぐに利用できるように、パソコンにインストールすることをお勧めします。

クイックガイド（）

困ったときの対処方法、およびコピー、スキャナー、ファクス送信の基本的な操作を説明しています。

補足

- HTML 形式の使用説明書は Web ブラウザーでご覧になれます。

- PDF形式の使用説明書をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。使用説明書の分冊により、提供形態が異なります。詳しくは『安全上のご注意・操作ガイドの使いかた』「使用説明書の種類」を参照してください。

使用説明書一覧表

分冊名	紙の使用説明書 冊子のマニュアル	紙の使用説明書 シートのマニュアル	画面で見る使用説明書 PDF 形式のマニュアル	画面で見る使用説明書 HTML 形式のマニュアル
かんたんセットアップ	なし	有り	有り（）	なし
安全上のご注意・操作ガイドの使いかた	有り	なし	有り（）	なし
フォルダー送信設定ガイド	なし	有り	有り（）	なし
ファクス設定ガイド	なし	有り	有り（）	なし
操作ガイド	なし	なし	有り（）	有り（）
クイックガイド	有り	なし	有り（）	なし

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社 リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒 104-8222

http://www.ricoh.co.jp/

正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意・操作ガイドの使いかた』「安全上のご注意」をお読みください。

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの

（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙
- **（関係法律）**
    - 紙幣類似証券取締法
    - 通貨及証券模造取締法
    - 郵便切手類模造等取締法
    - 印紙等模造取締法
    - （刑法 第 148 条 第 162 条）

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画

- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
- **（関係法律）**
    - 刑法 第 149 条 第 155 条 第 159 条 第 162 条
    - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 本機には紙幣偽造防止機能が搭載されています。このため、紙幣に酷似した画像は誤って認識され、正常なコピーがとれないことがありますので、あらかじめご了承ください。

この本の読みかた

使われているマークの意味

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

おことわり

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

お客様が本機を使用して作成した文書やデータを運用した結果について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

関連商品一覧

本機のオプションには、250 枚増設トレイ TK1160、マルチ手差しフィーダー BY1040 があります。

250 枚増設トレイ TK1160（250 枚増設トレイ）

250 枚の用紙をセットできるオプションの給紙トレイです。

マルチ手差しフィーダー BY1040（マルチ手差しフィーダー）

100 枚の用紙をセットできるオプションの給紙トレイです。

USB ケーブル

リコーの推奨品は USB2.0 プリンターケーブル 509600 4pin A-TYPE-4pin B-TYPE の USB2.0 ケーブル（2.5 m）です。

イーサネットケーブル

10BASE-T または 100BASE-TX に対応したイーサネットケーブルを使用してください。

補足

- 関連商品については、販売店へお問い合わせください。

お客様登録

インターネットからお客様登録ができます。

お客様登録をすることにより、製品保証、保守サービスやサポートなどの提供をスムーズに受けられます。すでにお客様登録はがきを返送されているときは、インターネットからの登録は不要です。

1. [お客様登録の受付] をクリックします。



CHV292

ご使用のブラウザーが起動し、お客様登録のページが表示されます。

2. ページの指示にしたがって登録します。

「製品名」と「製造機番（製品番号）」の入力が必要です。付属の「保証書」を用意してください。

3. Web ブラウザーを終了します。

4. [終了] をクリックします。

補足

- Mac では、付属の CD-ROM 内にある [お客様登録の受付.htm] をクリックし、ページの指示にしたがって登録します。

やりたいこと目次

ここでは、本機に必要な操作を説明します。

重要

- 機能によっては、あらかじめ設定やオプションの取り付けが必要です。

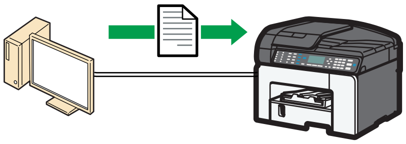
プリンターを使いたい

本機をプリンターとして使用するには、以下の 2 つの接続方法があります。

- USB 接続
- ネットワーク接続

USB で使いたい

USB を使って、本機を直接パソコンに接続できます。



CHV113

USB で使用するための準備

1. 本機とパソコンを USB で接続します。

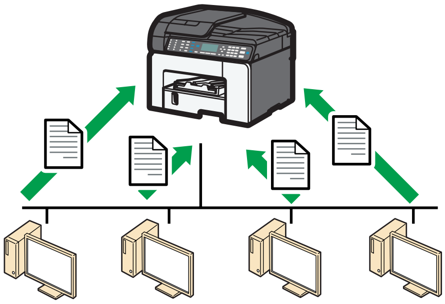
   詳しくは、P.75「本機とパソコンを USB で接続する」を参照してください。

2. パソコンにプリンタードライバーをインストールします。

   詳しくは、P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」、P.77「おすすめインストール」、P.79「プリンタードライバーをインストールする」、P.161「Mac にプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

ネットワーク環境で使いたい

本機をネットワークに接続し、ネットワークプリンターとして使用できます。



ネットワーク環境で使用するための準備

1. 本機をネットワークに接続します。

   詳しくは、P.89「本機とパソコンをイーサネットで接続する」を参照してください。

2. 操作部から IP アドレスなどネットワークの設定をします。

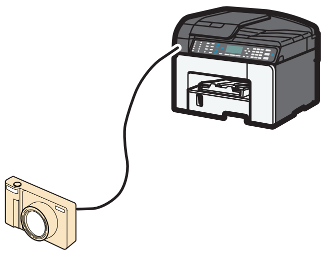
   詳しくは、P.91「ネットワークの設定をする」を参照してください。

3. パソコンにプリンタードライバーをインストールします。

   詳しくは、P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」、P.100「おすすめインストール」、P.103「プリンタードライバーをインストールする」、P.161「Mac にプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

デジタルカメラの画像を直接印刷したい

本機と PictBridge 対応のデジタルカメラを USB ケーブルで接続し、撮影した画像を直接印刷できます。



1. デジタルカメラを接続し印刷します。

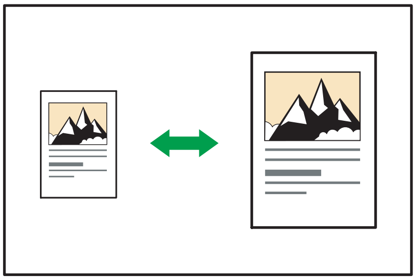
   詳しくは、P.174「USB ケーブルでデジタルカメラと接続し印刷する」を参照してください。

コピーを使いたい

本機をコピー機として使用するときに便利な機能を説明します。

拡大・縮小コピーしたい

拡大･縮小してコピーできます。



CKN004

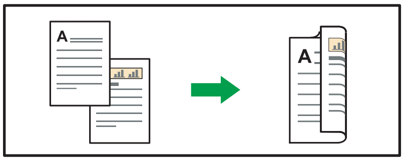
1. 原稿のコピーを開始する前に［拡大/縮小］キーを押し、設定します。

   詳しくは、P.184「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。

両面コピーや集約コピーしたい

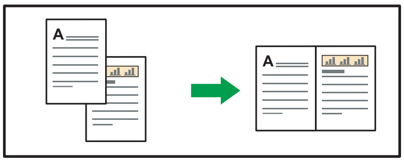
片面印刷の原稿を用紙の表と裏の両面にコピーしたり、複数のページを 1 枚の用紙に集約してコピーできます。

- 両面コピー



CHV122

- 集約コピー



CHV126

両面コピーするための準備

1. コピー初期画面の状態で［両/集約］を押し、設定します。

   詳しくは、P.186「両面コピー」を参照してください。

集約コピーするための準備

1. コピー初期画面の状態で［両/集約］を押し、設定します。

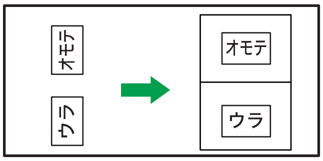
   詳しくは、P.187「片面集約」、P.187「両面集約」を参照してください。

用紙の片面に ID カードの両面をコピーしたい

用紙の片面に、ID カードなど小さな文書の表、裏の両面をコピーできます。

重要

- **この機能は、原稿ガラスでコピーするときだけ使用できます。ADF でコピーするときは使用できません。**



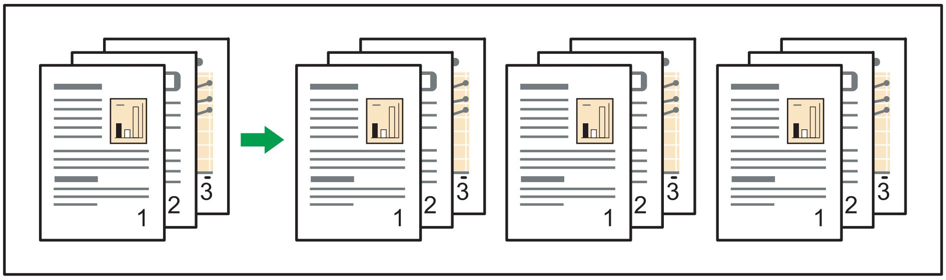
CHV199

1. 原稿のコピーを開始する前に［ID カードコピー］キーを押し、設定します。

   詳しくは、P.189「用紙の片面に ID カードの両面をコピーする」を参照してください。

複数ページの原稿をソートして何部かコピーしたい

複数ページの原稿を何部かコピーするとき、部単位にソートできます。



CKN018

1. コピー初期画面の状態で［ソート］を押し、設定します。

   詳しくは、P.191「ソートする」を参照してください。

スキャナーを使いたい

スキャナーには、パソコンから本機を操作してスキャンする方法と、操作部を使ってスキャンする方法の 2 つがあります。

パソコンからスキャンする

自分のパソコンから本機を操作して、原稿を直接パソコンに取り込めます。これには、2 つの方法があります：

- TWAIN でスキャンする

  TWAIN でスキャンするには、Presto! PageManager など、TWAIN に対応したアプリケーションが必要です。

  TWAIN は、USB 接続とネットワーク接続の両方で使用できます。

- WIA でスキャンする

  WIA でスキャンするには、OS が Windows XP 以降のパソコンで、WIA に対応したアプリケーションが必要です。詳しくは、アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

操作部を使ってスキャンする

操作部を使ってスキャンしたファイルを、あらかじめ登録したあて先や USB メモリーに送信できます。以下の 4 種類の送信方法があります：

- メール送信

  スキャンしたファイルをメールで送信します。

- FTP 送信

  スキャンしたファイルを FTP サーバーに送信します。

- フォルダー送信

  スキャンしたファイルをネットワーク上にあるパソコンの共有フォルダーに送信します。

- USB メモリー送信

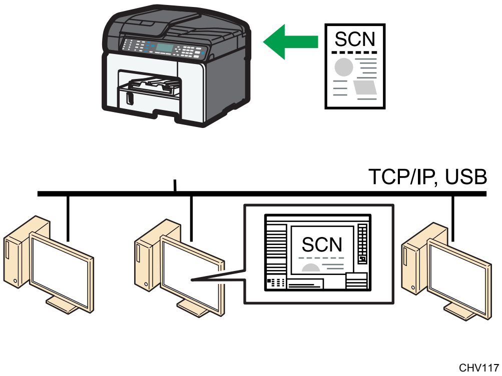
  スキャンしたファイルを本機に差し込んだ USB メモリーに保存します。

補足

- メール送信、FTP 送信、フォルダー送信をするには、本機をネットワークに接続します。USB メモリー送信には、ネットワークの接続は必要ありません。

パソコンからスキャンしたい

自分のパソコンから本機を操作し、スキャンした原稿を直接パソコンに取り込むことができます。



USB 接続のパソコンからスキャンするための準備

1. 本機とパソコンを USB で接続します。

   詳しくは、P.75「本機とパソコンを USB で接続する」を参照してください。

2. スキャナードライバーをパソコンにインストールします。

   詳しくは、P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」、P.77「おすすめインストール」、P.124「TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。

3. TWAIN 対応のアプリケーションがインストールされていないときは、Presto! PageManager をインストールしてください。

   詳しくは、Presto!PageManager の取扱説明書を参照してください。

ネットワークに接続したパソコンからスキャンするための準備

1. 本機をネットワークに接続します。

   詳しくは、P.89「本機とパソコンをイーサネットで接続する」を参照してください。

2. 操作部から IP アドレスなどネットワークの設定をします。

   詳しくは、P.91「ネットワークの設定をする」を参照してください。

3. パソコンにスキャナードライバーをインストールします。

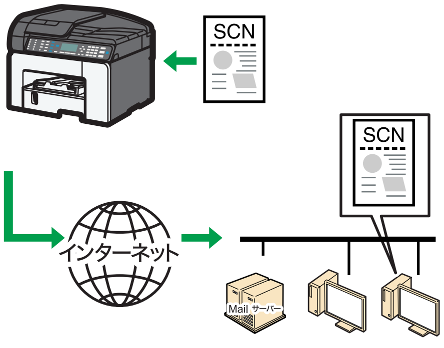
   詳しくは、P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」、P.124「TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。

4. TWAIN 対応のアプリケーションがインストールされていないときは、Presto! PageManager をインストールしてください。

   詳しくは、Presto!PageManager の取扱説明書を参照してください。

スキャンしたファイルをメールで送信したい

操作部を使ってスキャンしたファイルをメールで送信できます。

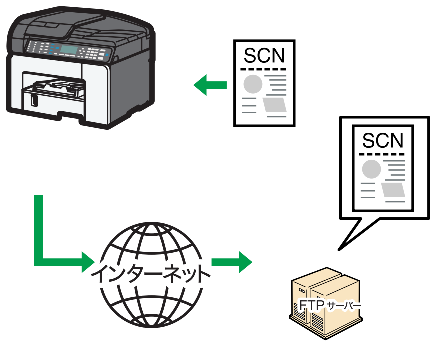


CHV194

1. 本機をネットワークに接続します。
   詳しくは、P.89「本機とパソコンをイーサネットで接続する」を参照してください。
2. 操作部から IP アドレスなどネットワークの設定をします。
   詳しくは、P.91「ネットワークの設定をする」を参照してください。
3. アドレス帳にあて先を登録します。
   詳しくは、P.308「メール宛先を登録する」を参照してください。

スキャンしたファイルを FTP サーバーに送信したい

操作部を使ってスキャンしたファイルを FTP サーバーに送信できます。

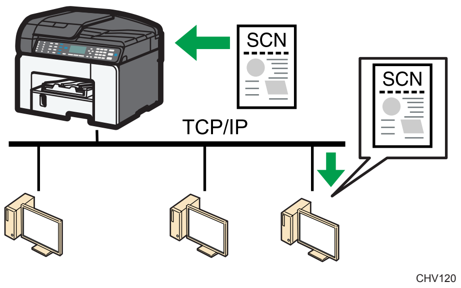


CHV195

1. 本機をネットワークに接続します。
   詳しくは、P.89「本機とパソコンをイーサネットで接続する」を参照してください。
2. 操作部から IP アドレスなどネットワークの設定をします。
   詳しくは、P.91「ネットワークの設定をする」を参照してください。
3. アドレス帳にあて先を登録します。
   詳しくは、P.312「FTP のフォルダー宛先を登録する」を参照してください。

スキャンしたファイルをパソコンの共有フォルダーに送信したい

操作部を使ってスキャンしたファイルをネットワーク上にあるパソコンの共有フォルダーに送信できます。



1. 本機をネットワークに接続します。

   詳しくは、P.89「本機とパソコンをイーサネットで接続する」を参照してください。

2. 操作部から IP アドレスなどネットワークの設定をします。

   詳しくは、P.91「ネットワークの設定をする」を参照してください。

3. パソコンのハードディスクに送信先のフォルダーを作成し、共有フォルダーに設定します。

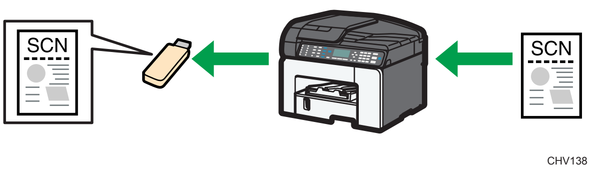
   詳しくは、『フォルダー送信設定ガイド』「パソコンに共有フォルダーを新規作成する」を参照してください。

4. アドレス帳にあて先を登録します。

   詳しくは、P.309「SMB のフォルダー宛先を登録する」を参照してください。

スキャンしたファイルを USB メモリーに送信したい

操作部を使ってスキャンしたファイルを、本機に差し込んだ USB メモリーに保存できます。



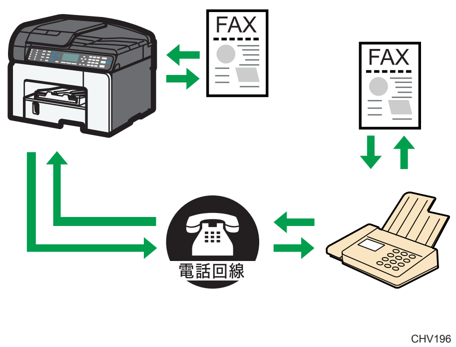
1. USB メモリーを本機に差し込みます。

   詳しくは、P.202「基本的な USB メモリー送信のしかた」を参照してください。

ファクスを使いたい

本機をファクスとして使用するために必要な手順を説明します。

本機をファクス専用機として使いたい



1. 本機と電話回線を接続します。

   詳しくは、『ファクス設定ガイド』を参照してください。

2. 電話回線の設定をします。

   詳しくは、『ファクス設定ガイド』を参照してください。

3. ファクスを使うために必要な設定をします。

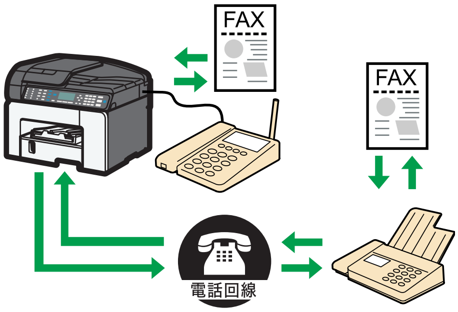
   詳しくは、『ファクス設定ガイド』を参照してください。

4. 操作部からあて先をアドレス帳に登録します。

   詳しくは、P.305「ファクス番号を登録する」を参照してください。

外付け電話機を接続して使いたい

本機に外付け電話を接続して、ひとつの回線でファクスと電話の両方を使えます。



CHV197

1. 本機に外付け電話機を接続します。

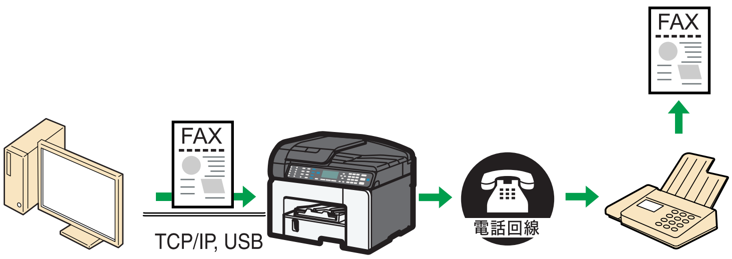
   詳しくは、『ファクス設定ガイド』を参照してください。

2. ファクス受信モードを選択します。

   詳しくは、P.237「ファクスを受信する」を参照してください。

パソコンからファクスを送信したい（PC ファクス）

Windows のアプリケーションで作成した文書を、パソコンに接続された本機を経由して、紙に出力しないで直接相手のファクスへ送信できます。



CHV198

USB で PC ファクスを送信するための準備

1. 本機とパソコンを USB で接続します。

   詳しくは、P.75「本機とパソコンを USB で接続する」を参照してください。

2. PC FAX ドライバーをパソコンにインストールします。

   詳しくは、P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」、P.77「おすすめインストール」、P.125「PC FAX ドライバーをインストールする」を参照してください。

3. PC ファクスのあて先をアドレス帳に登録します。

   詳しくは、P.230「PC ファクスのアドレス帳を設定する」を参照してください。

ネットワーク環境で PC ファクスを送信するための準備

1. 本機をネットワークに接続します。

   詳しくは、P.89「本機とパソコンをイーサネットで接続する」を参照してください。

2. 操作部から IP アドレスなどネットワークの設定をします。

   詳しくは、P.91「ネットワークの設定をする」を参照してください。

3. パソコンに PC FAX ドライバーをインストールします。

   詳しくは、P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」、P.125「PC FAX ドライバーをインストールする」を参照してください。

4. PC ファクスのあて先をアドレス帳に登録します。

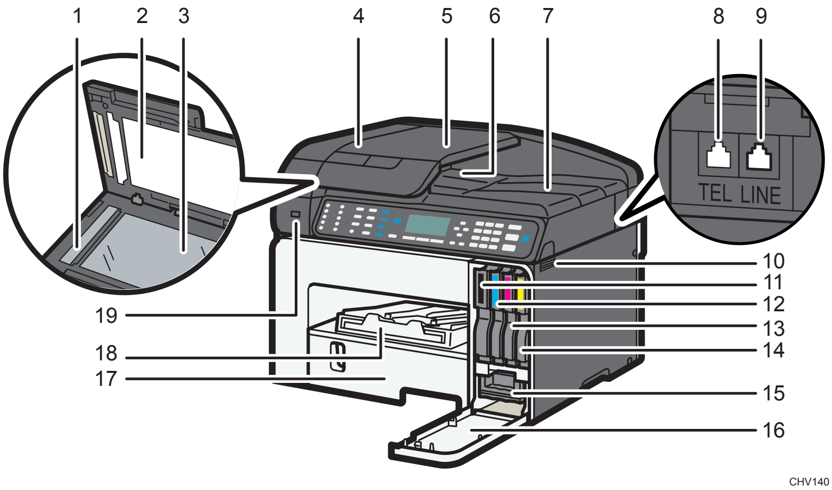
   詳しくは、P.230「PC ファクスのアドレス帳を設定する」を参照してください。

1. 本機の概要

本機とオプションの各部の名称とはたらきを説明します。

本体各部の名称とはたらき

前面



1. **読み取りガラス**

   ADF に原稿をセットすると、読み取りガラスから原稿を読み取ります。

2. **原稿ガラスカバー**

   このカバーを開けて、原稿ガラスに原稿をセットします。

3. **原稿ガラス**

   コピー、スキャン、またはファクスするときに、原稿をセットします。

4. **自動原稿送り装置（ADF）カバー**

   ADF に原稿がつまったときに、ADF カバーを開けて原稿を取り除きます。

5. **ADF 給紙トレイ**

   原稿をセットします。原稿は自動的に給紙されます。両面の原稿をセットできます。

6. **ADF 排紙トレイ**

   ADF にセットした原稿が排紙されます。

7. **用紙ストッパー**

   A4/Letter サイズの原稿の排紙時に、用紙が落下するのを防ぎます。

8. **外付け電話機接続端子**

   本機に外付け電話機を接続します。

9. 電話回線接続端子

本機に電話線を接続します。

10. 排気口

機械内部の温度上昇を防止するために空気が排出されます。物を立て掛けるなどして、排気口を塞がないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

11. SG カートリッジ（ブラック）

12. SG カートリッジ（シアン）

13. SG カートリッジ（マゼンタ）

14. SG カートリッジ（イエロー）

15. 廃インクボックス

16. 右前カバー

通常は閉めておきます。SG カートリッジを取り付けるとき、交換するとき、廃インクボックスを交換するときに開けます。

17. トレイ 1

用紙をセットします。

18. 排紙トレイ

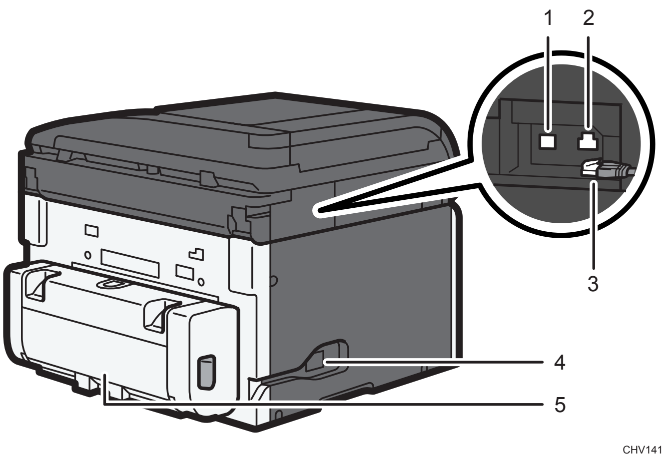
印刷された用紙が排出されます。

印刷された用紙が落下しないように、排紙トレイを延長して使用してください。

19. USB メモリー/PictBridge 用の USB ポート

スキャナーの USB メモリー送信機能を使用するときは USB メモリーを差し込みます。PictBridge 機能で印刷するときは USB ケーブルでデジタルカメラを接続します。

背面



1. USB ポート

USB 2.0 のケーブルを差し込むコネクターです。

2. イーサネットポート

100BASE-TX または 10BASE-T のケーブルを差し込むコネクターです。

3. 無線 LAN 接続ケーブル

無線 LAN を使用するときに接続します。

4. 電源ソケット

電源コードを接続します。

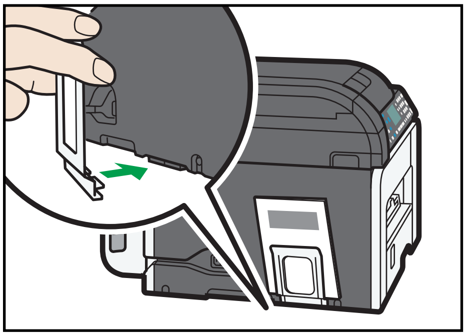
5. 両面ユニット

用紙を反転して両面印刷します。

マニュアルポケット

同梱品の冊子『クイックガイド』をセットします。

マニュアルポケットの取り付けかた



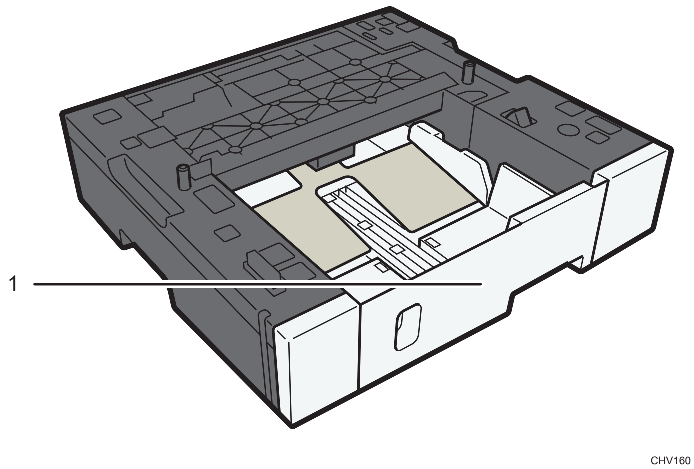
CHV163

250 枚増設トレイ

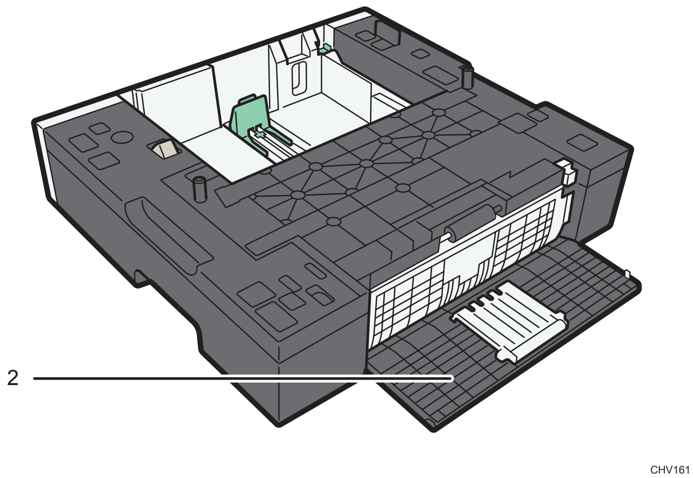
装着すると給紙枚数を最大で 250 枚増やせます。

1

前面



背面



1. **トレイ 2/トレイ 3**

   A4 サイズより大きい用紙を使用するときは、トレイを延長します。

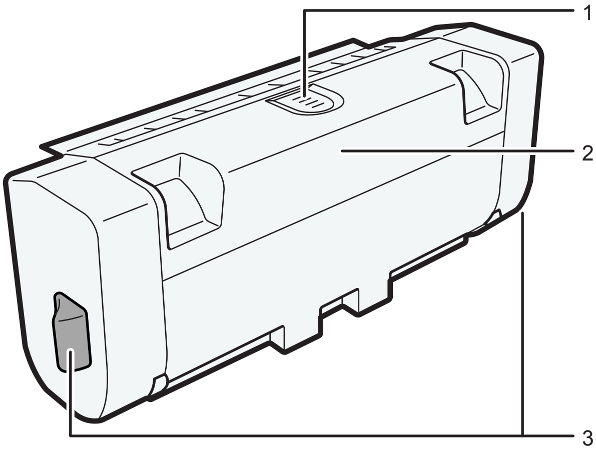
   増設トレイを 2 段取り付けたときは、上段がトレイ 2、下段がトレイ 3 です。

2. **背面カバー**

   250 枚増設トレイで用紙がつまったときに開けます。

両面ユニット

装着すると自動で両面印刷ができます。



CHU045

1. **両面ユニットカバー開閉ボタン**

   両面ユニットカバーを開くときに押します。

2. **両面ユニットカバー**

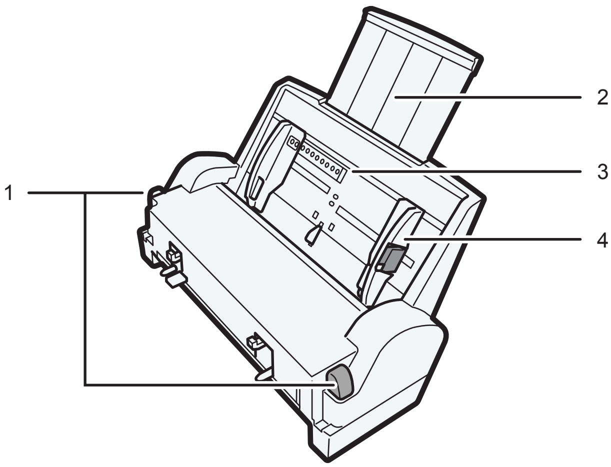
   両面ユニットで用紙がつまったときに開けます。

3. **両面ユニット着脱レバー**

   両面ユニットを取り外すときに押してロックを解除します。取り付けるときは押しません。正しくセットされると左右からカチッと音がします。取り付けるときに音を確認してください。

マルチ手差しフィーダー

装着すると手差し給紙できます。



CHU046

1. **マルチ手差しフィーダー着脱レバー**

   マルチ手差しフィーダーを取り付けるときに押してロックします。取り外すときは押してロックを解除します。

2. **延長補助トレイ**

   セットする用紙サイズに合わせて延長します。

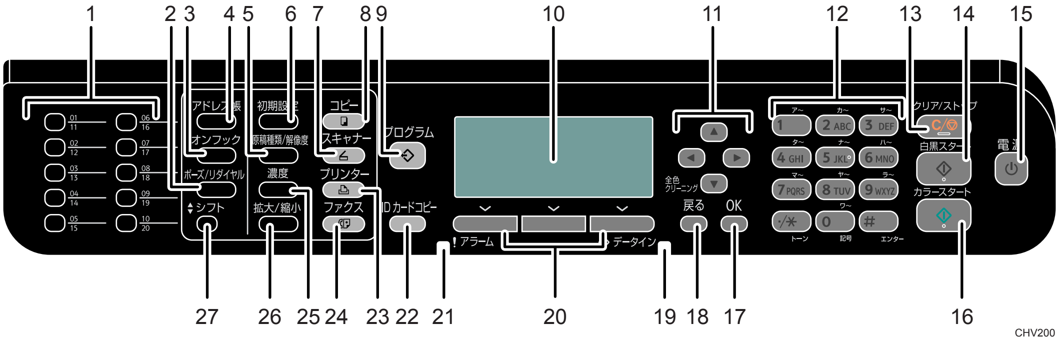
3. **手差しトレイ**

   用紙をセットします。

4. **サイドフェンス**

   用紙の幅に合わせて位置を動かします。レバーをつまみながら動かしてください。

操作部の名称とはたらき



1. **ワンタッチキー**

   ファクスやスキャンしたファイルを送信するときに、ワンタッチダイヤルに登録されたあて先を選択します。

2. **［ポーズ/リダイヤル］キー**

   - ポーズ

     ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入力した箇所は、「-」と表示されます。

   - リダイヤル

     これまでに使用したあて先を表示します。スキャナーでは 1 件、ファクスでは最大 10 件のあて先を記憶できます。

3. **［オンフック］キー**

   ファクスを送信するときに、オンフックダイヤル機能を使ってあて先の通信状態を確認します。

4. **［アドレス帳］キー**

   ファクスやスキャンしたファイルを送信するときに、アドレス帳からあて先を指定します。

5. **［原稿種類/解像度］キー**

   原稿の読み取り方法を一時的に変更します。

   - コピーモード：原稿種類を設定するときは、文字、写真、文字・写真から選択します。印刷品質を設定するときは、高速、標準、高画質から選択します。一時的封筒モードにも設定できます。
   - スキャナーモード：解像度を選択します。
   - ファクスモード：ふつう字、小さな字、細かい字、写真から選択します。

6. **［初期設定］キー**

   本機の初期設定を変更するメニューを表示します。

7. **［スキャナー］キー**

   スキャナーモードに切り替えます。本機がスキャナーモードのとき、このキーが点灯します。

8. **［コピー］キー**

   コピーモードに切り替えます。本機がコピーモードのとき、このキーが点灯します。

9.［プログラム］キー

プログラムモードに切り替えます。本機がプログラムモードのとき、このキーが点灯します。本機能で実行するプログラムは、機器設定ユーティリティーまたは Web Image Monitor で登録します。

プログラムの登録方法について詳しくは、P.333「機器設定ユーティリティーを使用する」を参照してください。

10. 画面

本機の状態やメッセージが表示されます。

11. スクロールキー

カーソルを上下左右に移動します。

待機中に［▼］キーを 3 秒以上長押しすると、全色クリーニングをします。

12. テンキー

ファクス番号や印刷部数などを指定するときに数字を入力したり、名前を指定するときに文字を入力します。

13.［クリア/ストップ］キー

- ジョブの処理中：ジョブをキャンセルします。
- 設定中：設定をキャンセルします。
- 待機中：原稿の濃度や解像度など、一時的に変更した設定をキャンセルします。

14.［白黒スタート］キー

白黒のコピーやスキャン、またはファクスの送信を開始します。

15.［電源］キー

電源を入れるときはキーを押し、電源ランプを点灯させます。電源を切るときはキーを再度押して、電源ランプを消灯させます。P.53「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。

16.［カラースタート］キー

カラーのコピーやスキャンを開始します。

17.［OK］キー

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに押します。

18.［戻る］キー

設定を有効にせずに上位の階層に戻るとき、メニューから通常の表示に戻るときに押します。

19. データインランプ

本機に印刷データが送られているときランプが点滅します。印刷中は点灯します。

20. 選択キー

画面下部に表示された項目を選ぶときに押します。

21. アラームランプ

以下に示すエラーが発生したとき、赤色で点灯します。

- インクエンド
- 紙づまり
- カバーオープン

- サービスコールエラー
- アプリケーションエラー

ランプが点灯するとブザーが鳴ります。

ブザーの音量は 5 段階で調整できます。初期値は［中］です。

エラーが発生したときは、画面に表示されたメッセージを確認し、P.411「ディスプレイにメッセージが表示されたとき」を参照して対処してください。

22.［ID カードコピー］キー

ID カードコピーの設定メニューにジャンプします。

コピー後は初期画面に戻ります。

23.［プリンター］キー

プリンターモードに切り替えます。本機がプリンターモードのとき、このキーが点灯します。

24.［ファクス］キー

ファクスモードに切り替えます。本機がファクスモードのとき、このキーが点灯します。

25.［濃度］キー

原稿の濃度を一時的に変更します。5 段階の調整ができます。

26.［拡大/縮小］キー

1%刻みで拡大/縮小コピー、またはあらかじめ設定されている倍率でコピーするときに押します。

27.［シフト］キー

スキャナーかファクスのあて先を指定するときに、ワンタッチキーの登録番号 11～20 に切り替えます。

画面

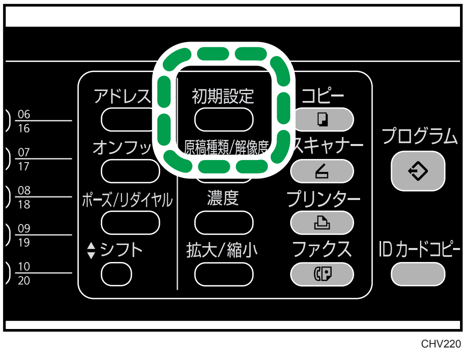
画面には、操作の状態、メッセージや機能のメニューが表示されます。

参照

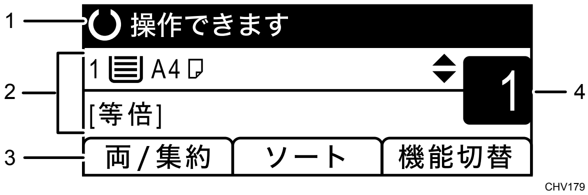
- 画面に表示されるアイコンについては、P.42「画面に表示されるアイコン」を参照してください。

初期設定画面

［初期設定］キーを押すと初期設定画面が表示されます。



コピー機能画面



1. **本機の現在の状態やメッセージ**

   本機の現在の状態やメッセージを表示します。

2. **現在の設定**

   現在設定されている印刷用のトレイ、拡大/縮小の倍率を表示します。

3. **選択キーの項目**

   画面下部に選択項目が表示されたときは、対応する選択キーを押して機能を使用できます。

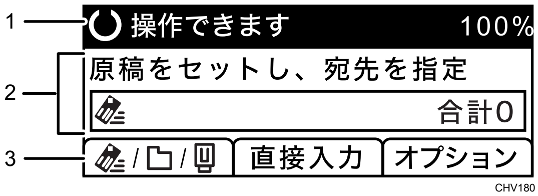
4. **コピー部数**

   現在設定されているコピー部数を表示します。

補足

- 工場出荷時の設定では、電源を入れたときにコピー機能の操作画面が表示されます。

スキャナー機能画面



1. **本機の現在の状態やメッセージ**

   本機の現在の状態やメッセージを表示します。

2. 現在の設定

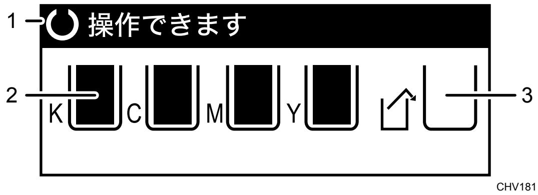
現在設定されているスキャナーのモードとあて先を表示します。

- アイコン：
  メール送信/フォルダー（FTP）送信/USB メモリー送信のいずれかを表示します。
- あて先フィールド：
  スキャンしたファイルを送信するあて先を表示します。
- 登録済みあて先数：
  登録済みのあて先数を表示します。

3. 選択キーの項目

画面下部に選択項目が表示されたときは、対応する選択キーを押して機能を使用できます。

プリンター機能画面



1. 本機の現在の状態やメッセージ

本機の現在の状態やメッセージを表示します。

2. インク残量

カートリッジの交換時期が確認できます。カートリッジ交換表示は左からブラック（K)、シアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y）の SG カートリッジの状態を表示します。

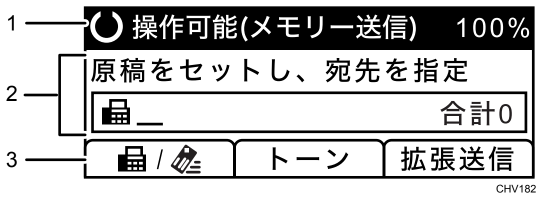
3. 廃インク蓄積量

廃インクボックスの交換時期が確認できます。

補足

- ステータスモニターの表示からもインクカートリッジや廃インクボックスの交換時期を確認できます。P.401「消耗品を確認する」を参照してください。

ファクス機能画面



1. **本機の現在の状態やメッセージ**

   本機の現在の状態やメッセージを表示します。

2. **現在の設定**

   現在設定されているファクスのモードとあて先を表示します。

   - アイコン：

     ファクスまたはインターネットファクスのいずれかを表示します。

   - あて先フィールド：

     ファクスを送信するあて先を表示します。

   - 登録済みあて先数：

     登録済みのあて先数を表示します。

3. **選択キーの項目**

   画面下部に選択項目が表示されたときは、対応する選択キーを押して機能を使用できます。

画面に表示されるアイコン

現在の状態やメッセージの表示エリア

アイコン	説明
	待機中または当該モードの処理中です。
	メンテナンス中または他のジョブの処理中などで、当該モードの処理を受け付けられない状態です。
	スキャナー機能のメール送信、フォルダー送信中です。
	選択した給紙トレイに用紙がありません。
 (表示無し)	管理者権限でログイン中です。

上記以外のエリア

アイコン	説明
	表示されている選択肢の下層に選択項目があります。 設定画面が複数ページあります。
	トレイ 1/2/3 に十分な用紙があります。
	トレイ 1/2/3 に用紙がありません。
	手差しトレイに十分な用紙があります。
	手差しトレイに用紙がありません。

アイコン	説明
	インクの残量を示します。残量に応じて、黒い部分が増減します。 左下にアルファベットの表示がないものは、廃インクの破棄可能残量を示します。
(アイコンが交互に表示されます。)	純正でないインクがセットされました。
(アイコンが交互に表示されます。)	SG カートリッジ内のインクが少なくなっています。
	スキャナー機能のときはメールアドレス、インターネットファクスのときは送信先の入力画面です。
	ファクス番号の入力画面です。
	通常のファクス画面とインターネットファクス画面を切り替えます。
	フォルダー送信のあて先の入力画面です。
	USB メモリー送信画面です。USB メモリーを装着すると表示されます。
	メール送信画面とフォルダー送信画面を切り替えます。
	メール送信、フォルダー送信、USB メモリー送信の画面を切り替えます。USB メモリーを装着すると表示されます。
	アドレス帳に登録されたあて先のグループです。
[▼] [▲] [◀][▶]	表示された方向のスクロールキーを押します。

パスワード入力画面が表示されたとき

［ユーザー制限］を［有効］に設定すると以下の状態のときにパスワード入力画面が表示され、パスワードを入力しなければ本機の操作を続けることができません。

- 電源投入時
- ［戻る］キーを押したとき
- 省エネモードからの復帰時
- システムリセットからの復帰時

補足

- 認証に失敗したときは、「認証に失敗しました。」と表示されます。パスワードを確認してください。
- ユーザー制限の設定の詳細は、P.280「管理者用設定」を参照してください。

パスワードを入力する

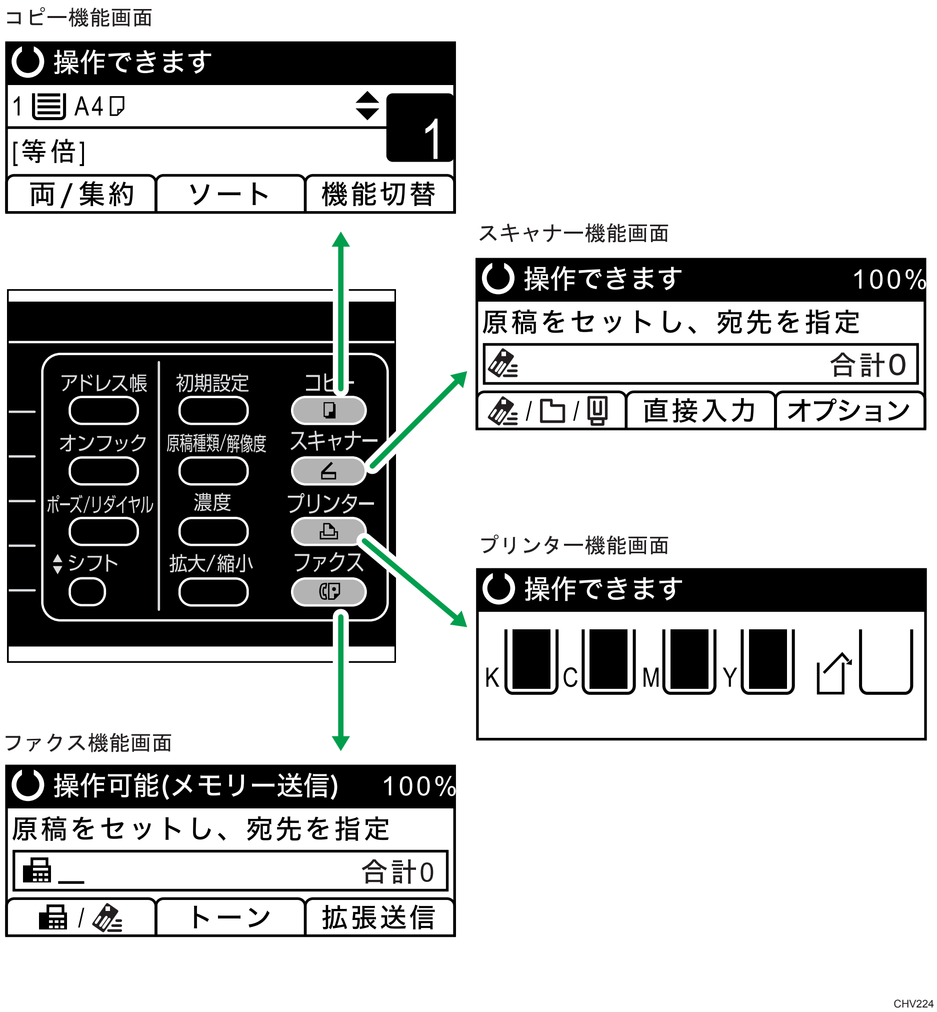
［ユーザー制限］が［有効］に設定されているときは、次のメッセージが表示されます。

「パスワードを入力して OK キーを押してください。」

1. パスワード（4 から 8 桁までの任意の数字）を入力して、［OK］キーを押します。

機能を切り替える

機能キーを押して、機能を切り替えます。使用したい機能の機能キーを押すと、その機能に切り替わり、選択した機能キーのランプが点灯します。操作部の画面には、それぞれの機能の初期画面が表示されます。



優先機能設定

電源投入時、または［システムオートリセット時間設定］で、画面がリセットされた状態から復帰するときに、自動的に指定した機能になるように設定できます。優先機能は、［システム設定］の［基本設定］の［優先機能］で設定します。工場出荷時の設定では、電源を入れたときにコピー機能の操作画面が表示されます。

補足

- 初期設定を変更しているときは、モード切り替えできません。
- 各機能の操作を操作部から実施するときは、使用する機能を機能キーで選択しておく必要があります。
- ［プログラム］キーを押すと、選択キーに対応したジャンプ先が画面に表示されます。頻繁に使用する機能などを［プログラム］キーに登録すると、直接ジャンプできます。
- ［プリンター］キー以外の機能キーが点灯している状態で印刷エラーになったときは、［プリンター］キーを押して、エラーメッセージを確認してください。

着脱可能なユニットとオプションの取り付けかた、取り外しかた

⚠警告

- ポリ袋の　WARNING　表示の意味は次のとおりです。
    - 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

250 枚増設トレイを取り付ける、取り外す

250 枚増設トレイの着脱方法を説明します。

⚠注意

- 本機の重さは約 15.3 kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部に手をかけ、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。
- 機械を移動するときは、オプションを取り外してください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

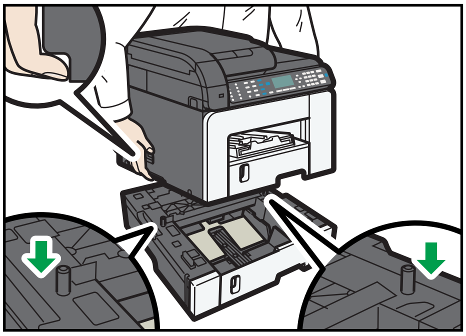
重要

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

250 枚増設トレイの取り付けかた

1. ［電源］キーを長押しして電源を切り、電源コードを抜きます。
2. すべてのケーブルを取り外します。
3. 増設トレイを箱から取り出し、固定しているテープを外します。
4. 設置する場所に増設トレイを置きます。

5. 増設トレイの突起に合わせて、本機を載せます。



CHV098

本機の両側面の中央下部に手をかけ、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。

6. 電源コードと、必要なケーブルを取り付けます。

補足

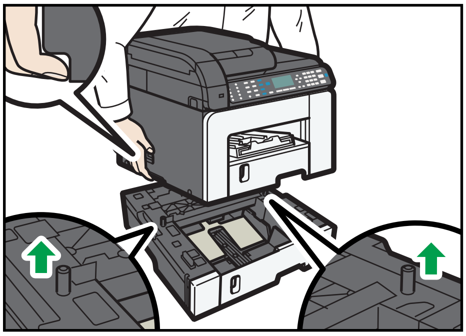
- 本機と増設トレイの角がそろうように位置を合わせて載せてください。
- 本機を増設トレイの上に載せるだけで設置は完了です。
- 本機を傾けないでください。
- 指をはさまないようにしてください。
- 増設トレイは最大で 2 段まで取り付けができます。
- 増設トレイを 2 段取り付けるときは、同様の手順で下段の増設トレイ（トレイ 3）を設置し、その上に上段の増設トレイ（トレイ 2）、本機の順に載せます。
- オプションを取り付けたあとは、プリンタードライバーにオプションが認識されていることを確認してください。P.155「オプション構成タブを設定する」、P.169「Mac で本機の状態を表示する」を参照してください。
- 増設トレイを取り付けたあとは、トレイ 2/3 の印刷開始位置調整をしてください。P. 256「印刷位置調整」を参照してください。

250 枚増設トレイの取り外しかた

1. ［電源］キーを長押しして電源を切り、電源コードを抜きます。
2. すべてのケーブルを取り外します。

1

3. 本機を取り外して平らな安定した場所に置き、増設トレイを設置場所から移動します。



CHV099

本機の両側面の中央下部に手をかけ、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。

4. 本機を設置場所に戻します。

5. 電源コードと、必要なケーブルを取り付けます。

補足

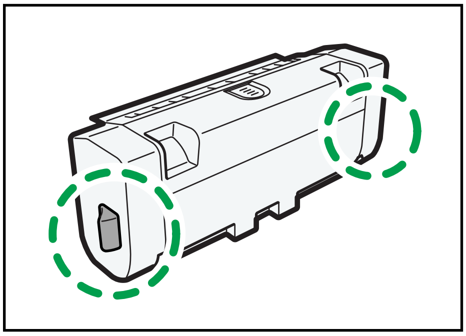
- 本機を傾けないでください。
- 指をはさまないようにしてください。

両面ユニットを取り付ける、取り外す

両面ユニットの着脱方法を説明します。

重要

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- マルチ手差しフィーダーを取り付けているときは、本機の電源を切り、取り外してから作業を始めてください。
- 両面ユニット着脱レバーは、正しくセットされると左右からカチッと音がします。取り付けるときに音を確認してください。

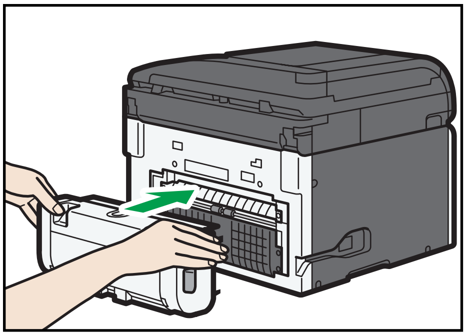


CHU072

- 両面ユニット着脱レバーは、取り外すときに押します。取り付けるときは押さないでください。

両面ユニットの取り付けかた

1. [電源] キーを長押しして電源を切り、電源コードを抜きます。
2. すべてのケーブルを取り外します。
3. 両面ユニットの左右にある両面ユニット着脱レバーを押さずに、両面ユニットをカチッと音がするまで奥に押し込んで取り付けます。



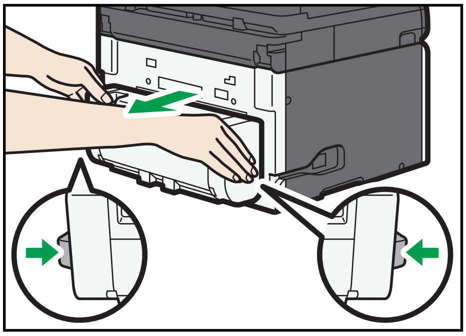
CHV103

4. 電源コードと、必要なケーブルを取り付けます。

両面ユニットの取り外しかた

1. [電源] キーを長押しして電源を切り、電源コードを抜きます。
2. すべてのケーブルを取り外します。

1
3. 両面ユニットの左右にある着脱レバーを押して、手前に引き出して外します。



CHV104

マルチ手差しフィーダーを取り付ける、取り外す

マルチ手差しフィーダーの着脱方法を説明します。

⚠注意

🚫	• ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

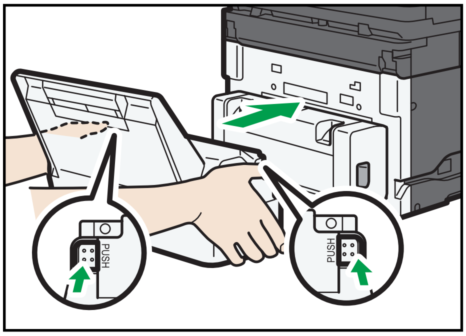
★重要

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- マルチ手差しフィーダー上部から無理な荷重をかけないでください。本機から外れ、用紙の搬送不良やセット不良が発生することがあります。

マルチ手差しフィーダーの取り付けかた

1. [電源]キーを長押しして電源を切り、電源コードを抜きます。
2. すべてのケーブルを取り外します。
3. マルチ手差しフィーダーを箱から取り出し、固定しているテープを外します。

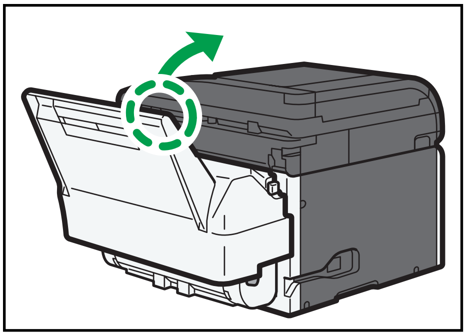
4. マルチ手差しフィーダーの左右にある着脱レバーを押しながら差し込み、奥まで押し込みます。



CHV105

着脱レバーが元の位置に戻っていることを確認してください。

着脱レバーが元の位置に戻っていないときは、下の図で示したトレイの左上部を引き上げて押し込んでください。



CHV264

5. 電源コードと、必要なケーブルを取り付けます。

補足

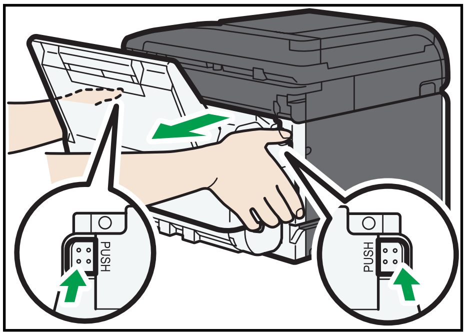
- オプションを取り付けたあとは、プリンタードライバーにオプションが認識されていることを確認してください。P.155「オプション構成タブを設定する」、P.169「Macで本機の状態を表示する」を参照してください。
- マルチ手差しフィーダーを取り付けたあとは、手差しトレイの印刷開始位置調整をしてください。P.256「印刷位置調整」を参照してください。
- 手差しトレイの裏側に留めてあるコインねじは、サイドフェンスを固定して運用するときに使用します。

マルチ手差しフィーダーの取り外しかた

1. ［電源］キーを長押しして電源を切り、電源コードを抜きます。
2. すべてのケーブルを取り外します。
3. 手差しトレイにセットしてある用紙を取り除きます。

4. 手差しトレイを延長しているときは元の位置に戻します。

5. マルチ手差しフィーダーの左右にある着脱レバーを押して、手前に引き出して外します。



CHV106

電源の入れかた、切りかた

重要

- **電源を切るときは必ず［電源］キーを押してください。［電源］キーで電源を切らずに電源プラグを抜くと、メンテナンスに使用するインクの量が増えることがあります。**

電源について

- ［電源］キー（操作部右側）

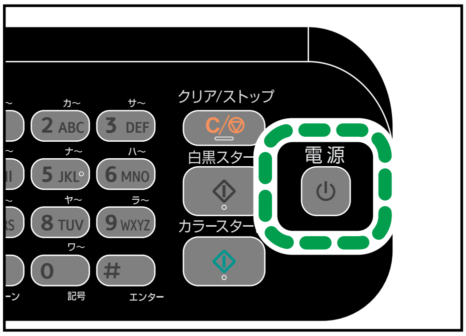
  本機を動作させるときに押します。ウォームアップ終了後、各機能の操作ができます。

補足

- 本機は電源「On」の状態で一定時間使用しないと、自動的に電力の消費を一段低くするように設定され、省エネモードになります。詳細は、P.54「節電」と P.267「時刻タイマー設定」を参照してください。
- 使用可能温度範囲外のメッセージが表示されたときは、設置環境を確認してください。詳細は、P.432「使用可能温度範囲外」を参照してください。
- 本機は停電後に電源の供給が再開すると、停電直前の状態に戻ります。停電直前に電源が入っていたときは、電源が入った状態に戻り、通常の機能が使える状態になります（例えば、ファクス受信中だったときは、ファクス受信の状態に復帰します）。

電源の入れかた

1. ［電源］キーを押します。



CHV201

起動しはじめると［電源］キーが点灯し、ディスプレイに「初期化中です。」と表示されます。

印刷可能な状態になると、ディスプレイに「操作できます」と表示されます。

補足

- ［電源］キーを押しても電源が入らないときは、電源プラグが確実にコンセントに差し込まれているか確認してください。

電源の切りかた

1. ［電源］キーを長押しして、電源ランプを消灯させます。

電源が切れると、［電源］キーとディスプレイが消灯します。

［システム設定］の［時刻タイマー設定］メニューの［自動電源オフ移行時間］を設定し、設定した時間使用しないと、自動的に本機の電源が切れます。

補足

- 電源ランプが点滅したら、［電源］キーから指を離してください。
- 完全に電力消費をなくすためには、［電源］キーを 1 秒程度長押しし、［電源］キーが消灯したことを確かめてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

節電

本機は節電のために、以下のような機能を持っています。

省エネモード

一定時間何も操作しないと、自動的に電力の消費を一段低くするように設定され、省エネモードの状態になります。

省エネモードに移行するまでの時間を設定できます。

自動電源オフ移行時間

一定時間何も操作しないと、自動的に電源を切るように設定できます。

補足

- 省エネモード中、［電源］キーは点灯したままですが、ディスプレイは消灯します。
- 省エネモードは、以下の操作や状態によって解除されます。
    - 操作部の［電源］キーを押したとき
    - スキャナーユニットを開けたとき
    - ADF に原稿をセットしたとき
    - 右前カバーを開けたとき
    - ファームウェアのアップデータを受信したとき
    - リモートからの印刷要求（プリンター機能での印刷、受信した FAX の印刷）を受信したとき
    - 受話器を取り上げたとき

- 外付け電話機に電話がかかってきたり、ファクスを受信したとき
- PC ファクス送信要求を受信したとき
- 送信待機ファイルを送信する時刻になったとき

2. 印刷の準備

印刷するための準備を説明します。

印刷の準備の流れ

印刷するための準備を説明します。

以下の順番で本機を設置してセットアップします。

流れ	やること	記載箇所
1	プリンターを設置する環境を確認します。	P.58「パソコンと本機の設置環境を確認する」
2	付属品を確認します。	P.64「同梱品を確認し、梱包材を取り外す」
3	オプションを取り付けます。	P.46「着脱可能なユニットとオプションの取り付けかた、取り外しかた」
4	SG カートリッジを取り付けます。	P.67「SG カートリッジを取り付ける」
5	電源コードを差し込み、電源を入れます。	P.70「電源コードを接続し、電源を入れる」
6	ファクスの設定	『ファクス設定ガイド』を参照してください。
7	用紙をセットします。	P.136「用紙をセットする」
8	テスト印刷をします。	P.289「テスト印刷する」
9	接続方法を確認します。	P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」
10	プリンターとパソコンを接続して、ソフトウェアをインストールします。	P.75「パソコンと接続して、ソフトウェアをインストールする（USB 接続）」 P.89「パソコンと接続して、ソフトウェアをインストールする（ネットワーク接続）」 Mac を使用するときは、P.161「Mac で使用する」を参照してください。

パソコンと本機の設置環境を確認する

設置環境は、本機の動作に影響しますので設置する場所の状態に注意してください。

設置する場所と環境を確認する

⚠警告

- 機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。

⚠警告

- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

⚠注意

- この機器の上に重いものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

⚠注意

- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

⚠注意

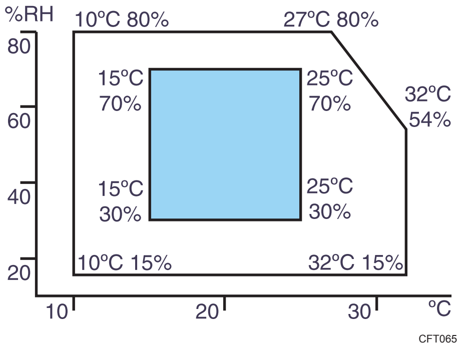
- 換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

重要

- 故障の原因となりますので、次のような場所に置かないでください。
    - 直射日光の当たるところ
    - 空調機の送風、冷風、温風・ふくしゃ熱が当たるところ
    - ラジオ・テレビなど、ほかのエレクトロニクス機器に近いところ
    - 高温、高湿、低温、低湿になるところ
    - 加湿器に近いところ
    - 石油ストーブやアンモニアを発生させる機器（ジアゾコピー機など）に近いところ

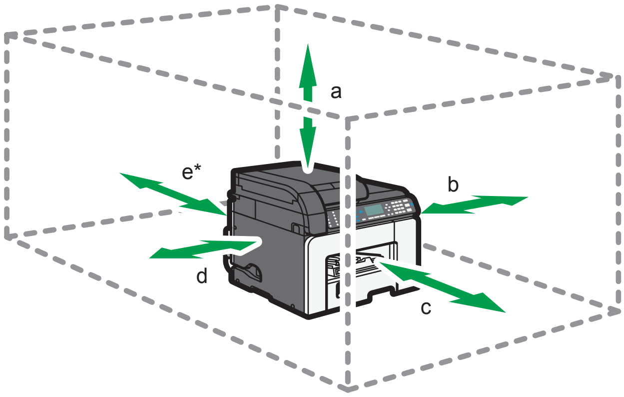
設置場所は、水平で、がたつきのない場所を選んでください。本機が浮かずにきちんと接地していることを確認してください。

- 設置する台の水平度は前後左右 2 度以下にしてください。
- 温度と湿度が以下の図で示す範囲におさまる場所に設置してください。（結露なきこと）
- 使用範囲外では機械保護のため印刷を停止させることがあります。



- 白枠内: 許容範囲
- 青枠内: 推奨範囲

- 用紙のセット、SG カートリッジの交換、紙づまりの処置などをスムーズにするために、下図のスペースを確保してください。



a. 59 cm

b. 10 cm

c. 45 cm

d. 3 cm

e. 13 cm

* マルチ手差フィーダーを取り付けるときは、30 cm です。

電源を確認する

⚠警告

- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠警告

- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠注意

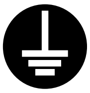
- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

100-120 V: 50/60 Hz 1.2 A

アースを確認する



⚠警告

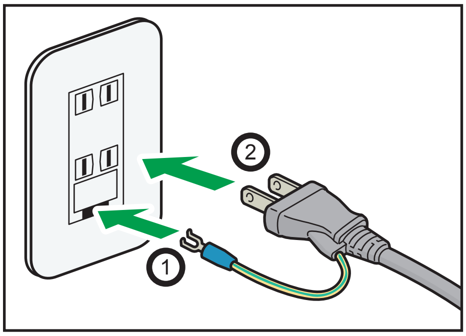


- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース線は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っているアース線

1. アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



接続するパソコンを確認する

以下の環境で使用してください。

- USB インターフェース、もしくはネットワークインターフェースを持つ PC/AT 機および互換機
- Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 以降

  ハードディスク空き容量：80-100MB 以上
- Mac OS X 10.5 Leopard 以降

  ハードディスク空き容量：50MB 以上

補足

- 推奨の搭載メモリーは各 OS の最低必要メモリーと同じです。

同梱品を確認し、梱包材を取り外す

⚠警告

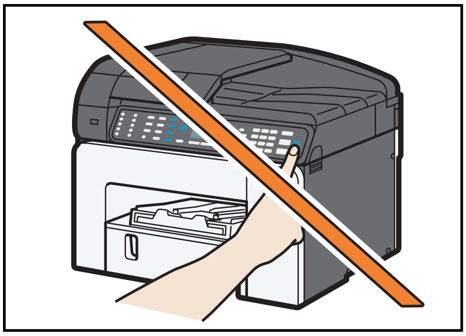
- ポリ袋の　WARNING　表示の意味は次のとおりです。
  - 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- 本機の重さは約 15.3 kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部に手をかけ、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。
- 機械を移動するときは、必ずオプションを取り外してください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

重要

- 電源は指示があるまで入れないでください。



CHV076

1. 箱を開けて同梱品を取り出し、以下の同梱品がすべてそろっていることを確認します。
   - 電源コード
   - SG カートリッジ　シアン
   - SG カートリッジ　マゼンタ
   - SG カートリッジ　イエロー
   - SG カートリッジ　ブラック
   - かんたんセットアップ
   - 安全上のご注意・操作ガイドの使いかた
   - クイックガイド

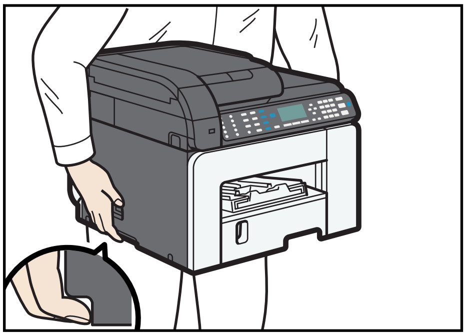
- ファクス設定ガイド
- フォルダー送信設定ガイド
- CD-ROM
- マニュアルポケット
- お客様登録はがき
- 保証書
- お問い合わせ先のシール

2. 梱包材を取り外します。

3. ポリ袋を取り外します。

4. 本機を設置する場所に移動します。

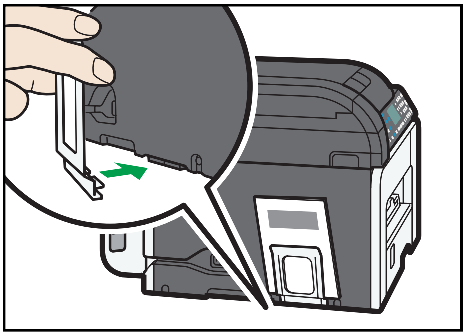
両側面の中央下部に手をかけ、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。



CHV097

5. 本機を固定しているテープを取り外します。

6. マニュアルポケットを取り付けます。



CHV163

7. マニュアルポケットに同梱品の冊子『クイックガイド』をセットします。

8. オプションを取り付けます。

P.46「着脱可能なユニットとオプションの取り付けかた、取り外しかた」

補足

- 梱包箱、梱包材は、長距離移動するときに使用します。捨てずに保管してください。
- USB ケーブルおよびイーサネットケーブルは、同梱されていません。
- リコーの推奨品は USB2.0 プリンターケーブル 509600 4pin A-TYPE、4pin B-TYPE の USB2.0 ケーブル（2.5 m）です。
- 10BASE-T または 100BASE-TX に対応したイーサネットケーブルを使用してください。

SG カートリッジを取り付ける

⚠注意

- インクは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠注意

- インク（使用済みインクを含む）が目に入ったときは、速やかに流水で洗い、異状のあるときは医師に相談してください。

⚠注意

- インクを飲み込んだときは、濃い食塩水を飲ませるなどして吐き出させ、医師に相談してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換するときは、インクで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとインクが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

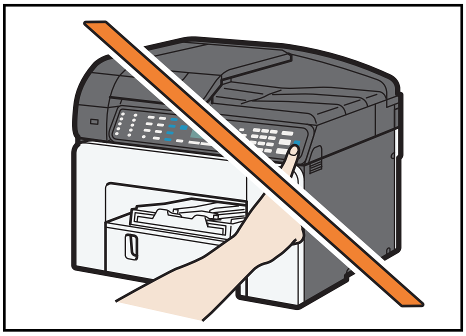
- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換をするときは、インクで手などを汚さないように注意してください。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- インクカートリッジを外したときは、装着部に手を入れないでください。インクで手が汚れることがあります。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

★重要

- SG カートリッジを取り外したときに、内部に手を入れないでください。
- 電源は指示があるまで入れないでください。



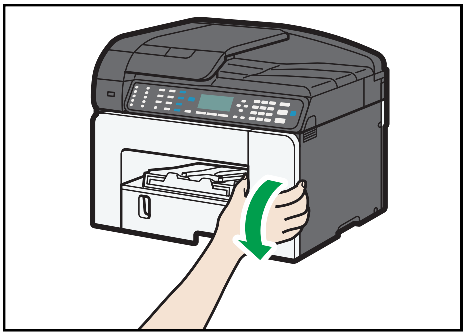
CHV076

- 必ず本機に同梱されているSGカートリッジを使用してください。同梱品以外のカートリッジや使用済みのものを使用すると、インクを本体に送りこむ供給動作が正常に終了しないことがあります。

1. SGカートリッジを開封します。

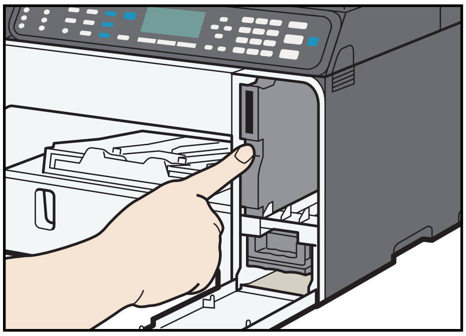
SGカートリッジのインクの供給部分、チップ部分には触れないでください。

2. 右前カバーを開けます。



CHV077

3. SGカートリッジの向きを確認し、軽く差し込みます。



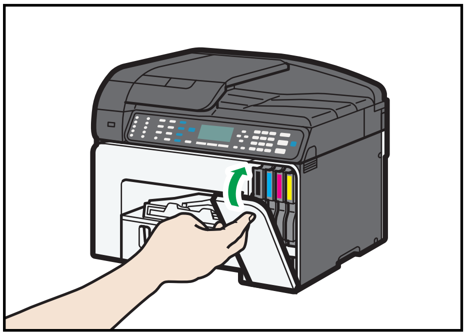
CHV078

左から順に、K（ブラック）C（シアン）M（マゼンタ）Y（イエロー）をセットします。

4. SGカートリッジを奥まで確実に差し込みます。

5. 手順 3〜4 を繰り返し、4 色すべての SG カートリッジを取り付けます。

6. 右前カバーを閉じます。



CHV079

補足

- SG カートリッジなどの消耗品は、リコー指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定の SG カートリッジまたは消耗品をご使用ください。

電源コードを接続し、電源を入れる

パソコンに接続する前に、電源コードを接続し、本機の電源を入れてください。

⚠警告

- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠警告

- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

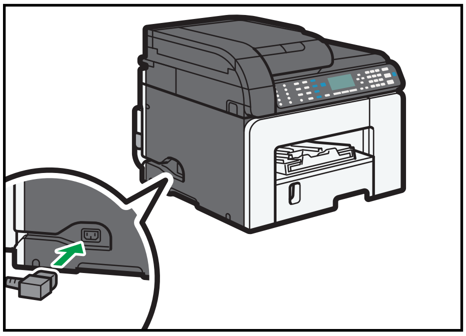
⚠注意

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

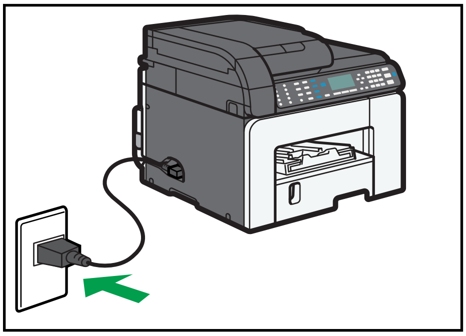
重要

- インクの供給中は本機に触れずにお待ちください。

1. 電源コードを本機に確実に差し込みます。


CHV139

2. アース線を接続し、電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。

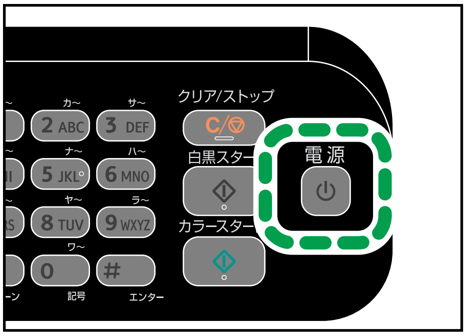


CHV034

設置する台の水平度は前後左右 2 度以下にしてください。

本機の下に電源コードをはさまないように注意してください。

3. [電源] キーを押します。



CHV201

インクを本体に送りこむ動作が始まります。

「操作できます」というメッセージが表示されるまで、本機に触れずに約 6 分お待ちください。

インクの供給中は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

インクの供給中は、カチカチと音がしますが故障ではありません。しばらくお待ちください。

インクの供給が終わると [電源] キーが点滅から点灯に変わります。

接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法

本機はUSB接続、またはネットワーク接続することができます。

ソフトウェアをインストールする前に、本機の接続方法を確認してください。

重要

- 付属のCD-ROMや「RP_SETUPXX.EXE」ファイルは、Windows Server 2008のServer Core環境には対応していません。

USB接続

USB接続しているときは、[おすすめインストール（USB接続用）]で同梱のCD-ROMから簡単にソフトウェアをインストールできます。P.77「おすすめインストール」を参照してください。

それぞれのインストールボタンによってインストールされるソフトウェアは、以下のとおりです。

インストールボタン	インストールされるソフトウェア
おすすめインストール	プリンタードライバー TWAINドライバー PC FAXドライバー 機器設定ユーティリティー 操作ガイド
プリンタードライバー	プリンタードライバー
TWAIN/WIAドライバー	TWAINドライバー
PC FAXドライバー	PC FAXドライバー
操作ガイド	操作ガイド

ネットワーク接続

ネットワーク接続しているときは、[おすすめインストール（ネットワーク接続用）]、[プリンタードライバー]、[TWAIN/WIAドライバー]、[PC FAXドライバー]、[操作ガイド]で同梱のCD-ROMから簡単にソフトウェアをインストールできます。P.89「パソコンと接続して、ソフトウェアをインストールする（ネットワーク接続）」を参照してください。

それぞれのインストールボタンによってインストールされるソフトウェアは、以下のとおりです。

インストールボタン	インストールされるソフトウェア
おすすめインストール	プリンタードライバー 操作ガイド

インストールボタン	インストールされるソフトウェア
プリンタードライバー	プリンタードライバー
TWAIN/WIA ドライバー	TWAIN ドライバー
PC FAX ドライバー	PC FAX ドライバー
操作ガイド	操作ガイド

補足

- ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用してプリンターへダイレクト印刷（Peer-to-Peer ネットワーク）、またはサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。
- プリンタードライバーを最新版に更新するときは、P.456「お問い合わせ先のご案内」を参照してください。
- OS の最新状況については Web 上で確認してください。

パソコンと接続して、ソフトウェアをインストールする（USB 接続）

本機を設置しテスト印刷をしたら、パソコンと接続します。本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、「おすすめインストール（USB 接続用）」、「プリンタードライバー」、「TWAIN/WIA ドライバー」、「PC FAX ドライバー」、「操作ガイド」でソフトウェアをインストールします。

2

参照

- 接続方法の確認は、P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」を参照してください。
- プリンタードライバーだけをインストールするときは、P.79「プリンタードライバーをインストールする」を参照してください。
- TWAIN ドライバーだけをインストールするときは、P.124「TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。
- PC FAX ドライバーだけをインストールするときは、P.125「PC FAX ドライバーをインストールする」を参照してください。
- テスト印刷の方法は、P.289「テスト印刷する」を参照してください。

インストールする前に

本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

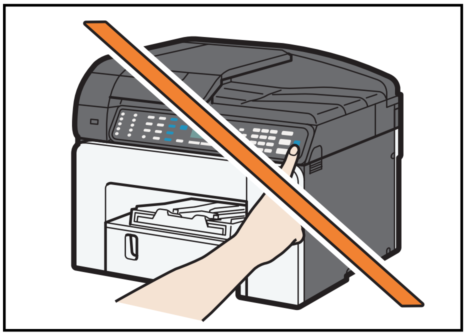
補足

- USB で接続した本機をネットワークで共有するときも、ここでの説明にしたがいパソコンと本機を接続してください。共有の設定は、P.84「プリンターを共有する」を参照してください。

本機とパソコンを USB で接続する

重要

- **電源は指示があるまで入れないでください。**



CHV076

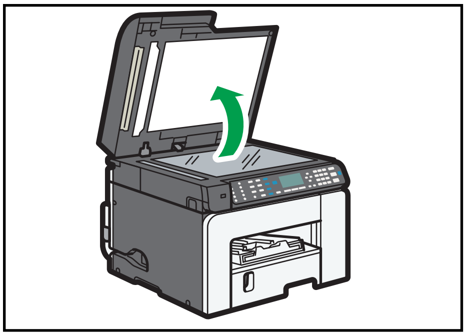
1. 本機の電源が切れていることを確認します。

2. パソコンの電源を入れて起動します。

ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、すべて終了してください。

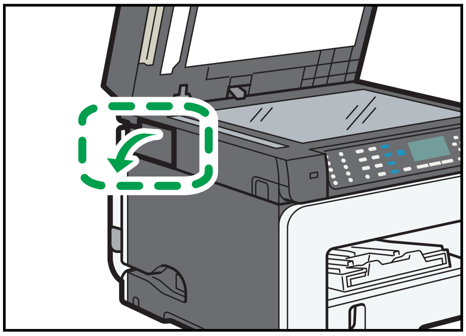
新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示されたときは、[キャンセル] をクリックし、本機の電源を切ってください。

3. ADF カバーを開けます。



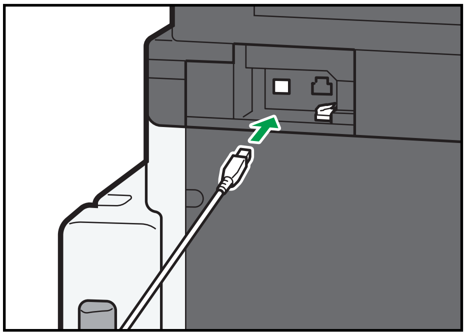
CHV256

4. コネクターのカバーを開けます。



CHV257

5. **USB ポートのシールをはがして、USB ポートに、USB ケーブル（B タイププラグ：）を接続します。**



CHV107

6. **コネクターのカバーを閉めます。**

7. **パソコンの USB ポートに、USB ケーブル（A タイププラグ：）を接続します。**

8. **ADF カバーをしっかりと閉じます。**

補足

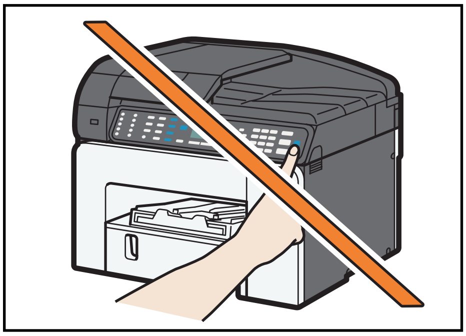
- USB ケーブルは、形状や向きを確認し、奥までしっかりと差し込んでください。

おすすめインストール

プリンタードライバー、TWAIN ドライバー、PC FAX ドライバー、機器設定ユーティリティー、操作ガイドをインストールします。

重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**
- **電源は指示があるまで入れないでください。**

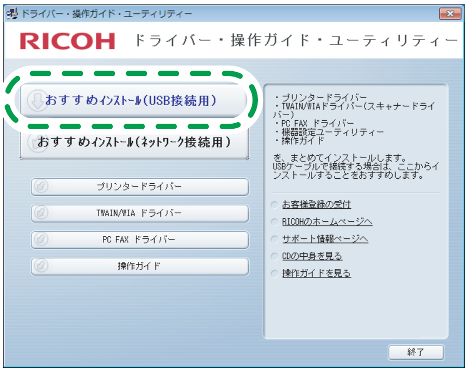


CHV076

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

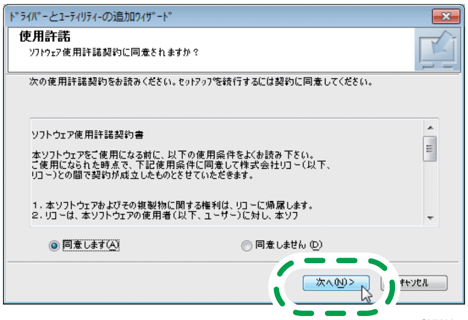
ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、すべて終了してください。

2. ［おすすめインストール（USB 接続用）］をクリックします。



CHV293

3. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。［同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。



CHU165

4. インストーラーが起動します。メッセージにしたがって操作してください。

インストールの途中、警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。

補足

- インストールの途中で Windows セキュリティの警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックし、本機の電源を切ってください。
- CD-ROM を挿入すると、インストーラーが自動的に起動します。OS の設定によりオートランプログラムが起動しないときは、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動するか、［自動再生］画面の［SETUP.EXE の実行］をクリックして起動してください。
- インストールが完了すると、デスクトップに操作ガイドのアイコンが登録されます。

- 「コンピューターを再起動してください」のメッセージが表示されたときは、パソコンを再起動してください。
- プリンタードライバーが正しくインストールされたことを確認するためには、[電源] キーが点灯していることを確認し、テスト印刷をしてください。テスト印刷は、P.289「テスト印刷する」を参照してください。

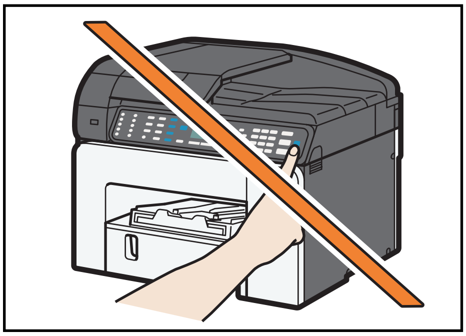
プリンタードライバーをインストールする

パソコンと本機を USB ケーブルで接続して、プリンタードライバーだけをインストールする手順を説明します。

「おすすめインストール（USB 接続用）」をしたときは、この作業は必要ありません。

重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**
- **電源は指示があるまで入れないでください。**



CHV076

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

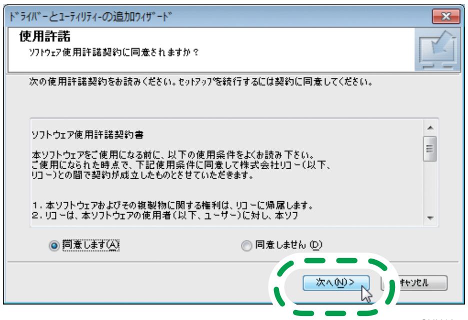
ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、すべて終了してください。

2. ［プリンタードライバー］をクリックします。



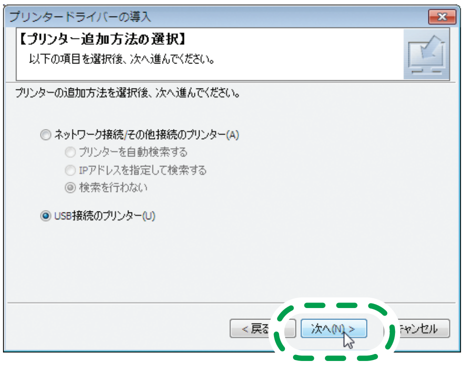
CHV294

3. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。［同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。



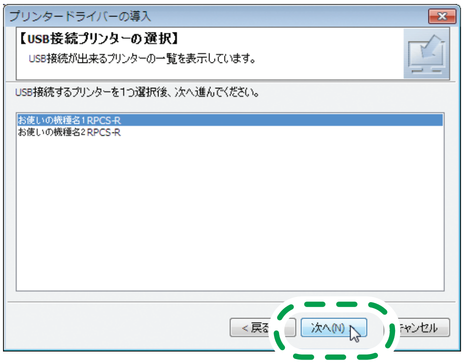
CHU165

4. ［USB 接続のプリンター］を選択し、［次へ］をクリックします。



CHU167

5. お使いの機種を選択し、［次へ］をクリックします。



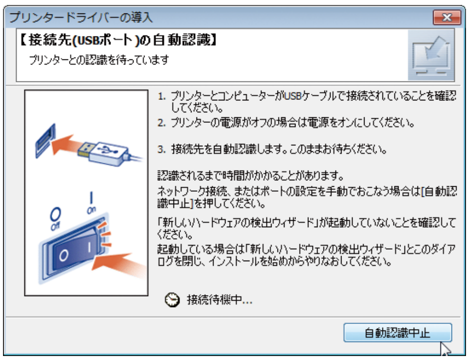
CHU168

6. 本機の電源が切れていることを確認し、［次へ］をクリックします。

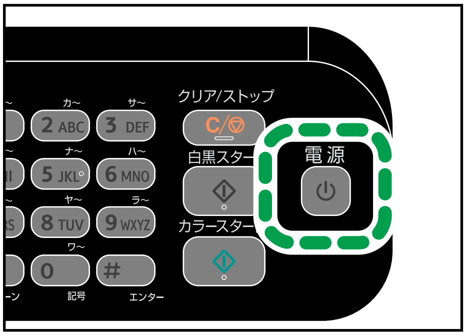


CHU169

次の画面が表示されることを確認します。



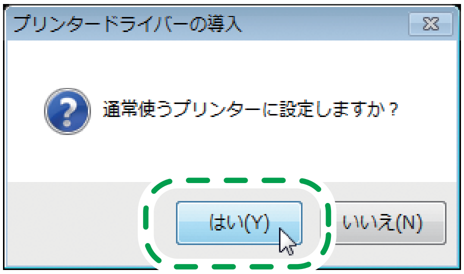
7. 本機とパソコンが正しく接続されていることを確認し、［電源］キーを押します。



CHV201

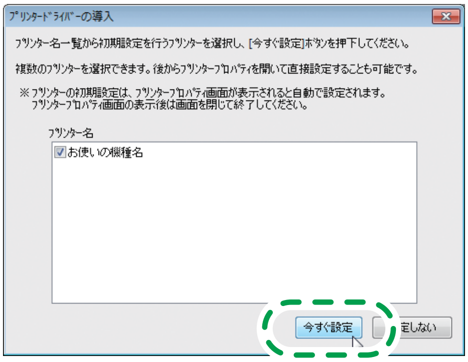
インストールが始まります。

8. ［はい］をクリックして、通常使うプリンターに設定します。



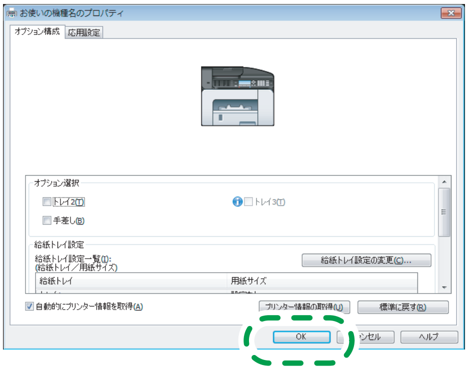
CHU228

9. プリンターの初期設定をするときは、［今すぐ設定］をクリックします。



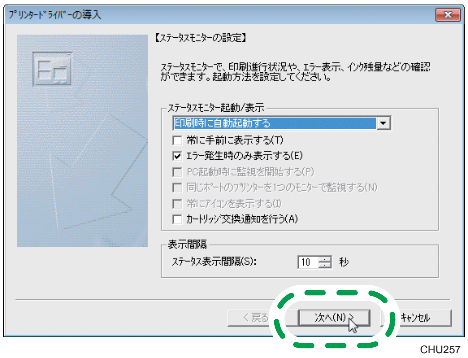
CHU172

10. 設定が完了したら、［OK］をクリックします。



CHV258

11. ステータスモニターの起動方法を設定し、［次へ］をクリックします。



CHU257

12. ［完了］をクリックします。

13. ダイアログに再起動の確認が表示されたときは、［はい、今すぐ再起動します。］を選択し、［完了］をクリックしてください。

補足

- インストールの途中で Windows セキュリティの警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックし、本機の電源を切ってください。
- CD-ROM を挿入すると、インストーラーが自動的に起動します。OS の設定によりオートランプログラムが起動しないときは、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動するか、［自動再生］画面の［SETUP.EXE の実行］をクリックして起動してください。それでも開かないときや、インストール中にエラーが発生するときは、CD-ROM ドライブを開き、［DRIVERS］フォルダーにある［RP_SETUPXX.EXE］アイコンをダブルクリックし、画面の指示にしたがってプリンタードライバーをインストールしてください。
- プリントサーバーを経由してプリンターを共有するときは、P.84「プリンターを共有する」を参照してください。

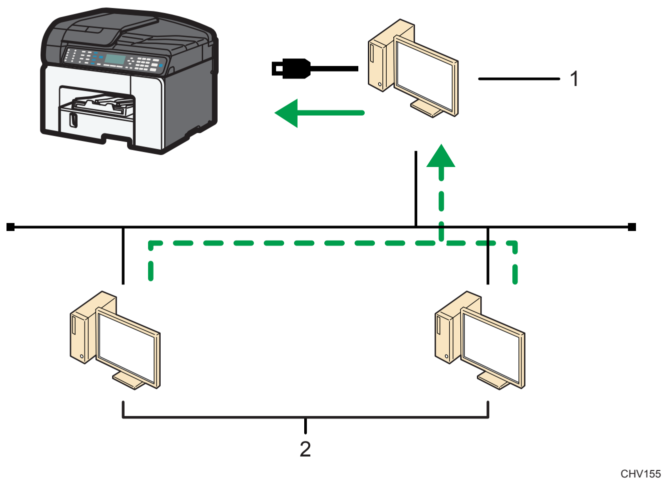
- プリンタードライバーが正しくインストールされたことを確認するためには、[電源]キーが点灯していることを確認し、印字テストをしてください。印字テストをするには、プリンタードライバーのプロパティを開いて［全般］タブの［テストページの印刷］をクリックします。テストページが正しく印刷されないときは、P.373「印字テストができない」を参照してください。
- プリントサーバーに Windows ファイアウォール機能が搭載されているときは、ステータスモニターを使用する前に、Windows ファイアウォールで例外の設定をしてください。設定の方法は、P.422「ステータスモニターが表示されない」を参照してください。

参照

- 操作ガイドだけをインストールするときは、『安全上のご注意・操作ガイドの使いかた』「画面で見る使用説明書の使いかた」を参照してください。

プリンターを共有する

プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続してネットワーク上で共有する手順を説明します。プリンターを共有するには、プリンターを接続しているパソコンをプリントサーバーとし、共有の設定をします。



1. サーバー
2. クライアント

共有の設定をする

重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. **［スタート］メニューから、［コントロールパネル］をクリックします。**

Windows Server 2003/2003 R2 では、［設定］の［コントロールパネル］をクリックします。

2. **［ネットワークとインターネット］をクリックします。**

Windows Server 2008 では、［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

Windows XP では、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

Windows Server 2003/2003 R2 では、［ネットワーク接続］をクリックします。

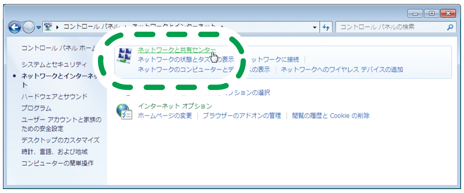


CHU142

3. **［ネットワークと共有センター］をクリックします。**

Windows Server 2008 では、［プリンタ］をクリックします。

Windows XP では、［ネットワーク接続］をクリックします。



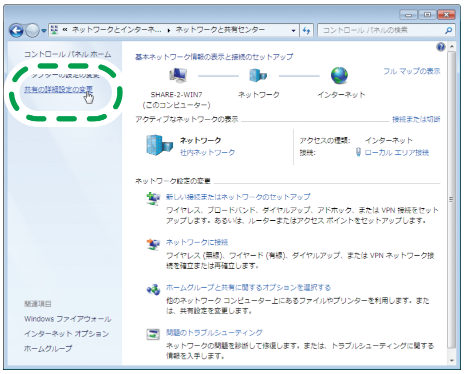
CHU143

4. **［共有の詳細設定の変更］をクリックします。**

Windows XP、Windows Server 2008 では、［ローカルエリア接続］を選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックして手順 6 に進みます。

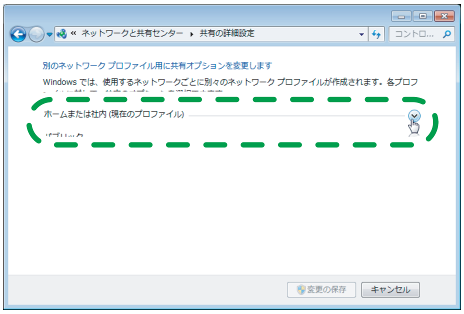
Windows Vista では、［共有と探索］の［プリンタ共有］から［無効］または［有効］をクリックして手順 6 に進みます。

Windows Server 2003/2003 R2 では、［LAN］を選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックして手順 6 に進みます。



CHU144

5. [ホームまたは社内（現在のプロファイル）] の山かっこをクリックします。

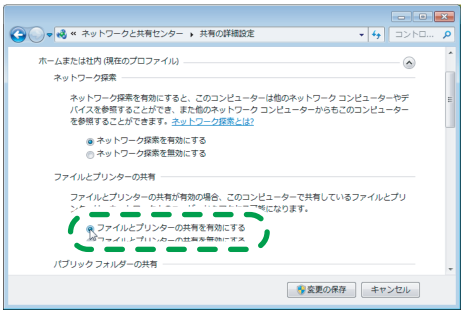


CHU175

6. [ファイルとプリンターの共有] の [ファイルとプリンターの共有を有効にする] にチェックを付けます。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2/2008 では、[全般] タブの「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタの共有」にチェックを付けます。

Windows Vista では、[プリンタ共有を有効にする] にチェックを付け、[適用] を押します。



CHU183

7. [変更の保存] をクリックします。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2/2008 では、[OK] をクリックします。

Windows Vista では、［続行］をクリックします。使用しているネットワークの種類を選択します。

8. **［スタート］メニューから、［デバイスとプリンター］をクリックします。**

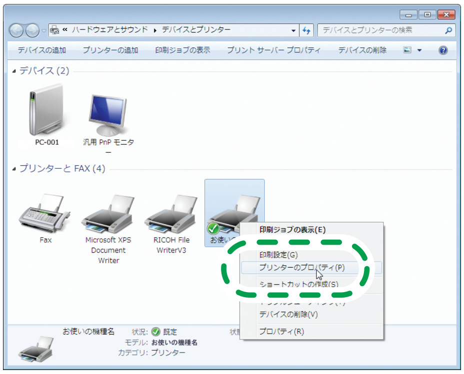
Windows Vista、Windows Server 2008 では、［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］から［プリンタ］をクリックします。

Windows XP では、［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows Server 2003/2003 R2 では、［設定］の［プリンタと FAX］をクリックします。

9. **本機のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。**

Windows Vista/XP、Windows Server 2003/2003R2 では、［共有］をクリックします。

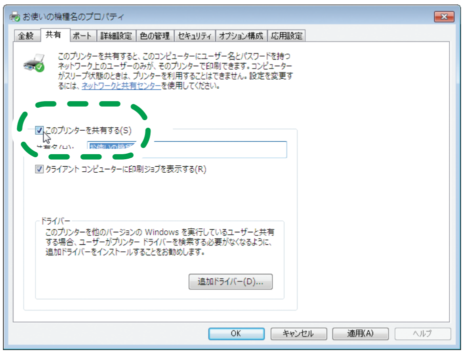


CHU145

10. **［共有］タブで［このプリンターを共有する］にチェックを付けます。**

Windows Server 2008 では、［共有］タブで［共有する］にチェックを付けます。

Windows Vista では、［共有オプションの変更］を押し、［このプリンタを共有する］にチェックを付けます。



CHU146

11. ［OK］をクリックします。

Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008では、［適用］をクリックして、［OK］をクリックします。

共有の設定をしたプリンターにクライアントから接続する方法は、P.120「Windowsネットワークプリンターを使用する」を参照してください。

パソコンと接続して、ソフトウェアをインストールする（ネットワーク接続）

本機を設置しテスト印刷をしたら、パソコンと接続します。本機とパソコンをイーサネットケーブルで接続し、「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」、「プリンタードライバー」、「TWAIN/WIA ドライバー」、「PC FAX ドライバー」でソフトウェアをインストールします。

参照

- 接続方法の確認は、P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」を参照してください。
- プリンタードライバーだけをインストールするときは、P.103「プリンタードライバーをインストールする」を参照してください。
- テスト印刷の方法は、P.289「テスト印刷する」を参照してください。

インストールする前に

本機とパソコンをイーサネットで接続し、お使いのネットワーク環境にあわせてネットワークの設定をします。

本機とパソコンをイーサネットで接続する

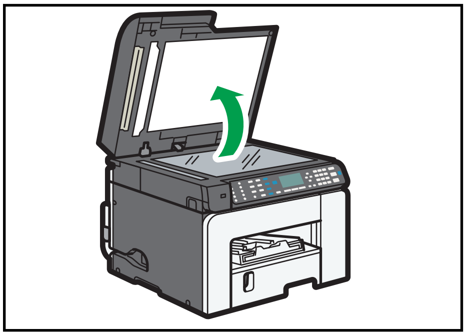
ハブ（HUB）などのネットワーク機器を準備してから、本機にイーサネットケーブルを接続します。

イーサネットポートには、10BASE-T、または 100BASE-TX のケーブルを接続します。

重要

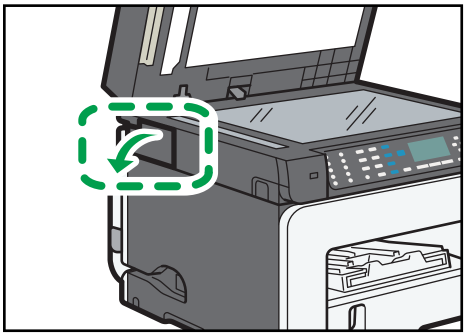
- **イーサネットケーブルは同梱されていません。お使いのネットワーク環境に合わせて別途ご用意ください。**

1. ADF カバーを開けます。



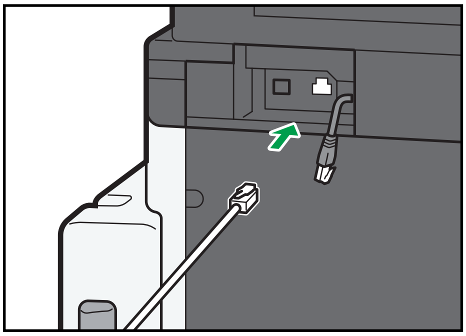
CHV256

2. コネクターのカバーを開けます。



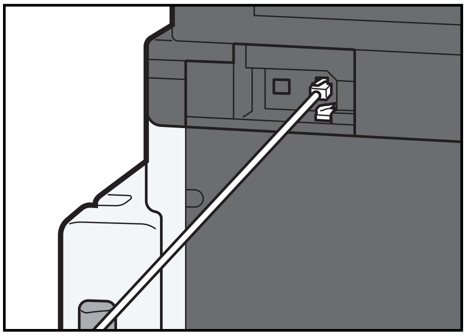
CHV257

3. 無線 LAN ケーブルを引き出し、イーサネットケーブルを接続します。



CHV128

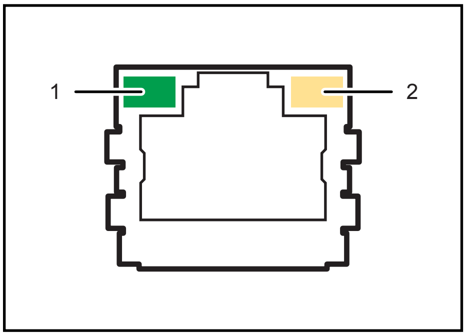
4. 無線 LAN ケーブルを格納します。



CHV162

5. ハブ（HUB）などのネットワーク機器に、イーサネットケーブルのもう一方を接続します。

LED の見かた



CHV009

1. 緑色

   ネットワークに正常に接続しているときに点灯します。

2. 黄色

   データを送受信すると点灯します。

6. コネクターのカバーを閉めます。

7. ADF カバーをしっかりと閉じます。

ネットワークの設定をする

お使いのネットワーク環境に応じて、必要な項目を設定します。

設定できる項目と工場出荷時の値は、下記のとおりです。これらは、インターフェース設定メニューの項目です。

項目名	工場出荷時
有効プロトコル	IPv4: 有効 IPv6: 無効
イーサネット速度	自動設定
本体 IPv4 アドレス	自動的に取得（DHCP）
IPv4 ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
本体 IPv6 アドレス	-
IPv6 ゲートウェイアドレス	-
IPv6 ステートレス設定	有効
ドメイン名	自動的に取得（DHCP）
DNS 設定	自動的に取得（DHCP）
DDNS 設定	有効
SNMPv3 通信許可設定	暗号化/平文
SSL/TLS 通信許可設定	暗号文/平文
自動メール通知	無効

IPv4 アドレスを割り当てる方法を例に、説明します。

1. **［初期設定］キーを押します。**
2. **［ログイン］を押します。**
3. **ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。**
4. **［▲］または［▼］キーを押して［システム設定］を選択し、［OK］キーを押します。**
5. **［▲］または［▼］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。**
6. **［▲］または［▼］キーを押して［ネットワーク］を選択し、［OK］キーを押します。**
7. **［▲］または［▼］キーを押して［本体 IPv4 アドレス］を選択し、［OK］キーを押します。**
8. **［▲］または［▼］キーを押して［指定］を選択し、［IP アドレス］を押します。**

   現在設定されている IP アドレスが表示されます。
9. **テンキーで、すべてのフィールドに値を入力し、［OK］キーを押します。**

   設定する IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

10. 同様の手順でサブネットマスクを設定します。

11. すべての設定が終了したら、[OK］キーを押します。

設定した項目が有効になり、初期画面に戻ります。

設定した内容は、インターフェース設定リストで確認できます。インターフェース設定リストの出力方法は、P.275「リスト印刷」を参照してください。

12. [戻る］キーを押します。

13. 電源を切ります。

本機とパソコンを無線 LAN で接続する

本機を無線 LAN でネットワークに接続します。

★ 重要

- 本機はアドホックモードには対応していません。
- イーサーネットと無線 LAN は同時に使用できません。
- 有線 LAN から無線 LAN に運用を変更したときは、イーサネットポートに無線 LAN 用のケーブルを差し込んでください。差し込まないと無線 LAN が使用できません。
- 無線 LAN の暗号化は、WEP と WPA から選択できます。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- [インターフェース選択］の初期値は［イーサネット］です。
- Web Image Monitor からも暗号化の設定ができます。

無線 LAN 設定に切り替える

無線 LAN を使用するときは必ず［インターフェース選択］を［IEEE 802.11b/g/n］に変更してください。

1. [初期設定］キーを押します。

2. [ログイン］を押します。

3. ログインパスワードを入力して、[OK］キーを押します。

4. [▲］または［▼］キーを押して［システム設定］を選択し、[OK］キーを押します。

5. [▲］または［▼］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、[OK］キーを押します。

6. [▲］または［▼］キーを押して［ネットワーク］を選択し、[OK］キーを押します。

7. [▲] または [▼] キーを押して [インターフェース選択] を選択し、[OK] キーを押します。

8. [▲] または [▼] キーを押して [IEEE 802.11b/g/n] を選択し、[OK] キーを押します。



9. 設定を変更したときは、電源を入れ直します。

簡単設定を設定する

Wi-Fi Protected Setup（WPS）を使用して無線 LAN を設定するときは、[簡単設定] を選択します。

[プッシュボタン方式]、または [PIN 方式] のいずれかを選択してアクセスポイントに接続します。

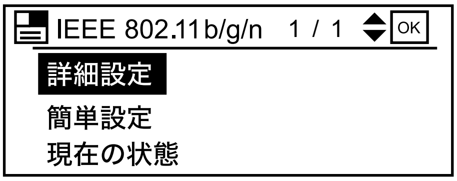
お使いの環境に合わせて設定してください。

使用している無線 LAN アクセスポイントやルーターの詳細については、各製品に付属のマニュアルを参照してください。

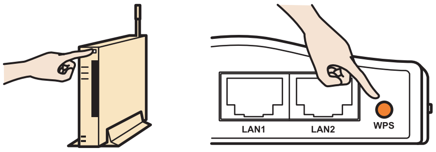
プッシュボタン方式

1. アクセスポイントを起動します。
2. 本機の電源を入れます。
3. [初期設定] キーを押します。
4. [ログイン] を押します。
5. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。
6. [▲] または [▼] キーを押して [システム設定] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [▲] または [▼] キーを押して [インターフェース設定] を選択し、[OK] キーを押します。
8. [▲] または [▼] キーを押して [IEEE 802.11] を選択し、[OK] キーを押します。

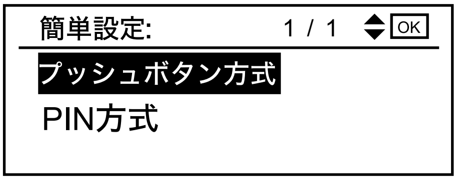
9. [▲] または [▼] キーを押して [簡単設定] を選択し、[OK] キーを押します。



10. アクセスポイントの WPS ボタンを押します。



11. [▲] または [▼] キーを押して [プッシュボタン方式] を選択し、[OK] キーを押します。



接続に成功したときは、「アクセスポイントへの接続に成功しました。」と表示されます。

接続に失敗したときは、「アクセスポイントへの接続に失敗しました。」と表示されます。手順 9 からやり直してください。それでも接続できないときは、アクセスポイントが正常に動作しているか確認してください。それでも接続できないときは、サービス実施店にお問い合わせください。

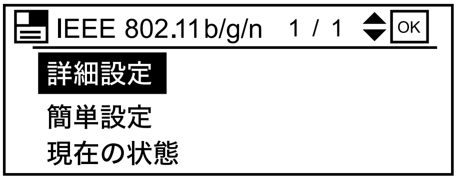
補足

- 120 秒間を経過してもアクセスポイントが検索できなかったときは、タイムアウトになります。

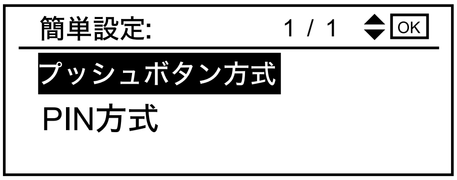
PIN 方式

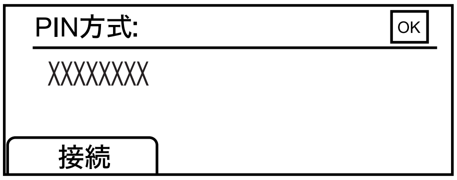
1. アクセスポイントを起動します。
2. 本機の電源を入れます。
3. [初期設定] キーを押します。
4. [ログイン] を押します。
5. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。

6. [▲] または [▼] キーを押して [システム設定] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [▲] または [▼] キーを押して [インターフェース設定] を選択し、[OK] キーを押します。
8. [▲] または [▼] キーを押して [IEEE 802.11] を選択し、[OK] キーを押します。
9. [▲] または [▼] キーを押して [簡単設定] を選択し、[OK] キーを押します。

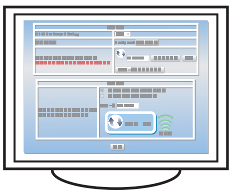


10. [▲] または [▼] キーを押して [PIN 方式] を選択し、[OK] キーを押します。





11. アクセスポイントの Web ページに本機の PIN コードを入力します。



詳細はアクセスポイントに付属のマニュアルを参照してください。

12. アクセスポイントの Web ページから WPS（PIN 方式）を実行します。
13. [接続] を押します。

接続に失敗したときは、「アクセスポイントへの接続に失敗しました。」と表示されます。手順 11 からやり直してください。それでも接続できないときは、アクセスポイ

ントが正常に動作しているか確認してください。それでも接続できないときは、サービス実施店にお問い合わせください。

SSID を設定する

SSID の設定をします。

無線 LAN を使用するには、SSID の設定が必要です。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。
3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して［システム設定］を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［▲］または［▼］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。
6. ［▲］または［▼］キーを押して［IEEE 802.11］を選択し、［OK］キーを押します。
7. ［▲］または［▼］キーを押して［詳細設定］を選択し、［OK］キーを押します。
8. ［▲］または［▼］キーを押して［SSID］を選択し、［OK］キーを押します。
9. ［SSID］を押します。

   SSID がすでに設定してあるときは、現在の設定が表示されます。
10. 文字を入力して、［OK］キーを押します。

    SSID で使用できる文字は、半角英数字と表示可能な半角記号で 32 文字以内です。

    Web Image Monitor からも SSID の設定ができます。
11. ［OK］キーを押します。
12. ［戻る］キーを押します。

暗号化の設定をする

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。
3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。

4. [▲] または [▼] キーを押して [システム設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] または [▼] キーを押して [インターフェース設定] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] または [▼] キーを押して [IEEE 802.11] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [▲] または [▼] キーを押して [詳細設定] を選択し、[OK] キーを押します。
8. [▲] または [▼] キーを押して [暗号化] を選択し、[OK] キーを押します。
9. [▲] または [▼] キーを押して [無効]、[WEP]、[WPA-PSK]、[WPA-EAP] を選択し、[OK] キーを押します。
    - [WEP] を選択したときは、[キー長] を設定します。
    - [WPA-PSK] か [WPA-EAP] を選択したときは、WPA を設定します。
    - 無線 LAN の暗号化が不要なときは、[無効] を選択し、[ユーザーパスワード] を設定します。

WPA を設定する

1. [初期設定] キーを押します。
2. [ログイン] を押します。
3. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して [システム設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] または [▼] キーを押して [インターフェース設定] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] または [▼] キーを押して [IEEE 802.11] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [▲] または [▼] キーを押して [詳細設定] を選択し、[OK] キーを押します。
8. [▲] または [▼] キーを押して [WPA] を選択し、[OK] キーを押します。
9. [▲] または [▼] キーを押して [WPA (TKIP)]、[WPA (AES)]、[WPA2 (AES)] を選択し、[OK] キーを押します。

暗号化キーを設定する

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。
3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して［システム設定］を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［▲］または［▼］キーを押して［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。
6. ［▲］または［▼］キーを押して［IEEE 802.11］を選択し、［OK］キーを押します。
7. ［▲］または［▼］キーを押して［詳細設定］を選択し、［OK］キーを押します。
8. ［▲］または［▼］キーを押して［事前共有キーフォーマット］を選択し、［OK］キーを押します。
9. ［▲］または［▼］キーを押して［パスフレーズ］か［Hex］を選択し、［OK］キーを押します。
10. ［▲］または［▼］キーを押して［事前共有キー］を選択し、［OK］キーを押します。
11. 事前共有キーを入力して、［OK］キーを押します。
    - ［パスフレーズ］は、63 文字まで入力できます。
    - ［Hex］は、16 進数で 64 文字まで入力できます。
12. ［▲］または［▼］キーを押して［キー長］を選択し、［OK］キーを押します。
13. ［▲］または［▼］キーを押して［64bit］か［128bit］を選択し、［OK］キーを押します。
14. ［▲］または［▼］キーを押して［キーフォーマット］を選択し、［OK］キーを押します。
15. ［▲］または［▼］キーを押して［ASCII（5 桁）］、［Hex（10 桁）］、［ASCII（13 桁）］、［Hex（26 桁）］を選択し、［OK］キーを押します。
    - ［キー長］で［64bit］を選択したときは、［ASCII（5 桁）］で 5 桁、または、［Hex（10 桁）］で 10 桁の文字列が使用できます。
    - ［キー長］で［128bit］を選択したときは、［ASCII（13 桁）］で 13 桁、または、［Hex（26 桁）］で 26 桁の文字列が使用できます。
16. ［▲］または［▼］キーを押して［暗号化キー］を選択し、［OK］キーを押します。

17. 暗号化キーを入力して、[OK]キーを押します。

- [暗号化]で[WPA-EAP]を選択したとき、または、[WPA]で[WPA2 (AES)]を選択したときは、[EAP タイプ]を選択します。
- 認証サーバーを使用するときは、[EAP タイプ]、[EAP ユーザー ID]、[RADIUS ユーザー名]、[RADIUS ユーザーパスワード]を設定するとセキュリティーの強化ができます。

ユーザーパスワードを設定する

1. [初期設定]キーを押します。

2. [ログイン]を押します。

3. ログインパスワードを入力して、[OK]キーを押します。

4. [▲]または[▼]キーを押して[システム設定]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]または[▼]キーを押して[インターフェース設定]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]または[▼]キーを押して[IEEE 802.11]を選択し、[OK]キーを押します。

7. [▲]または[▼]キーを押して[詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

8. [▲]または[▼]キーを押して[ユーザーパスワード]を選択し、[OK]キーを押します。

9. パスワードを入力して、[OK]キーを押します。

おすすめインストール

プリンタードライバーと操作ガイドをインストールします。

★重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

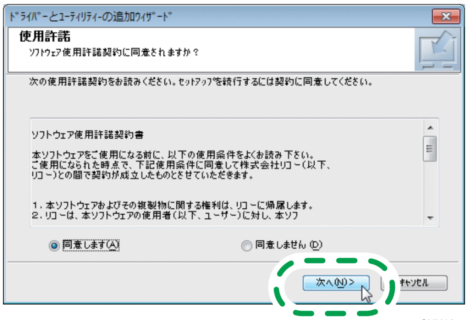
ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、すべて終了してください。

2. ［おすすめインストール（ネットワーク接続用）］をクリックします。



CHV295

3. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。［同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

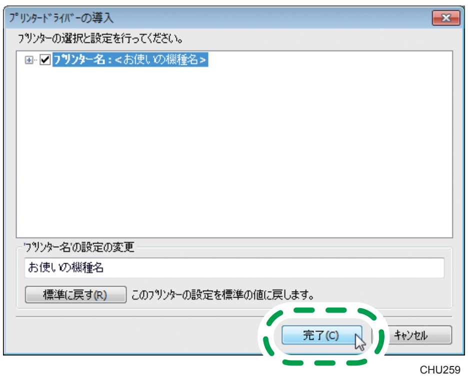


CHU165

ネットワークプリンターの検索が始まります。

4. お使いの機種名を選択し、［次へ］をクリックします。

5. ［完了］をクリックします。

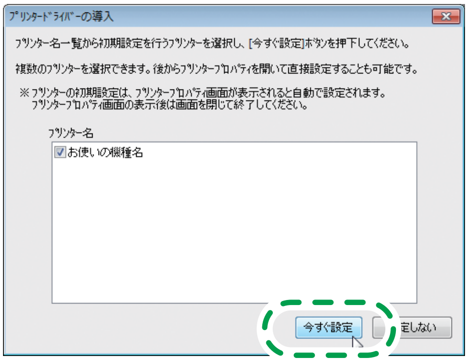


CHU259

インストールが始まります。

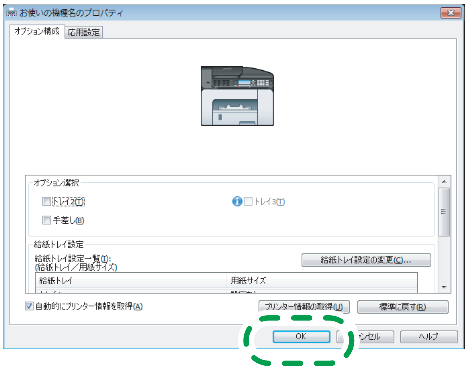
2

6. プリンターの初期設定をするときは、[今すぐ設定] をクリックします。



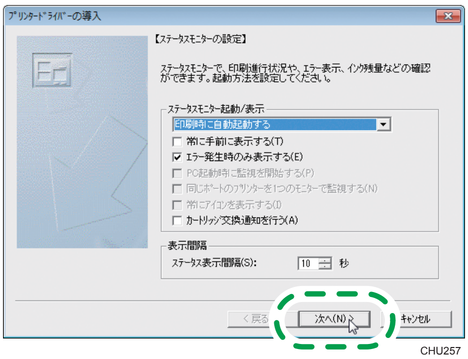
CHU172

7. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。



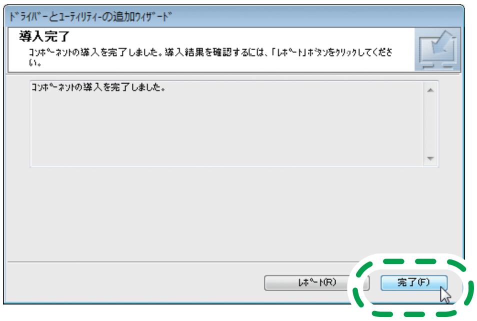
CHV258

8. ステータスモニターの起動方法を設定し、[次へ] をクリックします。



CHU257

9. ［完了］をクリックします。



CHU180

プリンタードライバーと操作ガイドのインストールが完了しました。

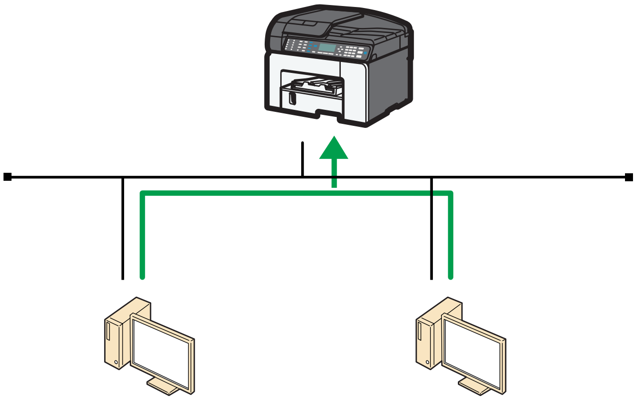
補足

- インストールの途中で Windows セキュリティの警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- CD-ROM を挿入すると、インストーラーが自動的に起動します。OS の設定によりオートランプログラムが起動しないときは、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動するか、［自動再生］画面の［SETUP.EXE の実行］をクリックして起動してください。
- インストールが完了すると、デスクトップに操作ガイドのアイコンが登録されます。
- 「コンピューターを再起動してください」のメッセージが表示されたときは、パソコンを再起動してください。
- プリンタードライバーが正しくインストールされたことを確認するためには、［電源］キーが点灯していることを確認し、テスト印刷をしてください。テスト印刷は、P.289「テスト印刷する」を参照してください。

プリンタードライバーをインストールする

ネットワーク接続には、Windows の印刷ポートを使用してプリンターへダイレクト印刷（Peer to-Peer ネットワーク）する方法と、プリントサーバーを利用して本機をネットワークプリンターとして使用する方法があります。

Windows の印刷ポートを使用する

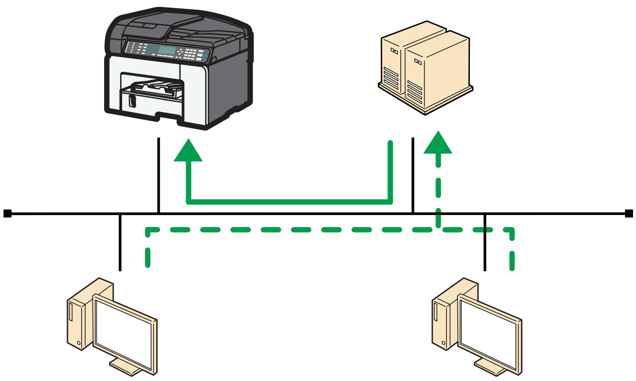


対象 OS	使用できるポート
Windows Vista/7 Windows Server 2008/2008 R2	Ridoc IO Navi ポート Standard TCP/IP ポート Internet ポート LPR ポート WSD ポート
Windows XP Windows Server 2003/2003 R2	Ridoc IO Navi ポート Standard TCP/IP ポート Internet ポート LPR ポート

プリントサーバーを使用する

Windows ネットワークプリンターとして使用できます。

P.120「Windows ネットワークプリンターを使用する」を参照してください。



CHV154

Standard TCP/IP ポートを使用する

Standard TCP/IP ポートを使用するときの設定の方法を説明します。

重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Windows XP，Windows Server 2003/2003 R2 を使用しているときは、IPv6 の環境では Standard TCP/IP ポートは使用できません。IPv4 で使用するか、Ridoc IO Navi ポートを使用してください。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、すべて終了してください。

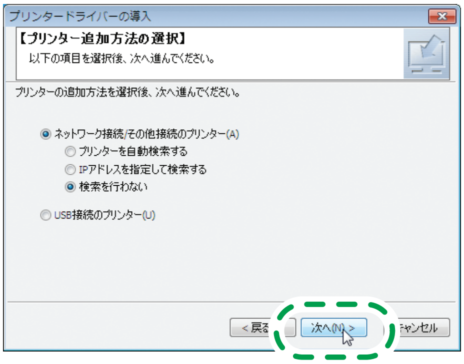
2. ［プリンタードライバー］をクリックします。



CHV294

3. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。[同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

4. [ネットワーク接続/その他接続のプリンター] を選択し、[次へ] をクリックします。



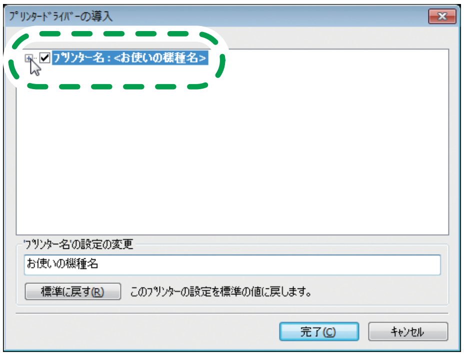
CHU174

プリンターを自動検索するときは、[プリンターを自動検索する] を選択し、ウィザードの指示にしたがって設定します。

IP アドレスを指定して検索するときは、[IP アドレスを指定して検索する] を選択し、ウィザードの指示にしたがって設定します。

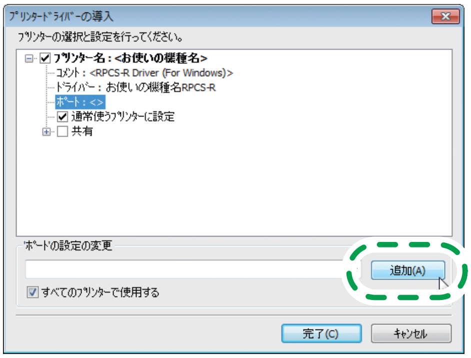
検索しないときは、[検索を行わない] を選択します。ここでは [検索を行わない] を選択します。

5. 「プリンター名」の+をクリックします。



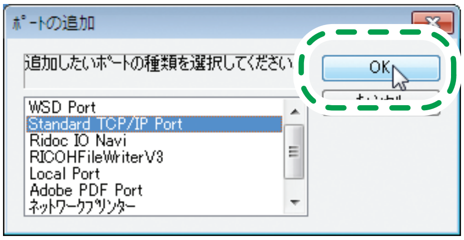
CHU229

6. ［ポート：<>］を選択し、［追加］をクリックします。



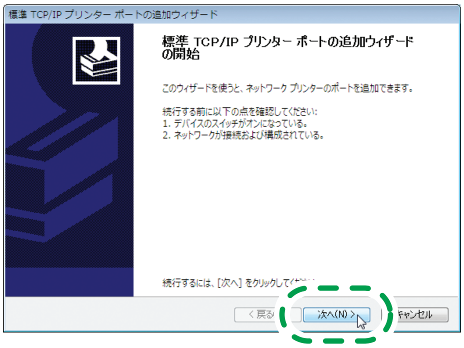
CHU176

7. ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［OK］をクリックします。



CHU147

8. ［次へ］をクリックします。



CHU148

9. ［プリンタ名または IP アドレス］にプリンター名、または本機のアドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

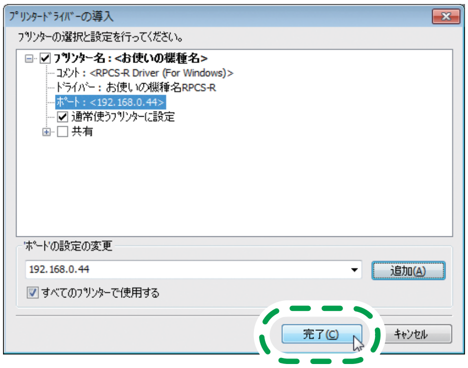
10. ［完了］をクリックします。

11. 必要に応じて、通常使うプリンターに設定します。

12. 必要に応じて、共有の設定をします。

2

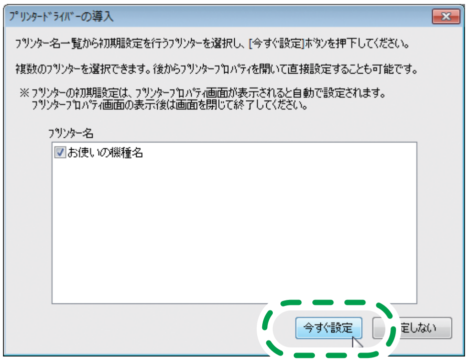
13. [完了] をクリックします。



CHU177

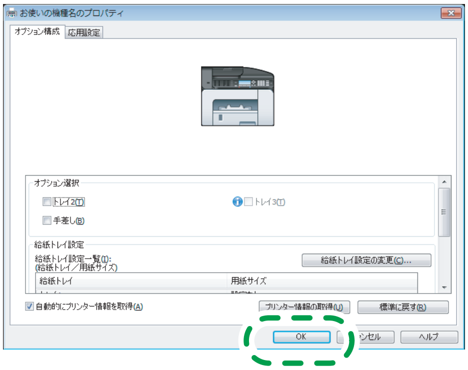
プリンタードライバーがインストールされます。

14. プリンターの初期設定をするときは、[今すぐ設定] をクリックします。



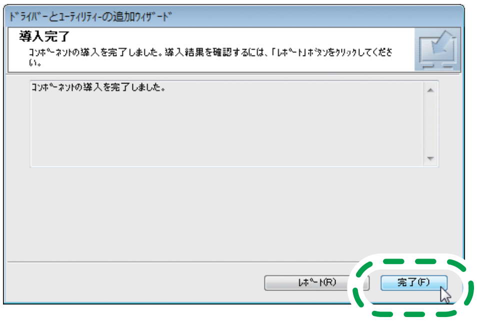
CHU172

15. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。



CHV258

16. [完了] をクリックします。



CHU180

ダイアログに再起動の確認が表示されたときは、[はい、今すぐ再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

補足

- インストールの途中で Windows セキュリティの警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示されたときは、オートランプログラムでのインストールはできません。P.405「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

LPR ポートを使用する

LPR ポートを使用するときの設定の方法を説明します。

重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

1. **CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、すべて終了してください。

2

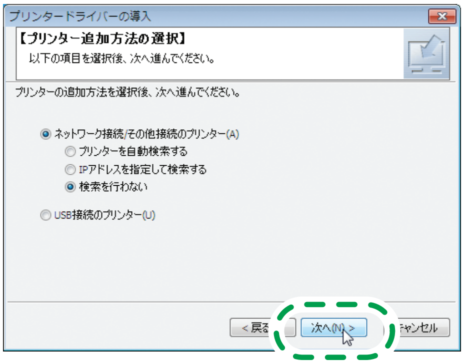
2. [プリンタードライバー] をクリックします。



CHV294

3. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。[同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

4. [ネットワーク接続/その他接続のプリンター] を選択し、[次へ] をクリックします。



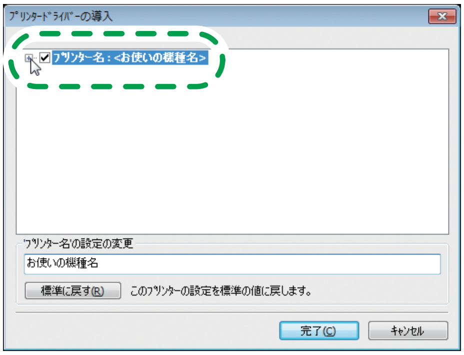
CHU174

プリンターを自動検索するときは、[プリンターを自動検索する] を選択し、ウィザードの指示にしたがって設定します。

IP アドレスを指定して検索するときは、[IP アドレスを指定して検索する] を選択し、ウィザードの指示にしたがって設定します。

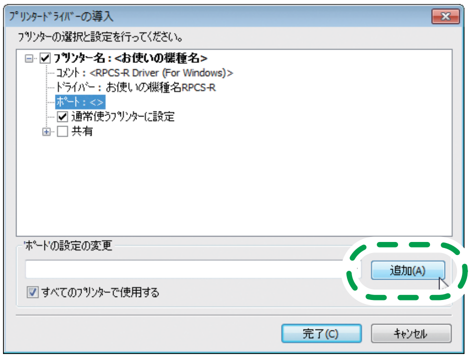
検索しないときは、[検索を行わない] を選択します。ここでは [検索を行わない] を選択します。

5. 「プリンター名」の+をクリックします。



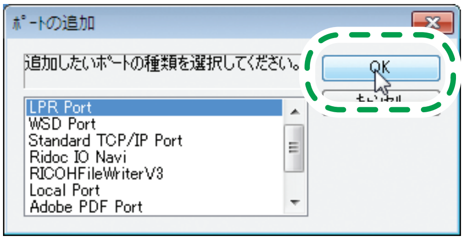
CHU229

6. ［ポート：< >］を選択し、［追加］をクリックします。



CHU176

7. ［LPR Port］を選択し、［OK］をクリックします。



CHU149

「LPR Port」が表示されないときは、Windows のヘルプを参照して組み込んでください。

8. ［LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス］に、本機のアドレスを入力します。

9. ［サーバーのプリンタ名または印刷キュー名］ボックスに「lp」と入力し、［OK］をクリックします。

10. 必要に応じて、通常使うプリンターに設定します。

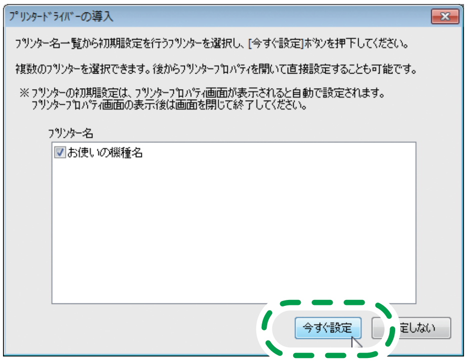
2

11. 必要に応じて、共有の設定をします。

12. [完了] をクリックします。

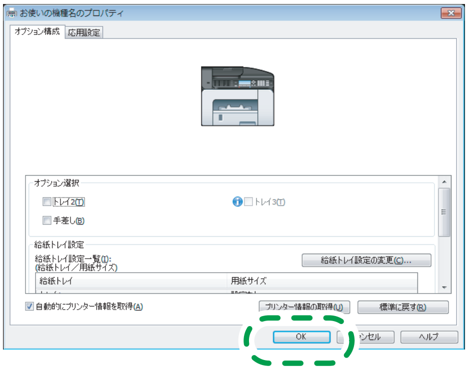
プリンタードライバーがインストールされます。

13. プリンターの初期設定をするときは、[今すぐ設定] をクリックします。



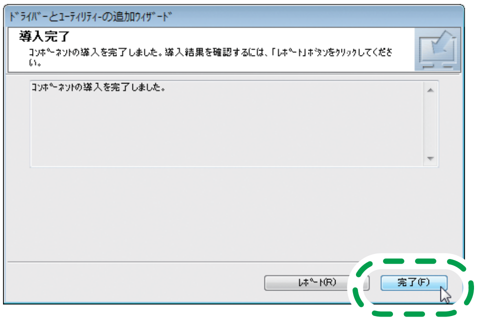
CHU172

14. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。



CHV258

15. [完了] をクリックします。



CHU180

ダイアログに再起動の確認が表示されたときは、[はい、今すぐ再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

補足

- インストールの途中で Windows セキュリティの警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示されたときは、オートランプログラムでのインストールはできません。P.405「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

WSD ポートを使う

WSD ポートを使用するときのインストール方法を説明します。

重要

- 対象 OS は、Windows Vista/7 と Windows Server 2008/2008 R2 です。
- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- 本機とパソコンが異なるネットワークセグメントに接続されているときや、Windows の「ネットワーク探索」が無効になっているときは、本機を検出できません。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 のとき

1. **すべてのアプリケーションを終了します。**
2. **［スタート］メニューから、［コンピューター］をクリックします。**
3. **［ネットワーク］をクリックします。**

   ［ネットワーク］ウィンドウが表示され、機器の検索が自動的に始まります。
4. **本機のアイコンを右クリックし、［インストール］をクリックします。**

   ［デバイス ドライバー ソフトウェアは正しくインストールされませんでした］ダイアログが表示されたときはメッセージを閉じて、次の手順に進みます。
5. **［スタート］メニューから、［デバイスとプリンター］をクリックします。**
6. **［プリンターの追加］をクリックします。**
7. **［ローカルプリンターを追加します］をクリックします。**
8. **［既存のポートを使用:］が選択されていることを確認して、WSD ポートを選択します。**
9. **［次へ］をクリックします。**
10. **［ディスク使用...］をクリックします。**

11. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

［自動再生］ダイアログが表示されたときは、［閉じる］ボタンをクリックして次の手順に進みます。

12. ［参照...］をクリックして、プリンタードライバーの場所を指定します。

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- 32-bit Windows 用 RPCS ラスタープリンタードライバー

  DRIVERS¥X86¥RPCS_R¥XP_VISTA¥DISK1

- 64-bit Windows 用 RPCS ラスタープリンタードライバー

  DRIVERS¥X64¥RPCS_R¥X64¥DISK1

13. ［OK］をクリックします。

14. インストールしたいプリンターを選んで、［次へ］をクリックします。

15. 画面の指示に従ってインストールします。

必要に応じて、プリンターの名前、プリンターの共有、通常使うプリンターの設定、テストページを印刷するかどうかの設定をします。

16. ［完了］をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「WSD」から始まるポートを［印刷するポート］に指定したプリンターが［デバイスとプリンター］ウィンドウに作成されます。

補足

- 「WSD」に続くポート名は不特定の文字列になります。任意に変更できません。
- インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。再度インストールするときは、［ネットワーク］ウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［アンインストール］を実行してください。

Windows Vista、Windows Server 2008 のとき

1. すべてのアプリケーションを終了します。

2. ［スタート］メニューから、［ネットワーク］をクリックします。

［ネットワーク］ウィンドウが表示され、機器の検索が自動的に始まります。

3. 本機のアイコンを右クリックし、［インストール］をクリックします。

［ユーザーアカウント制御］ダイアログが表示されたときは［続行］をクリックします。

4. ［ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。

［ユーザーアカウント制御］ダイアログが表示されたときは［続行］をクリックします。

5. ［コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）］をクリックします。

6. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

［自動再生］ダイアログが表示されたときは、［閉じる］ボタンをクリックして次の手順に進みます。

7. ［参照］をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

INF ファイルを選択します。

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- 32-bit Windows 用 RPCS ラスタープリンタードライバー

  DRIVERS¥X86¥RPCS_R¥XP_VISTA¥DISK1

- 64-bit Windows 用 RPCS ラスタープリンタードライバー

  DRIVERS¥X64¥RPCS_R¥X64¥DISK1

8. ［次へ］をクリックします。

インストールの途中で［ドライバソフトウェアの発行元を検証できません］というメッセージが表示されたときは、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

9. ［閉じる］をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「WSD」から始まるポートを［印刷するポート］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

補足

- 「WSD」に続くポート名は不特定の文字列になります。任意に変更できません。
- インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。再度インストールするときは、［ネットワーク］ウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［アンインストール］を実行してください。

Ridoc IO Navi ポートを使用する（TCP/IP）

Ridoc IO Navi ポートを使用するときの設定の方法を説明します。

重要

- **64bit-OS を使用しているときは、Ridoc IO Navi ポートを使用するとの双方向通信を使用できません。Standerd TCP/IP ポートをお勧めします。**
- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

- Ridoc IO Navi ポートを使用するときは、Ridoc IO Navi を、リコーのホームページからダウンロードしてください。P.127「ソフトウェアをダウンロードする」を参照してください。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、すべて終了してください。

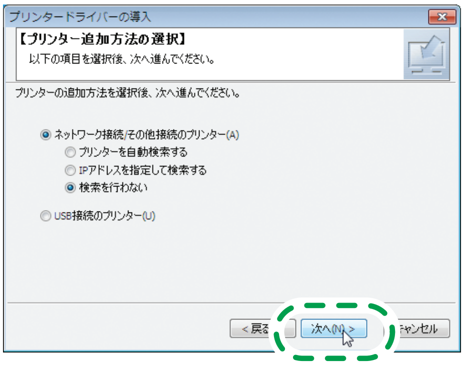
2. ［プリンタードライバー］をクリックします。



CHV294

3. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。［同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

4. ［ネットワーク接続/その他接続のプリンター］を選択し、［次へ］をクリックします。



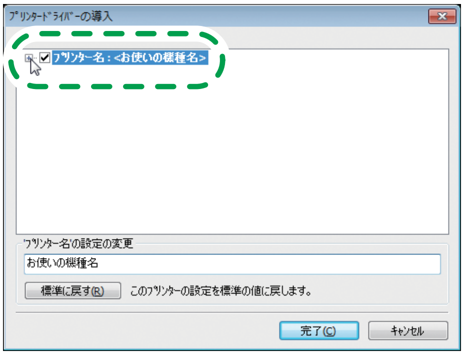
CHU174

プリンターを自動検索するときは、［プリンターを自動検索する］を選択し、ウィザードの指示にしたがって設定します。

IP アドレスを指定して検索するときは、［IP アドレスを指定して検索する］を選択し、ウィザードの指示にしたがって設定します。

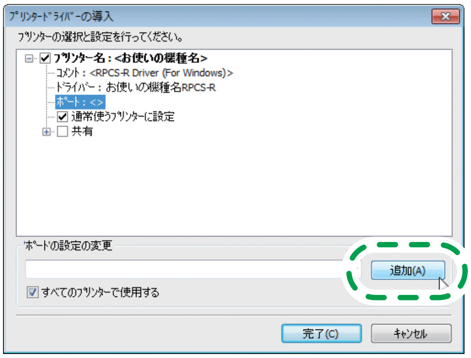
検索しないときは、［検索を行わない］を選択します。ここでは［検索を行わない］を選択します。

5. 「プリンター名」の+をクリックします。



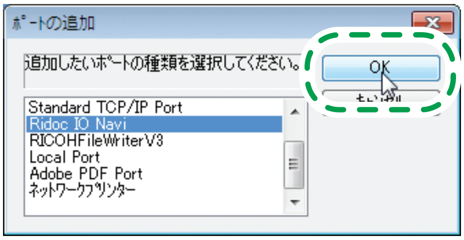
CHU229

6. ［ポート：<>］を選択し、［追加］をクリックします。



CHU176

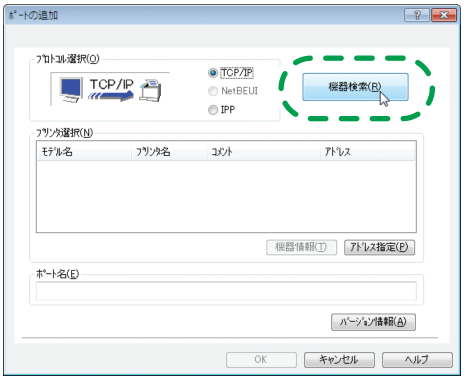
7. ［Ridoc IO Navi］を選択し、［OK］をクリックします。



CHU150

2

8. [TCP/IP] を選択し、[機器検索] をクリックします。

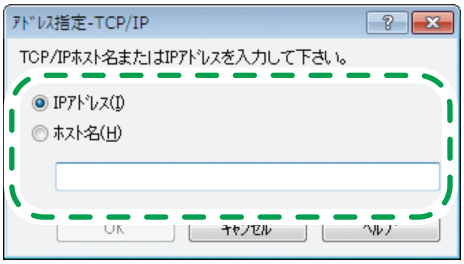


CHU151

TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

9. 使用するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。

使用するプリンターが表示されていないときは、[アドレス指定] をクリックし、IP アドレスまたはホスト名を直接入力してください。



CHU152

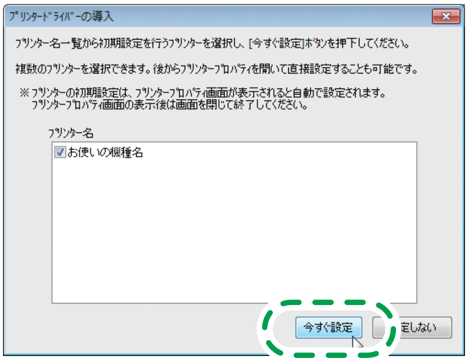
10. 必要に応じて、通常使うプリンターに設定します。

11. 必要に応じて、共有の設定をします。

12. [完了] をクリックします。

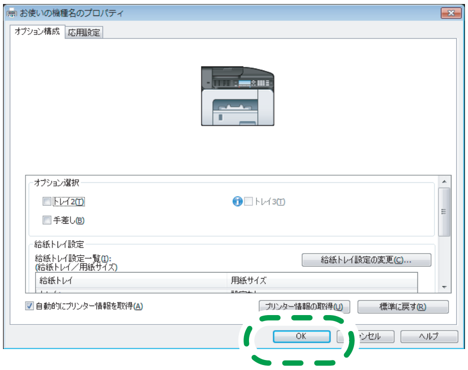
プリンタードライバーがインストールされます。

13. プリンターの初期設定をするときは、[今すぐ設定] をクリックします。



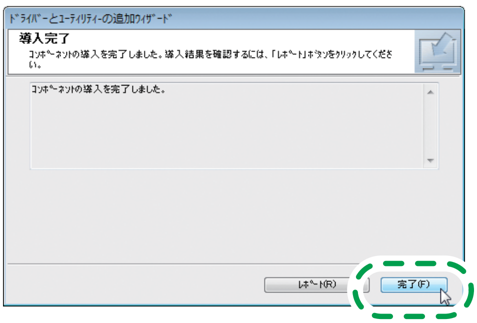
CHU172

14. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。



CHV258

15. [完了] をクリックします。



CHU180

ダイアログに再起動の確認が表示されたときは、[はい、今すぐ再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

補足

- インストールの途中で Windows セキュリティの警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。

- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示されたときは、オートランプログラムでのインストールはできません。P.405「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

2

Windows ネットワークプリンターを使用する

クライアントがプリントサーバーと通信できるように設定されていることを前提に説明します。以下の手順を実行する前に、必ずクライアントをセットアップし、正しく設定してください。

Windows ネットワークプリンターを使用するときは、プリンタードライバーを「ネットワークプリンター」を指定してインストールし、Windows ネットワーク上の共有プリンターを選択します。

重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Ridoc IO Navi ポートで本機を接続しているネットワークプリンターを使用するときは、クライアントからの代行印刷、並行印刷はできません。
- Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008 の共有プリンターでは、クライアントに印刷通知されないことがあります。

1. **CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

   ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、すべて終了してください。

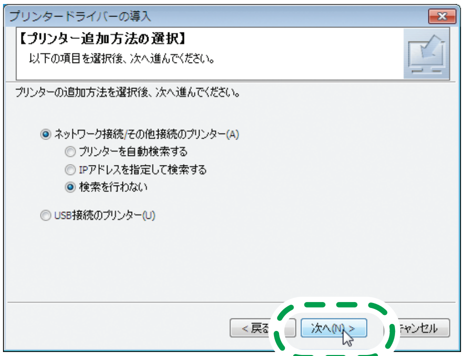
2. **[プリンタードライバー] をクリックします。**



CHV294

3. **ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。[同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。**

4. [ネットワーク接続/その他接続のプリンター］を選択し、[次へ］をクリックします。



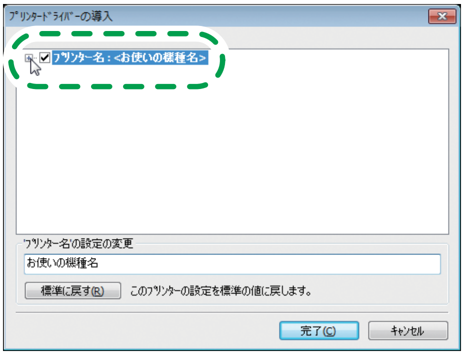
CHU174

プリンターを自動検索するときは、[プリンターを自動検索する］を選択し、ウィザードの指示にしたがって設定します。

IP アドレスを指定して検索するときは、[IP アドレスを指定して検索する］を選択し、ウィザードの指示にしたがって設定します。

検索しないときは、[検索を行わない］を選択します。ここでは［検索を行わない］を選択します。

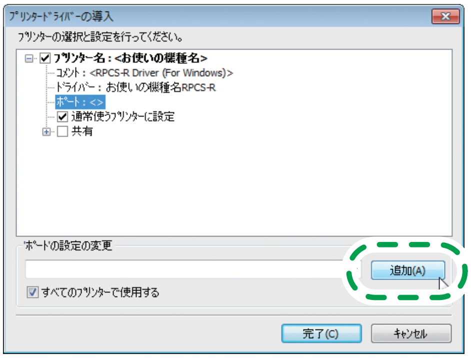
5. 「プリンター名」の+をクリックします。



CHU229

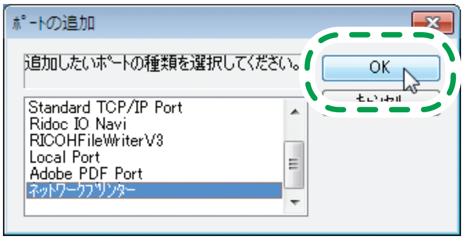
2

6. ［ポート：＜＞］を選択し、［追加］をクリックします。



CHU176

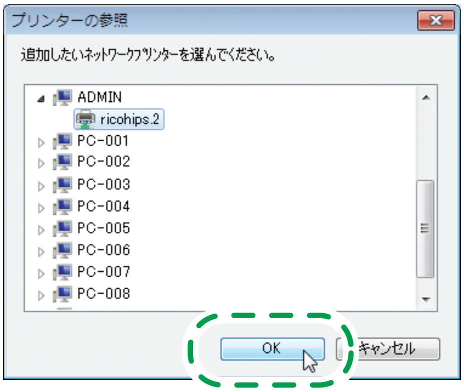
7. ［ネットワークプリンター］を選択し、［OK］をクリックします。



CHU153

8. ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するパソコンの名前をダブルクリックします。

9. 使用するプリンターを選択し、［OK］をクリックします。



CHU154

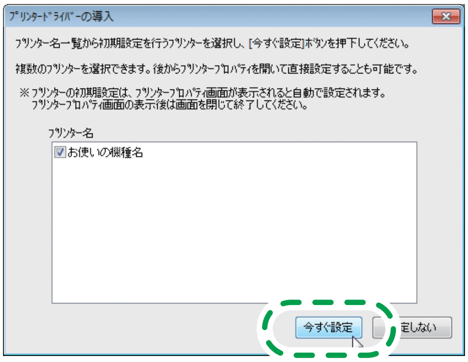
10. 必要に応じて、通常使うプリンターに設定します。

11. 必要に応じて、共有の設定をします。

12. ［完了］をクリックします。

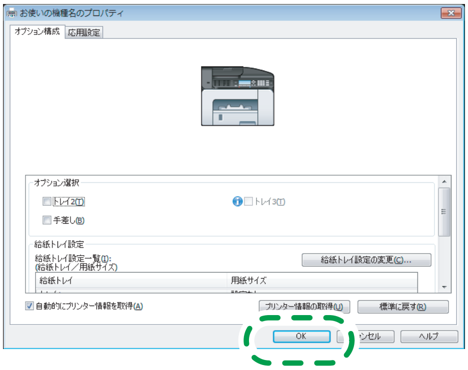
プリンタードライバーがインストールされます。

13. プリンターの初期設定をするときは、［今すぐ設定］をクリックします。



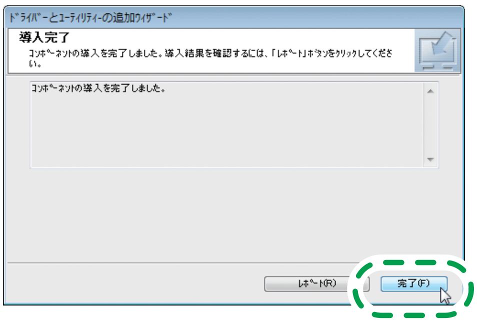
CHU172

14. 設定が完了したら、［OK］をクリックします。



CHV258

15. ［完了］をクリックします。



CHU180

ダイアログに再起動の確認が表示されたときは、［はい、今すぐ再起動します。］を選択し、［完了］をクリックしてください。

補足

- CD-ROM を挿入すると、インストーラーが自動的に起動します。OS の設定によりオートランプログラムが起動しないときは、CD-ROM のルートディレクトリにある

「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動するか、[自動再生]画面の[SETUP.EXE の実行]をクリックして起動してください。

- インストールの途中で Windows セキュリティの警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示されたときは、オートランプログラムでのインストールはできません。P.405「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。
- Windows ネットワークプリンターが正しく設定されていないと、インストールできません。インストールをキャンセルし、設定し直してください。Windows ネットワークプリンターの設定は、P.84「プリンターを共有する」を参照してください。

2

その他のドライバーをインストールする

TWAIN ドライバーをインストールする

TWAIN ドライバーだけをインストールします。TWAIN スキャナーを使用するには、TWAIN ドライバーがクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

重要

- ご使用の OS が Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 のときは、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. **CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

   ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、すべて終了してください。

2. **[TWAIN/WIA ドライバー]をクリックします。**



CHV296

3. **[次へ]をクリックします。**

4. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意したときは、［はい］をクリックします。

5. インストールの結果を確認し、［終了］をクリックします。

補足

- CD-ROM をセットすると、［ドライバー・操作ガイド・ユーティリティー］画面が表示されます。表示されないときは、［マイコンピュータ］または［エクスプローラ］から CD-ROM ドライブを開き、［SETUP.EXE］アイコンをダブルクリックしてください。

［インターフェース切り換え］を設定する

TWAIN ドライバーのインターフェース設定をします。TWAIN ドライバーの詳細については、TWAIN ドライバーのヘルプを参照してください。

1. TWAIN ドライバーを起動します。
2. ［ネットワーク］にチェックをつけて、［検索］をクリックします。

   クライアントコンピューターとネットワーク接続している機器を検索します。

   直接指定するときは本機の IP アドレスを入力します。
3. ドロップダウンメニューから本機の IP アドレスを選択します。
4. ［OK］をクリックします。

   確認画面を閉じます。

PC FAX ドライバーをインストールする

PC FAX ドライバーをインストールします。

重要

- **ご使用の OS が Windows XP/Vista、Windows Server2003/2003 R2/2008/2008 R2 のときは、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは、すべて終了してください。

2
2. ［PC FAX ドライバー］をクリックします。



CHV297

3. ［次へ］をクリックします。

4. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意したときは、［はい］をクリックします。

5. ［USB］か［TCP/IP］を選択し、［次へ］をクリックします。

［TCP/IP］を選んだときは、ポートを設定してください。

インストールの途中、警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。

6. インストールの結果を確認し、［終了］をクリックします。

補足

- CD-ROM をセットすると、［ドライバー・操作ガイド・ユーティリティー］画面が表示されます。表示されないときは、［マイコンピュータ］または［エクスプローラ］から CD-ROM ドライブを開き、［SETUP.EXE］アイコンをダブルクリックしてください。

ソフトウェアをダウンロードする

本機と連携して使用できるソフトウェアについて説明します。

Ridoc IO Naviでできること

ネットワークプリンターの環境を簡単に構築できます。また、ネットワーク上のリコー製プリンターの稼働状態を、パソコンから簡単に確認できます。

Ridoc IO Naviは、リコーのホームページからダウンロードできます。

http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/utility/ionavi/

補足

- 詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

用紙

使用できる用紙と用紙に関する注意を説明します。

使用できる用紙

トレイ 1

用紙種類	用紙サイズ	用紙枚数
普通紙 / ハイグレード普通紙	A4（210 × 297 mm） A5（148 × 210 mm） A6（105 × 148 mm） B5（182 × 257 mm） Letter（$8\frac{1}{2}$ × 11） $8\frac{1}{2}$ × $5\frac{1}{2}$ Executive（$7\frac{1}{4}$ × $10\frac{1}{2}$） 16K 不定形サイズ 縦 139.7〜297.0 mm 横 88.0〜216.0 mm	給紙量：250 枚 排紙量：100 枚
光沢紙*1	A4（210 × 297 mm）	給紙量：20 枚 排紙量：1 枚
郵便はがき / インクジェット郵便はがき	郵便はがき 往復はがき	給紙量：70 枚 排紙量：70 枚
封筒（長形）	長形 3 号（120 × 235 mm） 長形 4 号（90 × 205 mm）	給紙量：30 枚 排紙量：30 枚
封筒（洋形）	洋形 4 号（105 × 235 mm） Com10 Envelope Monarch Envelope C6 Envelope C5 Envelope DL Envelope	給紙量：20 枚 排紙量：20 枚

*1 専用グロス紙を使うときは、給紙、排紙ともに 1 枚です。

トレイ 2/トレイ 3

用紙種類	用紙サイズ	用紙枚数
普通紙 / ハイグレード普通紙	A4（210 × 297 mm） A5（148 × 210 mm） A6（105 × 148 mm） B5（182 × 257 mm） Letter（$8^{1}/_{2}$ × 11） Legal（$8^{1}/_{2}$ × 14） Executive（$7^{1}/_{4}$ × $10^{1}/_{2}$） $8^{1}/_{2}$ × 13 $8^{1}/_{4}$ × 13 8 × 13 16K 不定形サイズ 縦 148.0〜356.0 mm 横 105.0〜216.0 mm	給紙量：250 枚 排紙量：100 枚
光沢紙*1	A4（210 × 297 mm）	給紙量：20 枚 排紙量：1 枚

*1 専用グロス紙を使うときは、給紙、排紙ともに 1 枚です。

手差しトレイ

用紙種類	用紙サイズ	用紙枚数
普通紙 / ハイグレード普通紙	A4（210 × 297 mm） A5（148 × 210 mm） A6（105 × 148 mm） B5（182 × 257 mm） Letter（$8^{1}/_{2}$ × 11） Legal（$8^{1}/_{2}$ × 14） $8^{1}/_{2}$ × $5^{1}/_{2}$ Executive（$7^{1}/_{4}$ × $10^{1}/_{2}$） $8^{1}/_{2}$ × 13 $8^{1}/_{4}$ × 13 8 × 13 16K 不定形サイズ 縦 127.0〜1295.4 mm 横 55.0〜216.0 mm	給紙量：100 枚 排紙量：100 枚
光沢紙	A4（210 × 297 mm）	給紙量：1 枚 排紙量：1 枚
郵便はがき / インクジェット郵便はがき	郵便はがき 往復はがき	給紙量：25 枚 排紙量：70 枚
封筒（長形）	長形 3 号（120 × 235 mm） 長形 4 号（90 × 205 mm）	給紙量：20 枚 排紙量：30 枚

用紙種類	用紙サイズ	用紙枚数
封筒（洋形）	洋形 4 号（105 × 235 mm） Com10 Envelope Monarch Envelope C6 Envelope C5 Envelope DL Envelope	給紙量：20 枚 排紙量：20 枚
厚紙 （135～220 kg（157～256 g/m^2））		給紙量：20 枚 排紙量：20 枚

両面印刷で使用できる用紙

用紙種類	用紙サイズ
普通紙	A4（210 × 297 mm） A5（148 × 210 mm） A6（105 × 148 mm） B5（182 × 257 mm） Letter（$8^{1}/_{2}$ × 11） $8^{1}/_{2}$ × $5^{1}/_{2}$ Executive（$7^{1}/_{4}$ × $10^{1}/_{2}$） 16K
郵便はがき / インクジェット郵便はがき	郵便はがき 往復はがき

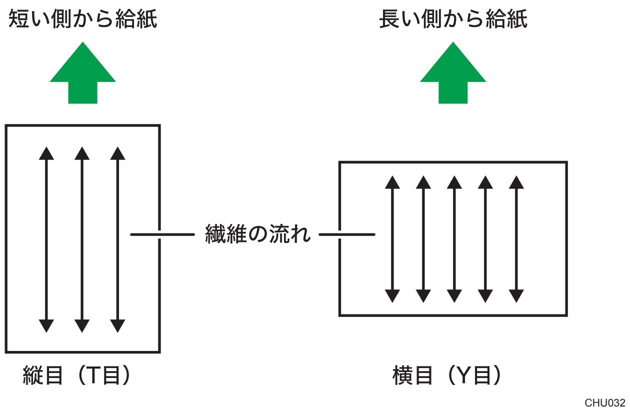
補足

- 使用できる用紙厚は、P.441「仕様」を参照してください。
- それぞれの用紙の取り扱いは、P.132「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。

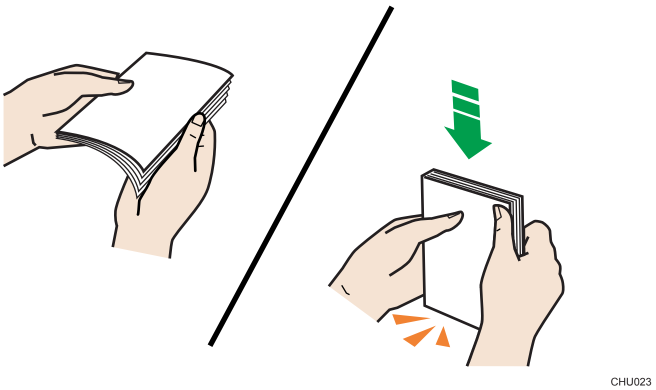
用紙に関する注意

用紙をセットするとき

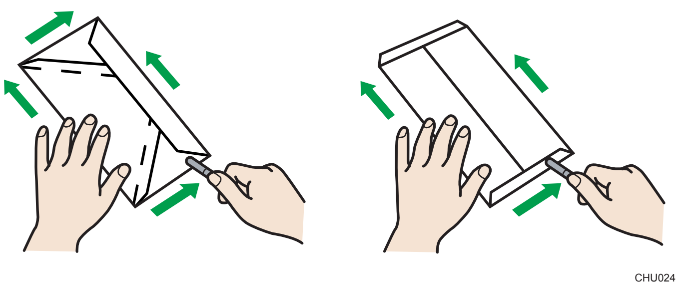
- 用紙はリコー推奨の用紙をご利用ください。
- 縦目（T 目）、横目（Y 目）のある用紙（商品名や規格に T 目、Y 目などが含まれているもの）をセットするときは、T 目用紙のときは用紙の短い側から、Y 目用紙のときは用紙の長い側から給紙されるようにセットしてください。



- 種類の異なる用紙を一度にセットしないでください。
- すでにセットされている用紙があるときは、トレイに残っている用紙を一度すべて取り出してからセットし直してください。
- トレイ 1-3 にセットするときは、トレイを本体から取り外してください。
- 用紙がカールしていると、紙づまりの原因になります。カールを 2 mm 以内に直してから用紙をセットしてください。



- 封筒が平らになるように封筒の端を一枚ずつ、ペンなどでしっかりつぶしてからセットしてください。



使用できない用紙

- しわ、折れ、破れがある用紙
- 端部が波打っている用紙
- カールしている用紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 一度印刷した用紙（裏紙など）
- 表面が加工された用紙（指定用紙を除く）
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
- ミシン目などの加工がされている用紙
- 糊がはみ出したり、台紙が見えるラベル紙
- ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙
- 色の濃い部分がある用紙
- 長方形、正方形ではない用紙
- 絵入りはがきなど裏映り防止用の粉のついているはがき
- インクジェット光沢はがき

補足

- 適切な用紙でも保管状態が悪いときは、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因となることがあります。

用紙を保管するとき

適切な用紙でも保管状態が悪いときは、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因となることがあります。用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 湿気の多いところには置かない。
- 直射日光の当たるところには置かない。
- 用紙は立てかけない。
- 残った用紙は購入したときに入っていた袋や箱の中に入れて保管する。

用紙の種類ごとの注意

普通紙

- 135 kg 紙（157 g/m^2）を超える用紙（厚紙）は手差しトレイから印刷してください。

ハイグレード普通紙

- ハイグレード普通紙に印刷するときは、プリンタードライバーで［ハイグレード普通紙］を選択してください。普通紙より鮮やかな印刷ができます。
- プリンタードライバーで［ハイグレード普通紙］を選択すると片面印刷になります。両面印刷をするときは、［普通紙］を選択してください。
- 開封後はなるべく早く使用してください。

光沢紙

- インクが乾燥するまでの時間は、画像・環境により異なります。耐水性、耐油性が必要なときは一昼夜程度乾燥して使用してください。
- 気温 25℃、湿度 50%RH を超える場所では、正しく用紙が送られないことがあるので 1 枚ずつ給紙してください。
- 複数枚をセットして正しく用紙が送られないときは、1 枚ずつ給紙してください。
- プリンターを設置している環境や、印刷している画像によっては、インクが擦れることがあります。［印刷品質選択:］から［きれい］または［はやい］を選択してください。インクの擦れが改善することがあります。
- 印刷画像にプリンターのローラー跡が出ることがあります。
- 片面印刷専用です。両面印刷には対応していません。
- 光沢紙を使用するときは、購入した用紙に記載されている説明文をよく読んでから使用してください。

インクジェット郵便はがき

- インクジェット光沢はがきは使用できません。

郵便はがき

- 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなることがあります。

封筒

- 印刷範囲がセットした向きによって異なります。P.134「印刷範囲」を参照してください。
- 片面印刷専用です。両面印刷には対応していません。

厚紙

- 厚紙は、135 kg 紙（157 g/m^2）を超える用紙です。
- 手差しトレイには 220 kg 紙（256 g/m^2）までセットできます。
- 手差しトレイにセットするときは、印刷面を上向きにして 1 枚ずつセットしてください。
- 片面印刷専用です。両面印刷には対応していません。

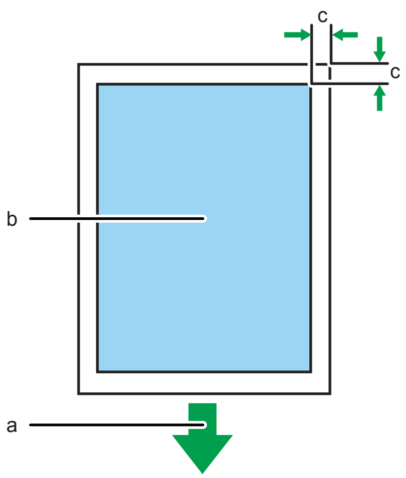
2

補足

- 用紙の厚さによっては、印刷面が擦れることがあります。P.399「印刷結果がおかしい」を参照してください。

印刷範囲

印刷可能範囲を説明します。



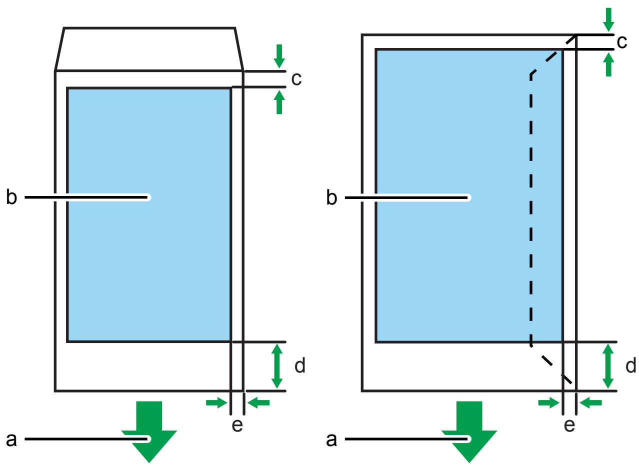
CHU027

a. 排紙方向

b. 印刷可能範囲

c. Windows：3 mm、Mac：5.1 mm

封筒に印刷するときの印刷範囲は以下のとおりです。



CHU028

a. 排紙方向

b. 印刷可能範囲

c. 8 mm

d. 38 mm

e. 3 mm

用紙をセットする

用紙のセット手順を説明します。

⚠注意



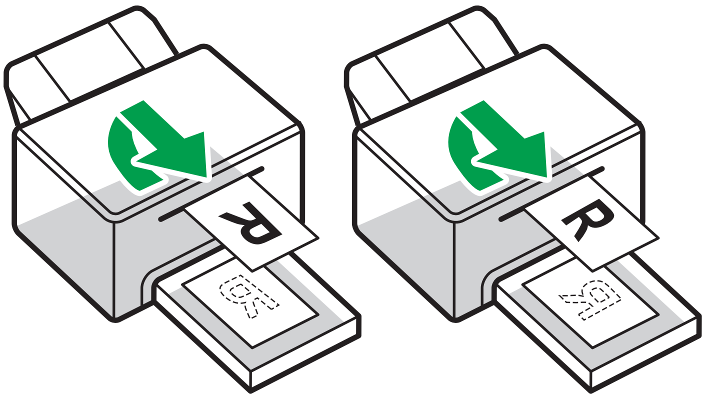
- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

トレイ 1-3

印刷したい面を下に向けてセットします。

縦長の原稿は、用紙の奥側が原稿の上（天）になります。

横長の原稿は、用紙の右側が原稿の上（天）になります。



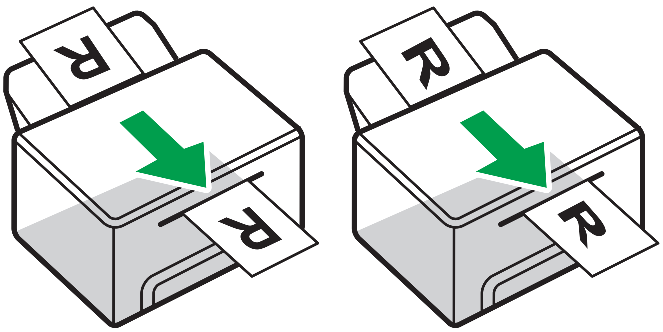
CTW036

手差しトレイ

印刷したい面を上に向けてセットします。

縦長の原稿は、用紙の手前側が原稿の上（天）になります。

横長の原稿は、用紙の右側が原稿の上（天）になります。

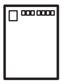
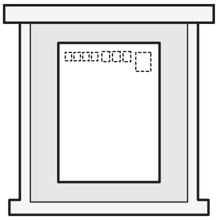
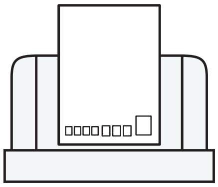
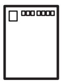
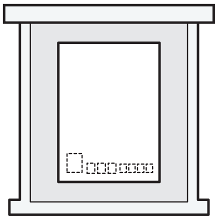
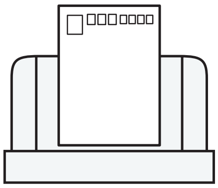
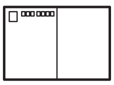
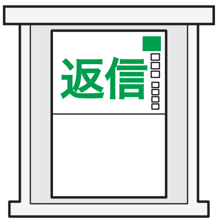
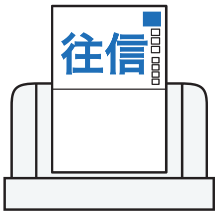


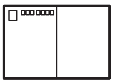
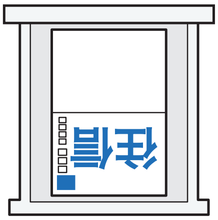
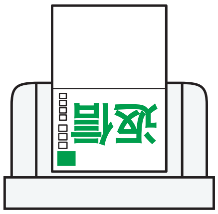
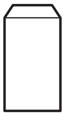
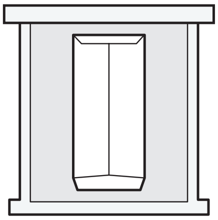
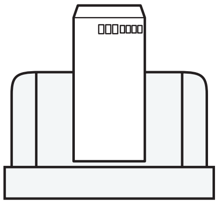
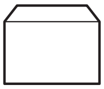
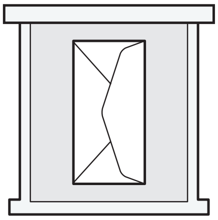
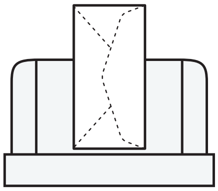
CTW035

はがき/封筒のセット方向

重要

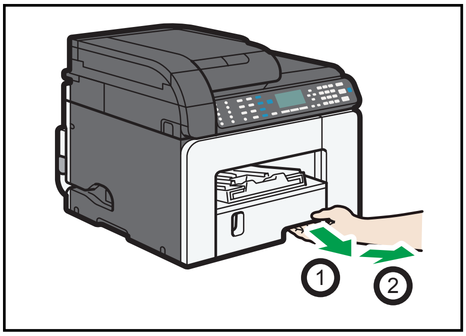
- トレイ 1 にセットするときは、印刷したい面を下に向けます。
- 手差しトレイにセットするときは、印刷したい面を上に向けます。
- はがきの両面に印刷するときは、あて名面から印刷することをお勧めします。
- 通信面から印刷するときは、通信面のインクが十分乾燥してからあて名面を印刷してください。郵便はがきは 15 分以上、インクジェット郵便はがきは 30 分以上、重ねずに広げて乾燥してください。
- アプリケーションによってセット方向が異なることがあります。

種類と条件	トレイ 1	手差しトレイ
郵便はがき  片面印刷 あて名面を印刷	 上部（郵便番号）：奥	 上部（郵便番号）：手前
郵便はがき  自動両面印刷 あて名面から印刷	 上部（郵便番号）：手前	 上部（郵便番号）：奥
往復はがき  片面印刷 往信のあて名面を印刷	 上部（郵便番号）：右	 上部（郵便番号）：右

種類と条件	トレイ 1	手差しトレイ
往復はがき  自動両面印刷 返信のあて名面から印刷	 上部（郵便番号）：左	 上部（郵便番号）：左
角型/長形封筒  あて名面を印刷	 フラップ：開いて手前	 フラップ：開いて奥
洋型/洋長封筒  あて名面を印刷	 フラップ：閉じて右	 フラップ：閉じて右

トレイ 1-3 にセットする

1. トレイの取っ手をつかんで引き出し（①)、少し持ち上げてから本体から取り外します（②)。

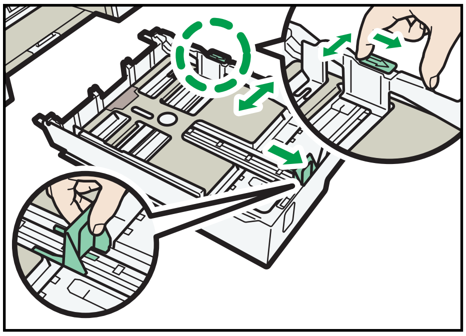


CHV036

本体から取り外したトレイを落とさないように注意してください。

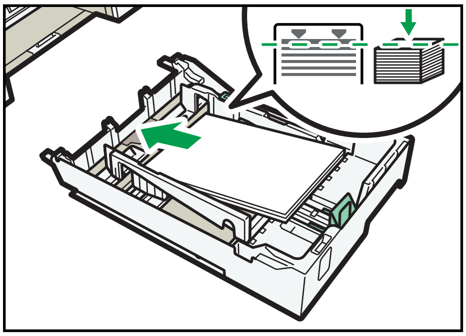
トレイを引き抜いたあとに、プリンター内に用紙が残っていないことを確認してください。用紙が残っているときは、取り除いてください。

2. 右の用紙ガイドのレバーをつまんでスライドし、用紙の長さに合わせ、手前の用紙ガイドをつまんで広げます。



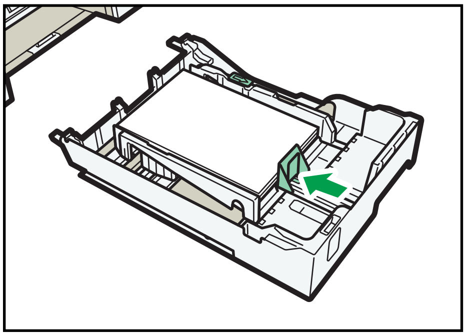
CHU098

3. 印刷する面を下にして、上限表示を超えないように用紙をセットします。



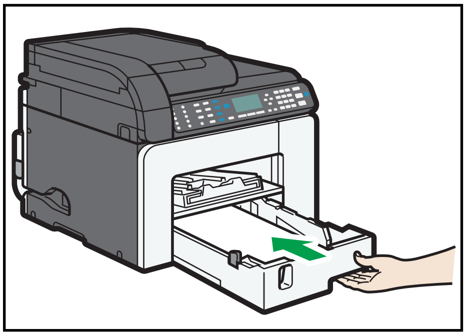
CHU100

4. 手前の用紙ガイドをつまんでスライドし、用紙の長さに合わせます。



CHU099

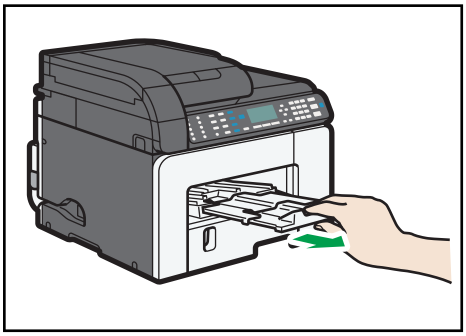
5. トレイを突き当たるまで静かに押し込みます。



CHV037

トレイ 1 を押し込むときは、排紙トレイが閉じた状態でトレイを押し込んでください。

6. 排紙トレイを延長します。

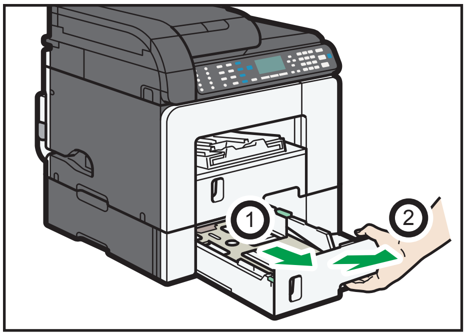


CHV038

トレイを延長して用紙をセットする

250 枚増設トレイのみ延長できます。

1. トレイの取っ手をつかんで引き出し（①)、少し持ち上げてから本体から取り外します（②)。

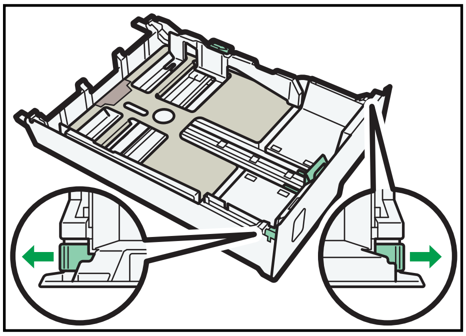


CHV039

本体から取り外したトレイを落とさないように注意してください。

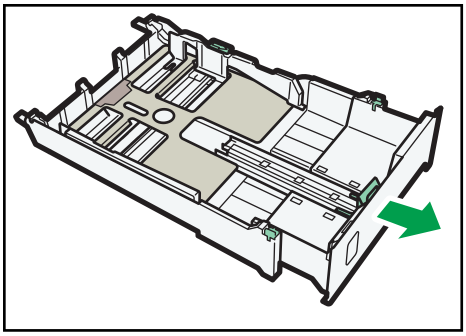
トレイを引き抜いたあとに、プリンター内に用紙が残っていないことを確認してください。用紙が残っているときは、取り除いてください。

2. トレイの左右 2 カ所のツメを外側にスライドして、ロックを解除します。



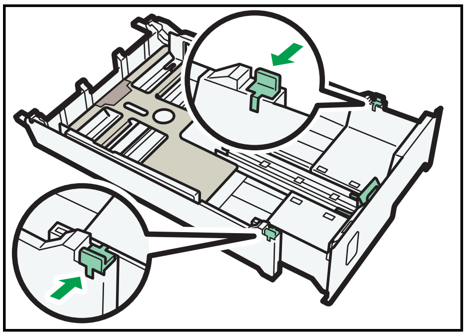
CHU101

3. トレイを延長します。



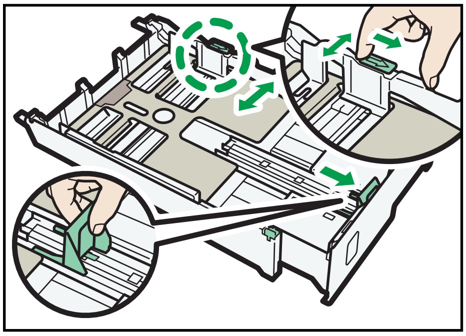
CHU102

4. ツメを元の位置に戻して、トレイをロックします。



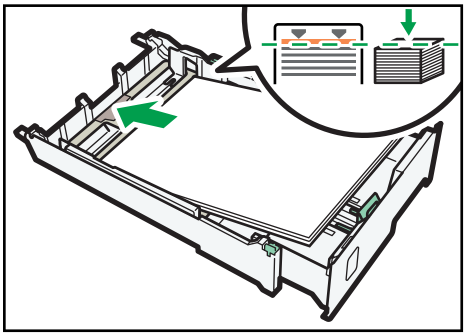
CHU103

5. 右の用紙ガイドのレバーをつまんでスライドし、用紙の長さに合わせ、手前の用紙ガイドをつまんで広げます。



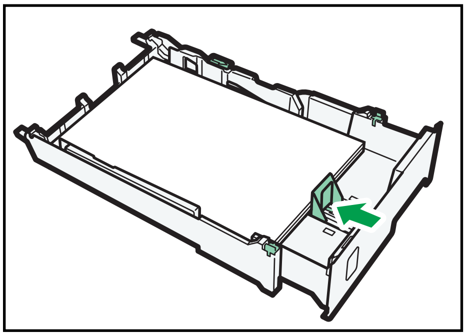
CHU104

6. 印刷する面を下にして、上限表示を超えないように用紙をセットします。



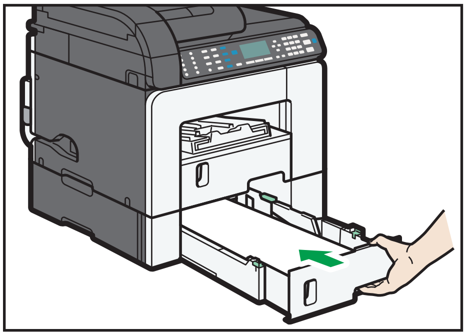
CHU105

7. 手前の用紙ガイドをつまんでスライドし、用紙の長さに合わせます。



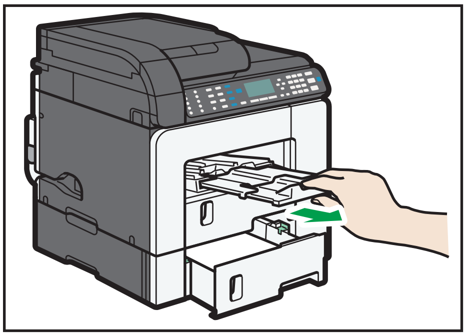
CHU106

8. トレイを突き当たるまで静かに押し込みます。



CHV040

9. 排紙トレイを延長します。



CHV041

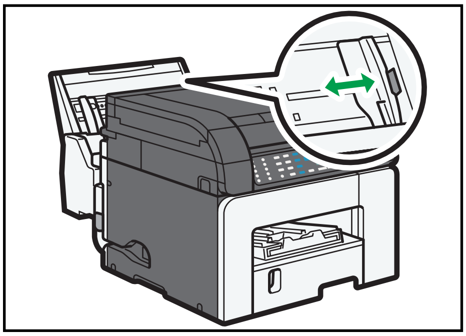
補足

- A4 以下のサイズを使用するときは、トレイを延長しないでください。

手差しトレイにセットする

手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットする手順を説明します。

1. 手差しトレイを延長し、サイドフェンスの位置を用紙サイズに合わせます。

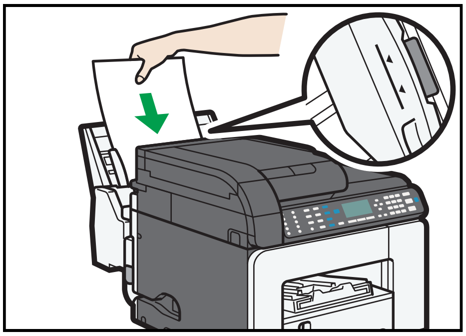


CHV042

サイドフェンスを動かすときは、サイドフェンス側面のレバーを押しながら動かしてください。

用紙をセットする前にサイドフェンスの位置を合わせてください。

2. **印刷する面を上にして、上限表示を超えないように手差しトレイに用紙をセットします。**



CHV035

原稿をセットする

セットできる原稿の種類とセットする方法を説明します。

原稿について

セットできる原稿の種類とセットする方法を説明します。

セットできる原稿のサイズと紙厚

セットできる原稿の種類と紙厚を説明します。

原稿ガラス

幅 216 mm 以下、長さ 297 mm 以下

ADF

- 用紙サイズ：幅 140〜216 mm、長さ 140〜356 mm
- 紙厚：50〜110 g/m^2

補足

- 原稿ガラスに一度にセットできる原稿枚数は、1 枚です。
- ADF に一度にセットできる原稿枚数は、最大 35 枚です（用紙厚が 80 g/m^2 の用紙を使用しているとき）。

セットできない原稿

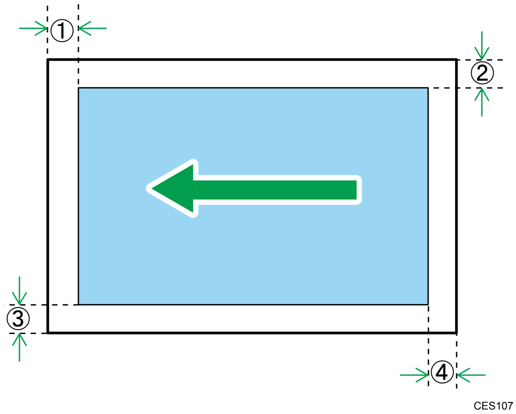
次のような原稿を ADF にセットすると、紙づまり、原稿破損、白スジ、黒スジの原因になります。また、原稿ガラスにセットすると、白スジ、黒スジの原因になります。

- 指定の重量を超える重さの原稿
- ホッチキスの針やクリップのついた原稿
- 穴、破れのある原稿
- そり、折れ、しわのある原稿
- はり合わせた原稿
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された原稿
- ミシンがけ原稿
- インデックスや付せんなど、はみ出た部分のある原稿
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）などのようにすべりにくい原稿
- 薄くて曲がりやすい原稿

- 極端に厚い原稿
- 本などのようにとじてある原稿
- OHP フィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などのように透明度の高い原稿
- 修正液やインクが完全に乾いていない原稿

画像欠け範囲

原稿ガラスや ADF に原稿を正しくセットしても、原稿の周囲から内側数ミリは読み取りができないことがあります。



原稿ガラス使用時の画像欠け範囲

	コピーモード	スキャナーモード	ファクスモード
① 上	4.2 mm	0 mm	5 mm
② 右	4.2 mm	0 mm	4 mm
③ 左	4.2 mm	0 mm	4 mm
④ 下	4.2 mm	0 mm	5 mm

ADF 使用時の画像欠け範囲

	コピーモード	スキャナーモード	ファクスモード
① 上	0 ± 3.5 mm	0 ± 3.5 mm	0 ± 3.5 mm
② 右	0 ± 3 mm	0 ± 3 mm	0 ± 3 mm
③ 左	0 ± 3 mm	0 ± 3 mm	0 ± 3 mm
④ 下	0 ± 3.5 mm	0 ± 3.5 mm	0 ± 3.5 mm

原稿をセットする

原稿ガラスと ADF に原稿をセットする方法を説明します。

重要

- **修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿はセットしないでください。原稿ガラスや読み取りガラスが汚れ、その汚れが読み取られます。**

補足

- 蛍光ペンの色は再現しにくいため、異なる色でコピーされたり、色によっては読み取られなかったりすることがあります。

原稿ガラスに原稿をセットする

原稿ガラスを使用すると、ADF では搬送できない文書をスキャンしたり、ファクスで送信したりできます。

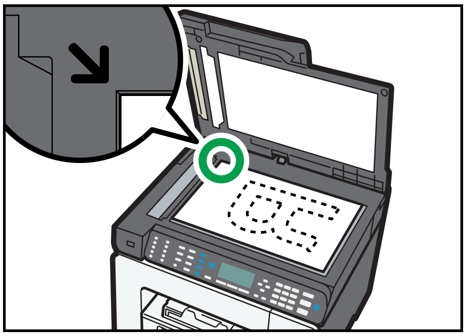
重要

- **ADF は、強く跳ね上げないようにしてください。スキャナーユニットが開いたり、ADF のカバーが破損するときがあります。**

1. **ADF を上げます。**

   ADF を上げるときは、ADF 給紙トレイを持たないでください。トレイの損傷の原因になります。

2. **原稿を、読み取りたい面を下にして原稿ガラスの上に置きます。原稿は、左奥のセット基準に合わせてセットします。**



3. **ADF を閉じます。**

   厚い原稿、折癖のある原稿、冊子原稿などで ADF 前側が浮き上るときは、ADF を手で抑えてください。

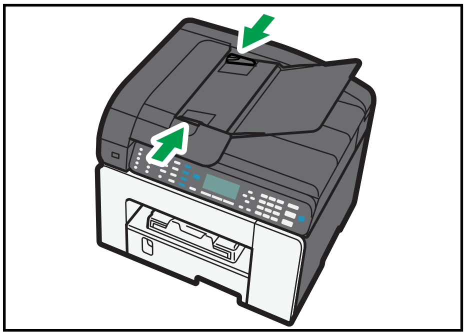
自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットする

ADF では、複数ページを 1 度に読み取ることができます。

重要

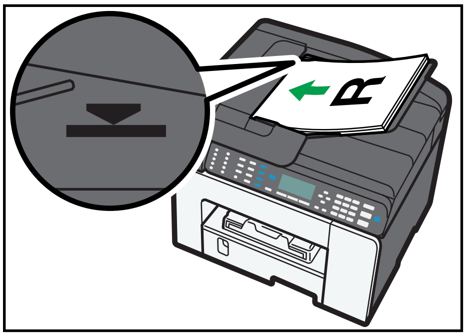
- ADF には、サイズの異なる原稿を同時にセットしないでください。
- 原稿のカールを平らにしてから、ADF にセットしてください。
- 複数ページ同時に給紙されるのを防止するため、原稿をさばいてから ADF にセットしてください。
- 原稿はまっすぐにセットしてください。

1. 原稿ガイドを原稿サイズに合わせます。



CHV096

2. 原稿を、コピーしたい面を上にして、きれいに揃えてから ADF にセットします。原稿は先頭ページが一番上になるようにセットしてください。



CHV087

補足

- A4 よりも長いサイズの原稿をセットするときは、ADF トレイの延長ガイドを伸ばしてください。

文字を入力する

本機の設定をしたりするときに、操作部を使って文字を入力します。

以下のキーを使って、文字を入力します。

数字を入力する

テンキーを押します。

文字を削除する

［クリア/ストップ］キーを押します。

ファクス番号を入力する

- 数字を入力する

  テンキーを押します。

- 数字以外の文字を入力する

  “＊”：［＊］キーを押します。

  “#”：［#］キーを押します。

  ポーズ：［ポーズ/リダイヤル］キーを押します。ポーズは、画面に「-」で表示されます。

  トーン：［トーン］を押します。トーンは、画面に「T」で表示されます。

名前を入力する

テンキーで文字、記号、数字を入力します。入力したい文字が表示されるまでテンキーを繰り返し押します。

同じテンキーで入力する文字が 2 つ続くときは、最初の文字を入力したあとに［▶］キーを押してから次の文字を入力します。

入力できる文字について詳しくは、P.452「入力文字一覧」を参照してください。

補足

- 漢字・ひらがなは入力できません。
- 実際に入力できる文字は、設定によって異なります。

3. プリンター機能を使う

プリンター機能について説明します。

プリンタードライバーの設定画面を表示する

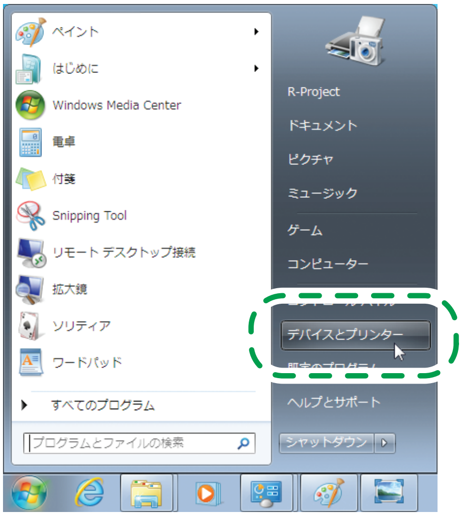
プロパティを表示する

1. ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。

Windows Vista または Windows Server 2008 では、［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］をクリックして［プリンタ］をクリックします。

Windows XP では［プリンタと FAX］をクリックします。

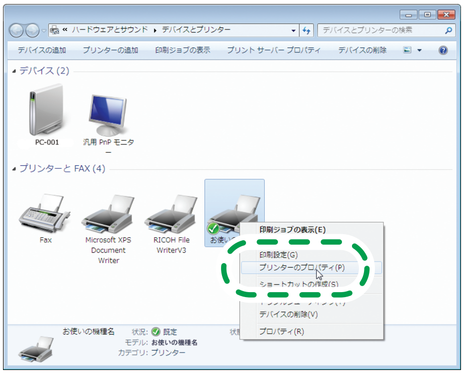
Windows Server 2003/2003 R2 では、［設定］の［プリンタと FAX］をクリックします。



CHU155

2. 本機のアイコンを右クリックして［プリンターのプロパティ］をクリックします。

Windows Vista/XP、Windows Server 2003/2003 R2/2008 では、［プロパティ］をクリックします。



CHU145

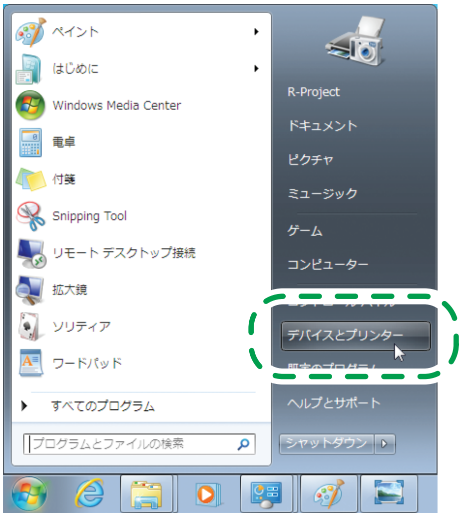
印刷設定を表示する

1. ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。

Windows Vista または Windows Server 2008 では、［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］をクリックして［プリンタ］をクリックします。

Windows XP では、［プリンタと FAX］をクリックします。

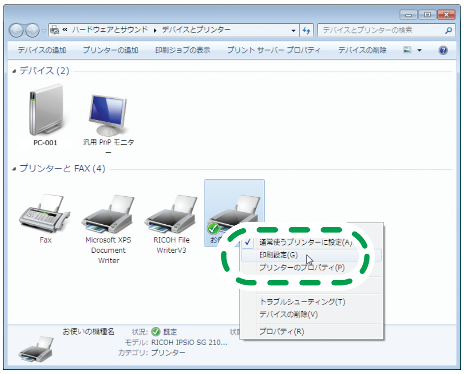
Windows Server 2003/2003 R2 では、［設定］の［プリンタと FAX］をクリックします。



CHU155

3

2. 本機のアイコンを右クリックして［印刷設定］をクリックします。



CHU227

アプリケーションから表示する

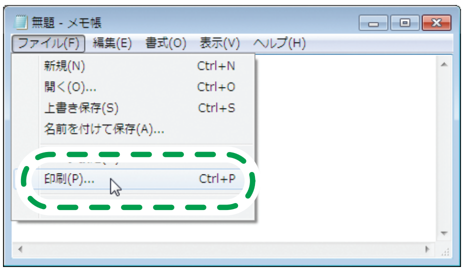
アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を開くと、初期値として設定された内容が表示されます。ここから必要な設定だけを変更して印刷します。

ここで変更した設定は、このアプリケーションだけで有効な設定です。ほかのアプリケーションから印刷するときは、ここでの設定は反映されません。アプリケーションによっては、プリンタードライバーの設定内容を自動的に変更するものがあります。

例として、Windows 標準のメモ帳で説明しています。

プリンタードライバーの設定画面を開く方法は、アプリケーションによって異なります。多くのアプリケーションでは［ファイル］メニューの［印刷］や［ページ設定］から［詳細設定］を選択して開きます。詳しくはアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

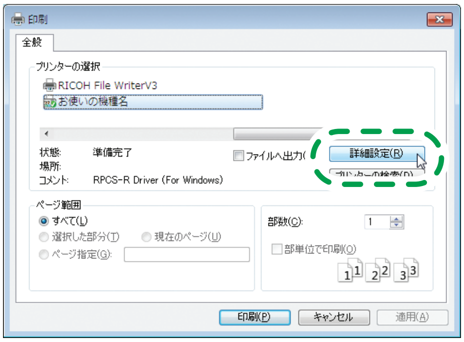
1. ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。



CHU156

3

2. ［プリンタの選択］ボックスから本機を選択し、［詳細設定］をクリックします。



CHU157

オプション構成タブを設定する

双方向通信がはたらく条件

双方向通信がはたらいていると、本機の情報が自動的にパソコンに送信されます。またパソコン側からも本機の状態を確認できます。

双方向通信がはたらいているのに、オプションが認識されていないときは、本機の電源を入れ直してください。

双方向通信を利用するには、以下の条件を満たしている必要があります。

USB で接続しているとき

- パソコンが双方向通信に対応している。
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている。

ネットワークで接続しているとき

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている。

補足

- プリントサーバーに接続したプリンターを共有するときは、プリントサーバーのWindows ファイアウォールの設定によっては、クライアントからの双方向通信がはたらきません。P.158「ステータスモニターから中止する」を参照してください。

双方向通信がはたらかないとき

本機とパソコンが双方向通信していないときに、本機に装着したオプション、セットした用紙のサイズをプリンタードライバーに登録します。

重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

1. プリンタードライバーのプロパティを開きます。

P.151「プロパティを表示する」を参照してください。

インストールしたあと、最初にプリンターのプロパティを表示するときや、装着しているオプションを設定していないときは、オプション設定を促す画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。

2. [オプション構成] タブをクリックします。

3. [オプション選択] で、取り付けたオプションにチェックを付けます。

4. [給紙トレイ設定の変更...] をクリックします。

5. 給紙トレイを［給紙トレイ］リストから選択します。
6. 用紙サイズを［用紙サイズ］リストから選択します。
7. ［トレイ/サイズ設定の変更］をクリックします。
8. ［OK］をクリックします。
9. ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

- すでに使用中のプリンターにオプションを追加装着したときは、再度［オプション構成］タブの設定をしてください。

印刷する

重要

- 光沢紙に印刷するときは、1 枚ごとに排紙トレイから取り除いてください。

1. 給紙トレイに用紙をセットします。

   用紙の種類によってセット方法は異なります。P.128「使用できる用紙」を参照してください。

2. プリンタードライバーの印刷設定を開きます。

   P.153「アプリケーションから表示する」を参照してください。

3. ［かんたん設定］タブをクリックします。

4. ［用紙種類］のドロップダウンメニューから、用紙の種類を選択します。

   ［ハイグレード普通紙］を選択すると自動で片面印刷になります。両面印刷をするときは、［普通紙］を選択してください。

   郵便はがきまたはインクジェット郵便はがきのあて名面に印刷するときは［用紙種類］ボックスのドロップダウンメニューから［郵便ハガキ］を選択し、［印刷品質選択］ボックスのドロップダウンメニューから［きれい］または［高画質］を選択してください。

   インクジェット郵便はがきの通信面に印刷するときは［用紙種類］ボックスのドロップダウンメニューから［インクジェット郵便ハガキ］を選択してください。

   必要に応じて、そのほかの印刷条件を指定します。

5. ［OK］をクリックします。

補足

- 印刷設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 用紙の種類によって排紙できる枚数は異なります。P.128「使用できる用紙」を参照してください。
- 用紙の取り扱いは、P.132「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。
- 印刷可能範囲は、P.134「印刷範囲」を参照してください。
- 両面に印刷するときは、文字以外のデータの濃度を全体的に下げて印刷します。
- 黒地に白抜き文字を印字すると、インクがにじんで白抜き文字がつぶれることがあります。［印刷品質選択］で［はやい］または［高速］を選択してください。

印刷を中止する

本機またはパソコンのどちらからでも印刷を中止できます。すでにプリンターに送られているデータと、プリンターに送られていないデータでは印刷を中止する方法が異なります。状態を確認してから中止してください。

中止したいデータがすでに送信されているとき

ステータスモニターまたは本機の［クリア/ストップ］キーで中止します。

中止したいデータがまだ送信されていないとき

パソコンのタスクバーから中止します。

ステータスモニターから中止する

ステータスモニターで印刷中のデータを削除します。

1. **データが印刷中で、ステータスモニターが開いていることを確認します。**
2. **［印刷中止］をクリックします。**

   印刷が中止されるまで、多少時間がかかります。

補足

- ステータスモニターの説明や表示する方法は、P.317「ステータスモニターを使用する」を参照してください。

［クリア/ストップ］キーで中止する

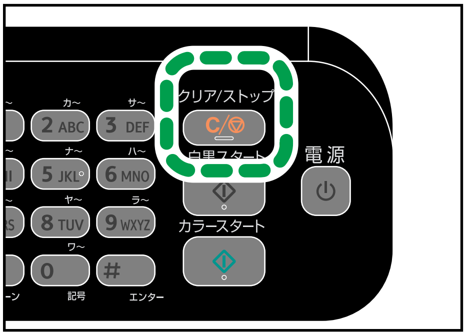
すでにプリンターに送信されたデータを削除します。

［クリア/ストップ］キーで受信中または受信済みのデータを削除します。ほかの人があとから送信したデータを削除したくないときは、現在印刷中のデータだけを削除できます。

印刷中のデータだけを削除する

1. **データが印刷中であることを確認します。**

2. ［クリア/ストップ］キーを押します。



CHV202

3. ［1 件消去］を押します。

「ジョブを消去しますか？」のメッセージが表示されます。

4. ［はい］を押します。

印刷中のデータだけ削除されます。

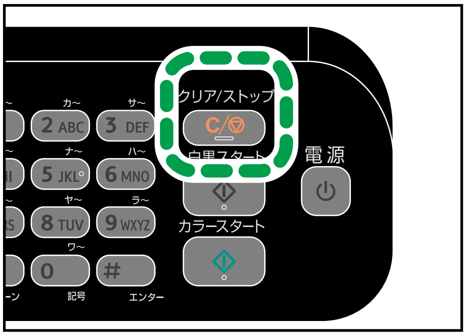
あとから送られた印刷待ちのデータがあるときは、次の印刷が始まります。

印刷が中止されるまで、多少時間がかかります。

送信されたすべてのデータを削除する

1. データが印刷中であることを確認します。

2. ［クリア/ストップ］キーを押します。



CHV202

3. ［全消去］を押します。

「すべてのジョブを消去します。よろしいですか？」のメッセージが表示されます。

4. ［はい］を押します。

印刷待ちを含むすべてのデータが削除されます。

印刷が中止されるまで、多少時間がかかります。

タスクバーから中止する

プリンターに送られる前の、印刷待ちのデータを削除します。

1. タスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。



CHU159

2. 中止したいデータを選択し、［ドキュメント］メニューから［キャンセル］をクリックします。

Mac で使用する

日本語版 Mac OS X 10.5 Leopard 以降で使用できます。

各アプリケーションのドライバー動作環境に準じます。

OS X Server は、OS X Server のプリントサービスの内容も含めて保証外です。

使用できるハードウェアは以下のとおりです。

- PowerPC G4 以降を搭載した Mac
  - メモリーとハードディスク（HDD）の容量は OS の動作環境に準じます。
  - その他：USB ポートもしくはネットワークポートを搭載した Mac
- Intel Core Duo 以降を搭載した Mac
  - メモリーとハードディスク（HDD）の容量は OS の動作環境に準じます。
  - その他：USB ポートもしくはネットワークポートを搭載した Mac

補足

- ネットワーク接続は TCP/IP を使用してください。AppleTalk は使用できません。

Mac にプリンタードライバーをインストールする

Mac へプリンタードライバーをインストールします。インストール後、接続方法に合わせて Mac にプリンターを追加します。

Mac OS X 10.6.x を例に説明します。OS のバージョンによって、操作手順が異なることがあります。

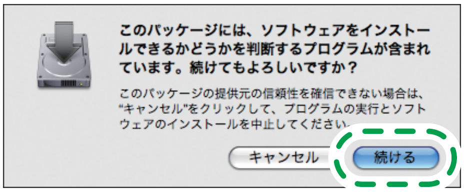
重要

- ほかのアプリケーションが実行されていると、インストールできません。インストールの前にすべてのアプリケーションを終了しておくことをお勧めします。
- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログインしてください。

1. **CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**
2. **使用している OS のバージョンのフォルダーの［RPCS_R］フォルダーにある［お使いの機種名.pkg］をダブルクリックします。**

3

3
3.［続ける］をクリックします。



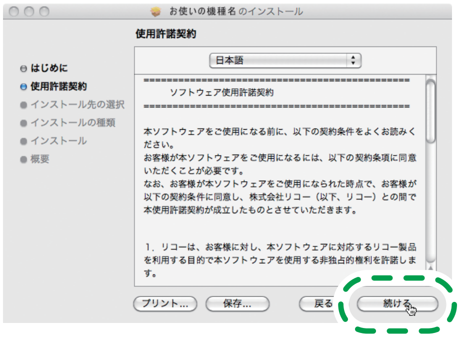
CHU230

4.［続ける］をクリックします。



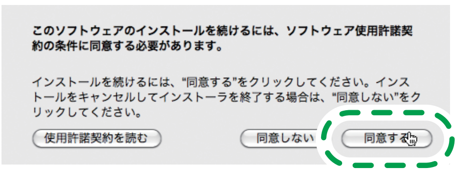
CHU231

5.［続ける］をクリックします。



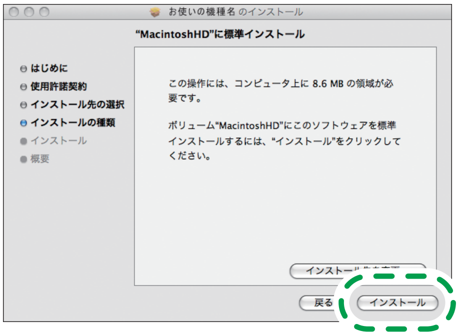
CHU232

6.「ソフトウェア使用許諾契約」の内容をよく読み、［同意する］をクリックします。



CHU233

7. ［インストール］をクリックします。



CHU234

インストール先を選択するには、［インストール先を変更...］をクリックします。

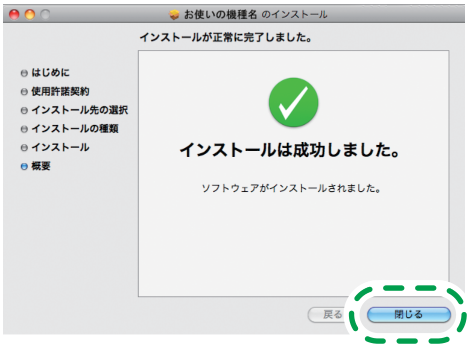
8. 管理者の名前とパスワードを入力して、［OK］をクリックします。



CHU235

インストールが始まります。

9. ［閉じる］をクリックします。



CHU237

USB接続で［プリントとファクス］にプリンターを追加する

重要

- 本機は、あらかじめUSBケーブルに接続されている必要があります。本機の電源が入っていることを確認してください。

1. [アップル] メニューの [システム環境設定...] をクリックし、[プリントとファクス] をクリックします。



CHU238

2. プリンターの一覧から、プラグアンドプレイで自動認識されたプリンターを選択し、[-]（削除）をクリックします。



CHV266

3. [プリンタを削除] をクリックします。

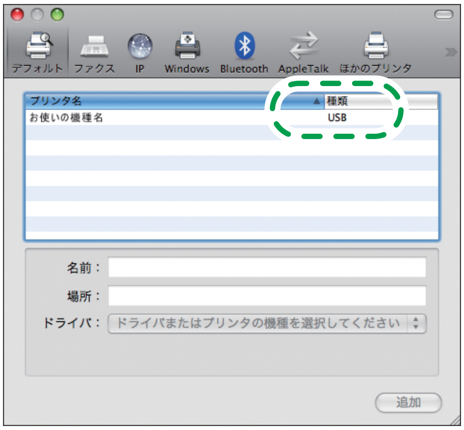
Mac OS X 10.5.x を使用しているときは、[OK] をクリックします。

4. [+] をクリックします。



CHU240

5. ［デフォルト］をクリックし、［種類］が［USB］になっていることを確認します。



CHU241

6. 使用するプリンターの名称を選択します。
7. ［名前:］が［お使いの機種名］になっていることを確認し、［追加］をクリックします。

   オプションを使用するときは、［インストール可能なオプション］でオプションを選択し、［続ける］をクリックします。

   ［プリントとファクス］に追加したプリンターの名称が表示されます。
8. ［システム環境設定を終了］をクリックします。

Bonjour で［プリントとファクス］にプリンターを追加する

Bonjour を使用して本機に印刷できます。

重要

- Web Image Monitor で、［Bonjour］を［有効］に設定してから印刷してください。

1. アップルメニューの［システム環境設定...］をクリックし、［プリントとファクス］をクリックします。
2. ［+］をクリックします。
3. ［デフォルト］をクリックし、［種類］が「Bonjour」と表示されているプリンターを選択します。
4. ［名前:］が［お使いの機種名］になっていることを確認し、［追加］をクリックします。

   オプションを使用するときは、［インストール可能なオプション］でオプションを選択し、［続ける］をクリックします。

   ［プリントとファクス］に追加したプリンターの名称が表示されます。

5. ［システム環境設定を終了］をクリックします。

ネットワーク接続で［プリントとファクス］にプリンターを追加する

重要

- 本機は、あらかじめネットワークに接続されている必要があります。本機の電源が入っていることを確認してください。
- IP アドレスを設定しておく必要があります。

3

1. ［アップル］メニューの［システム環境設定...］をクリックし、［プリントとファクス］をクリックします。



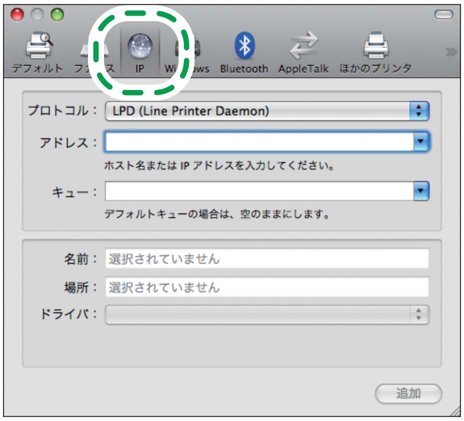
CHU238

2. ［+］をクリックします。



CHU240

3. **［IP］をクリックします。**



CHU242

4. **［プロトコル:］から［HP Jetdirect - Socket］をクリックします。**

5. **［アドレス:］の入力欄に使用するプリンターの IP アドレスまたはホスト名を入力します。**

6. **［ドライバ：］から［プリンタソフトウェアを選択...］を選択します。**

Mac OS X 10.5.x を使用しているときは、［ドライバ:］から［使用するドライバを選択...］を選択します。

7. **［お使いの機種名］を選択し、［OK］をクリックして、［追加］をクリックします。**

Mac OS X 10.5.x を使用しているときは、［お使いの機種名］を選択して［追加］をクリックします。

オプションを使用するときは、［インストール可能なオプション］でオプションを選択し、［続ける］をクリックします。

［プリントとファクス］に追加したプリンターの IP アドレスが表示されます。

8. **［システム環境設定を終了］をクリックします。**

Mac のプリンタードライバーの設定画面を表示する

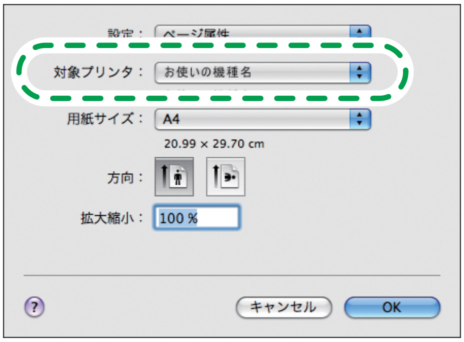
プリンタードライバーの設定画面を表示する手順を説明します。

プリンタードライバーの設定画面を開く方法は、アプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

例として、Mac 標準のテキストエディットで説明します。

Mac のページ設定画面を表示する

1. アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定...］を選択します。
2. ［対象プリンタ：］から、使用するプリンターを選択します。

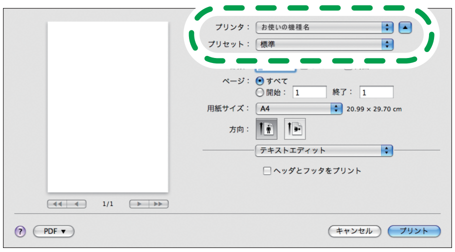


CHU243

ネットワークでプリンターを使用しているときは、使用するプリンターの IP アドレスが表示されているものを選択してください。

Mac の印刷設定画面を表示する

1. アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント...］をクリックします。
2. ［プリンタ：］から、使用するプリンターをクリックします。



CHU244

ネットワークでプリンターを使用しているときは、使用するプリンターの IP アドレスが表示されているものを選択してください。

アプリケーション名（テキストエディットなど）が表示されているメニューから［給紙］、［プリンタの機能］などの項目が選択できます。

必要に応じて各項目の設定を変更します。

補足

- アプリケーションによっては、プリンタードライバーの設定内容を自動的に変更するものがあります。

Mac で本機の状態を表示する

パソコンからインクの残量や印刷状態を確認できます。また、エラー発生時にはエラーの内容を確認できます。

印刷を開始すると、プリンターアプリケーションが自動的に起動します。また、印刷を開始しなくてもステータスモニターを起動できます。

本機の状態を確認するには、双方向通信がはたらいている必要があります。

Mac の［メンテナンスユーティリティー］画面を表示する

1.［アップル］メニューの［システム環境設定...］をクリックし、［プリントとファクス］をクリックします。

2. 使用するプリンターを選択し、［プリントキューを開く...］をクリックします。

ネットワークでプリンターを使用しているときは、使用するプリンターの IP アドレスが表示されているものを選択してください。

3.［プリンタ設定］、［ユーティリティ］、［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

Mac OS X 10.5.x を使用しているときは、ツールバーにある［ユーティリティ］をクリックします。



［メンテナンスユーティリティー］画面が表示されるときは、双方向通信がはたらいています。

Mac でステータスモニターを表示する

印刷をしていないときに、ステータスモニターを開く方法を説明します。

1.［メンテナンスユーティリティー］画面を開きます。

P.169「Mac の［メンテナンスユーティリティー］画面を表示する」を参照してください。

2.［ステータスモニター］をクリックします。

Mac でオプションを設定する

1. ［アップル］メニューの［システム環境設定...］をクリックし、［プリントとファクス］をクリックします。
2. 使用するプリンターを選択し、［オプションとサプライ...］をクリックします。
3. ［ドライバ］タブをクリックします。
4. 使用するオプションを選択し、［OK］をクリックします。

Mac で印刷する

用紙を給紙トレイにセットして印刷します。

重要

- 光沢紙に印刷するときは、1 枚ごとに排紙トレイから取り除いてください。

1. 給紙トレイに用紙をセットします。

   用紙の種類によってセット方法は異なります。P.128「使用できる用紙」を参照してください。

2. 印刷設定画面を開きます。

   P.167「Mac のプリンタードライバーの設定画面を表示する」を参照してください。

3. ［給紙］画面から必要に応じてトレイを選択します。
4. ［基本設定］画面から印刷モードとカラーモードを設定します。

   ［ハイグレード普通紙］を選択すると片面印刷になります。両面印刷をするときは、［普通紙］を選択してください。

   郵便はがきまたはインクジェット郵便はがきを片面ずつ印刷するとき、あて名面に印刷するときは［印刷モード］で［郵便ハガキ］を選択してください。

   インクジェット郵便はがきの通信面に印刷するときは［印刷モード］で［インクジェット郵便ハガキ］を選択してください。

   必要に応じて、そのほかの印刷条件を指定します。

5. ［プリント］をクリックします。

補足

- 解像度の数値は、縦横同じ数値で設定されます。
- 用紙の種類によって給紙、排紙できる枚数は異なります。P.128「使用できる用紙」を参照してください。
- 用紙の取り扱いは、P.128「用紙」を参照してください。
- 印刷可能範囲は、P.134「印刷範囲」を参照してください。

- 両面に印刷するときは、文字以外のデータの濃度を全体的に下げて印刷します。

Mac で印刷を中止する

本機またはパソコンのどちらからでも印刷を中止できます。

本機から印刷を中止するとき

［クリア/ストップ］キーを押して印刷を中止します。

P.158「［クリア/ストップ］キーで中止する」

パソコンから印刷を中止するとき

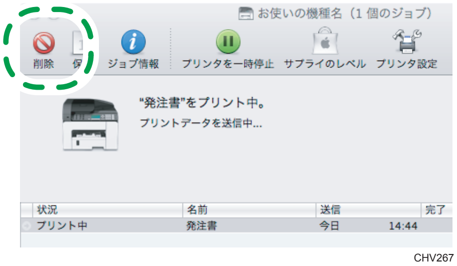
印刷の指示を出すと、プリンターアプリケーションが起動し、印刷するデータがジョブとして登録されます。プリンターアプリケーションから印刷待ちのジョブを削除し、中止します。

P.171「プリンターアプリケーションから中止する」

プリンターアプリケーションから中止する

印刷中または送信中のデータを削除します。また、プリンターに送られる前の、印刷待ちのデータも削除できます。

1. **プリンターアプリケーションが起動していることを確認します。**
2. **プリンターアプリケーションで中止するデータを選択します。**
3. **［ジョブ］メニューの［ジョブを削除］またはツールバーにある［削除］をクリックします。**



Mac でヘルプを表示する

項目の説明や設定の方法などがわからないときは、ヘルプを使うと便利です。

設定画面からプリンタードライバーのヘルプを表示する

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。

P.167「Mac のプリンタードライバーの設定画面を表示する」

2. ?をクリックします。

3. メニューが表示されるまで「ホーム」ボタンを押し、[RICOH RPCS ラスターヘルプ] を選択します。

Mac ヘルプからプリンタードライバーのヘルプを表示する

1. Dock にある「Finder」アイコンをクリックします。

2. [ヘルプ] メニューから [Mac ヘルプ] をクリックします。



3. メニューが表示されるまで「ホーム」ボタンを押し、[RICOH RPCS ラスターヘルプ] を選択します。

Mac の CD-ROM 収録ソフトウェア

Mac 用ファイル一覧

CD-ROM に入っているファイルです。

- Mac OS X 10.5 用プリンタードライバー
- Mac OS X 10.6 用プリンタードライバー
- 各種使用説明書（HTML/PDF ファイル）
- 使用説明書を見る（HTML ファイル）
- お客様登録の受付（HTML ファイル）
- サポート情報ページへ（HTML ファイル）

Mac 用 RPCS ラスタープリンタードライバー

RPCS ラスタープリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境を説明します。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

Mac OS X 10.5¥RPCS_R

Mac OS X 10.6 or later¥RPCS_R

プリンタードライバーの動作環境

- パソコン

  PowerPC G4 以降、または Intel Core Duo 以降を搭載した Mac

- 対象 OS

  日本語版 Mac OS X 10.5 Leopard 以降

- ディスプレイ解像度

  SVGA 800 × 600 ドット以上

補足

- 詳しい使いかたは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Mac で使用する各種使用説明書

各種使用説明書のファイル格納場所を説明します。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- HTML 使用説明書

  MANUAL_HTML

- PDF 使用説明書

  MANUAL_PDF

デジタルカメラから直接印刷する（PictBridge）

デジタルカメラから直接印刷する機能についての説明です。

- 1 回の印刷で送信できる画像枚数は 999 枚までです。1000 枚以上の枚数を送信したときはカメラ側にエラーを返し、印刷はされません。
- 印刷条件はデジタルカメラ側で設定するため、お使いのデジタルカメラによって設定できる項目が異なります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- この機能は、USB 2.0 に対応しています。

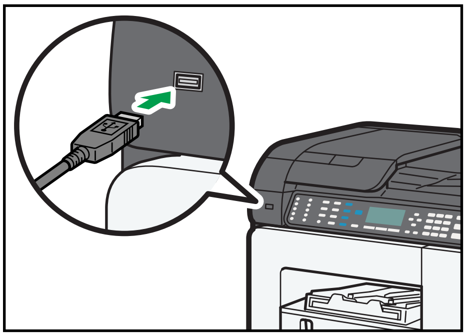
USB ケーブルでデジタルカメラと接続し印刷する

本機と PictBridge 対応のデジタルカメラを USB ケーブルで接続し、撮影した画像を直接印刷できます。

重要

- お使いのデジタルカメラが PictBridge に対応していることを確認してください。
- 本機との接続には、デジタルカメラに付属の USB ケーブルを使用してください。
- データの送信中に USB ケーブルを抜かないでください。正しく印刷されないときがあります。
- 高解像度の画像を印刷しようとすると、メモリーが一杯になってしまうことがあります。このときは、画像のサイズを縮小し、再度お試しください。

1. 本機の電源、お使いのデジタルカメラの電源が入っていることを確認します。
2. USB ケーブルを接続し、ケーブルの反対側をデジタルカメラと接続します。



CHV085

正常に接続したら、操作部の画面に「PictBridge 設定」が表示されます。

3. お使いのデジタルカメラで、印刷したい画像を選択して印刷条件を設定してください。

4. デジタルカメラで設定した内容を本機に送信し、印刷します。

PictBridge モードを終了するには、本機に接続されている USB ケーブルを抜きます。

補足

- お使いのデジタルカメラによっては、PictBridge を使用するために手動で設定する必要があります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- お使いのデジタルカメラによっては、本機への接続時に電源を切っておく必要があります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- USB ケーブルが破損しないように、デジタルカメラを接続してないときは安全な場所に保管してください。

本機でできること

本機に対応している PictBridge の印刷機能を紹介します。

使用できる設定項目は以下のとおりです。

- 単一画像印刷
- 任意選択画像印刷
- インデックス印刷
- 全画像印刷
- トリミング
- 画像枚数指定
- 日付印刷
- ファイル名印刷
- 用紙サイズ
- 画像印刷サイズ
- 集約
- 印刷品質
- 紙種

補足

- 本機では以下の設定項目には対応していません。
  - DPOF 印刷
  - フチなし印刷

- お使いのデジタルカメラにより、印刷の機能名や設定できる項目が異なることがあります。詳しくは、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

インデックス印刷

画像のインデックスを作成します。この機能では、以下の設定ができます。

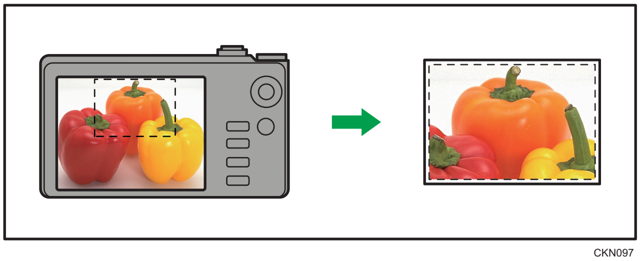
- A4
  横コマ数×縦コマ数： 7 × 10
- Letter（8 $^{1}/_{2}$ × 11）
  横コマ数×縦コマ数： 7 × 10

補足

- お使いのデジタルカメラによっては、改ページが入るときがあります。
- 各用紙サイズでのコマ数は固定です。

トリミング

デジタルカメラで指定されたトリミング領域だけを出力します。



点線はトリミング領域を表しています。

用紙サイズ

デジタルカメラより指定された用紙サイズを使って出力します。

用紙サイズ	サイズ
L (3.5" × 5")*	127 mm × 89 mm
2L (5" × 7")	178 mm × 127 mm
ハガキ	148 mm × 100 mm
カード*	85.6 mm × 54 mm
10" × 15"	152 mm × 102 mm
4" × 6"	152.4 mm × 101.6 mm

用紙サイズ	サイズ
8" × 10"	254 mm × 203.2 mm
Letter (8 1/2" × 11")	279.4 mm × 216 mm
A4	297 mm × 210 mm
A5	210 mm × 148 mm
B5	257 mm × 182 mm

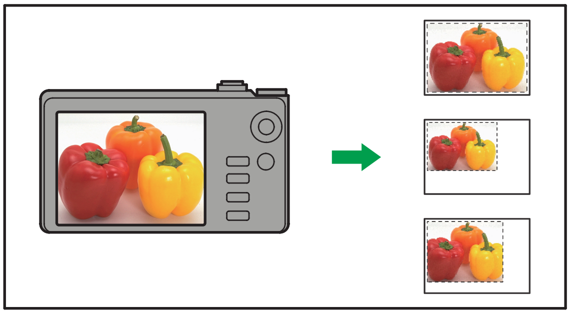
* カメラの画面では表示されますが、サポートしていません。

補足

- 10" × 15"、4"× 6"、8" × 10"については不定形サイズを指定してください。

画像印刷サイズ

デジタルカメラで指定された画像サイズになるように、用紙に出力します。



CKN099

点線はカメラで指定された画像サイズを表しています。

画像印刷サイズで指定できるサイズは以下のとおりです。

固定サイズ

- 5" × 3.5"
- 5" × 7"
- 6" × 4"
- 10" × 8"
- 15" × 10"
- 148 mm × 100 mm
- 89 mm × 55 mm

3

集約

指定された用紙に、2 コマから 8 コマの画像を印刷します。

この機能は A4 と Letter ($8^1/_2$ × 11)だけです。

補足

- お使いのデジタルカメラによっては、改ページが入るときがあります。

印刷品質

選択された印刷品質で画像を出力します。

紙種

本機でトレイにセットされている紙種を設定しておくと、デジタルカメラにその情報に通知され、紙種を確認してから出力できます。

デジタルカメラに通知される紙	プリンターにセットされている紙種
Default	すべての紙種
Plain Paper	普通紙・再生紙
Photo Paper	HG 普通紙・インクジェットハガキ
Fast Photo Paper	光沢紙

補足

- 再生紙の紙種は、本機で使用できません。

操作部から設定する

1. [▲] または [▼] キーを押して [用紙サイズ]、[用紙種類]、[集約]、[印刷品質] を選択し、[OK] キーを押します。
2. 画面のメッセージにしたがって設定値を変更し、[OK] キーを押します。

こんなときには

印刷がうまくいかないときの原因と対処について説明します。

状態	原因	対処法
PictBridge が利用できない。	USB の接続か、PictBridge の設定に問題があります。	以下の順番で確認してください。 1. USB ケーブルの抜き差ししてください。 2. PictBridge の設定が有効になっているか確認をしてください。 3. 一度 USB ケーブルを抜き、本機の電源の OFF/ON し、再度立ち上がったのを確認してから USB ケーブルを接続してください。
複数のデジタルカメラを接続したが、2 台目以降のデジタルカメラが認識しない。	複数のデジタルカメラを接続しています。	デジタルカメラの接続可能台数は 1 台です。複数のデジタルカメラを接続しないでください。
印刷ができない。	指定した画像の枚数が多すぎます。	1 回で印刷指定できる画像枚数は 999 枚までです。指定枚数が超えているときは減らして再度印刷してください。
印刷ができない。	指定した用紙が本機にセットされていません。	本機の用紙を確認してください。
印刷ができない。	本機で印刷できないサイズの用紙を指定しています。	本機で印刷できない用紙サイズを指定していないか確認してください。指定していたときは、本機で印刷できるサイズの用紙に変更してください。

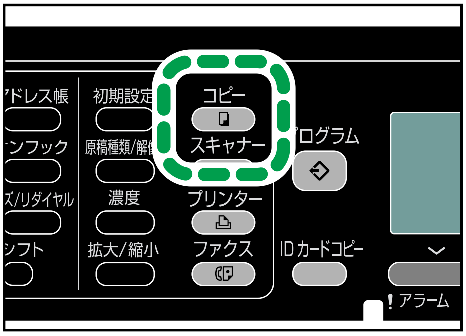
4. コピー機能を使う

コピー機能について説明します。

コピーの基本的な使いかた

基本的なコピー方法を説明します。

1. ［コピー］キーを押します。



CHV203

「操作できます」というメッセージが表示されます。

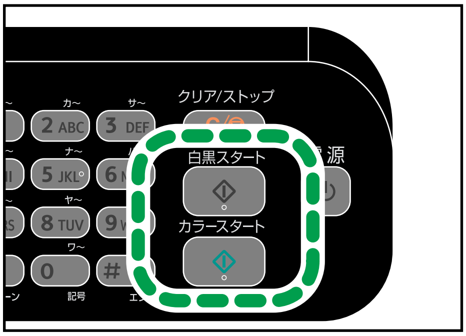
2. 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。

必要に応じて、読み取り方法やコピーのしかたを設定してください。

原稿のセットについては P.147「原稿をセットする」を参照してください。

3. 複数の部数をコピーするときは、テンキーでコピーする部数を入力します。

4. ［白黒スタート］キーまたは［カラースタート］キーを押します。



CHV204

原稿ガラスを利用してソートや両面などの機能を設定しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら［#］を押します。

4

補足

- 光沢紙をお使いのときは、白黒コピーができません。[カラースタート] キーを押してください。
- 一度にコピーできる部数は、最大で 99 部です。
- [▲] または [▼] キーを押して、印刷用のトレイを一時的に変更できます。
- コピーで使用するトレイを自動的に切り替えるように設定するときは、[用紙設定] の [給紙トレイ優先設定 : コピー] で、どのトレイを優先的に使用するかを設定します。詳しくは P.264「用紙設定」を参照してください。
- 紙づまりが起きたときは印刷が停止します。紙づまりが解消されると、つまったページから印刷が再開されます。詳しくは、P.384「用紙がつまったとき」、または P.392「自動原稿送り装置（ADF）から用紙を取り除く」を参照してください。
- 封筒にコピーするときは、[原稿種類/解像度] キーを押し、[一時的封筒モード] を [有効] にしてください。ヘッド位置を調整することで縦方向の線がずれてコピーされたり、色がぼやけてコピーされるなどの現象を解消します。

SADF コピー

SADF モードでは、重送しやすい複数枚の原稿を ADF から 1 枚ずつ送ることができます。

1. [コピー] キーを押します。

2. [機能切替] を押します。

3. [▲] または [▼] キーを押して [SADF コピー] を選択し、[OK] キーを押します。

通常は通常コピーが設定されています。

4. 原稿を 1 枚セットし、[白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。

5. 画面に「次の原稿をセットし、スタートキー」というメッセージが表示されているときは、次の原稿をセットし、[白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。

[両面/集約] を設定したときは、2 枚目からは [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] を押さなくても自動的に原稿が送られます。

6. すべての原稿の読み取りが終わったら [#] キーを押します。

補足

- コピーの途中で、[両面/集約]、[ソート]、[拡大/縮小] 機能に切り替えはできません。

コピーを中止する

コピーを中止する方法を説明します。

原稿を読み取っているとき

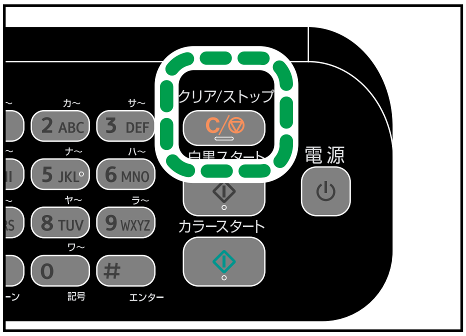
原稿を読み取っているときにコピーを中止すると、コピーは即座に中止され、印刷もされません。

ADF に原稿がセットされているときは、読み取り中のページが排紙されたあとに読み取りを停止します。

印刷しているとき

印刷中にコピーを中止すると、印刷中のページが排紙されたあとにコピーを中止します。

1. [クリア/ストップ] キーを押します。



CHV202

「コピーを中止します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

2. [中止] を押します。

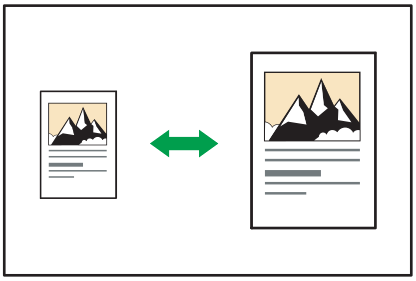
拡大・縮小してコピーする

拡大・縮小の倍率を設定します。

ズーム、固定変倍

倍率の設定には、固定の倍率を選択する方法（固定変倍）と、手動で倍率を指定する方法（ズーム）があります。

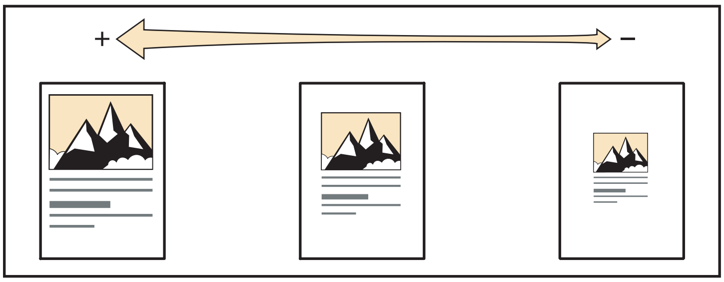
- 固定変倍



CKN004

  - 50%（A4 → A6）
  - 61%（A4 → B6）
  - 71%（A4 → A5， A5 → A6）
  - 82%（B5 → A5）
  - 87%（A4 → B5， A5 → B6）
  - 93%
  - 100%
  - 115%（B5 → A4）
  - 122%（A5 → B5， A6 → B6， B5 → B6）
  - 141%（A5 → A4， A6 → A5）
  - 200%（A6 → A4）
  - 400%

- ズーム

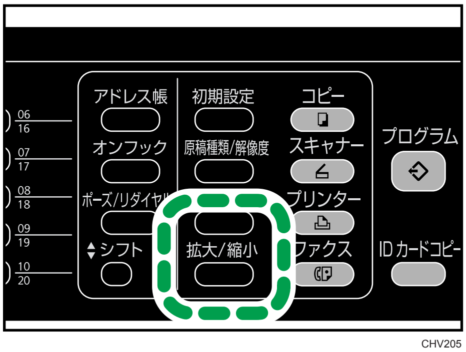


CKN007

25%～ 400%の間で、1%刻みに倍率を指定します。

1. [コピー] キーを押します。

2. [拡大/縮小] キーを押します。



3. [変倍] を押します。

4. [拡大] か [縮小] を押し、[▲] または [▼] キーを押して倍率を選択し、[OK] キーを押します。

[ズーム] を選択したときは、テンキーで倍率を指定し、[OK] キーを押します。

5. 原稿をセットし、[白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。

補足

- [コピー設定] の [変倍率設定] から表示される変倍率を設定します。詳しくは、P.290「コピー設定」を参照してください。
- 常に同じズームにしたいときは、コピー設定の [優先変倍率設定] で設定を変更できます。詳しくは、P.290「コピー設定」を参照してください。

両面や集約してコピーする

両面や集約してコピーする方法を説明します。

両面コピー

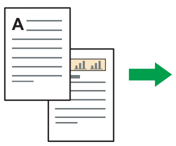
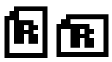
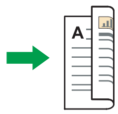
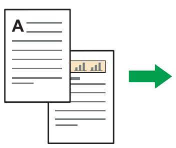
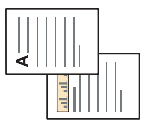
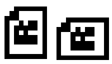
片面印刷の原稿を用紙の両面にコピーします。

★重要

- 両面コピーに使用できる用紙のサイズは、A4▯、A5▭、A5▯、A6▯、B5▯、B6▯、$8^{1}/_{2} \times 11$▯、$8^{1}/_{2} \times 5^{1}/_{2}$▭、$7^{1}/_{4} \times 10^{1}/_{2}$▯、16K▯、ハガキ▯、往復ハガキ▯です。
- 両面コピーに使用できる用紙の種類は、普通紙、ハガキ、IJ ハガキです。ハイグレード普通紙は、［用紙種類］を［普通紙］に設定するとコピーできます。

片面→両面

2 枚の片面原稿を用紙の両面にコピーします。

原稿	セットする原稿の向き	原稿セット方向	ひらき方向	コピー
			左右ひらき	
			上下ひらき	

1. ［コピー］キーを押します。
2. ［両/集約］を押します。
3. ［▲］または［▼］キーで［片面原稿→両面コピー］を選択し、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーで原稿のセット方向を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［▲］または［▼］キーでコピーのひらき方向を選択し、［OK］キーを押します。
6. 原稿をセットし、［カラースタート］または［白黒スタート］キーを押します。

   原稿ガラスまたは SADF モードを利用しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら［#］を押します。

補足

- 用紙種類で不定形サイズを選択するときは、販売店またはサービス実施店に連絡してください。

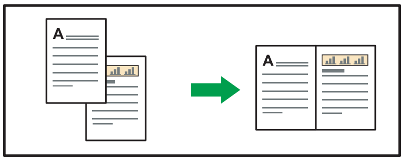
片面集約

複数枚の原稿を用紙の片面 1 枚にまとめてコピーします。

片面 2 枚→片面 1 枚

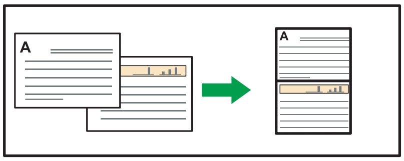
2 枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

タテ



CHV126

ヨコ



CHV401

1. ［コピー］キーを押します。
2. ［両/集約］を押します。
3. ［▲］または［▼］キーで［集約：2 原稿］を選択し、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーで原稿のセット方向を選択し、［OK］キーを押します。
5. 原稿をセットし、［白黒スタート］キーまたは［カラースタート］キーを押します。

   原稿ガラスまたは SADF モードを利用しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら［#］を押します。

両面集約

複数枚の原稿を用紙の両面 1 枚にまとめてコピーします。

片面 4 枚→両面 1 枚

4 枚の片面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

1. **［コピー］キーを押します。**
2. **［両/集約］を押します。**
3. **［▲］または［▼］キーで［集約：4 原稿］を選択し、［OK］キーを押します。**
4. **［▲］または［▼］キーで原稿のセット方向を選択し、［OK］キーを押します。**
5. **［▲］または［▼］キーでコピーのひらき方向を選択し、［OK］キーを押します。**
6. **原稿をセットし、［白黒スタート］キーまたは［カラースタート］キーを押します。**

   原稿ガラスまたは SADF モードを利用しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら［#］を押します。

用紙の片面に ID カードの両面をコピーする

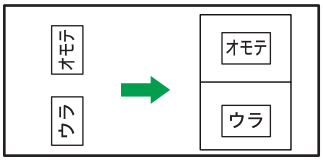
ID カードなど、小さな文書の表、裏の両面を用紙の片面にコピーします。

A4 サイズの用紙にコピーするときは、A5 サイズより小さい文書をコピーできます。

Letter サイズの用紙にコピーするときは、Half Letter サイズより小さい文書をコピーできます。

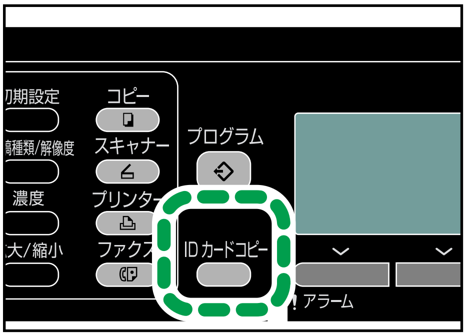
重要

- この機能は、原稿ガラスでコピーするときだけ使用できます。ADF でコピーするときは使用できません。
- この機能を使用するには、コピー用の用紙のサイズを、あらかじめ A4 か Letter サイズに設定してください。



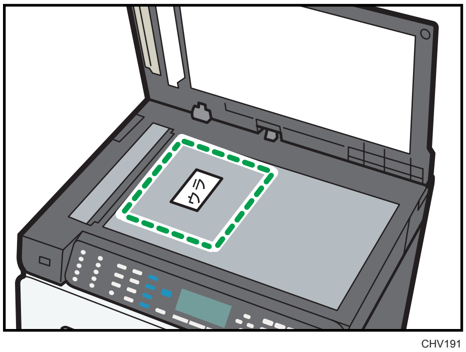
CHV199

1. [コピー] キーを押します。
2. [ID カードコピー] キーを押します。

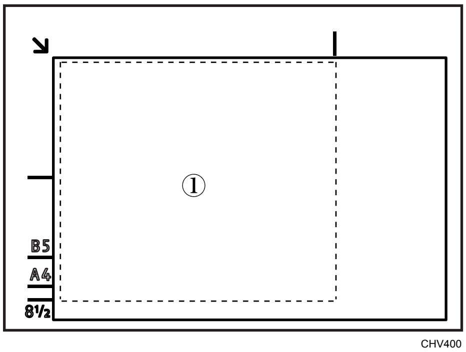


CHV206

3. 原稿を、読み取りたい面を下にして、原稿ガラスにセットします。



①読み取り範囲です。



4. ［白黒スタート］キーまたは［カラースタート］キーを押します。

原稿の反対面を下にして原稿ガラスにセットするように、画面に表示されます。

5. 60 秒以内に、原稿の反対面を下にして、原稿ガラスにセットして、もう一度［白黒スタート］キーまたは［カラースタート］キーを押します。

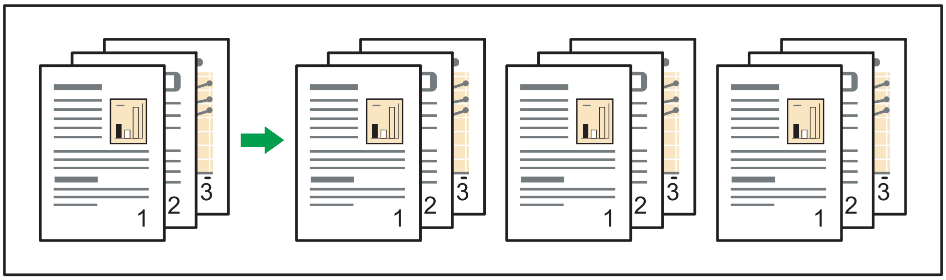
両面とも同じキー（白黒またはカラー）でコピーしてください。

補足

- 本機の拡大・縮小の設定に関係なく、ID カードコピーでは常に 100%でコピーされます。
- ID カードコピーを使用するときは、[両面/集約]、[ソート]、[拡大/縮小]、[印刷順]、［排紙方法］は使用できません。

ソートする

1 セットずつそろえてコピーします。



CKN018

1. [コピー] キーを押します。
2. [ソート] を押します。
3. テンキーでコピーする部数を入力します。
4. 原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。

読み取り方法を設定する

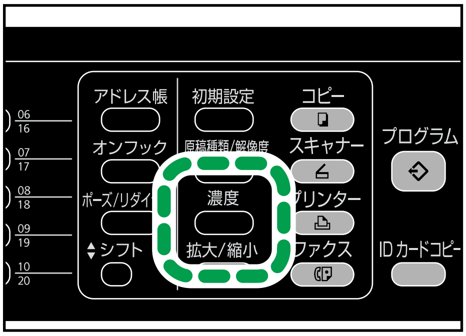
濃度と原稿の種類を設定します。

濃度を調整する

濃度を 5 段階で調整します。濃度レベルが高くなるほど、画像が濃くなります。

1. ［コピー］キーを押します。

2. ［濃度］キーを押します。



CHV207

3. ［うすく］または［こく］を押して濃度を選択し、［OK］キーを押します。

補足

- 常に同じ濃度にしたいときは、コピー設定の［自動濃度の濃度］で設定を変更できます。詳しくは、P.290「コピー設定」を参照してください。

原稿に合わせて文書種類を選択する

原稿の種類に合わせて、最適な読み取り方法を選択できます。

3 つの文書種類から選択できます。

文字

文字が主体の原稿に適した設定で読み取ります。

文字・写真

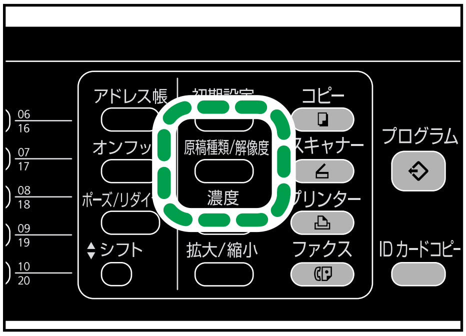
文字と写真などが混じった原稿に適した設定で読み取ります。

写真

写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。

1. ［コピー］キーを押します。

2. ［原稿種類/解像度］キーを押します。



CHV208

3. ［▲］または［▼］キーを押して［原稿種類設定］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▲］または［▼］キーを押して文書種類を選択し、［OK］キーを押します。

補足

- 常に特定の文書種類でコピーしたいときは、コピー設定の［原稿種類設定］で設定を変更できます。詳しくは、P.290「コピー設定」を参照してください。

4

解像度を調整する

コピーするときの解像度を調整します。

コピー機能では、用紙によって対応している解像度が異なります。

対応していない解像度を選択したときは、［普通紙］でコピーされます。

紙種	高速	はやい/きれい	高画質
普通紙	○	○	○
HG 普通紙	−	○	○
厚紙	−	○	○
封筒	−	○	○
ハガキ	○	○	○
IJ ハガキ	−	○	○
光沢紙	−	○	−

1. ［コピー］キーを押します。
2. ［原稿種類/解像度］キーを押します。
3. ［▲］または［▼］キーを押して［印刷品質］を選択し、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して［高速］、［標準］、［高画質］から選択し、［OK］キーを押します。

画質詳細や排紙を設定する

画質詳細や排紙を設定します。

原稿サイズ

使用する原稿サイズを設定します。

- トレイの用紙と同じ
- サイズを指定

印刷順

最初のページから印刷するか最後のページから印刷するかを設定します。

- 先頭から最終へ
- 最終から先頭へ

排紙方法

印刷面を上にして排紙するか下にして排紙するかを設定します。

- フェースアップ
- フェースダウン

排紙方法を設定したときは、両面機能は使用できません。

カラー/画質調整

- カラーバランス

  コピー全体が赤みがかっていたり、青みがかっているときに、コピー全体の色合いを調整します。

- 画質調整
  - ソフト/シャープ

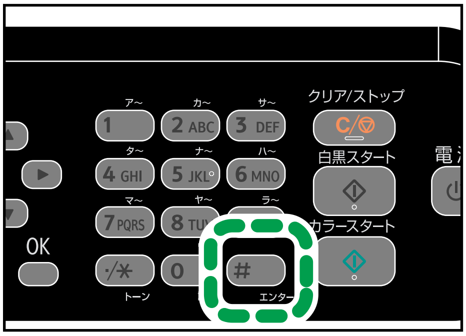
    画像の輪郭を調整します。

  - コントラスト

    画像の陰影を調整します。

1. [コピー] キーを押します。

2. [#] キーを押します。



CHV210

3. [▲] または [▼] キーを押して設定する項目を選択し、[OK] キーを押します。
4. 画面のメッセージにしたがって設定値を変更し、[OK] キーを押します。

カラーバランス

1. [コピー] キーを押します。
2. [#] キーを押します。
3. [▲] または [▼] キーを押して [カラー/画質調整] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して [カラーバランス] を選択し、[OK] キーを押します。
5. 調整したい色を選択し、[OK] キーを押します。
6. [うすく] または [こく] を押して調整します。
7. [OK] キーを押します。

ソフト／シャープ

1. [コピー] キーを押します。
2. [#] キーを押します。
3. [▲] または [▼] キーを押して [カラー/画質調整] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して [画質調整] を選択し、[OK] キーを押します。

5. [▲] または [▼] キーを押して [ソフト/シャープ] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [ソフト] または [シャープ] を押して調整します。
7. [OK] キーを押します。

コントラスト

1. [コピー] キーを押します。
2. [#] キーを押します。
3. [▲] または [▼] キーを押して [カラー/画質調整] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して [画質調整] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] または [▼] キーを押して [コントラスト] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [弱い] または [強い] を押して調整します。
7. [OK] キーを押します。

5. スキャナー機能を使う

スキャナー機能について説明します。

操作部を使ってスキャンする

操作部を使ってスキャンしたファイルは、あらかじめ登録したあて先や USB メモリーに送信できます。

以下の 4 種類の送信方法があります：

- メールのあて先へ送信する
- FTP サーバーへ送信する
- パソコンの共有フォルダーへ送信する
- USB メモリーへ送信する

  スキャンしたファイルを本機に差し込んだ USB メモリーに保存します。

メール送信、FTP 送信、フォルダー送信をするには、本機をネットワークに接続してください。USB メモリー送信には、ネットワークの接続は必要ありません。

5

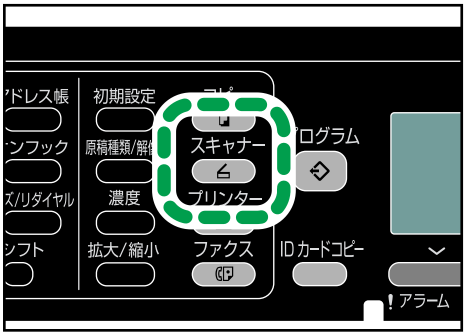
基本的なメール送信/FTP 送信/フォルダー送信のしかた

メール送信/FTP 送信/フォルダー送信の基本的な操作について説明します。スキャンしたファイルは、指定されたあて先によって、メールアドレス、FTP サーバー、またはパソコンの共有フォルダーに送信されます。

重要

- **メール送信、FTP 送信、フォルダー送信をするには、あて先を、あらかじめアドレス帳に登録しておく必要があります。あて先の登録方法について詳しくは、P.305「宛先を登録する」を参照してください。**
- **本機からメール送信をするときは、メール送信者の指定が必要です。詳しくは、P.206「メール送信者を指定する」を参照してください。**

1. [スキャナー] キーを押します。



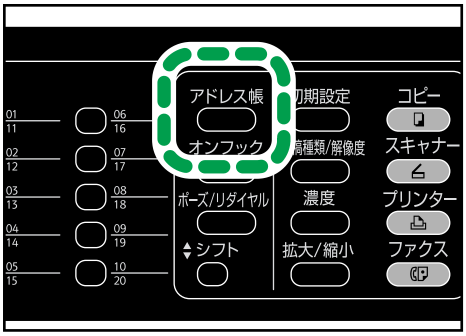
CHV211

画面に「原稿をセットし、宛先を指定」と表示されていることを確認してください。

2. 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。

原稿のセットについては P.147「原稿をセットする」を参照してください。

3. [アドレス帳] キーを押します。



CHV212

4. [▲] または [▼] キーであて先を検索し、[OK] キーを押します。

あて先の設定について詳しくは、P.201「あて先を指定する」を参照してください。

5. [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。

- カラーでスキャンするときは、[オプション] の [原稿種類] で [フルカラー：文字・写真] を選択してください。また白黒でスキャンするときは、[オプション] の [原稿種類] で [フルカラー：文字・写真] 以外を選択してください。
- スキャンを中止するには、[クリア/ストップ] キーを押します。スキャンを中止すると、スキャンしたファイルは破棄されます。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、追加する原稿を原稿ガラスにセットしてから [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。

  すべての原稿を読み取ったら、[#] を押してファイルを送信します。

参照

- 読み取り方法について詳しくは、P.204「読み取り方法を設定する」を参照してください。

あて先を指定する

以下のキーを使ってあて先を指定します。

- ワンタッチキー

  ワンタッチダイヤルに登録されているあて先を指定します。

- [アドレス帳] キー

  アドレス帳に登録されているあて先を指定します。

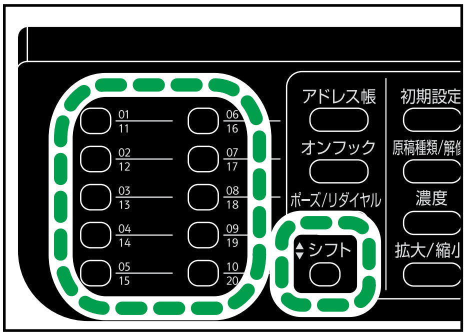
- [ポーズ/リダイヤル] キー

  最後に指定したあて先を指定できます。

ワンタッチキーを使用する

指定したいあて先が登録されている [ワンタッチ] キーを押します。

ワンタッチダイヤルの 11〜20 を使用するときは、ワンタッチキーを押す前に [シフト] キーを押してください。



CHV213

[アドレス帳] キーを使用する

1. [スキャナー] キーを押します。
2. [アドレス帳] キーを押します。
3. [▲] または [▼] キーを押して検索方法を選択し、[OK] キーを押します。
   - 名前で検索して送信先を選択する [名前検索]

     検索する送信先名の文字列の一部を入力します。

   - リストから送信先を選択する [リスト表示]

     あて先が登録順に表示されます。

   - 登録番号を入力して送信先を選択する [登録番号検索]

3 桁の登録番号を入力します。登録されたあて先名が表示されます。

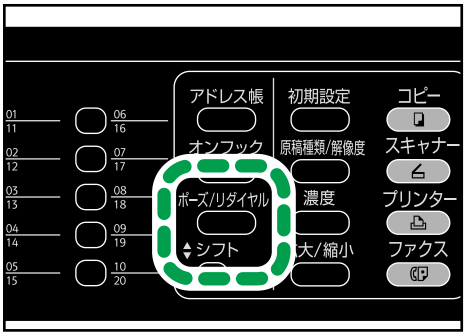
- メールアドレスで検索して送信先を選択する［アドレス検索］

  検索する送信先名のアドレスの一部を入力します。登録されたアドレスが表示されます。

4. あて先を指定します。
5. ［OK］キーを押します。

［ポーズ/リダイヤル］キーを使う

［ポーズ/リダイヤル］キーを押して、最後に使用したあて先を選びます。



CHV214

補足

- あて先を追加するときは、［宛先追加］を押してメールアドレス、またはパスを入力します。［▲］または［▼］を押すと指定したあて先が確認できます。
- あて先を直接入力するときは、［直接入力］を押してメールアドレス、またはパスを入力します。修正あるいは変更するときは、［宛先編集］を押します。
- ADF で紙づまりが発生したときは、読み取りが一時的に保留されます。ADF でつまった紙を取り除く方法について詳しくは、P.392「自動原稿送り装置（ADF）から用紙を取り除く」を参照してください。

基本的な USB メモリー送信のしかた

USB メモリー送信の基本的な操作について説明します。スキャンしたファイルは、本機に差し込んだ USB メモリーに保存されます。

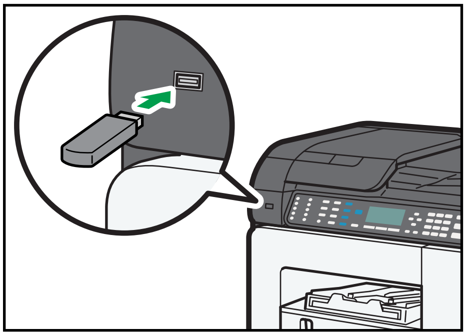
⚠注意

- USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

重要

- USB メモリーは、本機のポートに直接差し込んでください。USB ハブなどはご使用になれません。
- 市販されているすべての USB メモリーで動作を保証するものではありません。

1. USB メモリーを USB メモリー用のポートに差し込みます。


CHV086

「読取データを USB に保存」と表示されます。

2. [スキャナー] キーを押します。

3. 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。

4. [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。

- カラーでスキャンするときは、[オプション] の [原稿種類] で [フルカラー：文字・写真] を選択してください。また白黒でスキャンするときは、[オプション] の [原稿種類] で [フルカラー：文字・写真] 以外を選択してください。
- スキャンを中止するには、[クリア/ストップ] キーを押します。スキャンを中止すると、スキャンしたファイルは破棄されます。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、追加する原稿を原稿ガラスにセットしてから [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。

  すべての原稿を読み取ったら、[#] を押してファイルを送信します。

5. 「送信中です。」の表示が消えるまでお待ちください。

スキャンしたファイルは、USB メモリーの一番上の階層に保存されます。

6. USB メモリーを本機から取り外します。

5

読み取り方法を設定する

読み取りサイズ、濃度、および解像度を調整します。

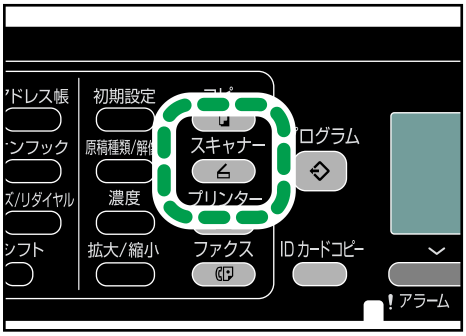
原稿のサイズに合わせて読み取りサイズを設定する

原稿のサイズに合わせて読み取りサイズの設定をします。

工場出荷時の設定：[A4▭]

- A4▭、A5▭、A5▯、A6▯、A6▭、B5▭、$8^1/_2 \times 14$▭、$8^1/_2 \times 11$▭、$5^1/_2 \times 8^1/_2$▭、$8^1/_2 \times 5^1/_2$▯、$7^1/_4 \times 10^1/_2$▯

1. [スキャナー] キーを押します。



CHV211

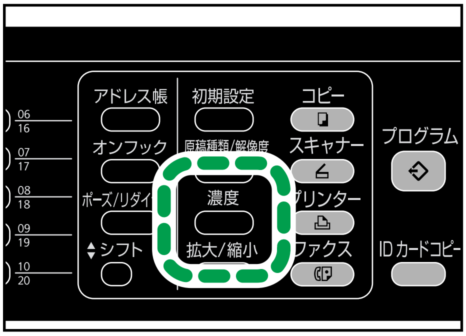
2. [オプション] を押します。
3. [▲] または [▼] キーを押して [読み取りサイズ] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して原稿サイズを選択し、[OK] キーを押します。

濃度を調整する

濃度を 5 段階で調整します。濃度レベルが高くなるほど、画像が濃くなります。

1. [スキャナー] キーを押します。

2. [濃度] キーを押します。



CHV207

3. [うすく] または [こく] キーを押して濃度を選択し、[OK] キーを押します。

補足

- [スキャナー設定] で、[自動濃度の濃度設定] の初期値を変更して、常に同じ濃度でスキャンできます。詳しくは、P.292「スキャナー設定」を参照してください。

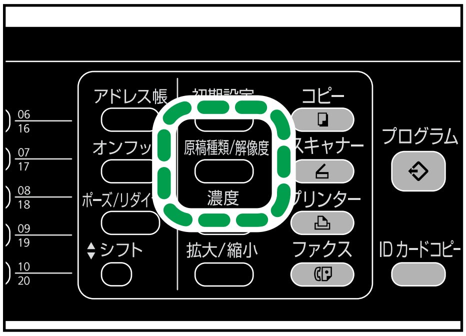
5

解像度を設定する

解像度の調整方法を説明します。

解像度は 3 段階で調整されます。解像度が高くなるほど画質はよくなりますが、ファイルサイズは大きくなります。

1. [スキャナー] キーを押します。
2. [原稿種類/解像度] キーを押します。



CHV208

3. スクロールキーを押して [150dpi]、[300dpi]、[600dpi] から解像度を選択し、[OK] キーを押します。

原稿種類を白黒に設定しているときは、[600dpi] が選択できます。

メール送信者を指定する

本機からメール送信をするとき、送信するメール送信者の指定が必要です。

1. [スキャナー] キーを押します。
2. [オプション] を押します。
3. [▲] または [▼] キーを押して [送信者名] を選択し、[OK] キーを押します。
4. ワンタッチキーか [アドレス帳] キーであて先を指定します。

原稿種類を設定する

原稿の種類を選択します。

カラーでスキャンするときは、[オプション] の [原稿種類] で [フルカラー：文字・写真] を選択してください。また白黒でスキャンするときは、[オプション] の [原稿種類] で [フルカラー：文字・写真] 以外を選択してください。

1. [スキャナー] キーを押します。
2. [オプション] を押します。
3. [▲] または [▼] キーを押して [原稿種類] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して原稿種類を選択し、[OK] キーを押します。

原稿セット方向を設定する

読み取った原稿の天地（上下）をパソコン上で正しく表示させます。

1. [スキャナー] キーを押します。
2. [オプション] を押します。
3. [▲] または [▼] キーを押して [原稿セット方向] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して原稿のセット方向を選択し、[OK] キーを押します。

メールの件名を設定する

読み取った原稿に件名を添付します。

1. [スキャナー] キーを押します。

2. [オプション] を押します。

3. [▲] または [▼] キーを押して [件名入力] を選択し、[OK] キーを押します。

4. 件名(半角英数字/半角カナで最大 128 文字)を入力して、[OK] キーを押します。

文字入力について詳しくは、P.149「文字を入力する」を参照してください。

ファイル形式を設定する

読み取った原稿をメール送信、FTP 送信する際のファイル形式の設定手順を説明します。

- [シングルページ:TIFF/JPEG]、[シングルページ:PDF]

  複数枚の原稿を読み取るときは、シングルページのファイル形式を選択すると、1 ページごとにファイルが作成され、読み取ったページと同じ数のファイルが送信されます。

- [マルチページ:TIFF]、[マルチページ:PDF]

  複数枚の原稿を読み取るときは、マルチページのファイル形式を選択すると、複数ページが 1 つのファイルにまとめられて送信されます。ただし、読み取り条件などの設定によって、選択できるファイル形式は異なります。

1. [スキャナー] キーを押します。

2. [オプション] を押します。

3. [▲] または [▼] キーを押して [ファイル形式] を選択し、[OK] キーを押します。

4. [▲] または [▼] キーを押してファイル形式を選択し、[OK] キーを押します。

- 原稿の種類が、カラーまたはグレーのときは、JPEG または PDF で送信されます。
- 原稿の種類が、モノクロのときは、TIFF または PDF で送信されます。

ファイル名を設定する

読み取ったデータにファイル名をつけます。

1. [スキャナー] キーを押します。

2. [オプション] を押します。

3. [▲] または [▼] キーを押して [ファイル名] を選択し、[OK] キーを押します。

4. ファイル名（半角英数字/半角カナで最大 128 文字）を入力して、[OK] キーを押します。

文字入力について詳しくは、P.149「文字を入力する」を参照してください。

通信情報を確認する

メモリーに保存したスキャンデータの内容を確認します。

1. [スキャナー] キーを押します。

2. [オプション] を押します。

3. [▲] または [▼] キーを押して [通信情報] を選択し、[OK] キーを押します。

4. [▲] または [▼] キーを押して、通信情報を確認します。

通信情報を印刷するときは、[印刷] を押します。

パソコンからスキャンする

パソコンからスキャンしたファイルを、直接パソコンに取り込めます。

TWAIN は、USB 接続とネットワーク接続の両方で使用できます。

USB で接続しているときは、WIA を使ってパソコンから原稿をスキャンすることもできます。WIA でスキャンするには、WIA に対応したアプリケーションが必要です。詳しくは、アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

TWAIN の基本的な使いかた

TWAIN スキャナーの基本的な操作について説明します。

TWAIN スキャナーを実行するには、TWAIN 対応のアプリケーションが必要です。本機に付属の CD-ROM に収録されている Presto!PageManager を使って、TWAIN スキャナーを実行できます。

Presto! PageManager の便利な機能を以下にいくつか紹介しています。Presto! PageManager の機能は、バージョンによって変更されることがあるのでご了承ください。Presto! PageManager の機能とお問い合わせ先について詳しくは、Presto!PageManager の取扱説明書を参照してください。

- スキャンボタンにより簡単にスキャナーから原稿を読み込んで電子ファイルを作成することができます。
- PDF や XPS などを含む様々な形式のファイルの作成、編集、共有、バックアップができます。
- ファイルの表示をサムネールビュー、リストビュー、タイルビューで切り替えたり、並べ替えたりできます。
- 異なる形式のファイルでも、関連する画像や文書をまとめておくことができます。
- OCR（光学文字認識）機能により画像からテキストを抽出できます。
- 特定の注釈、タイトル、作成者、メモなどでファイルを検索できます。
- メモ機能を利用して、テキスト、スタンプ、ハイライト、手書き線、直線、付せん、およびブックマークなどファイルに変更を加えることなく注釈を追加できます。
- オブジェクトの抜き取り、回転、ミラー、反転、自動補正、明るさ/コントラストの調整、色の調整、ノイズ除去などの画像編集処理ができます。

パソコンからスキャンする

ここでは例として、Windows 7 と Presto! PageManager の手順を説明します。

手順は、Presto! PageManager のバージョンによって異なることがあります。詳しくは、Presto! PageManager の取扱説明書を参照してください。

1. 原稿ガラスの上または ADF に原稿をセットします。
2. [スタート] メニューの [すべてのプログラム]、続いて [Presto!PageManager X.XX] をポイントし、[Presto! PageManager X.XX] をクリックします。

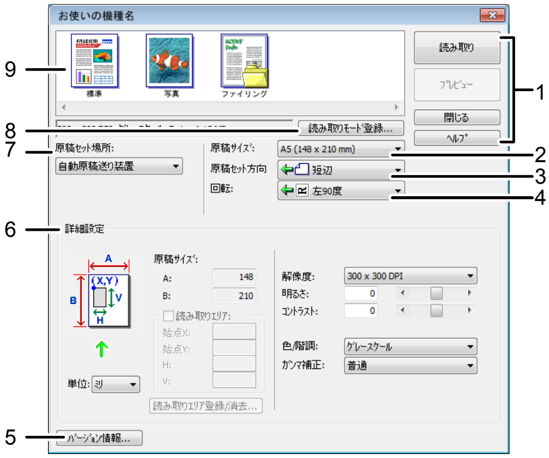
   「X.XX」は、Presto! PageManager のバージョンです。
3. [ファイル] メニューの [ソースの選択...] をクリックします。
4. [ソースを選択] 画面から [お使いの機種名 TWAIN] を選択し、[OK] をクリックします。
5. [ツール] メニューの [かんたんスキャンボタンの設定] をクリックします。
6. 必要に応じて設定をし、[OK] をクリックします。
7. [ファイル] メニューの [原稿をスキャンし、イメージデータを取り込む...] をクリックします。
8. [原稿セット場所:] で、原稿ガラスに原稿をセットしたときは、[原稿ガラス] を選択し、ADF に原稿をセットしたときは、[自動原稿送り装置] を選択します。
9. [読み取り] をクリックします。
10. [ファイル] メニューの [終了] をクリックします。

補足

- ネットワーク上に複数のスキャナーが存在するときは、正しいスキャナーを選んでいるか確認してください。別のスキャナーを選択していたときは、[ファイル] メニューの [ソースの選択...] をクリックし、もう一度スキャナーを選択し直してください。
- Presto!PageManager と同時にインストールされるランチャーを使用して、簡単に以下のスキャン操作ができます。
    - 別のアプリケーションに原稿を取り込む。
    - スキャンしたファイルを OCR アプリケーションに送る。
    - スキャンしたファイルをメールアプリケーションに送り、添付ファイルとして送信する。
    - スキャンしたファイルを設定したフォルダーに保存する。

TWAIN ダイアログボックスで設定できる項目

TWAIN ダイアログボックスで設定できる項目について説明します。



CHV275

1. **ボタン**
    - 読み取り

      読み取りを開始します。
    - プレビュー

      読み取ったイメージをプレビュー画面に表示します。
    - 閉じる

      TWAIN ダイアログボックスを閉じます。
    - ヘルプ

      ヘルプ画面を表示します。
2. **原稿サイズ：**

   10 種類の定型サイズから原稿サイズを選択します。
3. **原稿セット方向**

   ［原稿サイズ：］で普通サイズを選択したときは、原稿セット方向を選択します。
4. **回転：**

   原稿の向きを設定します。
5. **バージョン情報...**

   TWAIN ドライバーのバージョンを表示します。
6. **詳細設定**
    - 原稿サイズ：

      ［A:］、［B:］に数値を入力し、読み取りサイズを指定します。
    - 解像度：

      解像度を設定します。
    - 明るさ：

      明るさを設定します。
    - コントラスト：

5

コントラストを調整します。

- 色/階調：

  ［白黒］、［写真］、［グレースケール］、［フルカラー］から、カラータイプを選択します。

- ガンマ補正：

  読み取ったイメージの輪郭を調整します。

- 読み取りエリア登録/消去...

  クリックすると、［原稿サイズ：］、［読み取りエリア：］で指定した設定を保存、または削除できます。

- 単位：

  読み取りサイズの単位を［ミリ］、［インチ］、［ピクセル］から選択します。

- 読み取りエリア：

  チェックボックスをクリックすると、読み取り箇所の詳細が設定できます。

  始点 X: 数値を入力すると、左上の読み取り開始位置を指定できます。

  始点 Y: 数値を入力すると、上部の読み取り開始位置を指定できます。

  H: 読み取り箇所の横の長さを指定します。

  V: 読み取り箇所の縦の長さを指定します。

7. 原稿セット場所：

原稿をセットした場所を選択します。

8. 読み取りモード登録...

［読み取りモード登録...］をクリックすると、現在の設定値を保存できます。

9. 読み取りモードの登録

アイコンをクリックすると、［読み取りモード登録...］で保存したモードが表示されます。

補足

- 読み取るファイルのサイズがディスクの空き領域より大きいときはエラーメッセージが表示され、読み取りは中止されます。適切な解像度を選択してください。

6. ファクス機能を使う

ファクス機能について説明します。

ファクスを送信する

ファクスの送信モードと、ファクスを送信する際の基本操作について説明します。

重要

- **重要な書類を送信するときは、事前に受信者と確認しておくことをお勧めします。**

送信モードを選択する

送信モードには、メモリー送信と直接送信があります。

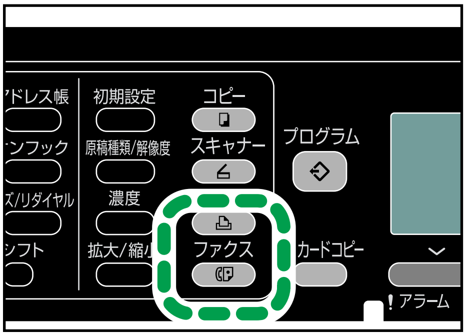
メモリー送信

このモードでは、原稿をいったんメモリーに読み込んでから一度に送信します。このモードを使用すると、複数のあて先にファクスを送信できます。

直接送信

このモードでは、原稿が読み取りと同時にファクス送信され、メモリーには保存されません。このモードで指定できるあて先は、1 件だけです。

1. [ファクス] キーを押します。



CHV215

2. [拡張送信] を押します。

3. [▲] または [▼] キーを押して [メモリー/直接送信] を選択し、[OK] キーを押します。

4. [▲] または [▼] キーを押して [メモリー送信] か [直接送信] を選択し、[OK] キーを押します。

6

インターネットファクス使用上のご注意

インターネットファクスでは、インターネットを通してファクスの送信ができます。インターネットファクスのあて先にファクスを送信すると、本機は読み取った画像を TIFF-F 形式のファイルに変換し、メールの添付ファイルとして送信します。

重要

- **インターネットを使った通信は秘匿性が低いので、重要な書類は電話回線を使用した通常のファクス送信をお勧めします。**
- **インターネットファクスは、ネットワーク回線の状態によっては送信までに時間がかかることがあります。緊急を要するファクスは、電話回線を利用した通常のファクスで送信してください。**

補足

- 本機のインターネットファクス機能は、ITU-T 勧告 T.37（シンプルモード）に準拠しています。
- インターネットファクスを使用するには、本機をネットワークに接続し、ネットワーク関連の各種設定をする必要があります。ネットワーク設定について詳しくは、P.89「パソコンと接続して、ソフトウェアをインストールする（ネットワーク接続）」を参照してください。
- インターネットファクスは、原稿をメモリーへ蓄積してファイルに変換してから送信するので、原稿の量によっては送信まで時間がかかることがあります。
- パソコンやネットワークなどの環境によっては、メールサイズが大きいと送信できないことがあります。
- インターネットファクス送信では、解像度で［写真］を選択していても、［小さな字］の設定で送信されます。
- インターネットファクスは TIFF-F 形式の画像ファイルで送信されます。そのため、相手先がパソコンで受信したときは、この画像形式に対応したビューアーアプリケーションがないと文書の内容を見ることができません。

6

基本的なファクスの送りかた

ファクス送信の基本的な操作について説明します。

1. ［ファクス］キーを押します。

2. 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。

ADF で紙づまりが発生したときは、読み取りが一時的に保留されます。ADF でつまった紙を取り除く方法について詳しくは、P.392「自動原稿送り装置（ADF）から用紙を取り除く」を参照してください。

3. [/] を押し、アイコンを切り替えます。

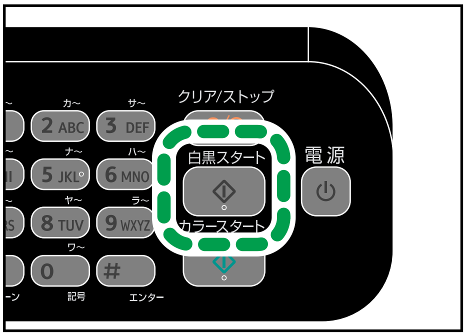
通常のファクスを送るときは、電話番号（ ）のアイコンに切り替えます。

インターネットファクスを送るときは、メール（ ）のアイコンに切り替えます。

4. テンキーでファクス番号（最大 50 桁）を入力するか、ワンタッチキーか［アドレス帳］キーであて先を指定します。

- ファクス番号には、0～9 までの数字、ポーズ、「✱」、および「#」が使用できます。文字入力について詳しくは、P.149「文字を入力する」を参照してください。
- あて先を指定するそのほかの方法については、P.218「あて先を指定する」を参照してください。
- 本機が PBX を経由して電話回線に接続されているときは、［外線発信番号］で設定されている外線発信番号を、ファクス番号の先頭に入力してください。外線発信番号の設定方法については『ファクス設定ガイド』を参照してください。

5. ［白黒スタート］キーを押します。



CHV216

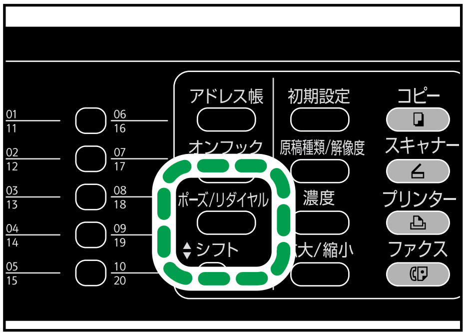
- 本機の設定によっては、番号の再入力を求められます。入力した番号が一致しなかったときは、手順 3 に戻ります。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、追加する原稿を原稿ガラスにセットしてから［白黒スタート］キーを押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。すべての原稿を読み取ったら、［#］を押してファクスを送信します。

補足

- メモリー送信のときは、管理者用設定の［呼び出し回数］を有効にすると、回線が使用中だったりエラーが起きたときなどに、あて先が自動的にリダイヤルされます。［呼び出し回数］、［ファクス再送信間隔時間］について詳しくは、P.299「管理者用設定」を参照してください。
- メモリー送信のときは、原稿読み取り中にメモリーが一杯になることがあります。このときは、送信を中止するか、または読み取りが完了したページまでを送信できます。
- 直接送信モードのときにインターネットファクスのあて先を指定すると、一時的にメモリー送信モードに変わります。

ポーズを入力する

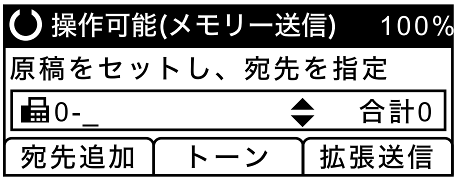
［ポーズ/リダイヤル］を入力すると、入力した個所に約 2 秒間の待ち時間を入れてダイヤルします。



CHV214

補足

- 接続される回線や利用するサービスによって、ダイヤル入力の途中に待ち時間が必要なケースがあります。このときは、ポーズを入力し、入力した個所に約 2 秒間の待ち時間を入れてダイヤルします。
- 1 桁目で［ポーズ/リダイヤル］キーを押すと、リダイヤルになります。
- ポーズを入力した個所は「-」と表示されます。



CHV178

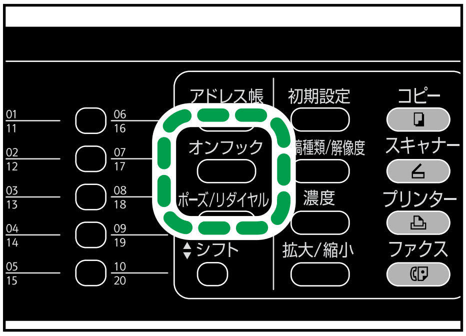
- ポーズを入力した状態をアドレス帳に登録できます。

［トーン］を押してプッシュ回線に切り替える

ダイヤル回線でプッシュ回線のサービスを受けるときなど、プッシュ信号を送出するときに使います。

［トーン］を押すと、本機はプッシュ信号を送出します。ここではオンフックダイヤルでトーンを使用する方法を説明します。

1. [オンフック] キーを押します。



CHV217

2. テンキーでファクス番号を入力します。
3. [トーン] を押します。
4. テンキーでプッシュ回線の番号を入力します。
5. [白黒スタート] キーを押します。

   送信が開始されます。

   送信を途中で中止するときは、[クリア/ストップ] キーを押し、原稿を取り除きます。

   送信が終わると、待機中の画面に戻ります。

補足

- トーンを使ってプッシュ信号を送出しても、利用できないサービスもあります。
- トーンを入力した個所は「T」と表示され、それ以降の番号がプッシュ信号となります。

送信をキャンセルする

ファクス送信をキャンセルします。

原稿の読み取り中・送信中

原稿を読み取っている最中や、送信中にファクス送信をキャンセルできます。

同報送信中にファクス送信をキャンセルすると、現在送信中のあて先だけがキャンセルされます。後続のあて先には通常どおり送信されます。

1. [クリア/ストップ] キーを押します。

送信待機中

原稿をメモリーに読み取ったあとに、ファクス送信をキャンセルできます。

1. [ファクス] キーを押します。
2. [拡張送信] を押します。
3. [▲] または [▼] キーを押して [通信情報] を選択し、[OK] キーを押します。

6

4. [▲] または [▼] キーを押して [送信文書確認/中止] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] または [▼] キーを押して送信を中止する文書を選択し、[OK] キーを押します。
6. [送信中止] を押して、[削除] を押します。

あて先を指定する

ファクスのあて先を指定します。

テンキーであて先を入力するほかに、以下の方法でもあて先を指定できます。

- ワンタッチキーを使う
- アドレス帳を使う
- 同報送信を使う
- リダイヤル機能を使う

補足

- 指定したあて先を変更するときは、[宛先編集] を押して、新しいあて先を入力します。

ワンタッチキーであて先を指定する

ワンタッチキーを使って、ワンタッチダイヤルに登録したあて先を選択します。あて先の登録方法について詳しくは、P.305「ファクス番号を登録する」を参照してください。

1. [ファクス] キーを押します。

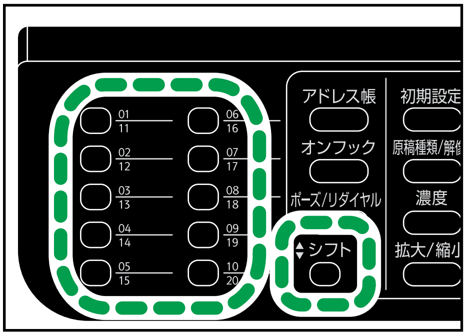
2. [/] を押し、アイコンを切り替えます。

通常のファクスを送るときは、電話番号（ ）のアイコンに切り替えます。

インターネットファクスを送るときは、メール（ ）のアイコンに切り替えます。

3. 指定したいあて先が登録されている [ワンタッチ] キーを押します。

ワンタッチダイヤルの 11～20 を使用するときは、ワンタッチキーを押す前に [シフト] キーを押してください。



CHV213

補足

- レポートを印刷して、登録したあて先名およびファクス番号を確認できます。あて先リストの印刷について詳しくは、P.450「各種シートの一覧」を参照してください。

[アドレス帳] キーであて先を指定する

アドレス帳に登録したあて先を選択します。あて先の登録方法について詳しくは、P.305「ファクス番号を登録する」を参照してください。

1. [ファクス] キーを押します。

2. [📠/📧] を押し、アイコンを切り替えます。

通常のファクスを送るときは、電話番号（📠＿）のアイコンに切り替えます。

インターネットファクスを送るときは、メール（📧）のアイコンに切り替えます。

3. [アドレス帳] キーを押します。

4. [▲] または [▼] キーを押して検索方法を選択し、[OK] キーを押します。

- 名前で検索して送信先を選択する［名前検索］

  検索する送信先名の文字列の一部を入力します。

- リストから送信先を選択する［リスト表示］

  あて先が登録順に表示されます。

- 登録番号を入力して送信先を選択する［登録番号検索］

  3 桁の登録番号を入力します。登録されたあて先名が表示されます。

- ファクス番号で検索して送信先を選択する［ファクス宛先検索］

  検索する送信先名の番号の一部を入力します。登録されたあて先名が表示されます。

5. あて先を指定します。

6. [OK] キーを押します。

補足

- レポートを印刷して、登録したあて先名およびファクス番号を確認できます。あて先リストの印刷について詳しくは、P.450「各種シートの一覧」を参照してください。

リダイヤル機能であて先を指定する

これまでに指定した最大 10 件のあて先を指定できます。

この機能は、あて先を毎回入力する必要がないため、続けて同じ番号へファクス送信するときに便利です。

1.［ファクス］キーを押します。

2.［/］を押し、アイコンを切り替えます。

通常のファクスを送るときは、電話番号（）のアイコンに切り替えます。

インターネットファクスを送るときは、メール（）のアイコンに切り替えます。

3.［ポーズ/リダイヤル］キーを押します。

4.［▲］または［▼］キーを押してリダイヤルしたい番号を選択し、［OK］キーを押します。

同報送信のあて先を指定する

同時に複数のあて先へファクスを送信できます。最大 100 件のあて先への同報送信ができます。通常のあて先とインターネットファクスのあて先を同時に指定できます。

あて先を指定した順番で、ファクスが送信されます。

1.［ファクス］キーを押します。

2.［/］を押し、アイコンを切り替えます。

通常のファクスを送るときは、電話番号（）のアイコンに切り替えます。

インターネットファクスを送るときは、メール（）のアイコンに切り替えます。

3. ワンタッチキー、アドレス帳、リダイヤル、またはテンキーであて先を指定します。

- ワンタッチキー：あて先が登録されているワンタッチキーを押します。
- アドレス帳：［アドレス帳］キーを押し、あて先を選択し、［OK］キーを押します。
- リダイヤル：［ポーズ/リダイヤル］キーを押し、これまでに使用したあて先を選択します。
- テンキーのあて先：あて先の番号をテンキーで入力します。
- ［クリア/ストップ］キーを押すと、すべてのあて先をキャンセルできます。

4. [宛先追加] を押します。

[▲] または [▼] キーを押すと、あて先を確認できます。

あて先を追加するときは、手順 2 に戻ります。

補足

- 直接送信モードで複数のあて先を指定すると、一時的にメモリー送信モードに変わります。
- 同報送信のあて先に、通常のあて先とインターネットファクスのあて先が両方含まれているときは、インターネットファクスのあて先からファクスが送信されます。
- 送信中に [クリア/ストップ] キーを押すと、現在送信中のあて先だけがキャンセルされます。後続のあて先には通常どおり送信されます。

便利な送信方法

便利なファクス機能について説明します。

オンフックダイヤルで送信する

オンフックダイヤルを使用すると、ファクスを送信する前に相手の状況を簡単に確認できます。外付けの電話機があるときは、一度の電話で通話とファクス送信ができます。

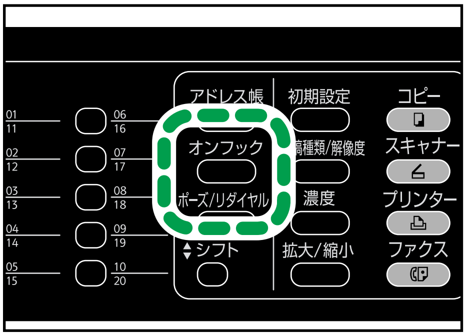
重要

- **この機能を使用できるのは、直接送信モードだけです。**
- **この機能は、インターネットファクスの送信には使用できません。**

1. [ファクス] キーを押します。

2. 原稿をセットします。

3. [オンフック] キーを押します。



CHV217

操作部の画面に「オンフック」と表示されます。

4. テンキーであて先を指定します。

相手先を間違えたときは［クリア/ストップ］キーを押して、入力し直します。

5. ファクス音が聞こえたら、［白黒スタート］キーを押します。

6. ［拡張送信］を押してから、［白黒スタート］キーを押します。

送信モードの選択について詳しくは、P.213「送信モードを選択する」を参照してください。

通話後にファクスを送信する

外付け電話機で会話をしたあとで、電話を切らずにファクスを送付できます。

1. 原稿をセットします。

2. 外付け電話機の受話器を上げます。

外付け電話機の接続方法については『ファクス設定ガイド』を参照してください。

3. 外付け電話機であて先をダイヤルします。

4. 相手が応答したら、ファクスのスタートボタンを押してもらいます。

5. ファクス音が聞こえたら、［白黒スタート］キーを押します。

6. ［拡張送信］を押してから、［白黒スタート］キーを押します。

7. 受話器を置きます。

時刻を指定して送信する

指定した時刻に自動的に送信を開始します。

深夜などに割引料金で送信できるので、通信料金を節約できます。

重要

- この機能を使用できるのは、メモリー送信モードだけです。

1. ［ファクス］キーを押します。

2. ［拡張送信］を押します。

3. ［▲］または［▼］キーを押して［時刻指定送信］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▲］または［▼］キーを押して［指定時刻に送信］を選択し、［OK］キーを押します。

設定をキャンセルするときは、［しない］を選択して、［OK］キーを押します。

5. 24 時間制の 4 桁で指定時刻をテンキーで入力し、［OK］キーを押します。

1 桁の数値を入力するときは、先頭に 0 を付けます。

間違えたときは［OK］キーを押す前に［クリア/ストップ］キーを押して入力し直します。

6. ［戻る］キーを押します。

7. 相手先を指定し、［白黒スタート］キーを押します。

補足

- 指定できる時刻は、現在から 23 時間 59 分以内です。
- 時刻指定送信を取り消すときは、P.217「送信をキャンセルする」を参照してください。

送信者を設定する

各種のリストやレポートに送信者の名称（ユーザー名）を印字します。送信者がアドレス帳に登録されていないときは、あらかじめ登録してください。

1. ［ファクス］キーを押します。

2. ［拡張送信］を押します。

3. ［▲］または［▼］キーを押して［送信者名］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ワンタッチキーか［アドレス帳］キーで送信者を指定し、［OK］キーを押します。

メールの件名を入力する

インターネットファクスを送信するときの件名を入力します。

1. ［ファクス］キーを押します。

2. ［拡張送信］を押します。

3. ［▲］または［▼］キーを押して［件名入力］を選択し、［OK］キーを押します。

4. 件名（半角英数字/半角カナで最大 128 文字）を入力して、［OK］キーを押します。

文字入力について詳しくは、P.149「文字を入力する」を参照してください。

［定型文］を押すと、登録した件名を選択できます。定型文字列の登録については、P.263「基本設定」を参照してください。

こちらの名称を相手先の用紙に印字する

［発信元名称印字］を「する」にすると、登録した名称を相手先の用紙に印字します。「しない」にすると印字されません。

1. ［ファクス］キーを押します。
2. ［拡張送信］を押します。
3. ［▲］または［▼］キーを押して［発信元名称印字］を選択し、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して［する］を選択し、［OK］キーを押します。

F コード（SUB）を設定して送信する

F コード（SUB）を付けて親展送信します。

F コードとは、数字、スペース、「#」、「*」を使って設定する暗証番号のようなものです。F コード（SUB）を付けて送信した原稿は相手先のメモリーに蓄積され、自動的には印刷されません。相手先は F コード（SUB）を入力して受信した文書を印刷します。特定の人以外に見せたくない機密文書などを送信すると、F コード（SUB）を知っている人しか印刷できないのでお互いにプライバシーが守れます。

また、F コードの中継局機能が付いているファクスを経由させて、相手先に送信できます。遠くの複数の相手先に送信するとき、遠距離通信は中継局までの 1 回ですむので通信料金が節約できます。1 回の操作で複数の相手先に送信できるので同じ操作を何回も繰り返す必要がありません。

重要

- F コード親展ボックス機能を持つファクスへ送信できます。
- F コード（SUB）はインターネットファクスでは使用できません。
- あらかじめ相手先の F コード（SUB）を確認しておきます。
- 親展送信するときは、あらかじめ相手先に F コード（SUB）を連絡しておきます。
- 本機では F コード（SUB）受信はできません。

1. ［ファクス］キーを押します。
2. ［拡張送信］を押します。
3. ［▲］または［▼］キーを押して［F コード送信］を選択し、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して［する］を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［戻る］キーを押します。
6. 相手先のファクス番号を入力します。
7. ［SUB コード］を押します。

6

8. 送信用 F コード（SUB）を入力し、[OK] キーを押します。

間違えたときは、[クリア/ストップ] キーを押します。

9. パスワードを入力するときは、パスワード（SID）を入力し、[OK] キーを押します。

パスワード（SID）を入力しないときは、そのまま [OK] キーを押します。

10. [白黒スタート] キーを押します。

F コード（SEP）が設定された文書を受信する

F コード（SEP）を入力して、相手先に送信の依頼をします。

相手先のメモリーに、入力した F コード（SEP）と同じ F コード（SEP）の付いた文書が蓄積されていれば、その文書を受信します。

また、この機能は、ファクス情報サービスを利用するときや、複数の相手先から原稿を集めたいときに使います。

★重要

- F コード掲示板ボックスを持つファクスから受信できます。
- F コード（SEP）はインターネットファクスでは使用できません。
- この機能を使用するには、[F コード取り出し] を [する] に設定する必要があります。

6

1. [ファクス] キーを押します。

2. [拡張送信] を押します。

3. [▲] または [▼] キーを押して [F コード取り出し] を選択し、[OK] キーを押します。

4. [▲] または [▼] キーを押して [する] を選択し、[OK] キーを押します。

5. [戻る] キーを押します。

6. 相手先のファクス番号を入力します。

7. [SEP コード] を押します。

8. 取り出し用 F コード（SEP）を入力し、[OK] キーを押します。

間違えたときは、[クリア/ストップ] キーを押します。

9. パスワードを入力するときは、パスワード（PWD）を入力し、[OK] キーを押します。

パスワード（PWD）を入力しないときは、そのまま [OK] キーを押します。

10. [白黒スタート] キーを押します。

補足

- 入力できる文字は数字、スペース、「#」、「*」です。
- F コード（SEP）は各種リスト/レポートに印字されます。

読み取り方法を設定する

濃度と解像度を調整します。

濃度を調整する

濃度は 5 段階で調整します。濃度レベルが濃くなるほど、画像が濃くなります。

1. ［ファクス］キーを押します。
2. ［濃度］キーを押します。
3. ［うすく］か［こく］を押して濃度を選択し、［OK］キーを押します。

解像度を設定する

解像度は 4 段階で調整します。

ふつう字

文字の大きさが普通の原稿に適した設定で読み取ります。

小さな字

文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。

細かい字

文字の大きさが細かい原稿に適した設定で読み取ります。普通の大きさや小さな文字でも、できるだけ精細に送信するときに選択します。

写真

写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。

1. ［ファクス］キーを押します。
2. ［原稿種類/解像度］キーを押します。
3. ［▲］または［▼］キーを押して解像度を選択し、［OK］キーを押します。

補足

- インターネットファクス送信では、解像度で［写真］を選択していても、［小さな字］の設定で送信されます。
- 解像度で［ふつう字］、［小さな字］、［細かい字］を選択したときは、自動的に濃度調整して読み取り、送信します。

パソコンからファクス機能を活用する（PC ファクス）

パソコンから利用できる本機のファクス機能について説明します。

Windows のアプリケーションで作成した文書を、パソコンに接続された本機を経由して、紙に出力しないで直接相手のファクスへ送信できます。

重要

- PC ファクスは、Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003R2/2008/2008 R2 に対応しています。

基本的な PC ファクスの送り方

PC ファクスの基本的な送信の仕方について説明します。

あて先は、PC ファクスのアドレス帳から選択するか、ファクス番号を直接入力して指定します。一度に、最大 150 件のあて先を指定してファクスを送信できます。

重要

- 本機は、PC ファクスを送信する前に、いったんすべてのデータをメモリーに読み込みます。読み込み中にメモリーが一杯になると、ファクスの送信はキャンセルされます。この場合、解像度を下げるか、ページ数を減らして再度送信してください。
- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、ご使用の OS によって異なることがあります。

1. **送信するファイルを開きます。**
2. **［ファイル］メニューの［印刷...］をクリックします。**
3. **プリンターの一覧から PC FAX ドライバーを選択し、［印刷］をクリックします。**
4. **あて先を指定します。**
    - PC ファクスのアドレス帳から選択する

      ［アドレス帳：］であて先表を選択し、［開く］をクリックします。あて先表に登録されたあて先情報が表示されます。あて先を指定して、［宛先として設定］をクリックします。

      あて先を複数指定するときは、この手順を繰り返してください。
    - ファクス番号を直接入力する

      ［宛先設定］タブをクリックして、［ファクス番号］にファクス番号（最大 128 桁）を入力し、［宛先として設定］をクリックします。

      あて先を複数指定するときは、この手順を繰り返してください。

5. 送付状を添付するときは、[送信オプション] タブの [送付状添付] にチェックをつけます。

送付状について詳しくは、P.234「PC ファクスの送付状を編集する」を参照してください。

6. [送信] をクリックします。

補足

- ファクス番号には、0〜9 までの数字、「P」(ポーズ)、「T (t)」(トーン)、「✱」、「#」および「-」が使用できます。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「✱」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できます。
- 指定したあて先を削除するには、[あて先一覧] であて先を選択し、[一覧から削除] をクリックしてください。

送信をキャンセルする

6

ジョブの状態により、本機の操作部やパソコンから送信をキャンセルできます。

パソコンから本機に受信中のファクスをキャンセルする

複数のパソコンで本機を共有しているときは、ほかのユーザーのプリントジョブを中止しないよう注意してください。

1. パソコンのタスクバーで PC FAX ドライバーのアイコンをダブルクリックします。

2. キャンセルするジョブを選択し、[ドキュメント] メニューをクリックして、[キャンセル] をクリックします。

送信中のファクスをキャンセルする

操作部を使用してファクス送信をキャンセルします。

1. [ファクス] キーを押します。

2. [クリア/ストップ] キーを押します。

PC ファクスの送信設定を変更する

PC ファクスの送信設定を変更します。プロパティは、アプリケーションごとに設定します。

1. [ファイル] メニューの [印刷...] をクリックします。

2. **印刷に使用するプリンターとして PC FAX ドライバーを選択し、［詳細設定］、［印刷設定］など、プロパティを表示するボタンをクリックします。**

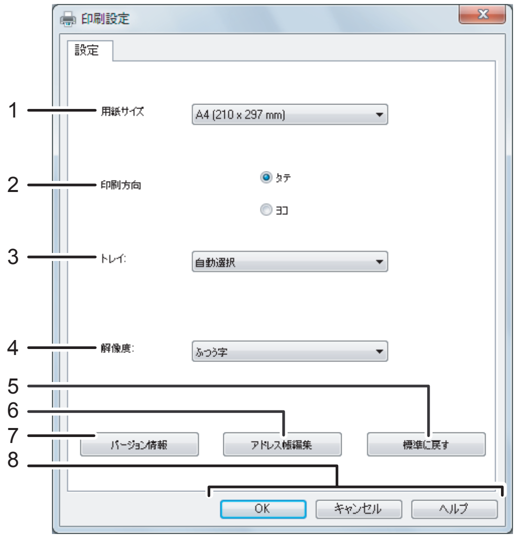
PC FAX ドライバーのプロパティが表示されます。

3. **［設定］タブをクリックします。**

4. **プロパティの設定をして、［OK］をクリックします。**

PC FAX ドライバーのプロパティで設定できる項目

PC FAX ドライバーのプロパティで設定できる項目について説明します。



CHV277

1. **用紙サイズ**

   送信しようとしている文書の用紙サイズを設定します。アプリケーションで用紙サイズが設定されているときはアプリケーションの設定が有効になりますが、アプリケーションで設定されないときは、ここでの設定が有効になります。

2. **印刷方向**

   ページの向きを設定します。

3. **トレイ**

   受信するファクスを印刷する用紙用のトレイを設定します。

   - 自動選択

     原稿に合わせた用紙を自動で選択します。

4. **解像度**

   解像度を設定します。

   - ふつう字

     文字の大きさが普通の原稿に適した設定で読み取ります。

   - 小さな字

文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。

- 細かい字

  文字の大きさが細かい原稿に適した設定で読み取ります。

5. 標準に戻す

すべての設定を初期設定に戻します。

6. アドレス帳編集

［アドレス帳編集］ダイアログボックスを開きます。

7. バージョン情報

PC FAX ドライバーのバージョンを表示します。

8. ボタン

- ［OK］

  設定を保存してダイアログボックスを閉じます。

- ［キャンセル］

  設定を保存しないでダイアログボックスを閉じます。

- ［ヘルプ］

  ヘルプ画面を表示します。

補足

- ここでの設定は、現在のアプリケーションだけに有効です。

PC ファクスのアドレス帳を設定する

PC ファクスのアドレス帳について説明します。PC ファクスのアドレス帳は、パソコンで設定します。PC ファクスのアドレス帳にあて先を登録しておくと、ファクスを送信するときに、あて先をすばやく簡単に指定できます。

PC ファクスのアドレス帳には、個別のあて先と、複数のあて先をまとめたグループを、合わせて最大 150 件登録できます。

補足

- ご使用のパソコンに設定されたユーザーごとに、それぞれ独自のアドレス帳を設定できます。
- 必要に応じて、アドレス帳をインポートできます。

PC ファクスのアドレス帳を開く

PC ファクスのアドレス帳の開き方について説明します。

Windows のアプリケーションからもアドレス帳を開けます。詳しくは、P.227「基本的な PC ファクスの送り方」を参照してください。

重要

- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、ご使用の OS によって異なることがあります。

1. ［スタート］メニューから、［デバイスとプリンター］をクリックします。

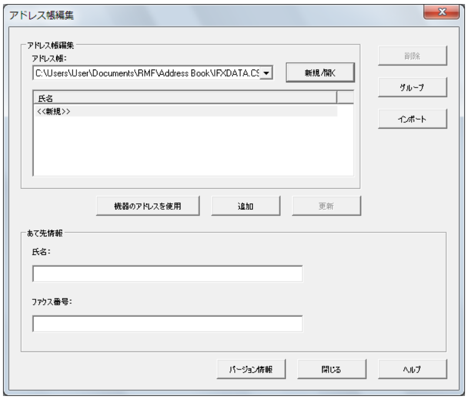
Windows Vista、Windows Server 2008 では、［コントロールパネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］から［プリンタ］をクリックします。

Windows XP では、［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows Server 2003/2003 R2 では、［設定］の［プリンタと FAX］をクリックします。

2. PC FAX ドライバーのアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

3. ［新規/開く］をクリックします。



あて先を登録する

PC ファクスのアドレス帳にあて先を登録します。

1. PC ファクスのアドレス帳を開きます。

2. あて先情報を登録します。

氏名、ファクス番号が登録できます。

3. ［追加］をクリックします。

あて先がアドレス帳に登録されます。

4. ［閉じる］をクリックします。

5. すでに登録されているあて先を変更したときは、確認のダイアログが表示されます。［はい］をクリックすると、変更できます。

変更しないときは、［いいえ］をクリックします。

6

編集画面に戻るときは、[キャンセル] をクリックします。

あて先を修正する

登録したあて先を修正します。

1. **PC ファクスのアドレス帳を開きます。**
2. **修正するあて先を選択します。**
3. **必要に応じて設定を修正します。**
4. **[更新] をクリックします。**
5. **[閉じる] をクリックします。**
6. **あて先を修正すると、確認のダイアログが表示されます。[はい] をクリックすると、修正できます。**

   修正しないときは、[いいえ] をクリックします。

   編集画面に戻るときは、[キャンセル] をクリックします。

グループを登録する

すでに登録されているあて先を、グループにまとめます。

ひとつのグループには、最大 10 件のあて先を登録できます。

1. **PC ファクスのアドレス帳を開きます。**
2. **[グループ] をクリックします。**
3. **[新規] をクリックします。**
4. **[グループ名] にグループ名を入力して、[OK] をクリックします。**

   [アドレス帳] からグループに登録するあて先を選択し、[グループに追加] をクリックします。

   グループからあて先を削除するには、[グループあて先一覧：] から削除するあて先を選択し、[あて先削除] をクリックします。

5. **[閉じる] をクリックします。**
6. **[閉じる] をクリックします。**
7. **あて先を修正すると、確認のダイアログが表示されます。[はい] をクリックすると、修正できます。**

   修正しないときは、[いいえ] をクリックします。

   編集画面に戻るときは、[キャンセル] をクリックします。

グループを修正する

登録したグループを修正します。

1. **PC ファクスのアドレス帳を開きます。**
2. **[新規/開く]をクリックして、編集したいアドレス帳の CSV ファイルをクリックします。**
3. **[グループ] をクリックします。**
4. **あて先を追加するときは、[アドレス帳] からグループに追加するあて先を選択し、[グループに追加] をクリックします。**
5. **グループからあて先を削除するには、[グループあて先一覧：] から削除するあて先を選択し、[あて先削除] をクリックします。**
6. **[閉じる] をクリックします。**
7. **[閉じる] をクリックします。**
8. **あて先を修正すると、確認のダイアログが表示されます。[はい] をクリックすると、修正できます。**

   修正しないときは、[いいえ] をクリックします。

   編集画面に戻るときは、[キャンセル] をクリックします。

あて先やグループを削除する

PC ファクスのアドレス帳に登録されているあて先やグループを削除します。

1. **PC ファクスのアドレス帳を開き、削除するあて先やグループを選択して、[削除] をクリックします。**

   確認のメッセージが表示されます。
2. **[はい] をクリックします。**
3. **[閉じる] をクリックします。**
4. **あて先を修正すると、確認のダイアログが表示されます。[はい] をクリックすると、修正できます。**

   修正しないときは、[いいえ] をクリックします。

   編集画面に戻るときは、[キャンセル] をクリックします。

補足

- グループに登録されているあて先を削除すると、そのあて先はグループからも削除されます。

PC ファクスのアドレス帳をインポートする

CSV 形式のファイルから、アドレス帳のデータをインポートできます。

重要

- ここでは、Windows 7 を例に手順を説明しています。操作手順や画面表示は、ご使用の OS によって異なることがあります。

1. **PC ファクスのアドレス帳を開きます。**
2. **[インポート]をクリックします。**
3. **インポートする CSV ファイルを選択して、[開く]をクリックします。**
4. **[氏名]、[ファクス番号]からインポートする項目を選択します。**
5. **[OK]をクリックします。**
6. **ファイル名を入力し、[保存]をクリックします。**

補足

- アドレス帳のデータは、Unicode か ASCII コード形式で保存された CSV ファイルからインポートできます。
- グループの情報は、インポートできません。
- PC ファクスのアドレス帳の登録件数は、最大 150 件です。インポート中にそれを超えたときは、残りのあて先はインポートされません。
- 機器本体に登録したアドレス帳のデータを PC ファクスのあて先表としてインポートできます。

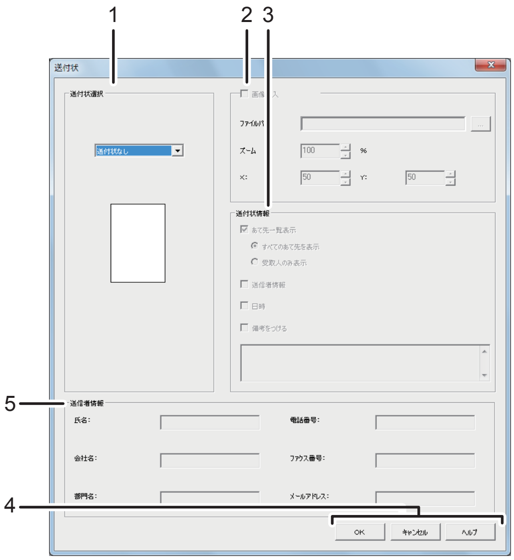
PC ファクスの送付状を編集する

PC FAX ドライバーのプロパティ画面で、PC ファクスの送付状を編集します。

1. **[ファイル]メニューの[印刷...]をクリックします。**
2. **プリンターの一覧から PC FAX ドライバーを選択し、[印刷]をクリックします。**
3. **[送付状を編集]をクリックします。**
4. **送付状の内容を設定して、[OK]をクリックします。**

PC ファクス送付状で設定できる項目

PC ファクス送付状で設定できる項目について説明します。



CHV276

1. 送付状選択

送付状をつけて送信するときにチェックします。

2. 画像挿入

送付状に画像を挿入するときに、画像（ビットマップ形式）を指定します。

- ファイルパス

  画像の参照先を設定します。

- ズーム

  画像のサイズを設定します。画像が挿入場所よりも大きいときは不要な部分をトリミングします。

- X:

  X 軸にそって挿入する画像の位置を移動させます。

- Y:

  Ｙ軸にそって挿入する画像の位置を移動させます。

3. 送付状情報

- あて先一覧表示

  送信先の情報を入力します。

- 送信者情報

  発信元の情報を入力します。

- 日時

  送付状に日付を入力します。

- 備考をつける

  送付状に印刷するメッセージを入力します。メッセージは最大 256 文字まで入力できます。

4. ボタン

- OK
  編集を終了します。
- キャンセル
  編集をキャンセルします。
- ヘルプ
  ヘルプ画面を表示します。

5. 送信者情報

送信者として送信する情報を入力します。空欄にした項目は印刷されません。

- 氏名：
  自分の氏名を入力します。最大 64 文字まで入力できます。
- 会社名：
  自分の会社名を入力します。最大 64 文字まで入力できます。
- 部門名：
  自分の部門名を入力します。最大 64 文字まで入力できます。
- 電話番号
  自分の電話番号を入力します。最大 128 文字まで入力できます。
- ファクス番号
  自分のファクス番号を入力します。最大 128 文字まで入力できます。
- メールアドレス
  自分のメールアドレスを入力します。最大 128 文字まで入力できます。

ファクスを受信する

ファクスの受信に関する機能について説明します。

重要

- 重要な書類を受信するときは、事前に送信者と確認しておくことをお勧めします。

受信モードを選択する

受信モードには［自動切り替え］、［手動受信］、および［自動受信］の 3 つがあります。

インターネットファクスの受信方法について詳しくは、P.241「インターネットファクスを受信する」を参照してください。

重要

- ［自動切り替え］および［手動受信］は、外付け電話機が付いているときに使用できます。

自動切り替えモード

電話がかかってくる相手先に合わせて自動的に電話とファクスを切り替えます。自動切り替えモードには、［電話優先］と［ファクス優先］があります。自動切り替えについて詳しくは、P.238「自動切り替えモード」を参照してください。

手動受信モード

電話がかかってくると外付け電話機のベルが鳴ります。相手がファクスのときは手動でファクスに切り替えます。

自動受信モード

電話がかかってくるとファクスとして自動的に受信します。相手が電話のときは手動で電話に切り替えます。

受信モードは次の表を参考に設定してください。

使用状況	受信モード
電話がかかってくることが多い	手動受信 自動切り替え（電話優先）
電話もファクスも同じくらい	自動切り替え（電話優先） 自動切り替え（ファクス優先）
ファクスを受信することが多い	自動切り替え（ファクス優先） 自動受信
留守番電話機を接続する	自動切り替え（電話優先）

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。

3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して［ファクス設定］を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［▲］または［▼］キーを押して［受信設定］を選択し、［OK］キーを押します。
6. ［▲］または［▼］キーを押して［受信モード切り替え］を選択し、［OK］キーを押します。
7. ［▲］または［▼］キーを押して［自動切り替え］、［手動受信］、［自動受信］から受信モードを選択し、［OK］キーを押します。
8. ［戻る］キーを押します。

自動切り替えモード

電話がかかってくると、相手が電話なのかファクスなのかを判断し、自動的に電話とファクスを切り替えます。

自動切り替えには［電話優先］と［ファクス優先］があります。

ファクスとして使用することが多いときは、［ファクス優先］に設定します。電話として使用することが多いとき、または外付け電話機として留守番電話機を接続するときは［電話優先］に設定します。

電話優先

相手先から電話がかかってくると、設定した回数呼び出しベルを鳴らします。呼び出し中に外付け電話機の受話器を取ると会話できます。

呼び出しベルがなっていても受話器を取らないでそのままにしておくと、自動的にファクスに切り替わります。

ファクス優先

外付け電話機のベルを鳴らさずに受信します。夜間など静かに受信するときに便利です。

相手先がファクスのときは自動的に受信します。

相手先が電話のときは、設定した回数呼び出しベルを鳴らします。呼び出し中に受話器を取って会話をしてください。呼び出しベルがなっていても受話器を取らないでそのままにしておくと、自動的にファクスに切り替わります。

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。
3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して［ファクス設定］を選択し、［OK］キーを押します。

5. [▲] または [▼] キーを押して [受信設定] を選択し、[OK] キーを押します。

6. [▲] または [▼] キーを押して [受信モード自動切替] を選択し、[OK] キーを押します。

7. [▲] または [▼] キーを押して [電話優先] か [ファクス優先] を選択し、[OK] キーを押します。

8. ベルを鳴らす回数をテンキーで入力し、[OK] キーを押します。

ベルを鳴らす回数は 1 回から 29 回の範囲で設定できます。

間違えたときは、[クリア/ストップ] キーを押します。

9. [戻る] キーを押します。

補足

- ファクス優先モードにすると、相手から電話があると呼び出し中でも電話料金がかかります。あらかじめ相手先に伝えてください。

留守番電話機を接続する

外付け電話機として留守番電話機を接続できます。このとき受信モードは自動切り替えモード（電話優先）に設定してください。

電話がかかってくると留守番電話機が応答します。

- 相手先が自動送信ファクスのときは、応答メッセージの最中か応答メッセージのあとに「ポー」というファクス信号音を検出すると、自動的にファクスに切り替わります。

  留守番電話機に音のない空白が録音され、録音件数に加算されることがあります。

- 相手先が電話のときは、相手からのメッセージを留守番電話機に録音します（通常の留守番電話機と同じです）。
- 留守番電話機を使用していて自動切り替え機能がうまくはたらかないときは、留守番電話機の応答メッセージのはじめの 4 秒間を無音状態にしてください。
- 留守番電話機によってはうまく動作しないことがあります。
- 留守番電話機を留守録セットしたときは、留守番電話機側で設定した回数だけベルが鳴ったあと、相手先とつながります。留守番電話機のベルを鳴らす回数は呼び出しベルの設定より少なくしてください。

手動受信モード

手動受信モードでファクスを受信する基本的な操作について説明しています。

手動でファクスを受信する

1. 電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。

通常の通話状態になります。

2. ファクス音が聞こえたら、[ファクス] キーを押し、[白黒スタート] キーを押します。

3. 受話器を置きます。

ファクスへ切り替える

ファクスと電話の切り替えを外付け電話機からできるようにするかどうかを [ファクス設定] の [パラメーター設定] (スイッチ 01 ビット 7) で設定できます。

[パラメーター設定] については、P.301「パラメーター設定」を参照してください。

1. 電話がかかってきたら、外付け電話機の受話器を上げます。

2. 外付け電話機の [2] を押します。

   使用している回線がダイヤル回線のときは 1 回、プッシュ回線のときは 2 回押してください。

3. 受話器を置きます。

補足

- リモート切り替えは電話機によっては使用できないことがあります。

自動受信モード

受信モードが [自動受信] のときは、ファクスのときは自動受信されます。電話のときは外付け電話機から呼び出し音が鳴ります。

電話へ切り替える

本体内部のスピーカーから人の声が聞こえるときは、相手が会話をしようとしています。そのときは次の手順で電話に切り替え、相手と会話します。

- 手動切り替え

  外付け電話機の受話器を上げて、[ファクス] キーを押して、[クリア/ストップ] キーを押します。

- リモート切り替え

  外付け電話機の [2] を、使用している回線がダイヤル回線のときは 1 回、プッシュ回線のときは 2 回押してください。ファクスと電話の切り替えをハンドセットまたは外付け電話機からできるようにするかどうかを [ファクス設定] の [パラメーター設定] (スイッチ 01 ビット 7) で設定できます。[パラメーター設定] については、P.301「パラメーター設定」を参照してください。

補足

- リモート切り替えは、電話機によっては使用できないことがあります。

インターネットファクスを受信する

インターネットファクスを自動的に受信するか、または手動で受信するかを設定できます。自動的に受信するには、定期的にメール（インターネットファクス）をチェックするように本機を設定します。

重要

- HTML 形式のメールは受信できないことがあります。

自動的に受信する

ファイル転送設定で［メール受信間隔時間設定］を有効に設定すると、［メール受信間隔時間設定］で設定した間隔で本機が自動的に POP3 サーバーへ接続し、新しいメールをチェックします。新しいメールがあったら、自動的にダウンロードします。

手動で受信する

［メール受信間隔時間設定］を無効に設定しているときは、操作部を使って手動で POP3 サーバーに接続し、新しいメールをチェックします。

1. **［ファクス］キーを押します。**
2. **［拡張送信］を押します。**
3. **［▲］または［▼］キーを押して［通信情報］を選択し、［OK］キーを押します。**
4. **［▲］または［▼］キーを押して［手動メール受信］を選択し、［OK］キーを押します。**
5. **［白黒スタート］キーを押します。**
6. **確認画面で［確認］を押します。**

   新しいメールがあったら、ダウンロードを開始します。
7. **［戻る］キーを押します。**

補足

- メールの受信に失敗したときは、本機から送信者へエラー通知を自動的に送信します。
- ［自動メール通知］が無効のとき、またはエラー通知の送信に失敗したときは、エラーレポートが印刷されます。

受信したファクスを転送する

受信したファクスをあらかじめ登録してある相手先（転送先）へ転送します。

1. **［初期設定］キーを押します。**

2. [ログイン] を押します。

3. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。

4. [▲] または [▼] キーを押して [ファクス設定] を選択し、[OK] キーを押します。

5. [▲] または [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。

6. [▲] または [▼] キーを押して [メモリー転送] を選択し、[OK] キーを押します。

7. [▲] または [▼] キーを押して [する (印刷する)] か [する (印刷しない)] を選択し、[OK] キーを押します。

- [する (印刷する)]:転送後、受信したファクスを印刷します。
- [する (印刷しない)]:転送します。

8. アドレス帳から転送先を選択します。

参照

- アドレス帳からあて先を選択する方法は、P.218「あて先を指定する」を参照してください。

7. 設定・調整メニュー

本機の設定や調整をするメニュー項目を説明します。

設定・調整項目一覧

カウンター

出力枚数の確認ができます。

設定項目
フルカラートータル
白黒トータル
プリンター：フルカラー
レベルカラー

P.248「カウンター」

メンテナンス

印刷品質の調整ができます。

設定項目
ノズルチェックパターン印刷
ヘッドクリーニング
リフレッシング
ヘッド位置調整
印刷位置調整
用紙送り量調整
乾燥待ち：片面
乾燥待ち：両面
通紙テスト
結露除去
プリントヘッド移動
廃インクボックス
設定値初期化

P.249「メンテナンス」

システム設定

システムの設定ができます。

設定項目
基本設定
用紙設定
時刻タイマー設定
インターフェース設定
ファイル転送設定
管理者用設定

P.263「システム設定」

プリンター設定

プリンターの設定ができます。

設定項目
テスト印刷
I/F 切替え時間
用紙サイズエラー表示

P.288「プリンター設定」

コピー設定

コピーの設定ができます。

設定項目
自動濃度優先
原稿種類設定
リミットレス給紙
ジョブ終了通知
変倍率設定
優先変倍率設定
自動濃度の濃度
コピーサイズエラー表示

P.290「コピー設定」

スキャナー設定

スキャナーの設定ができます。

設定項目
読み取り設定
宛先リスト設定
送信設定

P.292「スキャナー設定」

ファクス設定

ファクスの設定ができます。

設定項目
基本設定/調整
受信設定
メール設定
管理者用設定
国設定

P.296「ファクス設定」

表示言語切替

ディスプレイに表示する言語の設定ができます。

設定項目
日本語
英語（英）

P.314「表示言語設定」

ユーザーコード

ユーザーコードごとに本機の使用者や機能を制限できます。

設定項目
認証設定
登録件数確認
ユーザーコード登録
設定変更
ユーザーコード削除

設定項目
管理パスワード変更

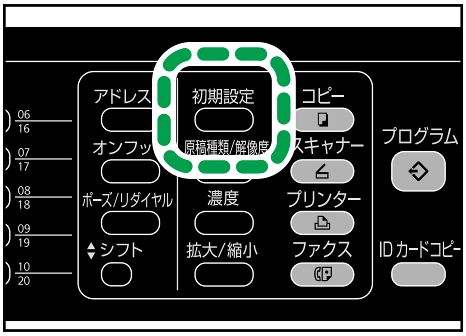
P.315「ユーザーコード」

初期設定の変更

重要

- 初期設定を変更するときは、ログインする必要があります。

1. [初期設定] キーを押します。



CHV220

2. [▲] または [▼] キーを押して変更したい初期設定を選択し、[OK] キーを押します。

   カウンターを確認するときは、[カウンター] を選択します。

   色ずれの補正や階調の補正をするときは、[メンテナンス] を選択します。

   システム設定を変更するときは、[システム設定] を選択します。

   プリンター設定を変更するときは、[プリンター設定] を選択します。

   コピー設定を変更するときは、[コピー設定] を選択します。

   スキャナー設定を変更するときは、[スキャナー設定] を選択します。

   ファクス設定を変更するときは、[ファクス設定] を選択します。

   画面に表示する言語を英語に切り替えるときは、[表示言語切替] を選択します。

3. [▲] または [▼] キーを押して設定する項目を選択し、[OK] キーを押します。

4. 画面のメッセージにしたがって初期設定値を変更し、[OK] キーを押します。

5. [戻る] キーを押します。

補足

- 初期設定画面で［初期設定］キーと［#］キーを同時に押し、［はい］を選択すると、［システム設定］と［メンテナンス］の設定項目が初期値に戻ります（年月日設定、時刻設定、カウンター表示／印刷を除く）。

ログインのしかた

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。
3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。

   初めてログインするときは、パスワードは「000000」とします。パスワードの設定方法は、P.280「管理者用設定」を参照してください。

カウンター

これまでに出力した枚数を確認できます。

表示

［カウンター］を選択すると以下の項目の出力枚数が確認できます。

- フルカラートータル

  カラーで使用した枚数が表示されます。

- 白黒トータル

  白黒で使用した枚数が表示されます。

- プリンター：フルカラー

  カラー印刷で使用した枚数が表示されます。

- レベルカラー*

  レベルカラー印刷で使用した枚数が表示されます。

  * レベルカラーの確認方法については、サービス実施店に連絡してください。

印刷

出力枚数一覧を印刷します。

7

補足

- 白黒の原稿を印刷したときは、印刷カラーの設定に関係なくブラックとしてカウントされます。

出力枚数一覧を印刷する

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。
3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して、［カウンター］を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［印刷］を押します。
6. ［白黒スタート］または［カラースタート］キーを押します。

   出力枚数一覧が印刷されます。

メンテナンス

印刷品質に関する調整や設定ができます。

ノズルチェックパターン印刷

テストパターンを印刷し、「ノズル抜け」の発生を確認します。

「ノズル抜け」とは、プリントヘッドのインクふき出し口（ノズル）が目づまりを起こし、インクが正しく吐出されない現象です。発生すると印刷品質が低下します。

ヘッドクリーニング

プリントヘッドをクリーニングします。ヘッドクリーニングは、特定の色が出ない、かすれるなどの現象を解消します。

ヘッドクリーニングはインクを消費します。

リフレッシング

ヘッドクリーニングよりも強力に、プリントヘッドをクリーニングします。

インクの消費量はヘッドクリーニングよりも多くなるので、ヘッドクリーニングを数回繰り返しても効果が得られなかったときにリフレッシングをしてください。

ヘッド位置調整

プリントヘッドの位置を調整します。

縦方向の線がずれて印刷されたり、色がぼやけて印刷されるなどの現象を解消します。

印刷位置調整

用紙の印刷開始位置を、給紙トレイごとに調整します。

用紙送り量調整

横方向の線がずれて印刷される、イメージにムラがでる、一定間隔で白や黒のすじがでるなどの現象を解消します。

乾燥待ち：片面

印刷した紙が乾くように乾燥待ち時間を設定します。印刷した紙が乾燥するのに十分な時間を設定する必要があります。待ち時間は 1 秒から 20 秒の間で設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

乾燥待ち：両面

両面印刷した紙が乾くように乾燥待ち時間を設定します。両面印刷した紙が乾燥するのに十分な時間を設定してください。待ち時間は 1 秒から 20 秒の間で設定できます。

- する

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

通紙テスト

用紙を印刷しないで 1 枚排紙します。

結露除去

用紙を印刷しないで 3 枚排紙し、機械内部の湿気を取り除きます。

プリントヘッド移動

用紙がつまったときに、プリントヘッドを移動して右端につまった紙片をとりやすくします。作業終了後、電源を入れ直し、「ノズルチェック」テストパターンを印刷します。

廃インクボックス

廃インクボックスの空き容量を表示します。新品の状態で 100%です。

設定値初期化

［ヘッド位置調整］、［印刷位置調整］、［用紙送り量調整］で設定した調整値を、それぞれの初期値に戻します。

補足

- 初期値の変更方法については、P.246「初期設定の変更」を参照してください。

7

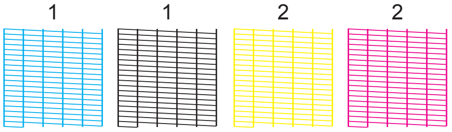
ノズルチェック

テストパターンを印刷して、ノズル抜けが発生していないか確認します。

1. **［初期設定］キーを押します。**
2. **［ログイン］を押します。**
3. **ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。**
4. **［▲］または［▼］キーを押して、［メンテナンス］を選択し、［OK］キーを押します。**
5. **［▲］または［▼］キーを押して、［ノズルチェックパターン印刷］を選択し、［OK］キーを押します。**
6. **［白黒スタート］キーまたは［カラースタート］キーを押します。**

   テストパターンが印刷されます。
7. **［終了］を押します。**
8. **［戻る］キーを押します。**
9. **テストパターンの印刷結果を確認します。**

   テストパターンの印刷結果



CHU029

テストパターンでノズル抜けが発生したヘッドとその番号を確認します。

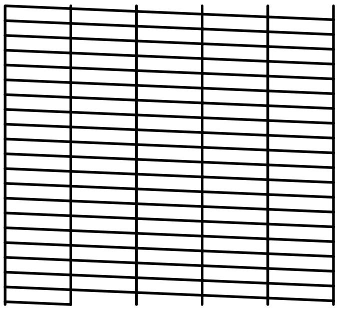
テストパターンの各色の上に記載されている番号がヘッド番号に対応しています。

ブラックとシアンは「ヘッド 1」です。

イエロとマゼンタは「ヘッド 2」です。

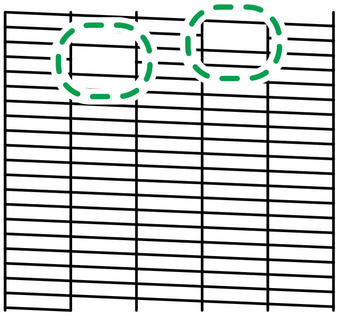
ノズル抜けが発生しているヘッドは以下のイラストを参考に確認してください。

正常な印刷結果



CFT168

ヘッドにてノズル抜けが発生しているとき



CFT169

ノズル抜けが発生しているときは、ヘッドクリーニングをしてください。P.252「ヘッドクリーニング」を参照してください。

ヘッドクリーニングをしても解決しないときはリフレッシングをしてください。P.253「リフレッシング」を参照してください。

ヘッドクリーニング

プリントヘッドをクリーニングします。ヘッドクリーニングは、特定の色が出ない、かすれるなどの現象を解消します。

ヘッドクリーニングはインクを消費します。

SG カートリッジが空のときは、ヘッドクリーニングを実行する前に SG カートリッジを交換してください。SG カートリッジを交換したあとは、自動的にヘッドクリーニングが始まります。

重要

- メンテナンス中に電源を切らないでください。万一、途中で電源が切れてしまったときは、最初からやり直してください。

1. **［初期設定］キーを押します。**
2. **［ログイン］を押します。**
3. **ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。**
4. **［▲］または［▼］キーを押して、［メンテナンス］を選択し、［OK］キーを押します。**
5. **［▲］または［▼］キーを押して、［ヘッドクリーニング］を選択し、［OK］キーを押します。**
6. **［▲］または［▼］キーを押して、対象のヘッドを選択します。**
7. **［▶］キーでチェックを入れ、［OK］キーを押します。**

   すべてのヘッドが対象のときは「すべてのヘッド」を選択します。

   ブラックとシアンのヘッドが対象のときは「ヘッド 1」を選択します。

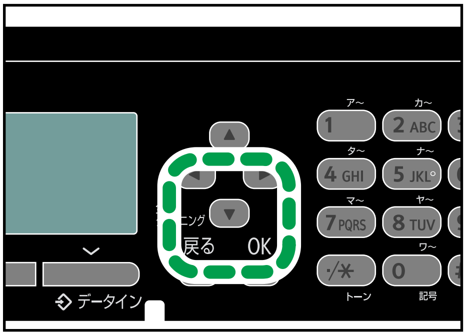
   イエロとマゼンタのヘッドが対象のときは「ヘッド 2」を選択します。
8. **［はい］を押します。**

   ヘッドクリーニングが始まります。
9. **［確認］を押します。**
10. **［戻る］キーを押します。**

ワンタッチクリーニング

オールヘッド（全色）クリーニングは、ワンタッチでできます。

1. [▼] キーを 3 秒以上長押しします。



CHV218

2. [はい] を押します。

   ヘッドクリーニングが始まります。

3. [確認] を押します。

リフレッシング

ヘッドクリーニングよりも強力に、プリントヘッドをクリーニングします。インクの消費量はヘッドクリーニングよりも多くなるので、ヘッドクリーニングを数回繰り返しても効果が得られなかったときにリフレッシングをしてください。

SG カートリッジが空のときは、リフレッシングを実行する前に SG カートリッジを交換してください。SG カートリッジを交換したあとは、自動的にヘッドクリーニングが始まります。

★重要

- メンテナンス中に電源を切らないでください。万一、途中で電源が切れてしまったときは、最初からやり直してください。

1. [初期設定] キーを押します。
2. [ログイン] を押します。
3. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して、[メンテナンス] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] または [▼] キーを押して、[リフレッシング] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] または [▼] キーを押して、対象のヘッドを選択します。
7. [▶] キーでチェックを入れ、[OK] キーを押します。

   すべてのヘッドが対象のときは「すべてのヘッド」を選択します。

7

ブラックとシアンのヘッドが対象のときは「ヘッド 1」を選択します。

イエロとマゼンタのヘッドが対象のときは「ヘッド 2」を選択します。

8. [はい] を押します。

リフレッシングが始まります。

9. [確認] を押します。

10. [戻る] キーを押します。

ヘッド位置調整

プリントヘッドの位置を調整します。縦方向の線がずれて印刷されたり、色がぼやけて印刷されるときに調整してください。

ヘッド位置は、解像度ごとに調整します。それぞれの解像度（「高速」、「標準」、「高画質」、「封筒」）でテストパターンを出力し調整値を確認してください。

テストパターンの行が複数あるときは、すべての行の調整値を確認し、それぞれヘッド位置の調整をします。調整値が「0」のときは、調整は必要ありません。すべての行の調整値が「0」になるように調整してください。

1. [初期設定] キーを押します。

2. [ログイン] を押します。

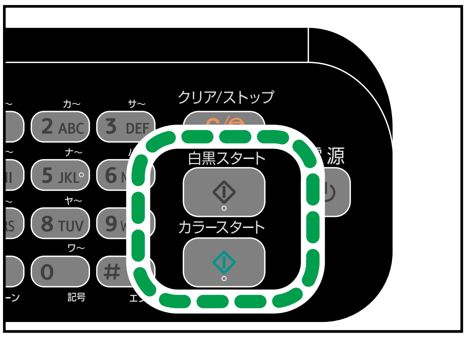
3. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。

4. [▲] または [▼] キーを押して、[メンテナンス] を選択し、[OK] キーを押します。

5. [▲] または [▼] キーを押して、[ヘッド位置調整] を選択し、[OK] キーを押します。

6. [▲] または [▼] キーを押して、対象の解像度を選択し、[OK] キーを押します。

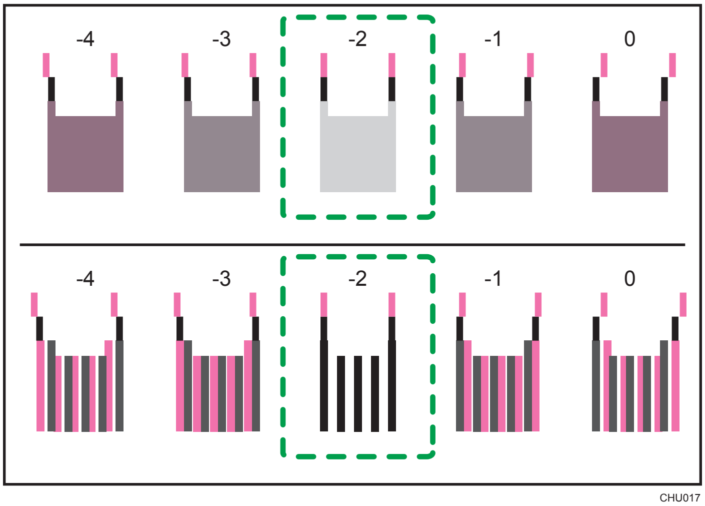
7. [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。



CHV204

「ヘッド位置調整」テストパターンが印刷されます。

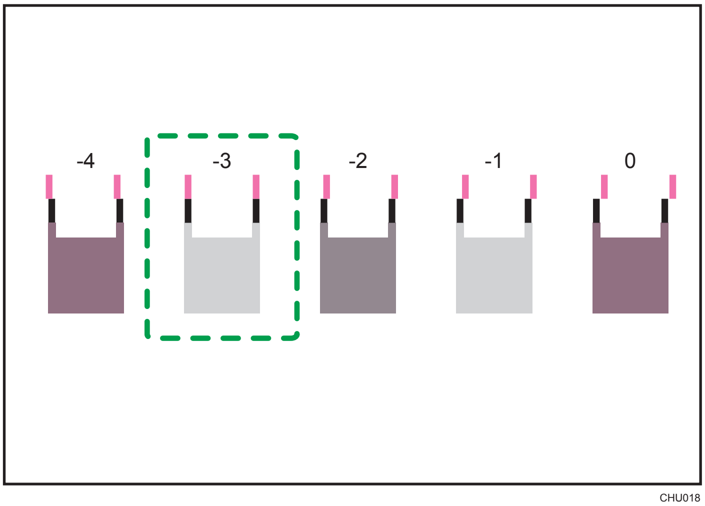
8. テストパターンの印刷結果から、四角の色がもっとも薄い（白に近い）もの、または 2 色の線がぴったり重なっているものを選択し、調整値を確認します。



四角は 2 色（同色のこともあります）の線の集まりでできており、線の重なり度合いにより、線と線の隙間（白）が塗りつぶされて色が濃く見えます。

このイラストでは、調整値は「–2」となります。調整値の確認は各項目で必要です。

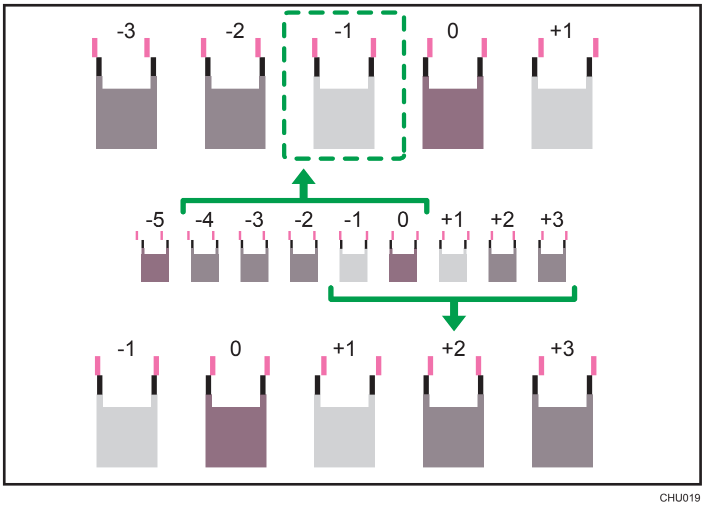
- ひとつに絞れないときは、四角の左右の線がよりまっすぐなものを選択します。



垂直の線は上下 2 本の線できています。ヘッド位置が合っていないと線がずれて見えます。

- それでも絞れないときは、四角を中心として左右に±1、または±2 の位置にある線のずれかたを確認し、線のずれが左右対称になっている四角を選択します。

このイラストでは、調整値は「–1」となります。



9. ［調整］を押します。

［高画質］、［封筒］は手順 11 へ進みます。

10. 調整が必要な項目を選択し、［OK］キーを押します。

11. 手順 8 で確認した調整値を入力し、［OK］キーを押します。

12. ［終了］を押します。

13. ［戻る］キーを押します。

7

印刷位置調整

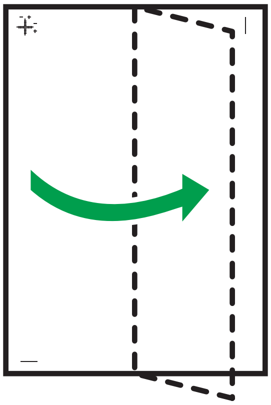
テストパターンを印刷して、用紙の印刷開始位置を給紙トレイごとに調整します。

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。
3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して、［メンテナンス］を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［▲］または［▼］キーを押して、［印刷位置調整］を選択し、［OK］キーを押します。
6. ［▲］または［▼］キーを押して、印刷位置を調整する給紙トレイを選択し、［OK］キーを押します。
7. ［白黒スタート］キーまたは［カラースタート］キーを押します。

   テストパターンが印刷されます。

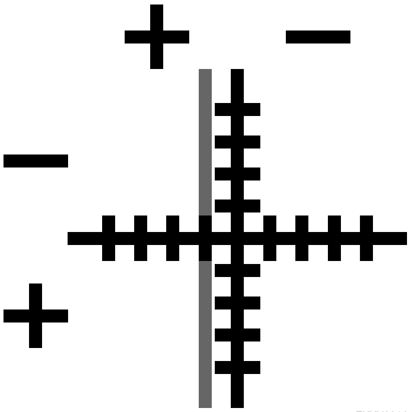
   テストパターンの印刷結果から、最適な調整値を確認します。

8. テストパターンを印刷した用紙の角を合わせ、縦に二つ折りにします。



CFT069

9. 二つ折りにした用紙を透かしてみて、印刷された十字と縦線のずれが調整値になります。縦線が十字の中心から+方向に目盛り 1 つ分ずれていたときの［主走査］の調整値は［+1.0］になります。



ZKKX021J

10. 同様にテストパターンを印刷した用紙を横に二つ折りにして、［副走査］の調整値を確認してください。

    ［主走査］と［副走査］の調整値は［0.1］刻みです。

11. ［調整］を押します。

12. ［▲］または［▼］キーを押して、［主走査］に、手順 9 で確認した調整値（–4.0〜+4.0）を入力し、［OK］キーを押します。

13. ［▲］または［▼］キーを押して、［副走査］に、手順 10 で確認した調整値（–4.0〜+4.0）を入力し、［OK］キーを押します。

14. ［終了］を押します。

15. ［戻る］キーを押します。

用紙送り量調整

用紙の送り量を調整します。横方向の線がずれて印刷される、イメージにムラがでる、一定間隔で白や黒のすじがでるときに調整してください。

1. ［初期設定］キーを押します。

2. ［ログイン］を押します。

3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。

4. ［▲］または［▼］キーを押して、［メンテナンス］を選択し、［OK］キーを押します。

5. ［▲］または［▼］キーを押して、［用紙送り量調整］を選択し、［OK］キーを押します。

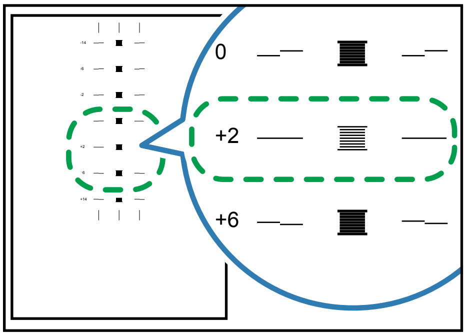
6. ［白黒スタート］キーまたは［カラースタート］キーを押します。

テストパターンが印刷されます。

7

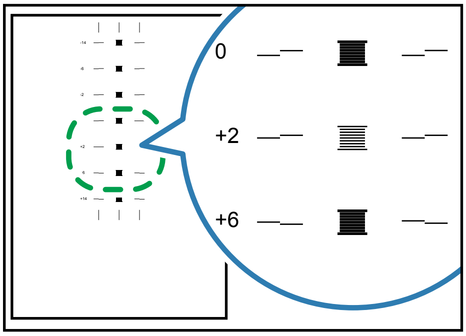
7. テストパターンの印刷結果から、最適な調整値を確認します。

四角の色がもっとも薄く、左右にある横線にずれがないパターンの左側の数値が最適な調整値です。四角の色がもっとも薄く、左右にある横線にずれがないパターンの左側の数値が「+2」のときは、調整値は［+2］になります。



CFT161

もっとも色の薄い四角であっても左右にある横線がずれているときは、その上または下のパターンで横線が逆方向にずれているものを参考にして、調整値を決めてください。たとえば、「+2」の四角の色がもっとも薄く、「+6」の左右にある横線が「+2」とは逆方向にずれているときは、調整値はずれの程度に応じて［+3］～［+5］になります。調整の終了後、もう一度用紙送り量調整をして、最適な調整値に設定されているか確認してください。



CFT162

8. [調整] を押します。

9. 手順 7 で確認した調整値（–14〜+14）を入力し、[OK] キーを押します。

10. [終了] を押します。

11. [戻る] キーを押します。

補足

- 調整しても黒すじ、白すじが発生するときは、調整値を 1 ずつ増減して再度「調整」をしてください。
  - 黒すじが発生するときは調整値を+方向に設定してください。
  - 白すじが発生するときは調整値を–方向に設定してください。
- 黒すじ、白すじが解消されるまで、「調整」を繰り返してください。

結露除去

「サービスコール（57000）使用できません。電源を入れ直してください。」というメッセージが表示されたときは、機械内部に結露が発生している可能性があります。結露除去を実行して、結露を除去してください。P.432「プリンターエラー」を参照してください。

1. [初期設定] キーを押します。

2. [ログイン] を押します。

3. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。

4. [▲] または [▼] キーを押して、[メンテナンス] を選択し、[OK] キーを押します。

5. [▲] または [▼] キーを押して、[結露除去] を選択し、[OK] キーを押します。

白紙が 3 枚排紙されます。

6. 電源を入れ直します。

エラーメッセージが表示されなければ、結露状態が解消されています。

補足

- エラーが解除されないときは、電源を切った状態で本機を 1 時間放置します。そのあと、電源を入れ直してください。それでも直らないときは、サービス実施店に連絡してください。P.456「お問い合わせ先のご案内」を参照してください。
- 排紙された白紙にインクが付着しているときは、サービス実施店に連絡してください。P.456「お問い合わせ先のご案内」を参照してください。

プリントヘッド移動

つまった用紙を取り除いたあと、スキャナーユニットカバーを開けた内部の右端に、小さな紙片が残ってしまったときは、プリントヘッドを移動して紙片を取り除いてください。作業終了後は、電源を入れ直し「ノズルチェック」テストパターンを印刷してノズル抜けが発生していないか確認してください。

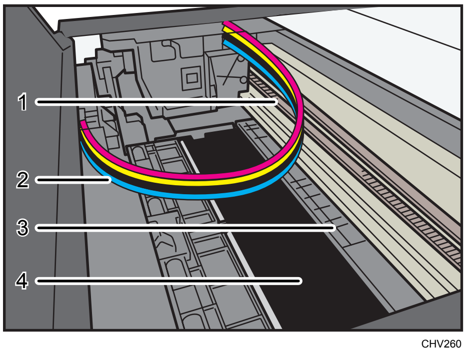
⚠注意



- 機械動作中にカバーを開け、機械内部に手や指を入れないでください。手や指をはさまれ、けがの原因になります。

重要

- プリントヘッドを移動させて、電源を切ったあとは必ず電源を入れ直してください。プリントヘッドを移動したまま放置しないでください。
- 紙片以外のつまった用紙を取り除き、エラーメッセージが消えたことを確認してからこの操作をしてください。
- 歯付きゴムベルト、インクチューブ、黒い紙押さえ板、搬送ベルトには手を触れないでください。また、服の袖などをインクチューブおよびケーブル類にひっかけないように注意してください。



1. 歯付きゴムベルト
2. インクチューブ
3. 黒い紙押さえ板

4. 搬送ベルト

- カートリッジエンドのときは動作しません。SG カートリッジを交換してからこの操作をしてください。
- つまった用紙を取り除くとき、先のとがったものは使用しないでください。故障の原因となります。

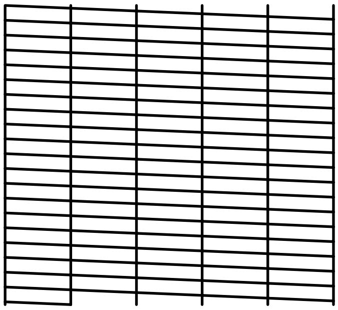
1. スキャナーユニットが閉まっていることを確認します。
2. [初期設定] キーを押します。
3. [ログイン] を押します。
4. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。
5. [▲] または [▼] キーを押して、[メンテナンス] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] または [▼] キーを押して、[プリントヘッド移動] を選択し、[OK] キーを押します。

   自動で電源が切れます。
7. スキャナーユニットを開けます。
8. つまった紙片を取り除きます。

   破片は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。
9. 紙片がないことを確認し、スキャナーユニットを閉じます。
10. [電源] キーを押します。
11. [初期設定] キーを押します。
12. [ログイン] を押します。
13. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。
14. [▲] または [▼] キーを押して、[メンテナンス] を選択し、[OK] キーを押します。
15. [▲] または [▼] キーを押して、[ノズルチェックパターン印刷] を選択し、[OK] キーを押します。
16. [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。

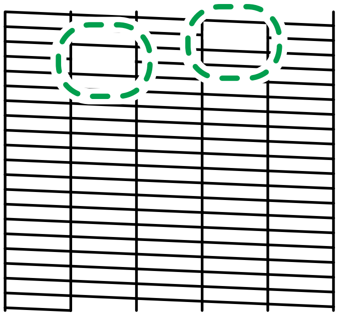
    テストパターンが印刷されます。
17. [戻る] キーを押します。
18. テストパターンの印刷結果を確認します。

    正常な印刷結果



CFT168

ヘッドにてノズル抜けが発生しているとき



CFT169

ノズル抜けが発生しているときは、ヘッドクリーニングをしてください。P.252「ヘッドクリーニング」を参照してください。

システム設定

システム設定について説明します。

基本設定

［システム設定］にある［基本設定］の各種項目について説明します。

定型文字列登録／変更／消去

各種設定で文字入力をするときによく使用する文字列を登録します。

「.co.jp」など、よく使われる文字列をあらかじめ登録しておくと、文字入力するときに便利です。

定型文字列は 20 件まで登録できます。

ブザー音

キーを押したときのブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

- 最小
- 小
- 中
- 大
- しない

工場出荷時の設定：**中**

ウォームアップ通知音（コピー）

予熱を解除したときや電源を入れたときに、コピーできるようになったことを知らせる通知音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効**

「ブザー音」を［しない］に設定したときは、「ウォームアップ通知音」を［有効］に設定しても、ウォームアップ通知音は鳴りません。

優先機能

電源を入れた直後やシステムオートクリアされたときに、優先的に表示する機能を設定します。

- コピー
- ファクス
- プリンター

7

- スキャナー

工場出荷時の設定：**コピー**

画面コントラスト調整

画像の明るさを調整します。

工場出荷時の設定：0（7 段階調整の真中）

キーリピート設定

操作部のキーを押しつづけたときに、操作をリピートするかしないかを設定します。

- リピートしない
- 通常
- リピート時間：中
- リピート時間：長

工場出荷時の設定：**通常**

mm/inch 切替

mm 表示にするか inch 表示にするかを切り替えることができます。

- mm
- inch

工場出荷時の設定：mm

補足

- 初期値の変更方法については P.246「初期設定の変更」を参照してください。

用紙設定

［システム設定］にある［用紙設定］の各種項目について説明します。

重要

- **実際にセットした用紙のサイズと「用紙サイズ」で設定したサイズが異なるときは、サイズが正しく判断されません。このときは、用紙がつまったり画像がずれてコピーされることがあります。**

用紙サイズ：トレイ 1

給紙トレイ 1 にセットする用紙サイズを設定します。

- 設定できる用紙サイズ

  A4▯、A5▭、A6▯、B5▯、$8^1/_2 \times 11$▯、$8^1/_2 \times 5^1/_2$▭、$7^1/_4 \times 10^1/_2$▯、16K▯、ハガキ▯、往復ハガキ▯、長形 3 号▯、長形 4 号▯、洋形 4 号▯、Com10▯、Monarch E.▯、C6Env.▯、C5Env.▯、DL Env.▯、不定形サイズ

工場出荷時の設定：**A4▯**

「不定形サイズ」を選択するときは、用紙サイズを横：88.0〜216.0 mm、縦：139.7〜297.0 mm の範囲でテンキーで入力します。

用紙サイズ：トレイ 2-3

給紙トレイ 2-3 にセットする用紙サイズを設定します。

- 設定できる用紙サイズ

  A4▯、A5▭、A6▯、B5▯、8$^1/_2$ × 11▯、8$^1/_2$ × 14▯、7$^1/_4$ × 10$^1/_2$▯、8 × 13▯、8$^1/_2$ × 13▯、8$^1/_4$ × 13▯、16K▯、不定形サイズ

工場出荷時の設定：**A4▯**

「不定形サイズ」を選択するときは、用紙サイズを横：105.0〜216.0 mm、縦：148.0〜356.0 mm の範囲でテンキーを使って入力します。

用紙サイズ：手差し

手差しトレイにセットする用紙サイズを設定します。

定形サイズまたは不定形サイズを選択し、設定できます。

- 設定できる用紙サイズ

  A4▯、A5▭、A6▯、B5▯、8$^1/_2$ × 11▯、8$^1/_2$ × 14▯、8$^1/_2$ × 5$^1/_2$▭、7$^1/_4$ × 10$^1/_2$▯、8 × 13▯、8$^1/_2$ × 13▯、8$^1/_4$ × 13▯、16K▯、ハガキ▯、往復ハガキ▯、長形 3 号▯、長形 4 号▯、洋形 4 号▯、Com10▯、Monarch E.▯、C6Env.▯、C5Env.▯、DL Env.▯、不定形サイズ

工場出荷時の設定：**A4▯**

「不定形サイズ」を選択するときは、用紙サイズを横：55.0〜216.0 mm、縦：127.0〜1259.4 mm の範囲でテンキーで入力します。

用紙種類：トレイ 1

トレイ 1 にセットする用紙種類を設定します。

- 普通紙
- HG 普通紙
- 光沢紙
- IJ ハガキ
- ハガキ
- 封筒

工場出荷時の設定：**普通紙**

用紙種類：トレイ 2-3

トレイ 2-3 にセットする用紙種類を設定します。

- 普通紙
- HG 普通紙
- 光沢紙

工場出荷時の設定：**普通紙**

用紙種類：手差し

手差しトレイにセットする用紙種類を設定します。

- 普通紙
- HG 普通紙
- 光沢紙
- IJ ハガキ
- ハガキ
- 封筒
- 厚紙

工場出荷時の設定：**普通紙**

給紙トレイ優先設定：コピー

コピー機能で、優先する給紙トレイを設定します。

- トレイ 1
- トレイ 2
- トレイ 3
- 手差しトレイ

工場出荷時の設定：**トレイ 1**

給紙トレイ優先設定：プリンター

プリンター機能で、優先する給紙トレイを設定します。

- トレイ 1
- トレイ 2
- トレイ 3
- 手差しトレイ

工場出荷時の設定：**トレイ 1**

自動トレイ選択：トレイ 1

［有効］に設定すると［自動トレイ選択］の対象になります。［自動トレイ選択］とはプリンタードライバーから指定された用紙サイズ、用紙種類に応じて、給紙トレイが自動的に選択される機能です。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効**

自動トレイ選択：トレイ 2-3

［有効］に設定すると［自動トレイ選択］の対象になります。［自動トレイ選択］とはプリンタードライバーから指定された用紙サイズ、用紙種類に応じて、給紙トレイが自動的に選択される機能です。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効**

自動トレイ選択：手差し

［有効］に設定すると［自動トレイ選択］の対象になります。［自動トレイ選択］とはプリンタードライバーから指定された用紙サイズ、用紙種類に応じて、給紙トレイが自動的に選択される機能です。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効**

補足

- 初期値の変更方法については、P.246「初期設定の変更」を参照してください。
- A5▯、B6▯の用紙サイズを設定したいときは、サービス実施店に連絡してください。

時刻タイマー設定

［システム設定］にある［時刻タイマー設定］の各種項目について説明します。

自動電源オフ移行時間

一定時間操作しないと、節電のために自動的に電源が切れます。これを「オートオフ」といいます。

オートオフ機能が働くまでの時間を設定します。

［システム設定］にある［管理者用設定］の「自動電源オフ」設定が「する」になっているときに設定できます。「自動電源オフ」の初期値は「しない」です。

工場出荷時の設定：**60 分**

「1-240」（1 分単位）の範囲で時間をテンキーで入力します。

低電力移行時間

低電力状態になるまでの時間を設定します。

工場出荷時の設定：**15 分**

「1-240」（1 分単位）の範囲で時間をテンキーで入力します。

システムオートリセット時間設定

一定時間操作しないと、「優先機能」で設定した機能の画面に自動的に切り替えたりする機能を「システムリセット」といいます。システムリセット機能が働くまでの時間を設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効：60 秒**

「有効」を選択したときは、「10-999」（1 秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

コピーオートリセット時間設定

コピー機能が初期状態になるまでの時間を設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効：60 秒**

「有効」を選択したときは、「10-999」（1 秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

ファクスオートリセット時間設定

ファクス機能が初期状態になるまでの時間を設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効：60 秒**

「有効」を選択したときは、「10-999」（1 秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

プリンターオートリセット時間設定

プリンター機能が初期状態になるまでの時間を設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効：60 秒**

「有効」を選択したときは、「10-999」（1 秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

スキャナーオートリセット時間設定

スキャナー機能が初期状態になるまでの時間を設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効：60 秒**

「有効」を選択したときは、「10-999」（1 秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

年月日設定

システム時計の年月日を設定します。

「年」「月」「日」の切り替えは、[◀]、[▶] を押してカーソルを移動させます。

「年」「月」「日」はテンキーで入力します。

時刻設定

システム時計の時刻を設定します。

時刻は 24 時間制（1 秒単位）で入力します。

「時」「分」「秒」の切り替えは、[◀]、[▶] を押してカーソルを移動させます。

「時」「分」「秒」はテンキーで入力します。

オートログアウト時間設定

ログインして一定時間画面を操作しないと、自動的にログアウトします。これを「オートログアウト」といいます。

オートログアウト機能が働くまでの時間を設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効：60 秒**

「有効」を選択したときは、「10-999」（1 秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

補足

- 初期値の変更方法については P.246「初期設定の変更」を参照してください。

7

インターフェース設定

[システム設定] にある [インターフェース設定] の各種項目について説明します。

ネットワーク

[インターフェース設定] にある [ネットワーク] の各種項目について説明します。

本体 IPv4 アドレス

ネットワーク上における本機の IPv4 アドレスとサブネットマスクの設定方法を選択します。

[指定] を選択したときは、[IP アドレス] と [サブネット M] を「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

[指定] を選択したときは、[IP アドレス] は、ネットワーク内の他の機器の IPv4 アドレスと重複しないように設定してください。

物理アドレス（MAC アドレス）も表示されます。

設定を変更したときは、電源を入れ直してください。

- 自動的に取得（DHCP）

- 指定
    - 本体 IPv4 アドレス：11.22.33.44
    - サブネットマスク：0.0.0.0

工場出荷時の設定：**自動的に取得（DHCP）**

IPv4 ゲートウェイアドレス

別のネットワークのパソコン、または機器とのやり取りをするとき、ゲートウェイとなるホストやルーターのアドレスです（機器とのやり取りとは、印刷や情報の取得などです）。

別のネットワークのパソコン、または機器から本機を使用するときに設定してください。

設定を変更したときは、電源を入れ直してください。

工場出荷時の設定：**0.0.0.0**

アドレスは「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

本体 IPv6 アドレス

ネットワーク上における本機の IPv6 アドレスを表示します。

- リンクローカルアドレス

  設定されている本機のリンクローカルアドレスを表示します。

- 手動設定アドレス

  設定されている本機の手動設定アドレスを表示します。

- ステートレスアドレス 1-5

  設定されているステートレスアドレスを表示します。

IPv6 ゲートウェイアドレス

ネットワーク上における本機の IPv6 ゲートウェイアドレスを表示します。

IPv6 ステートレス設定

IPv6 ステートレス設定の有効/無効を設定します。

設定を変更したときは、電源を入れ直してください。

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**有効**

DNS 設定

DNS サーバーの運用について設定します。

［指定］を選択したときは、DNS サーバーの IPv4 アドレスを「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

- 自動的に取得（DHCP）

- 指定
    - サーバー 1：0.0.0.0
    - サーバー 2：0.0.0.0
    - サーバー 3：0.0.0.0

IPv4 アドレスを設定後［接続テスト］を押すと、DNS サーバーへの接続テストが実行されます。設定した DNS サーバーに接続できることを確認してください。

工場出荷時の設定：**自動的に取得（DHCP）**

DDNS 設定

ダイナミック DNS について設定します。

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**有効**

ドメイン名

ドメイン名を設定します。

設定を変更したときは、電源を入れ直してください。

- 自動的に取得（DHCP）
- 指定

ドメイン名は半角英数 63 文字以内で入力してください。

工場出荷時の設定：**自動的に取得（DHCP）**

有効プロトコル

ネットワーク上で使用するプロトコルを選択します。

設定を変更したときは、電源を入れ直してください。

- IPv4：有効／無効
- IPv6：有効／無効

工場出荷時の設定：

- IPv4：**有効**
- IPv6：**無効**

SMB ワークグループ

SMB ワークグループ名を入力します。

20 文字以内で入力してください。

イーサネット速度

イーサネットの通信速度を選択します。

設定を変更したときは、電源を入れ直してください。

ご使用の環境に合わせた速度を選択してください。通常は［自動設定］を選択してく

ださい。

- 自動設定
- 10Mbps 全二重固定
- 10Mbps 半二重固定
- 100Mbps 全二重固定
- 100Mbps 半二重固定

工場出荷時の設定：**自動選択**

本機側の設定	接続可能な接続先の設定
自動設定	自動設定、10 Mbps 半二重固定、100 Mbps 半二重固定
10 Mbps 全二重固定	10 Mbps 全二重固定
10 Mbps 半二重固定	自動設定、10 Mbps 半二重固定
100 Mbps 全二重固定	100 Mbps 全二重固定
100 Mbps 半二重固定	自動設定、100 Mbps 半二重固定

インターフェース選択

無線 LAN でネットワーク接続するかイーサネット経由でネットワーク接続するかを選択します。

設定を変更したときは、電源を入れ直してください。

- イーサネット
- IEEE 802.11b/g/n

工場出荷時の設定：**イーサネット**

SNMPv3 通信許可設定

SNMPv3 の暗号化通信を設定します。

- 暗号化/平文
- 暗号化のみ

工場出荷時の設定：**暗号化/平文**

［暗号化のみ］を設定するときは、本機に暗号パスワードが設定されている必要があります。

SSL/TLS 通信許可設定

SSL/TLS の暗号化通信を設定します。

- 暗号文のみ
- 暗号文優先
- 暗号文/平文

工場出荷時の設定：**暗号文/平文**

［暗号文のみ］を設定するときは、本機に機器証明書が導入されている必要があります。

自動メール通知

本機でエラーが発生したときに、エラーの詳細情報を指定したメールアドレスに通知するかどうかを指定します。

設定を変更したときは、いったん電源を OFF にし、あらためて電源を ON にしてください。

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**無効**

ホスト名

ホスト名を設定します。

ホスト名は半角英数 63 文字以内で入力してください。

先頭末尾にハイフンを入力してホスト名を設定することはできません。

RNP または rnp ではじまるホスト名を設定することはできません。

本体名

本体名を設定します。

最大 30 文字で入力してください。

ネットワーク設定値初期化

ネットワークの設定値をデフォルトに戻します。

IEEE 802.11

［インターフェース設定］にある［IEEE 802.11］の各種項目について説明します。

各設定は同時に実施してください。

詳細設定

- SSID

  無線 LAN のネットワークを識別する SSID を設定します。

- 暗号化

  無線 LAN の暗号化を設定します。

  - 無効
  - WEP
  - WPA - PSK
  - WPA - EAP

  工場出荷時の設定：**無効**

- WPA

  WPA の暗号化方式を設定します。

  - WPA(TKIP)
  - WPA (AES)
  - WPA 2 (AES)

  工場出荷時の設定：WPA(TKIP)

- 事前共有キーフォーマット

  パスフレーズか Hex を設定します。

  - パスフレーズ
  - Hex

  工場出荷時の設定：パスフレーズ

- 事前共有キー

  事前共有キーを入力します。

  ［事前共有キーフォーマット］で［パスフレーズ］を選択したときは 8〜63 文字、［Hex］を選択したときは 64 文字入力できます。

- キー長

  64bit Wep か 128bit Wep かを選択します。暗号化キーの設定で使用します。

  - 64bit
  - 128bit

  工場出荷時の設定：64bit

- キーフォーマット

  ASC II か Hex を選択します。暗号化キーの設定で使用します。

  ［キー長］で 64bit を選択したとき

  - ASCII（5 桁）
  - Hex（10 桁）

  ［キー長］で 128bit を選択したとき

  - ASCII（13 桁）
  - Hex（26 桁）

- 暗号化キー

  ［暗号化］で［WEP］を選択したときの WEP キーを入力します。

- EAP タイプ

  EAP 認証タイプを選択します。

  - PEAP
  - TLS

7

工場出荷時の設定：PEAP

- EAP ユーザー ID

  EAP で使用する ID を入力します。

- RADIUS ユーザー名

  RADIUS サーバーにクライアントを登録する名前を入力します。

- RADIUS ユーザーパスワード

  RADIUS サーバーにクライアントを登録するパスワードを入力します。

- ユーザーパスワード

  PEAP で使用するパスワードを入力します。

- 国コード

簡単設定

- プッシュボタン方式

  プッシュボタン方式で WPS を実行します。

- PIN 方式

  PIN 方式で WPS を実行します。

現在の状態

以下の項目の状態を確認できます。

- 物理アドレス
- Version
- SSID
- チャンネル番号
- BSSID
- 状態
- 送信パケット
- 受信パケット
- 簡単設定の状態
- 電波状態
- 送信状態

リスト印刷

ご使用のネットワーク環境に関する項目を確認できます。

インターフェース設定リストは現在のネットワーク設定や、情報について記載しています。

7

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。
3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押し［システム設定］を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［▲］または［▼］キーを押し［インターフェース設定］を選択し、［OK］キーを押します。
6. ［▲］または［▼］キーを押し［設定一覧リスト印刷］を選択し、［OK］キーを押します。
7. ［白黒スタート］キーを押します。

   インターフェース設定リストが出力されます。

ネットワーク接続するときの注意

ネットワークに ISDN 回線を接続しているとき

リコー製のネットワークユーティリティーには周期的に装置と通信するものがあり、設定したアドレスの値によっては ISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。装置のネットワークアドレスを設定するとき、およびネットワークユーティリティーの通信先のアドレスを指定するときは、回線の接続が発生しない値に設定してください。

DHCP を使用するとき

本機を DHCP 環境で使用し、ホスト名を DNS サーバーに登録できます。

- 動作対象の DHCP サーバーは、Windows Server 2003/2003 R2 /2008/2008 R2 日本語版および UNIX に標準装備されている DHCP サーバーです。
- DHCP サーバーから取得した IP アドレスは、インターフェース設定リストで確認できます。
- 複数の DHCP サーバーが存在するときは、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

Windows ターミナルサービス/MetaFrame/Citrix Presentation Server/Citrix XenApp を使用するとき

Windows ターミナルサービス/MetaFrame/Citrix Presentation Server/Citrix XenApp を使用するときの説明は、リコーのホームページでご覧いただけます。

ファイル転送設定

［システム設定］にある［ファイル転送設定］の各種項目について説明します。

SMTP サーバー

SMTP サーバー名を設定します。

「サーバー名」では、スペースが使用できません。

DNS が有効なときは、ホスト名を入力します。

DNS が無効なときは、SMTP サーバーの IPv4 アドレスを入力します。

工場出荷時の設定：

- ポート番号：25

  「ポート番号」は、「1-65535」の範囲でテンキー入力します。

SMTP 認証

SMTP 認証（PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5）を設定します。

SMTP サーバーへのメール送信時に、ユーザー名とパスワードを入力して認証を行うことで、SMTP サーバーのセキュリティーレベルを強化できます。

SMTP サーバーが認証を必要とするときは、［SMTP 認証］を［有効］に設定し、［詳細設定］を押し、［ユーザー名］、［メールアドレス］、［パスワード］を設定します。

インターネットファクス送信時は、［管理者メールアドレス］に設定するユーザー名とパスワードを入力してください。

- 有効
  - ユーザー名

    ［ユーザー名］では、スペースが使用できません。SMTP サーバーの種類によっては、realm の指定が必要なときがあります。そのときは、ユーザー名のあとに@を付加して、"ユーザー名@realm"と入力してください。
  - メールアドレス
  - パスワード

    ［パスワード］では、スペースが使用できません。
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

POP before SMTP

POP 認証（POP before SMTP）を設定します。

この機能は、本機が IPv4 を使用してネットワークに接続しているときだけ使用できます。IPv6 を使用しているときは使用できません。

SMTP サーバーにメールを送信する前に、まず POP サーバーに接続して認証することで、SMTP サーバーのセキュリティーレベルを強化できます。

POP 認証をするときは、[POP before SMTP] を [有効] に設定します。[詳細設定] を押し、[認証後待機時間] で指定した時間後に、SMTP サーバーにメールを送信します。

[有効] を選択したときは、[POP3 設定] で [サーバー名] を入力します。また、[POP3 設定] でポート番号を確認してください。

- 有効
    - 認証後待機時間：300 秒

      [認証後待機時間] は、「0-10000」(1 秒単位) の範囲でテンキーで入力します。
    - ユーザー名

      [ユーザー名] は、スペースが使用できません。
    - メールアドレス
    - パスワード

      [パスワード] では、スペースが使用できません。
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

POP3 設定

メールを受信するときに、POP3 サーバー名を設定します。

ここで設定した POP3 サーバー名は [POP before SMTP] で使用されます。

- サーバー名

  DNS が有効なときは、ホスト名を入力します。

  DNS が無効なときは、POP3 サーバーの IPv4 アドレスを入力します。

  POP3 の [サーバー名] では、スペースが使用できません。
- ポート番号

  ポート番号は 1 から 65535 の間で入力できます。

  工場出荷時の設定：110

管理者メールアドレス

スキャナー文書のメール送信機能で、送信者を入力しないときの送信者アドレスになります。

また、インターネットファクスのメール送信機能で以下の条件のときの送信者アドレスになります。

- 送信者を入力せず、本機のメールアドレスが登録されていないとき。
- 入力した送信者が本機のアドレス帳に登録されていないときで、本機のメールアドレスが登録されていないとき。

インターネットファクス送信の SMTP 認証時には、From:に使用されます。［SMTP 認証］でユーザー名とメールアドレスを入力したときは、必ず設定してください。

エラー通知メールの Cc:、通信管理情報メールの To:としても使用されます。

スキャナー文書のメール送信機能で、［送信者名自動指定］が［しない］のときは、送信者を指定してください。

メール受信間隔時間設定

POP3 サーバーに対して、インターネットファクスを受信する間隔（分）を指定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

［有効］を選択したとき、「2-1440」（1 分単位）の範囲でテンキーで入力します。

サーバー側メール保持

インターネットファクスを受信するときに、メールを POP3 サーバーに保持するかを設定します。

- しない
- すべて
- エラーのみ

工場出荷時の設定：**しない**

送信初期ユーザー名・パスワード

スキャナー機能で読み取った画像データを Windows の共有フォルダー、FTP サーバーに直接送信するとき、またはファクス機能で読み取った文書を画像データとしてフォルダー宛先に送信するとき、ユーザー名とパスワードを設定します。

ここで設定したユーザー名とパスワードは、全ユーザーで共有するユーザー名とパスワードとして使用します。

- SMB 送信ユーザー名
- SMB 送信パスワード
- FTP 送信ユーザー名*1
- FTP 送信パスワード*1

*1 全角文字は入力できません。

メール件名初期値

件名を登録します。

128 文字以内までに登録してください。

送信者名自動指定

メール送信時に使用する送信者を指定するかしないかを設定します。

- する

  ［する］を選択したとき、指定されたメールアドレスがFrom:に使用されます。送信者のメールアドレスを指定しないとき、管理者メールアドレスがFrom:に使用されます。

  ファクス機能でメール送信時に送信者のメールアドレスを指定しないとき、または指定したメールアドレスが本機のアドレス帳に登録されていないときは、本機のメールアドレスがFrom:に使用されます。また、本機のメールアドレスがないときは、管理者メールアドレスがFrom:に使用されます。

- しない

  ［しない］を選択したとき、指定されたメールアドレスがFrom:に使用されますが、送信者のメールアドレスを指定しないときは、メール送信できません。

  ファクス機能でメール送信時に指定した送信者のメールアドレスが、本機のアドレス帳に登録されていないときは、メール送信できません。

工場出荷時の設定：**しない**

ファクスメールアカウント

インターネットファクスで使用する［メールアドレス］、［ユーザー名］、［パスワード］を設定します。

- 受信する
  - メールアドレス

    メールアドレスでは、全角文字が使用できません。
  - ユーザー名

    ユーザー名では、全角文字が使用できません。
  - パスワード

    パスワードでは、全角文字が使用できません。
- 受信しない

工場出荷時の設定：**受信しない**

7

補足

- 初期値の変更方法についてはP.246「初期設定の変更」を参照してください。

管理者用設定

［システム設定］にある［管理者用設定］の各種項目について説明します。

管理者用設定は、管理者の方が設定する項目です。設定内容や設定を変更するときは、管理者に問い合わせてください。

カウンター表示／印刷

各種カウンターの表示と印刷をします。

機能ごとのカウンターを表示します。

- 印刷トータル
- コピー:フルカラー
- コピー:白黒
- プリンター:フルカラー
- プリンター:白黒
- プリンター：レベルカラー*
- プリンター:白黒+レベル*
- ファクス印刷:白黒
- 両面
- フルカラーカバレッジ
- 白黒カバレッジ
- レベルカラーカバレッジ*
- 白黒+レベルCカバレッジ*
- カバレッジ0

  印刷したページのカバレッジ率が0%から5%未満のときにカウントされます。
- カバレッジ5

  印刷したページのカバレッジ率が5%から20%未満のときにカウントされます。
- カバレッジ20

  印刷したページのカバレッジ率が20%以上のときにカウントされます。
- 送信トータル:カラー
- 送信トータル:白黒
- ファクス送信
- スキャナー送信:カラー
- スキャナ送信:白黒

* レベルカラーの確認については、サービス実施店に連絡してください。

カバレッジ

カバレッジとは1ページ内で印刷可能な範囲すべてに1色のインクを使用して印刷したときのインク消費量を100%と規定し、100%と規定したインク消費量と実際に印刷で使用したインク消費量と比較して1ページあたりで全体の何%を印刷範囲としたかを算出します。

各色の100%のインク消費量は異なるため、実際に使用したインク消費量に対する印刷範囲は異なります。

複数の色を使用したときの1ページあたりの印刷範囲を算出するには各色毎の印刷範囲を合計して算出されます。

7

- フルカラーカバレッジのカウントの例:

  （フルカラーカバレッジ）＝（フルカラーカバレッジ（K））＋（フルカラーカバレッジ（(C)）＋（フルカラーカバレッジ（M））＋（フルカラーカバレッジ（Y））

  例:

  １ページあたりのインク消費量

  K: 3%, C: 8%, M: 7%, Y: 2%

  (3% + 8% + 7% + 2% = 20%)

  フルカラーカバレッジ: 00000020

- フルカラー印刷のときのページ単位のカバレッジ率の算出例:

  （フルカラーカバレッジ）/（フルカラートータル）

  例:

  フルカラートータル: 00000888

  フルカラーカバレッジ: 00007692

  7692 / 888 = 8.7%

  カバレッジの値は小数点第１位を四捨五入します。

補足

- ［カウンター表示／印刷］で確認できるプリンター合計枚数（プリンター:白黒＋プリンター:フルカラー）と、システム設定リストに表示されるトータルカウンターの枚数は異なります。トータルカウンターには、通常の出力枚数に加え、ノズルチェックなどで出力した各種テストパターン、システム設定リスト、カウンターリストなども含まれるため、カウンターメニューで表示される枚数よりも多い数値が表示されます。

アドレス帳リスト印刷

アドレス帳に登録したあて先のリストを印刷します。

- 宛先リスト

  アドレス帳のあて先リストを印刷します。

- グループ宛先リスト

  グループあて先リストを印刷します。

アドレス帳登録／変更／消去

本機を使用するユーザーの情報や本機からファクス機能やスキャナー機能を使って送信する宛先を登録、変更、消去します。アドレス帳の設定方法についての詳細は、P.305「宛先を登録する」を参照してください。

- 登録／変更

  ユーザーを新規登録、または登録したユーザー情報を変更します。登録／変更で

きる項目は次のとおりです。

- 名前
- ヨミガナ
- 登録番号
- 認証情報

  SMTP 認証、フォルダー認証
- ファクス設定

  ファクス宛先、送信用 F コード（SUB）、取出用 F コード（SEP）、海外送信モード
- メール設定

  メールアドレス、メールアドレス使用対象
- フォルダー情報

  プロトコル、サーバー名、パス名、ポート番号
- グループに追加

  登録先グループ名

- 消去

  ユーザーを消去します。
- 設定値初期化

  デフォルト値に戻します。
- アドレス帳バックアップ/リストア

  メモリーを使って本機のアドレス帳データを保存したり、保存したアドレス帳データを本機へ復元します。
  - バックアップ

    本機のアドレス帳データをメモリーに保存します。
  - リストア

    メモリーに保存したアドレス帳データを復元します。

Web Image Monitor からもアドレス帳の登録／変更／消去ができます。

グループ登録／変更／消去

複数のメールあて先を 1 つのグループとして登録できます。

相手先ごとにグループを作り登録しておくと便利です。

- 登録／変更

  グループを新規登録します。登録／変更できる項目は次のとおりです。
  - グループ名
  - ヨミガナ

    - 登録番号
    - 登録済ユーザー／グループ

      登録済ユーザー／グループ名
    - グループに追加

      登録先グループ名
  - 消去

    グループを消去します。

  Web Image Monitor からもグループの登録／変更／消去ができます。

LDAP サーバー登録／変更／消去

LDAP サーバーを登録することによってスキャナー機能やファクス機能から文書をメールで送信するときに、LDAP サーバー上のアドレス帳からメールアドレスを調べることができます。

- 名前
- サーバー名
- 検索開始位置
- ポート番号
- SSL
- 認証
- レルム名
- 検索条件
- 任意検索条件

LDAP 検索をするためには、「サーバー名」、「検索開始位置」、「ポート番号」、「認証」、「検索条件」の項目を必ず設定してください。お使いのサーバー環境により、設定が必要な項目が異なります。お使いのサーバー環境を確認の上、必要に応じて設定してください。

LDAP サーバーを利用したいときには、管理者用設定の「LDAP 検索」で［有効］を選択しておきます。

LDAP サーバーの対応バージョンは Ver2.0 と Ver3.0 です。ダイジェスト認証を使用できるのは、LDAP Ver.3.0 だけです。

LDAP 検索

LDAP サーバーを検索で使用するかしないかを設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効**

「しない」に設定したときは、検索画面に［LDAP 検索］が表示されなくなります。

7

ファームウェアバージョン

本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

自動電源オフ

オートオフ機能を利用するかしないかを設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

USB ポート固定

USB ポートで新規接続時にプリンタードライバーを再度インストールするかしないかを設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

USB 速度

パソコンと本機を USB で接続しているときの通信に関する設定をします。

通常は変更する必要はありません。

- 自動
- フルスピード

工場出荷時の設定：**自動**

タイムゾーン設定

タイムゾーンの設定ができます。

工場出荷時の設定：**+09 時 00 分**

設定値は−12 時 00 分〜+13 時 00 分です。

サマータイム

サマータイムの設定をします。

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**無効**

［有効］を選択したとき、サマータイム開始、終了を設定します。

設定できる項目は以下のとおりです。

- 月

  開始、終了の月を設定します。

- 週

  何回目の週で開始、終了するか設定します。

- 日

  開始、終了の曜日を設定します。

- 時刻

  開始、終了時間を設定します。

- オフセット

  通常の時刻から何時間時刻を進ませるか設定します。

  オフセットは 30 分ごとに設定できます。

ユーザー制限

ユーザー制限の設定をします。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

「有効」を選択したときは、本機の使用者を制限することができます。

パスワードを 4〜8 桁の数字で設定します。

工場出荷時は空欄になっています。

ログインパスワード変更

システム設定画面で表示されるログインパスワードの設定をします。

パスワードを 6 桁の数字に変更できます。

工場出荷時の設定：000000

パスワードは、絶対に忘れないようにしてください。

エラースキップ

プリンタードライバーから指示した用紙サイズ・紙種の条件に合うトレイがなかったときの本機の動作を設定します。

「しない」を設定したときはアラームが点灯し、指示された紙サイズ・紙種がセットまたは設定されるまで印刷されません。

「有効」を設定したときはエラーを無視してそのまま印刷を続けます。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効**

再生紙モード

再生紙や乾燥して静電気が発生している用紙を使用するときに、ノズル抜けなどの不具合を防止する機能です。

高抵抗紙で印刷すると、電界の影響でノズル抜けなどの不具合が起きることがあります。

工場出荷時の設定：**しない**

補足

- 初期値の変更方法についてはP.246「初期設定の変更」を参照してください。

プリンター設定

プリンター設定について説明します。

プリンター設定項目

プリンター設定の項目について説明します。

テスト印刷

- システム設定リスト

  システム構成や設定項目の状況を印刷します。

- メニューリスト

  メニュー構成を印刷します。

- カラーサンプル

  カラーサンプルを印刷します。

- エラー履歴

  エラー履歴を印刷します。

7

I/F 切替え時間

現在のインターフェースからデータが送信されてこなくなってから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えるとほかのインターフェースからデータの受信ができます。

設定時間が短すぎると 1 つのデータを受信中にタイムアウトになることがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。切り替え時間は 10 秒から 60 秒の間で設定できます。

工場出荷時の設定：**15 秒**

用紙サイズエラー表示

トレイにセットした用紙と、用紙設定メニューで設定した用紙サイズが一致していないことを通知する機能です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

［しない］を選択すると、エラーを表示せずにそのまま印刷します。

補足

- 初期値の変更方法については P.246「初期設定の変更」を参照してください。

テスト印刷する

1. [初期設定] キーを押します。
2. [ログイン] を押します。
3. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して [プリンター設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] または [▼] キーを押して [テスト印刷] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] または [▼] キーを押して印刷する項目を選択し、[OK] キーを押します。
7. [白黒スタート] キーまたは [カラースタート] キーを押します。

コピー設定

コピー設定について説明します。

コピー設定項目

コピー設定の項目について説明します。

自動濃度優先

電源を入れた直後、オートクリアされたとき、リセットしたときに、自動濃度が設定されるようにするかしないかを設定します。自動濃度優先はモノクロコピーで文字モードを選択したときのみ有効です。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

原稿種類設定

電源を入れた直後、オートクリアされたとき、リセットしたときに、設定される原稿の種類を設定します。

- 文字
- 文字･写真
- 写真

工場出荷時の設定：**文字･写真**

リミットレス給紙

コピー中に用紙がなくなったとき、同じサイズの用紙がほかの給紙トレイにセットされていれば、用紙方向にかかわらず自動的にその給紙トレイから続けて給紙できます（自動用紙選択時）。これを「リミットレス給紙」といいます。リミットレス給紙をするかしないかを設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効**

ジョブ終了通知

コピーが終了したときに“ピー”というブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

システム設定の「ブザー音」でブザーの音量を設定すると、給紙トレイに用紙がなくなった、用紙がつまったなどの理由でコピーが中断したときに“ピーピーピーピーピー”というブザー音が鳴り、コピーが終了しなかったことをお知らせします。

- 有効

- しない

工場出荷時の設定：**有効**

変倍率設定

コピー機能画面で［変倍］を押したときに、表示される変倍率を倍率 1 - 6 に設定します。

- 50%（A4 → A6）
- 61%（A4 → B6）
- 71%（A4 → A5，A5 → A6）
- 82%（B5 → A5）
- 87%（A4 → B5，A5 → B6）
- 93%
- 100%
- 115%（B5 → A4）
- 122%（A5 → B5，A6 → B6）
- 141%（A5 → A4，A6 → A5）
- 200%（A6 → A4）
- 400%

優先変倍率設定

コピー初期画面で［変倍］を押したとき、優先される変倍率を設定します。

「25 - 400」（1%単位）の範囲で倍率をテンキーで入力します。

自動濃度の濃度

自動濃度の濃度設定値を調整します。

工場出荷時の設定：**3**（5 段階調整の真中）

コピーサイズエラー表示

トレイにセットした用紙と、用紙設定メニューで設定した用紙サイズが一致していないことを通知する機能です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

［しない］を選択すると、エラーを表示せずにそのまま印刷します。

補足

- 初期値の変更方法についてはP.246「初期設定の変更」を参照してください。

7

スキャナー設定

スキャナー設定について説明します。

スキャナー設定の項目

スキャナー設定の項目について説明します。

読み取り設定

［スキャナー設定］にある［読み取り設定］の各種項目について説明します。

次原稿待機：原稿ガラス

原稿を複数回に分けてセットして読み取らせ、1 回でまとめて送信するときに、追加原稿を待機するときの動作を設定します。

- 指定時間待機
- しない
- 待機する

7

工場出荷時の設定：**指定時間待機：60 秒**

［しない］を選択したときは、原稿を 1 枚読み取ったあとで自動的に送信が開始されます。

［指定時間待機］を選択したときは、追加原稿を待機するタイムリミットの秒数（3～999）をテンキーで入力します。指定時間内に原稿をセットして［カラースタート］キーまたは［白黒スタート］キーを押すと読み取られ、指定時間内に［#］キーを押すと読み取りが終了し、送信が開始されます。また、指定時間内に原稿がセットされないときは、自動的に送信が開始されます。

［待機する］を選択したときは、［#］キーを押すまで追加原稿を待機し続けます。原稿をセットして［カラースタート］キーまたは［白黒スタート］キーを押すと原稿が読み取られ、［#］キーを押すと読み取りが終了し、送信が開始されます。

ADF に原稿をセットしたときは、ここでの設定にかかわらずセットした原稿をすべて読み取ったあとで、追加原稿を待機しないで送信が開始されます。

自動濃度優先

電源を入れた直後、オートクリアされたとき、リセットしたときに、自動濃度が設定されるようにするかしないかを設定します。自動濃度優先はモノクロスキャンで文字モードを選択したときのみ有効です。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効**

自動濃度の濃度設定（フルカラー）

スキャナーが読み取ってしまう紙種による特徴（わら半紙の線など）を、白地にする画像処理を 5 段階で調整します。

工場出荷時の設定：3（5 段階調整の真中）

宛先リスト設定

［スキャナー設定］にある［宛先リスト設定］の各種項目について説明します。

宛先表初期表示

本機の初期状態に表示させる宛先表を選択します。［メールアドレス］、または［フォルダー宛先］のいずれかを選択します。

- メールアドレス
- フォルダー宛先

工場出荷時の設定：**メールアドレス**

送信設定

［スキャナー設定］にある［送信設定］の各種項目について説明します。

TWAIN 割込み禁止

メール送信、ファイル送信で本機を使用中にクライアントコンピューターから TWAIN スキャナーとしての読み取り要求があったとき、常に TWAIN スキャナーのモードに切り替えるか、一定時間キー操作をしていないときだけ切り替えるかを選択します。

- 時刻設定
- 即時

［時刻設定］を選択したときは、切り替えるための秒数（3〜30 秒）をテンキーで入力してください。最後のキー操作をしてからここで設定した時間が経過しているときだけ TWAIN スキャナーのモードに切り替わります。

工場出荷時の設定：**時刻設定：10 秒**

圧縮設定（白黒 2 値）

2 値（白黒）で読み取った原稿のデータを圧縮する/圧縮しないを設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効**

データを圧縮すると、データの転送時間が短くなります。

データのサイズやネットワークの状態によって、データの転送にかかる時間は異なります。

圧縮設定（グレースケール/フルカラー）

多値（グレースケール/フルカラー）で読み取った原稿を圧縮するかしないかを設定します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効**

［有効］を選択したときは、圧縮率を 5 段階で調節できます。

低圧縮の方が画質はよくなりますが、データの転送時間は長くなります。

データのサイズやネットワークの状態によって、データの転送にかかる時間は異なります。

履歴満杯時印刷

本機では送信結果を過去 60 件まで確認できます。送信結果が 60 件に達したときに、送信履歴の印刷をするかしないかを設定します。

- 印刷する（履歴はすべて削除）

  送信履歴を自動印刷します。印刷された履歴は一覧から消去されます。

- 印刷しない（古い履歴を削除）

  履歴が 1 件増えるたびに古い履歴から 1 件ずつ消去されます。

- 印刷しない（送信不可）

  履歴が満杯になった時点で、送信できなくなります。

印刷するときは、印刷後に履歴が全件削除されます。印刷しないときは、古い履歴から順に削除されます。

送信履歴の印刷が完了するまで、待機中のファイルは送信されません。

送信履歴印刷

送信履歴情報を印刷します。

印刷後履歴情報は消去されます。

送信履歴消去

送信履歴情報を消去します。

履歴情報は消去されますが、印刷はされません。

送信メールサイズ制限

画像を添付したメールのサイズを制限するかしないかを選択します。

- 有効
- しない

工場出荷時の設定：**有効：2048KB**

7

[有効] を選択したときは、制限するサイズ（128〜4096KB）をテンキーで入力します。

お使いの SMTP サーバーでメールサイズが制限されているときは、その SMTP サーバーの設定に合わせてください。

送信メール分割

[送信メールサイズ制限] で [有効] を選択したときに有効な機能です。

画像のサイズが [送信メールサイズ制限] で設定したサイズを超えたときに、画像を複数のメールに振り分けて送信するかしないかを選択します。

- する（最大サイズごと）
- する（ページごと）
- しない

工場出荷時の設定：**する（最大サイズごと）**

工場出荷時の最大分割数は「5」に設定されています。

[する（最大サイズごと）] を選択したときは、最大分割数（2〜500）をテンキーで入力します。

ファイル形式として [マルチページ：TIFF] または [マルチページ：PDF] を選択したときは、[する（ページごと）] を選択しても分割されません。

[する（最大サイズごと）] を選択したとき、メールソフトによっては、受信した分割ファイルを復元できないときがあります。

[しない] を選択していて、設定したメールサイズ制限より大きいサイズのメールを送信したときに、制限サイズまで読み取った時点で読み取りを中断します。そのあと、読み取ったページまでを送信するか、破棄するかを選択します。

SMTP サーバーの最大許容量を確認し、最大の数値を [送信メールサイズ制限] で設定してください。

メール付加情報

日付、管理者メールアドレスなどの文書情報を、メール本文として送信するかを選択します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

[しない] に設定しているときも、スキャナー画面で直接入力した本文は付加されます。

定型文となっているメール本文は、変更することはできません。

補足

- 初期値の変更方法については P.246「初期設定の変更」を参照してください。

ファクス設定

本機にある［ファクス設定］の各種項目について説明します。

ファクス設定の項目

ファクス設定の項目について説明します。

基本設定/調整

［ファクス設定］にある［基本設定/調整］の各種項目について説明します。

音量調節

オンフックや直接送信時の音量を調節します。

- オンフック時

  工場出荷時の設定：**小さい方から 3 番目のレベル**

- 送信時

  工場出荷時の設定：**小さい方から 3 番目のレベル**

- 受信時

  工場出荷時の設定：**小さい方から 3 番目のレベル**

- 発信時

  工場出荷時の設定：**小さい方から 3 番目のレベル**

- 受信印刷時

  工場出荷時の設定：**する**

発信元情報登録

相手のファクス機や受信紙に表示される本機の情報を登録します。

- 印字用名称
- ファクス番号

設定方法については『ファクス設定ガイド』を参照してください。

オンフック解除時間

オンフックダイヤルを使って送信したときにオンフックが解除される時間を設定します。

工場出荷時の設定：**3 分**

1 分から 15 分まで設定できます。

7

受信設定

［ファクス設定］にある［受信設定］の各種項目について説明します。

受信モード切り替え

受信のしかたを設定します。

- 自動切り替え
- 手動受信
- 自動受信

工場出荷時の設定：**自動受信**

設定方法についての詳細は、P.237「受信モードを選択する」を参照してください。

受信モード自動切替

受信モードが［自動切り替え］のときに電話がかかってくると、相手が電話かファクスかを判断し、自動的に電話とファクスを切り替えます。この［自動切り替え］を「ファクス優先」モードにするか「電話優先」モードにするか設定します。

- 電話優先
- ファクス優先

工場出荷時の設定：**ファクス優先**

リンギング回数または呼び出し回数を 1～29 の範囲で設定します。

設定方法についての詳細は、P.238「自動切り替えモード」を参照してください。

迷惑ファクス防止

受信する相手先を制限するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

受信時刻印字

受信紙の下の部分に、受信した日付と時刻を印字するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

受信文書設定

ファクス受信した文書を一度メモリーに蓄積し、全ページを受信したあとで印刷するか、受信した文書をメモリーに蓄積しないで、1 ページ受信するたびに印刷するか設定します。

- 蓄積する
- 印刷する

工場出荷時の設定：**蓄積する**

印刷禁止時間設定

受信した文書が印刷できる時間帯を指定します。

時間内であれば受信文書はすぐに印刷され、時間外はメモリーに蓄積されるため、印刷できません。開始時間になってから印刷をします。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

［する］を選択したときは、［開始時刻］、［終了時刻］で時間帯を設定します。

スムージング

低解像度の受信文書をなめらかに印刷するかしないか設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

給紙トレイ

ファクス機能で、優先する給紙トレイを設定します。

- トレイ 1
- トレイ 2
- トレイ 3
- 手差しトレイ
- 自動選択

工場出荷時の設定：**トレイ 1**

メール設定

［ファクス設定］にある［メール設定］の各種項目について説明します。

インターネットファクス設定

インターネットファクスでの送信機能を使用するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

送信メールサイズ制限

相手先が受信できるメールのサイズを制限しているときなど、あらかじめ送信するメールのファイルサイズを制限しておきたいときに設定します。この機能を「(制限)する」にしているとき、設定したサイズを超えるメールは送信できません。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

「する」を選択したときは、128-4096 KB の範囲で設定できます。

管理者用設定

［ファクス設定］にある［管理者用設定］の各種項目について説明します。

通信レポート印刷

通信管理レポートを印刷します。最新の送信と受信の結果を最大 60 通信分、確認できます。

送信待機リスト印刷

送信待機リストを印刷します。

通信枚数カウンター

送信枚数、受信枚数の累積を確認できます。

封筒受信

封筒受信機能を設定すると、受信した原稿はメモリーに蓄積され、自動的には印刷されません。この原稿は封筒 ID を入力して印刷します。封筒 ID を知らない人は印刷できないので、内容を他人に見られずにすみます。

封筒受信を使用するときは、封筒 ID を登録し、機能を「する」にします。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

メモリー転送

受信した原稿を登録している相手先（転送先）へ転送します。メモリーに蓄積されている文書はすべて転送されます。

- する（印刷する）
- する（印刷しない）
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

設定方法については P.241「受信したファクスを転送する」を参照してください。

パラメーター設定

パラメーター設定で各種の機能を利用状況にあった設定に変更できます。

- パラメーター設定
- ホームポジション設定

- パラメーター設定リスト印刷

  パラメーター設定リストを印刷します。

設定方法についての詳細は、P.301「パラメーター設定」を参照してください。

封筒 ID 登録

封筒受信した文書を印刷するときに入力する ID を登録します。

「封筒受信」を設定するときに、あらかじめ登録しておきます。

0-9 を使った 4 桁の数字を登録します。ただし、0000 は登録できません。

ダイヤル／プッシュ選択

G3 アナログ回線と接続しているときに接続した電話回線の種別を設定します。

電話回線にはプッシュ回線とダイヤル回線があります。

- プッシュ
- ダイヤル（20PPS）
- ダイヤル（10PPS）

工場出荷時の設定：**プッシュ**

設定方法については『ファクス設定ガイド』を参照してください。

G3 アナログ回線登録

本機を内線で使用するか、外線で使用するかを設定します。G3 アナログ回線を接続する前に以下の項目を設定します。

- 内線/外線選択

  自営交換機に本機を接続しているときは「内線」に設定します。直接電話線に接続しているときは「外線」に設定します。

- 外線発信番号

  本機が外線にダイヤルするときに、相手先のファクス番号の前に入力する「0」などの数字のあとにポーズの入力が必要な自営交換機に接続されているときは、この「0」などの数字を登録しておくと、登録した番号を入力するだけで自動的にポーズを付加します。ポーズを入力する手間が省けて便利です。

設定方法については『ファクス設定ガイド』を参照してください。

全文書転送

「インクがない」「用紙がない」「印刷機能が故障している」など、本機が印刷できない状態のとき、ファクスのメモリーに蓄積されている文書を他のファクスに転送して印刷させることができます。

ファクス再送信間隔時間

メモリー送信できなかった文書の発呼間隔を設定します。

工場出荷時の設定：**2 分**

1 分から 5 分まで設定できます。

呼び出し回数

メモリー送信できなかった文書の総発呼回数を設定します。

工場出荷時の設定：**2 回**

［呼び出し回数］の設定値はお使いの地域によって異なります。

国設定

［ファクス設定］にある［国設定］の各種項目について説明します。

国設定

本機で使用する国を選択します。

国を選択することにより以下の項目が自動的に変更になります。

- mm/inch の切替
- 用紙サイズ
- タイムゾーン

以下の国を選択できます。

アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、欧州連合、香港、インド、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ロシア、シンガポール、南アフリカ、タイ、台湾、アメリカ、ベトナム

工場出荷時の設定：**日本**

7

補足

- 初期値の変更方法については P.246「初期設定の変更」を参照してください。

パラメーター設定

パラメーター設定で各種の機能を利用状況にあった設定に変更できます。パラメーターのスイッチを操作して変更します。

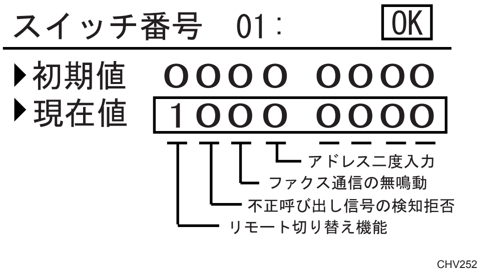
スイッチとビット

パラメーター設定のスイッチは、1 と 0 の組み合わせによる 8 桁の数字の並びで構成され、その 1 桁 1 桁をビットと言います。右端がビット 0、左端がビット 7 になります。ビットの数字を 0 または 1 に変更することで、機能の設定を変更することができます。

「スイッチ 01 の例」

パラメーター設定の画面では、初期値と現在値が表示されます。

ビットはそれぞれ［0］［1］［2］［3］［4］［5］［6］［7］に対応しており、たとえば［7］を押すごとに、ビット 7 の数字が 0 と 1 とで切り替わります。



上記の図は「スイッチ 01」の「ビット 7」を工場出荷時の「0（使用しない）」から「1（使用する）」に変更してある状態を示しています。

パラメーター設定一覧表

スイッチ	ビット	項目	0	1
00	7	呼び出し時に発信音を検知	検知無しで呼び出し	検知後に呼び出し*1
	6	呼び出し時に発信音を検知 （PSTN 番号を呼び出す前）	検知無しで呼び出し	検知後に呼び出し*1
	5	呼び出し時にダイヤルトーンを検知 （PSTN 番号を呼び出す後）	検知無しで呼び出し	検知後に呼び出し*1
	4	送信時に通話中音を検知	検知しない（ファクス通信を行う）	検知する（通話中の場合は切断）*1
01	7	リモート切り替え機能	使用しない*1	使用する
	6	不正呼び出し信号の検知拒否	拒否する*1	拒否しない
	5	ファクス通信の無鳴動 呼び出し信号を検知	受信しない*1	受信する
	4	アドレス二度入力	使用しない*1	使用する

*1 工場出荷時の設定値

ユーザーパラメーター設定のしかた

重要

- パラメーター設定一覧表に載っていないビットは変更しないでください。

- 本機の設置環境を確認し、必要な設定をしてからパラメーターのスイッチを操作してください。

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。
3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して、［ファクス設定］を表示させ、［OK］キーを押します。
5. ［▲］または［▼］キーを押して、［管理者用設定］を表示させ、［OK］キーを押します。
6. ［▲］または［▼］キーを押して、［パラメーター設定］を表示させ、［OK］キーを押します。
7. ［▲］または［▼］キーを押して、［パラメーター設定］を表示させ、［OK］キーを押します。

   ホームポジションを設定するときは［ホームポジション設定］を選択します。

   パラメーター設定リストを印刷したときは、［パラメーター設定リスト印刷］を選択し、［白黒スタート］キーまたは［カラースタート］キーを押します。
8. ［▲］［▼］［◂］［▸］キーを押して変更するスイッチ番号を選択し、［OK］キーを押します。
9. 変更するビット番号のテンキーを押して、設定します。

   カーソルを移動するときは、［◂］または［▸］キーを押します。
10. ［OK］キーを押します。
11. 手順 8、9、10 を繰り返して、スイッチの設定を変更します。
12. すべての設定を変更したら［戻る］キーを押します。

ホームポジション

電源を入れた直後や［クリア/ストップ］キーを押したときの送信条件を設定します。

ホームポジション設定

- 読み取り濃度

  読み取り濃度のホームポジションを 5 段階のいずれかに設定します。
- 文字サイズ

  文字サイズのホームポジションを「ふつう字」、「小さな字」、「微細字」のいずれかに設定します。
- 自動濃度

  自動濃度のホームポジションを「する」または「しない」を設定します。

7

- 原稿種類

  原稿種類のホームポジションを「文字」「写真」または「文字/写真」のいずれかに設定します。
- 送信の種類

  送信の種類のホームポジションを「直接送信」または「メモリー送信」のいずれかに設定します。
- 印字用名称

  印字用名称の「印字する」または「印字しない」を設定します。

ホームポジションパラメーター一覧

スイッチの設定方法は P.302「ユーザーパラメーター設定のしかた」を参照してください。

表内のスイッチ以外は変更しないでください。

スイッチ	ビット	項目	0	1
00	3、2、1	読み取り濃度	000: 通常の濃度*1 001: もっともうすく 010: もっとも濃く 101: うすく 110: 濃く	
00	5、4	文字サイズ	00: ふつう字*1 01: 小さな字 10: 微細字	
00	6	自動濃度	しない*1	する
01	1、0	原稿種類	00: 文字 01: 写真 10: 文字/写真*1	
02	1	送信の種類	メモリー送信*1	直接送信
02	6	印字用名称	印字しない*1	印字する

*1 工場出荷時の設定

7

宛先を登録する

あて先を登録します。

ファクス宛先やメール宛先などを登録して一括管理できます。

アドレス帳の登録データはバックアップを取ることをお勧めします。

重要

- **アドレス帳の登録データは、本機に記録されます。万一、本機に不具合が生じたときは、記録されたデータが消失することがあります。お客様のデータ消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。**
- **アドレス帳は 150 件まで登録できます。**

ファクス宛先について

「ファクス宛先」を登録することによって、ファクス機能で読み取った文書をワンタッチでファクス送信することが可能になります。

- ファクス宛先をリダイヤルから指定して登録することができます。
- ファクス宛先は送信者として使うことができます。

ファクス宛先で登録できる内容は次のとおりです。

ファクス宛先

相手先のファクス番号を登録します。最大 50 桁まで登録できます。登録の省略はできません。

F コード（SUB）

F コード（SUB）を付けて送信すれば、その F コード（SUB) を知っている関係者の間だけで安全に文書をやり取りできます。

F コード（SEP）

F コード「SEP」を使用すると、ポーリング送信機能のある他社のファクスから同じ F コード（SEP）の付いた相手先の原稿を受信できます。

海外送信モード

海外送信モードを「する」に設定すると、通信速度を遅くしてより確実に送信します。ただし、送信時間は長くなります。

ファクス番号を登録する

1. **[初期設定］キーを押します。**
2. **[ログイン］を押します。**

7

3. **ログインパスワードを入力して、[OK]キーを押します。**

4. **[▲]または[▼]キーを押して[システム設定]を選択し、[OK]キーを押します。**

5. **[▲]または[▼]キーを押して[管理者用設定]を選択し、[OK]キーを押します。**

6. **[▲]または[▼]キーを押して[アドレス帳登録/ 変更/ 消去]を選択し、[OK]キーを押します。**

7. **[▲]または[▼]キーを押して[登録/ 変更]を選択し、[OK]キーを押します。**

8. **ファクス番号を登録したいユーザーの登録番号をテンキーで入力し、[OK]キーを押します。**

登録番号 001-020 はワンタッチキーを押すと設定できます。

[検索]を押すと、名称、リスト表示、登録番号、ファクス番号、アドレス、フォルダー宛先から検索できます。

9. **名前を入力し、[OK]キーを押します。**

10. **ヨミガナを入力し、[OK]キーを押します。**

11. **[送信先]を押します。**

12. **[▲]または[▼]キーを押して[ファクス設定]を選択し、[OK]キーを押します。**

13. **ファクス番号をテンキーで入力します。**

14. **[オプション]を押して F コードや海外送信モードなどのオプション設定を設定します。**

15. **[確認]を押します。**

16. **[OK]キーを押します。**

17. **[終了]を押します。**

18. **[OK]キーを押します。**

19. **[戻る]キーを押します。**

補足

- 文字の入力方法については、P.149「文字を入力する」を参照してください。
- 内線接続時に外線発信するときは、外線アクセス番号と相手先番号の間に「ポーズ」を挿入してください。
- 『発信者番号通知サービス*1』等を利用しているときは、「184」や「186」といったサービス番号と相手先番号の間に「ポーズ」を挿入してください。

＊1 NTT 発信番号通知サービス（外部 URL）http://www.ntt-east.co.jp/ISDN/64/fundamental/sankou/01.html

F コード（SUB）を設定するとき

1. ［オプション］を押します。
2. ［▲］または［▼］キーを押して［送信用 F コード（SUB)］を選択し、［OK］キーを押します。
3. テンキーで送信用 F コード（SUB）を入力し、［OK］キーを押します。
4. テンキーでパスワード（SID）を入力し、［OK］キーを押します。
5. ［確認］を押します。

F コード（SEP）を設定するとき

1. ［オプション］を押します。
2. ［▲］または［▼］キーを押して［取出用 F コード（SEP)］を選択し、［OK］キーを押します。
3. テンキーで取出し用 F コード（SEP）を入力し、［OK］キーを押します。
4. テンキーでパスワード（PWD）を入力し、［OK］キーを押します。
5. ［確認］を押します。

海外送信モードを設定するとき

1. ［オプション］を押します。
2. ［▲］または［▼］キーを押して［海外送信モード］を選択し、［OK］キーを押します。
3. ［▲］または［▼］キーを押して［する］または［しない］を選択し、［OK］キーを押します。
4. ［確認］を押します。

メール宛先について

「メール宛先」を登録することによって、メールアドレスを入力しないで、スキャナー機能やファクス機能で読み取った文書をメールで送信することが可能になります。

- メール宛先は、スキャナー機能やファクス機能から送信するときに、送信者のメールアドレスとして使うことができます。

メール宛先を登録する

1. [初期設定] キーを押します。
2. [ログイン] を押します。
3. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して [システム設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] または [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] または [▼] キーを押して [アドレス帳登録/ 変更/ 消去] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [▲] または [▼] キーを押して [登録/ 変更] を選択し、[OK] キーを押します。
8. メール宛先を登録したいユーザーの登録番号をテンキーで入力し、[OK] キーを押します。

   登録番号 001-020 はワンタッチキーを押すと設定できます。

   [検索] を押すと、名称、リスト表示、登録番号、ファクス番号、アドレス、フォルダー宛先から検索できます。
9. 名前を入力し、[OK] キーを押します。
10. ヨミガナを入力し、[OK] キーを押します。
11. [送信先] を押します。
12. [▲] または [▼] キーを押して [メール設定] を選択し、[OK] キーを押します。
13. メールアドレスを入力し、[OK] キーを押します。
14. [▲] または [▼] キーを押してメールアドレスの使用対象を選択し、[OK] キーを押します。
15. [終了] を押します。
16. [OK] キーを押します。
17. [戻る] キーを押します。

補足

- 文字の入力方法については、P.149「文字を入力する」を参照してください。

フォルダーについて

フォルダーを登録すると、スキャナーで読み取った画像や、ファクスで受信した原稿を直接共有フォルダーに送信できます。

プロトコルには次の 2 種類があります。

- SMB

  Windows の共有フォルダーへ送信するときに設定します。

- FTP

  FTP サーバーのフォルダーへ送信するときに設定します。

補足

- プロトコル、サーバー名、フォルダー階層についての詳細は、ネットワーク管理者に確認してください。
- SMB または FTP を選択できます。設定を終了したあとにプロトコルを変更すると、登録内容がクリアされます。

SMB のフォルダー宛先を登録する

1. [初期設定] キーを押します。
2. [ログイン] を押します。
3. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して [システム設定] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] または [▼] キーを押して [管理者用設定] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] または [▼] キーを押して [アドレス帳登録/ 変更/ 消去] を選択し、[OK] キーを押します。
7. [▲] または [▼] キーを押して [登録/ 変更] を選択し、[OK] キーを押します。
8. フォルダー宛先を登録したいユーザーの登録番号をテンキーで入力し、[OK] キーを押します。

   登録番号 001-020 はワンタッチキーを押すと設定できます。

   [検索] を押すと、名称、リスト表示、登録番号、ファクス番号、アドレス、フォルダー宛先から検索できます。

9. 名前を入力し、[OK] キーを押します。
10. ヨミガナを入力し、[OK] キーを押します。

11. ［送信先］を押します。
12. ［▲］または［▼］キーを押して［認証情報］を選択し、［OK］キーを押します。
13. ［▲］または［▼］キーを押して［フォルダー認証］を選択し、［OK］キーを押します。
14. ［▲］または［▼］キーを押して［他の認証情報を指定］を選択し、［ユーザー名］を押します。

    ［指定しない］を選択したときは、［ファイル転送設定］タブにある［送信初期ユーザー名・パスワード］で設定したユーザー名とパスワードが有効になります。詳しくは、P.277「ファイル転送設定」を参照してください。
15. ログインユーザー名を入力して、［OK］キーを押します。
16. ［パスワード］を押します。
17. パスワードを入力して、［OK］キーを押します。
18. 確認用にもう一度パスワードを入力して、［OK］キーを押します。
19. ［OK］キーを押します。
20. ［戻る］キーを押します。

21. ［▲］または［▼］キーを押して［フォルダー情報］を選択し、［OK］キーを押します。
22. ［▲］または［▼］キーを押して［SMB］を選択し、［OK］キーを押します。
23. ［▲］または［▼］キーを押してパスの指定方法を選択し、［OK］キーを押します。

    フォルダーの指定は、パスを直接入力するか、ネットワークを参照してフォルダーを選択します。詳細については、P.311「SMB のフォルダーを直接指定するとき」、P.311「SMB のフォルダーをネットワーク参照から指定するとき」を参照してください。
24. ［接続テスト］を押し、パスが正しく設定されたか確認します。

    接続テストが失敗したときは、設定を確認してからもう一度、接続テストをしてください。
25. ［確認］を押します。
26. ［戻る］キーを押します。
27. ［終了］を押します。
28. ［OK］キーを押します。
29. ［戻る］キーを押します。

補足

- 文字の入力方法については、P.149「文字を入力する」を参照してください。

- 「ログインユーザー名」は半角英数 20 文字以内で入力してください。
- パスワードは半角英数 20 文字以内で入力してください。

SMB のフォルダーを直接指定するとき

1. [▲] または [▼] キーを押して [直接入力] を選択し、[OK] キーを押します。

2. パスを入力し、[OK] キーを押します。

メッセージが表示されたときは [確認] を押し、再度パスを入力してください。

補足

- パス名は「¥¥(サーバー名)¥(シェア名)¥(パス名)」の形式で入力します。
- パスは 128 文字以内で入力してください。
- 文字の入力方法については、P.149「文字を入力する」を参照してください。

SMB のフォルダーをネットワーク参照から指定するとき

1. [▲] または [▼] キーを押して [ネットワーク参照] を選択し、[OK] キーを押します。

同じネットワーク上のワークグループが表示されます。

アクセス認証されているフォルダー宛先だけがネットワーク上に表示されます。

2. [▲] [▼] [◀] [▶] キーを押してワークグループを選択し、[OK] キーを押します。

選択されたワークグループのコンピュータが表示されます。

3. [▲] [▼] [◀] [▶] キーを押してクライアントコンピューターを選択し、[OK] キーを押します。

共有フォルダーが表示されます。

[上へ] を押すと階層を切り替えることができます。

フォルダー認証を設定しないとき、またはフォルダー認証のユーザー名とパスワードが正しくないときは、ログイン画面が表示されます。

ログイン画面が表示されたときは、認証されているユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。

4. [▲] [▼] [◀] [▶] キーを押して登録したいフォルダーを選択し、[パス決定] を押します。

5. [OK] キーを押します。

FTP のフォルダー宛先を登録する

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［ログイン］を押します。
3. ログインパスワードを入力して、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して［システム設定］を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［▲］または［▼］キーを押して［管理者用設定］を選択し、［OK］キーを押します。
6. ［▲］または［▼］キーを押して［アドレス帳登録/ 変更/ 消去］を選択し、［OK］キーを押します。
7. ［▲］または［▼］キーを押して［登録/ 変更］を選択し、［OK］キーを押します。
8. フォルダー宛先を登録したいユーザーの登録番号をテンキーで入力し、［OK］キーを押します。

   登録番号 001-20 はワンタッチキーを押すと設定できます。

   ［検索］を押すと、名称、リスト表示、登録番号、ファクス番号、アドレス、フォルダー宛先から検索できます。

9. 名前を入力し、［OK］キーを押します。
10. ヨミガナを入力し、［OK］キーを押します。
11. ［送信先］を押します。
12. ［▲］または［▼］キーを押して［フォルダー情報］を選択し、［OK］キーを押します。
13. ［▲］または［▼］キーを押して［FTP］を選択し、［OK］キーを押します。
14. サーバー名を入力し、［OK］キーを押します。
15. ポート番号を入力し、［OK］キーを押します。

    ポート番号は 1-65535 以内で指定できます。

16. パスを入力し、［OK］キーを押します。

    絶対パスで指定するときは「¥（ユーザー）¥（ホーム）¥（ユーザー名）」の形式で入力します。相対パスで指定するときは「(ディレクトリ¥サブディレクトリ)」の形式で入力します。

    パスを指定しないときは、ログインディレクトリが指定されます。

    パス名は IPv4 アドレスも入力できます。

    パス名は 128 文字以内で指定できます。

17. [接続テスト]を押し、パスが正しく設定されたか確認します。

接続テストが失敗したときは、設定を確認してからもう一度、接続テストをしてください。

18. [確認]を押します。

19. [戻る]キーを押します。

20. [▲]または[▼]キーを押して[認証情報]を選択し、[OK]キーを押します。

21. [▲]または[▼]キーを押して[フォルダー認証]を選択し、[OK]キーを押します。

22. [▲]または[▼]キーを押して[他の認証情報を指定]を選択し、[ユーザー名]を押します。

[指定しない]を選択したときは、[ファイル転送設定]タブにある[送信初期ユーザー名・パスワード]で設定したユーザー名とパスワードが有効になります。詳しくは P.277「ファイル転送設定」を参照してください。

23. 「ログインユーザー名」を入力し、[OK]キーを押します。

24. [パスワード]を押します。

25. 「パスワード」を入力し、[OK]キーを押します。

26. 確認用にもう一度パスワードを入力し、[OK]キーを押します。

27. [OK]キーを押します。

28. [戻る]キーを押します。

29. [終了]を押します。

30. [OK]キーを押します。

31. [戻る]キーを押します。

補足

- 「ログインユーザー名」は半角英数 20 文字以内で入力してください。
- パスワードは半角英数 20 文字以内で入力してください。
- 文字の入力方法については、P.149「文字を入力する」を参照してください。

表示言語設定

ディスプレイに表示される言語を設定します。

1. ［初期設定］キーを押します。
2. ［▲］または［▼］キーを押して［表示言語切替］を選択し、［OK］キーを押します。
3. ［▲］または［▼］キーを押して言語を選択し、［OK］キーを押します。
4. ［戻る］キーを押します。
5. 電源を入れ直します。

ユーザーコード

ユーザーコードを登録することによって、コードごとに本機の使用者や機能を制限できます。

ユーザーコードを有効にしたときは、プリンタードライバーにユーザーコードを設定する必要があります。

プリンタードライバーのユーザーコードの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

認証設定

- 簡易認証

  ユーザーコードの情報を持っているプリンタージョブに対して認証を行います。

  認証が通ったユーザーコードとユーザーコードの情報を持たないプリンタージョブが印刷できます。

- 全て認証

  全てのプリンタージョブに対して認証を行います。

  認証が通ったユーザーコードのみ印刷できます。

- しない

  プリンタージョブに対して認証を行いません。

工場出荷時の設定：**しない**

登録件数確認

ユーザーコードの登録件数を確認します。ユーザーコードは最大 20 件まで登録できます。

ユーザーコード登録

ユーザーコードを登録します。ユーザーコードは最大 8 桁までの数字を入力します。

ユーザーコードを入力した後、利用者の機能制限を行います。

- 白黒印刷

  白黒印刷のみ実行可能です。

- レベルカラー印刷

  レベルカラー印刷、白黒印刷が実行可能です。

- フルカラー印刷

  全ての印刷モードが実行可能です。

工場出荷時の設定：**白黒印刷**

設定変更

登録されているユーザーコードから変更対象のユーザーコードを選択します。

- ユーザーコードの変更

7

- 利用許可の変更

ユーザーコードの削除

ユーザーコードを削除します。

- 選択して削除
- ユーザーコード全削除

ユーザーコード認証を設定する

1. [初期設定] キーを押します。
2. [ログイン] を押します。
3. ログインパスワードを入力して、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して、[ユーザーコード] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [▲] または [▼] キーを押して、[認証設定] を選択し、[OK] キーを押します。
6. [▲] または [▼] キーを押して、認証方法を選択し、[OK] キーを押します。
7. [戻る] キーを 2 回押します。
8. ログアウトします。

8. 本機の状態を確認する

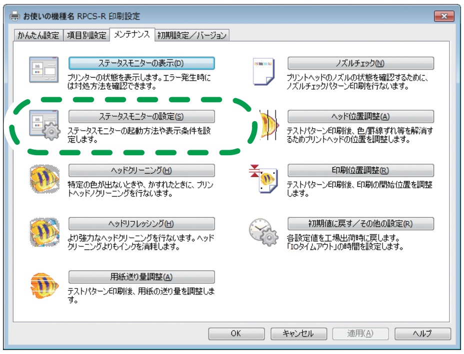
本機の状態を確認する方法を説明します。

ステータスモニターを使用する

ステータスモニターで印刷の進行状況や、エラー表示、インク残量などを確認できます。

ステータスモニターの起動方法や表示条件を設定する手順を説明します。

1. ［プリンターの印刷設定］を開きます。
2. ［メンテナンス］タブをクリックします。
3. ［ステータスモニターの設定］をクリックします。



CHU225

4. 起動方法や表示条件を設定します。
5. ［OK］を 2 回クリックします。

補足

- ［ステータスモニターの設定］の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ステータスモニターから印刷の中止ができます。P.158「ステータスモニターから中止する」を参照してください。
- インク残量を確認するときは、P.347「インクの残量を確認する」を参照してください。
- 廃インクの量を確認するときは、P.354「廃インクの量を確認する」を参照してください。
- ステータスモニターのエラー表示を確認するときは、P.422「ステータスモニターのエラー表示」を参照してください。

Web Image Monitor を使用する

パソコンから本機の状態の確認や、ネットワークに関する設定ができます。

Web Image Monitor では以下の操作ができます。

- 本機の状態と設定の確認
- 本機の各種設定
- メール通知機能の設定
- ネットワークプロトコルに関する設定
- 本機のメンテナンス
- セキュリティーの設定
- インターネットファクスの設定
- 本機のリセット
- ファームウェアの更新

本機の環境設定

Web Image Monitor は TCP/IP プロトコルを使って動作します。本機で TCP/IP プロトコルを設定すると、Web Image Monitor は自動的に有効になります。

推奨ブラウザー

- Windows

  Internet Explorer 6.0 以降

  Fire Fox 2.0 以降

- Mac OS

  Safari 2.0 以降

  Fire Fox 2.0 以降

補足

- 使用するブラウザーのバージョンが推奨ブラウザーより低いときや、使用するブラウザーの設定で「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていないとき、および使用しているセキュリティー環境によっては、表示や操作に不具合が生じることがあります。
- 推奨ブラウザー以外を使用しているときは、表示や操作に不具合が生じることがあります。
- プロキシサーバーを使用しているときは、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- ブラウザーの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザーの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。

トップページを表示する

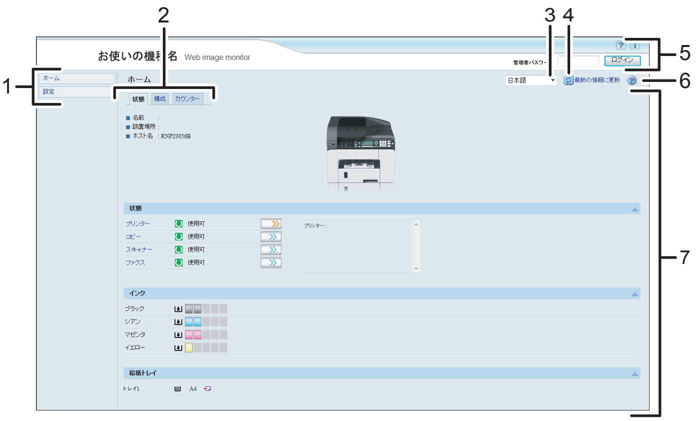
Web Image Monitor を表示する方法とトップページの構成を説明します。

1. Web ブラウザーを起動します。

2. アドレスバーに「http://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」を入力します。

サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしているときは、「https://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」と入力します。

Web Image Monitor は、フレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。



CHV272

1. **メニューエリア**

   メニュー項目を表示します。

2. **タブエリア**

   状態や構成を表示します。

3. **言語選択**

   言語を選択できます。

   英語 OS を使用して画面に文字化けが発生したときは、[英語（英）] を選択してください。

4. **最新の情報に更新**

   メインエリアの情報は自動的に更新されません。[最新の情報に更新] をクリックして最新の状態に更新してください。

5. **ヘッダーエリア**

   をクリックして、本機のファームウェアのバージョン情報を確認できます。インターネットで確認した最新のファームウェアのバージョンと比較して、ファームウェアの更新が必要かどうかを確認します。管理者パスワードを入力してログインすると、機器の設定を変更できます。

6. **ヘルプ**

   各画面のヘルプを閲覧できます。

8

7. メインエリア

メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

補足

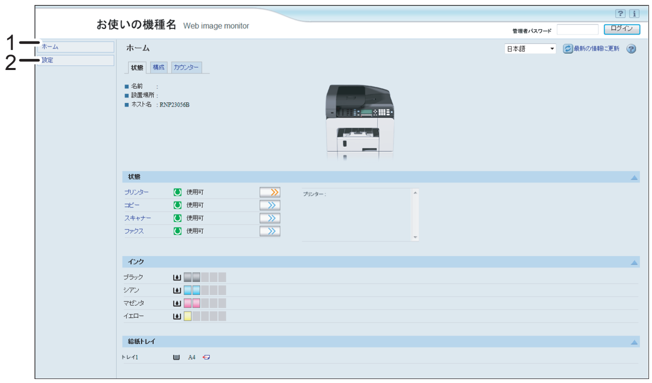
- ［印刷設定］の［初期設定/バージョン］タブの［プリンターの状態を確認...］をクリックして、Web Image Monitor を表示できます。

メニュー構成

メニューエリアのメニュー項目を説明します。

ゲストモード

ゲストモードでは、本機の状態と設定、印刷の進行状況が確認できますが、本機の設定は変更できません。



CHV273

1. ホーム

［状態］タブ、［構成］タブ、［カウンター］タブが表示され、ワークエリアに各タブの詳細が表示されます。

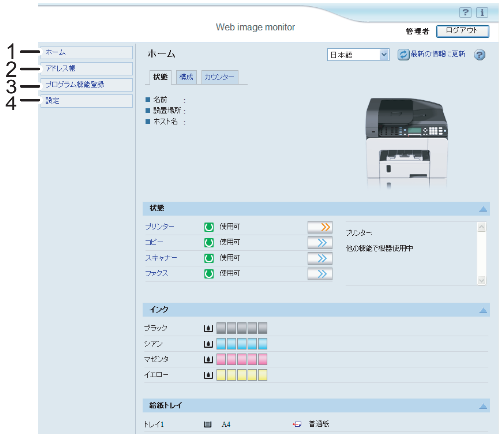
2. 設定

本機の各種設定ができます。

管理者モード

管理者モードでは、本機の各種設定が確認できます。

8



CHV274

1. **ホーム**

   ［状態］タブ、［構成］タブ、［カウンター］タブが表示され、ワークエリアに各タブの詳細が表示されます。

2. **アドレス帳**

   アドレス帳の設定ができます。

3. **プログラム機能登録**

   よく使用する設定をプログラムに設定できます。

4. **設定**

   本機の各種設定ができます。

8

Web Image Monitor から設定を変更する

本機の設定を変更するときは、管理者としてログインします。

1. Web ブラウザーを起動します。

2. アドレスバーに「http://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」を入力します。

3. 管理者パスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

初めてログインするときは、パスワードは「000000」とします。

パスワードは変更してください。

4. メニューエリアから［設定］をクリックします。

5. 各種設定をします。

6. ［OK］をクリックします。

設定が送信されます。

項目一覧

Web Image Monitor の各ページで設定できる項目は、以下のとおりです。

[機器] グループ

- [システム] ページ

  [名前]、[設置場所] が設定できます。

- [日付・時刻] ページ

  [年月日設定]、[時刻設定]、[SNTP 設定]、[SNTP サーバアドレス]、[SNTP ポート番号]、[SNTP ポーリング間隔]、[タイムゾーン]、[サマータイム設定]、[サマータイム設定(開始日時)]、[サマータイム設定(終了日時)]、[サマータイムオフセット時間] が設定できます。

- [メール] ページ

  設定できる項目と説明は、P.326「メールの設定項目」を参照してください。

- [自動メール通知] ページ

  設定できる項目と説明は、P.325「本機の状態をメールで通知する」を参照してください。

- [ファイル転送] ページ

  [SMB 送信ユーザー名]、[SMB 送信パスワード]、[FTP 送信ユーザー名]、[FTP 送信パスワード]、[メール件名初期値] が設定できます。

- [LDAP サーバー] ページ

  メール送信をするときに、LDAP サーバー上のアドレス帳からあて先を指定できます。

  [LDAP 検索] の有効／無効を設定できます。

- [リモート ROM アップデート] ページ

  ROM のファームウェアバージョンの確認とアップデートができます。必要に応じてリコーのホームページから最新のデータをダウンロードし、画面の指示にしたがってアップデートしてください。

- [管理者認証管理] ページ

  [新規パスワード] が設定できます。

- [機器のリセット] ページ

  ネットワークボードの設定が初期化できます。

[インターフェース] グループ

- [インターフェース設定] ページ

  [イーサネット] と [無線 LAN] の選択ができます。

    - [イーサネット]

[ネットワーク]、[物理アドレス]、[イーサネット速度] が設定できます。

- [無線 LAN 設定] ページ
    - [状態]

      [プロダクト ID]、[バージョン]、[バンド]、[チャンネル番号]、[BSSID]、[物理アドレス]、[現在の状態]、[送信パケット]、[受信パケット]、[簡単設定の状態]、[電波状態]、[送信状態] の確認ができます。
    - [設定]

      [SSID]、[暗号化] が設定できます。
    - [WEP 設定] ページ

      [キー長]、[キーフォーマット]、[WEP キー] が設定できます。
    - [WPA 設定] ページ

      [WPA]、[事前共有キーフォーマット]、[事前共有キー]、[EAP タイプ]、[EAP ユーザー ID]、[RADIUS ユーザー名]、[RADIUS ユーザーパスワード]、[ユーザーキーパスワード] が設定できます。

[ネットワーク] グループ

- [IPv4] ページ

  [IPv4] の有効／無効を設定できます。
    - [イーサネット]

      [ホスト名]、[ワークグループ名]、[DHCP]、[IPv4 アドレス保存]、[ドメイン名]、[IPv4 アドレス]、[サブネットマスク]、[DDNS] が設定できます。
    - [詳細設定]

      [デフォルトゲートウェイ]、[DNS サーバー]、[LPR]、[DIPRINT]、[WSD (Printer)]、[LLTD]、[IPP] が設定できます。
- [IPv6] ページ

  [IPv6] の有効／無効を設定できます。
    - [イーサネット]

      [ホスト名]、[ワークグループ名]、[ドメイン名]、[リンクローカルアドレス]、[ステートレスアドレス]、[手動設定アドレス]、[プレフィクス長]、[DDNS] が設定できます。
    - [詳細設定]

      [デフォルトゲートウェイ]、[DNS サーバー 1]、[DNS サーバー 2]、[LPR]、[DIPRINT]、[LLTD]、[IPP] が設定できます。
- [DHCPv6] ページ

  [DHCPv6] の有効／無効を設定できます。
    - [詳細設定]

［DHCPv6-lite/full］、［ステートレスアドレス］、［DUID］、［IAID］、［自動更新間隔］が設定できます。

- ［Bonjour］ページ

  ［Bonjour］を使用するときの、IPv4 および IPv6 の有効／無効が設定できます。

  - ［イーサネット］

    ローカルホスト名が表示されます。

  - ［詳細設定］

    ［コンピュータ名］、［設置場所］が設定できます。

  - ［印刷優先順位］

    ［DIPRINT］、［LPR］、［IPP］が設定できます。

- ［SNMP］ページ

  ［SNMP］の有効／無効を設定できます。

  - ［プロトコル］

    ［SNMP］を使用するときの、IPv4 および IPv6 の有効／無効が設定できます。

  - ［SNMPv1,v2 共通設定］

    ［SNMPv1,v2 機能］、［SNMPv1 Trap 送信］、［SNMPv2 Trap 送信］の設定ができます。

  - ［コミュニティー］

    ［コミュニティー］を 10 件設定できます。

- ［SNMPv3］ページ

  ［SNMP］の有効／無効を設定できます。

  - ［プロトコル］

    ［SNMP］を使用するときの、IPv4 および IPv6 の有効／無効が設定できます。

  - ［SNMPv3 設定］

    ［SNMPv3 機能］、［SNMPv3 Trap 送信］、［コンテキスト名］、［認証アルゴリズム］、［SNMPv3 通信許可設定］の設定ができます。

  - ［SNMPv3 Trap 送信設定］

    SNMPv3 Trap 送信先を 5 件設定できます。

  - ［アカウント（一般）］

    ［アカウント名（一般）］、［認証パスワード（一般）］、［暗号パスワード（一般）］、［アクセスタイプ（一般）］が設定できます。

  - ［アカウント（管理者）］

    ［アカウント名（管理者）］、［認証パスワード（管理者）］、［暗号パスワード（管理者）］、［アクセスタイプ（管理者）］が設定できます。

- ［設定値初期化］ページ

8

本機の設定値を初期値に戻します。

[セキュリティー]グループ

- [アクセスコントロール]ページ
    - [IPv4]
      アクセスコントロール範囲を 5 件設定できます。
    - [IPv6]
      範囲指定、またはマスク指定を 5 件設定できます。
- [証明書の導入]ページ
  [ユーザー証明書]、[ルート証明書]、[全証明書削除]が設定できます。

[ファクス初期設定]グループ

- [環境設定]ページ
  インターネットファクスの有効/無効が設定できます。
    - [発信元情報]
      [発信元名称]、[ファクス番号]の設定ができます。
    - [ダイヤル/プッシュ選択]
      G3 アナログ回線に接続するときの、電話回線の種別が設定できます。
- [送受信設定]ページ
    - [送信設定]
      メールで送信できるファイルの最大サイズの制限が設定できます。
      ファイルサイズを制限するときは、[メールサイズ]でサイズを指定できます。
    - [受信設定]
      [受信モード切り替え]、[受信時刻印字]の設定ができます。
- [パラメーター設定]ページ
    - [自動印刷レポート]
      [通信管理レポート]、[直接送信結果レポート]、[通信結果レポート]、[ポーリング受信結果レポート]の設定ができます。
    - [メール]
      メールの受信エラーがあったときにエラーレポートを受信できます。

本機の状態をメールで通知する

用紙切れや紙づまりなどが発生したときに、メール通知機能で本機の状態を通知できます。

8

本機の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。通知するタイミングや状態なども設定できます。

重要

- **メールソフトによっては、メールを受信したときに、フィッシングの警告が出ることがあります。回避方法は、メールソフトのヘルプを参照のうえ、送信者を警告対象外に設定してください。**

メール通知機能を使用するには、[メール]の[自動メール通知]を「する」に変更して、管理者がWeb Image Monitorからメールアドレスなどの各項目を設定します。

自動メール通知で設定できるものは、以下のとおりです。

- プリンターエラー
- インクなし
- インク残りわずか
- 廃インクボックス交換
- 廃インクボックスもうすぐ交換
- 用紙なし
- 用紙づまり
- 用紙サイズエラー
- 用紙種類エラー
- 用紙サイズ・用紙種類エラー
- カバーオープン
- セット不良
- 使用温度範囲外
- 紙づまり(ADF)

補足

- 自動メール通知については、P.269「インターフェース設定」を参照してください。
- 管理者としてログインする方法は、P.321「Web Image Monitorから設定を変更する」を参照してください。

メールの設定項目

[メール]ページはメール送信のための基本設定や認証を設定します。

自動メール通知の有効/無効を切り替えます。管理者メールアドレスは、メッセージ本文に記載されます。機器のメールアドレスは、Fromに表示されます。

管理者メールアドレス

64文字以下の文字列で入力します。

工場出荷時の設定：**空欄**

自動メール通知

この機能の有効／無効を設定できます。

工場出荷時の設定：**しない**

SMTP

SMTP サーバー名、SMTP ポート番号を設定し、SMTP の認証情報を設定します。

SMTP 認証を設定することで、接続先のメールサーバーが SMTP 認証によるメール送信制限をしていても、メールを送信できます。

SMTP 認証を使用することで、認証が必要な SMTP サーバーへログインできます。認証方式は CRAM-MD5、PLAIN、LOGIN に対応しています。

- SMTP サーバー名

  127 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

- SMTP ポート番号

  工場出荷時の設定：**25**

- SMTP 認証

  この機能の有効／無効を設定できます。

  工場出荷時の設定：**しない**

- SMTP 認証ユーザー名

  20 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

- SMTP 認証パスワード

  20 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

POP before SMTP

POP before SMTP を設定することで、接続先のメールサーバーが POP before SMTP によるメール送信制限をしていても、メールを送信できます。

POP before SMTP を使用することで、POP before SMTP 対応の SMTP サーバーへログインできます。

POP before SMTP、POP サーバー名、POP ポート番号、POP ユーザ名、POP パスワードを設定します。

- POP before SMTP

  この機能の有効／無効を設定できます。

  工場出荷時の設定：**しない**

- POP ユーザー名

20 文字以下の文字列で入力します。

工場出荷時の設定：**空欄**

- POP パスワード

  20 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

- POP 認証後待機時間

  POP サーバーへログインしたあとに SMTP サーバーへログインするまでの待機時間を 0 から 10000 秒の間で設定できます。

  工場出荷時の設定：**300**

POP3

- POP3 サーバー名

  127 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

メール通信ポート

- POP3 受信ポート番号

  工場出荷時の設定：**110**

ファクスメールアカウント

- ［ファクスメールアドレス］

  64 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

- ［ファクスメールの受信］

  この機能の有効／無効を設定できます。

  工場出荷時の設定：**しない**

- ［ファクスメールユーザー名］

  20 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

- ［ファクスメールパスワード］

  20 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

自動メール通知：エラー通知グループ 1～4 の設定項目

この機能の有効／無効を設定できます。

[グループ名]

20 文字以下の文字列（日本語可）で入力します。

工場出荷時の設定：**空欄**

[メールの言語]

メールの言語を選択できます。

工場出荷時の設定：**日本語**

[件名]

32 文字以下の文字列（日本語可）で入力します。

工場出荷時の設定：**空欄**

[本文]

128 文字以下の文字列（日本語可）で入力します。

工場出荷時の設定：**空欄**

[通知先アドレス]

- [名前]

  20 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

- [メールアドレス]

  128 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

- [現在のアドレス:]

  グループに登録されているメールアドレスを表示します。

自動メール通知：エラー通知詳細設定の設定項目

サービスコール

- 通知する時：

  工場出荷時の設定：**発生**

- 通知までの時間：(分)

  工場出荷時の設定：**0（分）**

インクなし

- 通知する時：

  工場出荷時の設定：**発生**

- 通知までの時間：(分)

  工場出荷時の設定：**0（分）**

インク残りわずか

- 通知する時：
  工場出荷時の設定：**発生**
- 残量レベル：
  工場出荷時の設定：10（%）

廃インクボックス交換

- 通知する時：
  工場出荷時の設定：**発生**
- 通知までの時間：(分)
  工場出荷時の設定：0（分）

新しい廃インクボックスを用意

- 通知する時：
  工場出荷時の設定：**発生**
- 残量レベル：
  工場出荷時の設定：10（%）

用紙なし

- 通知する時：
  工場出荷時の設定：**発生**
- 通知までの時間：(分)
  工場出荷時の設定：0（分）

用紙づまり

- 通知する時：
  工場出荷時の設定：**発生**
- 通知までの時間：(分)
  工場出荷時の設定：0（分）

用紙サイズエラー

- 通知する時：
  工場出荷時の設定：**発生**
- 通知までの時間：(分)
  工場出荷時の設定：0（分）

用紙種類エラー

- 通知する時：
  工場出荷時の設定：**発生**
- 通知までの時間：(分)

工場出荷時の設定：**0（分）**

用紙サイズ・用紙種類エラー

- 通知する時：

  工場出荷時の設定：**発生**

- 通知までの時間：（分）

  工場出荷時の設定：**0（分）**

カバーオープン

- 通知する時：

  工場出荷時の設定：**発生**

- 通知までの時間：（分）

  工場出荷時の設定：**0（分）**

設定エラー

- 通知する時：

  工場出荷時の設定：**発生**

- 通知までの時間：（分）

  工場出荷時の設定：**0（分）**

使用温度範囲外

- 通知する時：

  工場出荷時の設定：**発生**

- 通知までの時間：（分）

  工場出荷時の設定：**0（分）**

自動原稿送り装置エラー

- 通知する時：

  工場出荷時の設定：**発生**

- 通知までの時間：（分）

  工場出荷時の設定：**0（分）**

自動メール通知：カウンター情報通知

この機能の有効／無効を設定できます。

[メールの言語]

メールの言語を選択できます。

工場出荷時の設定：**日本語**

[件名]

32 文字以下の文字列（日本語可）で入力します。

工場出荷時の設定：**空欄**

[通知先アドレス]

- [名前]

  20 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

- [メールアドレス]

  64 文字以下の文字列で入力します。

  工場出荷時の設定：**空欄**

- [現在のアドレス:]

  グループに登録されているメールアドレスを表示します。

自動メール通知：カウンター情報通知の設定項目

この機能の有効／無効を設定できます。

[通知方法]

工場出荷時の設定：**月ごと**

[カウンター値ごと]

8

工場出荷時の設定：**100（ページごと）**

[通知する日]

工場出荷時の設定：**1（日）**

Web Image Monitor のヘルプ

Web Image Monitor のヘルプ表示手順を説明します。

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **アドレスバーに「http://（本機の IP アドレス、またはホスト名）/」を入力します。**
3. **?をクリックします。**

   ヘルプのトップページが表示されます。

   表示しているページ内で?をクリックすると、そのページのヘルプページが表示されます。

機器設定ユーティリティーを使用する

機器設定ユーティリティーを使って、本機に関する設定を変更できます。

重要

- **本機とクライアントコンピューターを USB で接続している必要があります。**
- **あらかじめ付属の CD-ROM「ドライバー・操作ガイド・ユーティリティー」で、機器設定ユーティリティーをインストールしておいてください。**

どんなことができるのか？

機器設定ユーティリティーを使って、ファイルの登録／変更や、本機に関する設定の変更をパソコン側からすることができます。また頻繁に使用する機能などをプログラム登録できます。

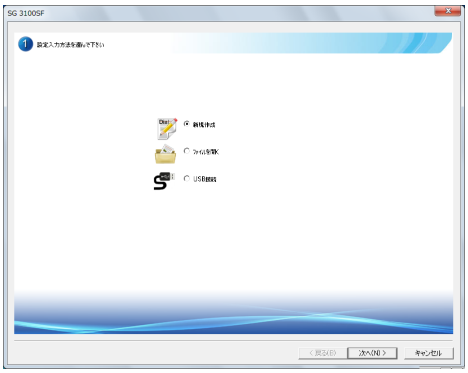
以下の設定ができます：

- システム設定
- ネットワークインターフェース設定
- アドレス帳
- コピー機能
- ファクス機能
- プリンター機能
- スキャナー機能
- プログラム機能
- 機器情報

8

操作の流れ

機器設定ユーティリティーの基本操作について説明します。



- 新規作成

新しい機器設定ユーティリティーのファイルを作ります。

- ファイルを開く

  既存の機器設定ユーティリティーファイルを変更します。

- USB 接続

  本機の設定を表示/変更します。

「USB 接続」を使って、本機の設定を表示/変更します。

1. ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］をクリックします。
2. ［Device Setting for SG 3100SF］をクリックします。
3. ［USB 接続］をクリックします。
4. ［次へ］をクリックします。
5. リストから変更したい設定を選択します。
6. 設定を変更して、［次へ］をクリックします。
7. 設定を保存するか、アップロードするかを選択します。

   保存するときは、［名前を付けて保存...］を選択します。

   本機に直接設定をアップロードするときは、「USB に保存」を選択します。
8. ［次へ］をクリックします。
9. ［完了］をクリックします。

アドレス帳を登録する

機器設定ユーティリティーを使ってアドレス帳を登録します。

1. ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］をクリックします。
2. ［Device Setting for SG 3100SF］をクリックします。
3. ［新規作成］をクリックします。
4. ［次へ］をクリックします。
5. リストから［アドレス帳］を選択します。
6. ［編集］を選択します。
7. ［ユーザー登録］を選択し、［OK］を押します。
8. 必要な情報を入力し、［OK］を押します。
9. ［次へ］を 2 回クリックします。

   保存するときは、［名前を付けて保存...］を選択します。

本機に直接設定をアップロードするときは、「USB に保存」を選択します。

10. [完了] をクリックします。

プログラム登録する

機器設定ユーティリティーを使って本機のプログラム機能を登録します。

1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] をクリックします。
2. [Device Setting for SG 3100SF] をクリックします。
3. [USB 接続] をクリックします。
4. [次へ] をクリックします。
5. リストから [プログラム機能] を選択します。
6. [編集] をクリックします。
7. [主機能]、[名称 (1 行目)]、[名称 (2 行目)] を入力し、[OK] をクリックします。
8. 機能を選択し、[OK] をクリックします。

   必要に応じて [詳細設定] を変更します。
9. [次へ] を 2 回クリックします。

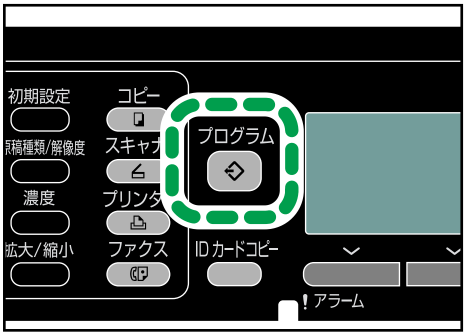
   保存するときは、[名前を付けて保存...] を選択します。

   本機に直接設定をアップロードするときは、「USB に保存」を選択します。
10. [完了] をクリックします。

登録したプログラム機能を使用する

機器設定ユーティリティーを使って登録したプログラム機能を本機で使用できます。

1. ［プログラム］キーを押します。



2. 使用するプログラム機能を選択し、［OK］キーを押します。

SNMP を使用する

イーサネットインターフェースは UDP 上で動作する SNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています。SNMP マネージャを使用して本機の情報を取得できます。

工場出荷時のコミュニティ名には「public」が設定されています。このコミュニティ名で MIB 情報を取得できます。

サポートしている MIB

SNMPv1/v2c/SNMPv3

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB
- PrinterPortMonitorMIB
- IP Forwarding Table MIB

SNMPv3

- SNMPv2-MIB
- SNMP-FRAMEWORK -MIB
- SNMP-MPD-MIB
- SNMP-TARGET-MIB
- SNMP-NOTIFICATION-MIB
- SNMP-USER-BASED-SM-MIB
- SNMP-VIEW-BASED-AMC-MIB
- SNMP-COMMUNITY-MIB

レポートで本機の設定・状態・通信記録を確認する

ここでは本機からレポートを印刷して本機の各種設定、通信記録を確認します。

次のレポートがあります。

- メニューリスト
- 宛先リスト
- グループ宛先リスト
- 設定一覧リスト
- 通信管理レポート
- 直接送信結果レポート
- 通信結果レポート
- エラーレポート
- ポーリング受信結果レポート
- 送信待機リスト

メニューリスト

本機ステータスリストについて説明します。

次の項目を確認できます。

- メンテナンス
- システム設定
- コピー設定
- ファクス設定
- プリンター設定
- スキャナー設定
- 言語

宛先リスト

本機のアドレス帳に登録した宛先リストについて説明します。

主に次の項目を確認できます。

- 登録番号

あて先の登録番号が表示されます。

- 名前

  登録した名前が表示されます。

- 宛先

  ファクス番号、メールアドレス、またはその両方が表示されます。

グループ宛先リスト

グループ宛先リストについて説明します。

主に次の項目を確認できます。

- グループ

  グループの登録番号が表示されます。

- 名前

  本機に登録したグループ名が表示されます。

- 宛先

  あて先の登録番号が表示されます。

設定一覧リスト

本機のネットワークとインターフェースの設定が表示されます。

通信管理レポート

通信管理 レポートについて説明します。

主に次の項目を確認できます。

- 日付

  通信した日付が表示されます。

- 時間

  通信した時間が表示されます。

- 宛先

  あて先名が表示されます。

- 送信条件

  送信条件が表示されます。

- 通信時間

通信した時間が表示されます。99 分 59 秒を超えたときは、「＊＊＊＊」が表示されます。

- ページ

セッションの合計ページが表示されます。999 枚を超えたときは、「＊＊＊」が表示されます。

- 結果

「OK」「エラー」のいずれかの通信結果が表示されます。

- ユーザー名

パソコンからファクスを送信したときに、送信者名が表示されます。

- No.

ファイル番号が表示されます。

直接送信結果レポート

直接送信で送付したファクスの通信結果について説明します。

主に次の項目を確認できます。

- 日付

通信した日付が表示されます。

- 時間

通信した時間が表示されます。

- 宛先

あて先名が表示されます。

- 送信条件

送信条件が表示されます。

- 通信時間

通信した時間が表示されます。99 分 59 秒を超えたときは、「＊＊＊＊」が表示されます。

- ページ

セッションの合計ページが表示されます。999 枚を超えたときは、「＊＊＊」が表示されます。

- 結果

「OK」「エラー」のいずれかの通信結果が表示されます。

- No.

ファイル番号が表示されます。

通信結果レポート

メモリー送信で送付したファクスの通信結果について説明します。

主に次の項目を確認できます。

- 日付

  通信した日付が表示されます。

- 時間

  通信した時間が表示されます。

- 宛先

  あて先名が表示されます。

- 送信条件

  送信条件が表示されます。

- 時間

  通信した時間が表示されます。99 分 59 秒を超えたときは、「＊＊＊＊」が表示されます。

- ページ

  セッションの合計ページが表示されます。999 枚を超えたときは、「＊＊＊」が表示されます。

- 結果

  「OK」「エラー」のいずれかの通信結果が表示されます。

  送信されなかったときは、エラーコードが表示されます。

  - エラー 1）通信中断

    回線が正しく接続されませんでした。

  - エラー 2）通話中

    相手先が通信中でした。

  - エラー 3）応答なし

    相手先が応答しませんでした。

  - エラー 4）相手先がファクシミリでない

    送信先がファクス機であることを確認してください。

  - エラー 5）メールサイズオーバー

    ファイルのサイズが大きすぎます。

- No.

  ファイル番号が表示されます。

8

エラーレポート

ファクスの送受信中にエラーが発生したときは、エラーレポートを印刷します。

主に次の項目を確認できます。

- 宛先

  あて先名が表示されます。

- 送信条件

  送信条件が表示されます。

- 時間

  通信にかかった時間が表示されます。

- ページ

  エラーで送受信できなかった合計ページが表示されます。

- 結果

  「エラー」のあとにエラーの内容を示す番号が記載されます。

- No.

  ファイル番号が表示されます。

ポーリング受信結果レポート

ポーリング受信の結果が表示されます。

主に次の項目を確認できます。

- No.

  ファイル番号が表示されます。

- 送信条件

  送信条件が表示されます。

- 宛先

  あて先名が表示されます。

- 結果

  受信が正しくできたときは、「OK」が表示されます。

  受信が失敗したときは、エラーの内容を示す番号が記載されます。

送信待機リスト

メモリーに蓄積されている文書を確認できます。

主に次の項目を確認できます。

- No.

  ファイル番号が表示されます。

- 時間

  メモリーに蓄積された時間が表示されます。

- 送信条件

  送信条件が表示されます。

- 宛先

  あて先名が表示されます。

- ページ

  ファクスの合計ページが表示されます。999 枚を超えたときは、「＊＊＊」が表示されます。

- 結果

  「待機中」、「送信中」のいずれかの通信結果が表示されます。

- 送信していないページ

  未送信のページ数が表示されます。

リストを印刷する

リストを手動で印刷します。

ここでは、通信レポートの印刷方法を説明します。

そのほかのリストやレポートの印刷方法について詳しくは、P.450「各種シートの一覧」を参照してください。

1. [ファクス] キーを押します。
2. [拡張送信] を押します。
3. [▲] または [▼] キーを押して [通信情報] を選択し、[OK] キーを押します。
4. [▲] または [▼] キーを押して [通信レポート印刷] を選択し、[OK] キーを押します。
5. [白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。

通信結果を確認する

通信結果を画面に表示します。

1. ［ファクス］キーを押します。
2. ［拡張送信］を押します。
3. ［▲］または［▼］キーを押して［通信情報］を選択し、［OK］キーを押します。
4. ［▲］または［▼］キーを押して［送信結果表示］か［受信結果表示］を選択し、［OK］キーを押します。
5. ［▲］または［▼］キーを押して送信結果または、受信結果を確認します。

8

9. 保守・運用

本機の保守・運用方法を説明します。

SG カートリッジを交換する

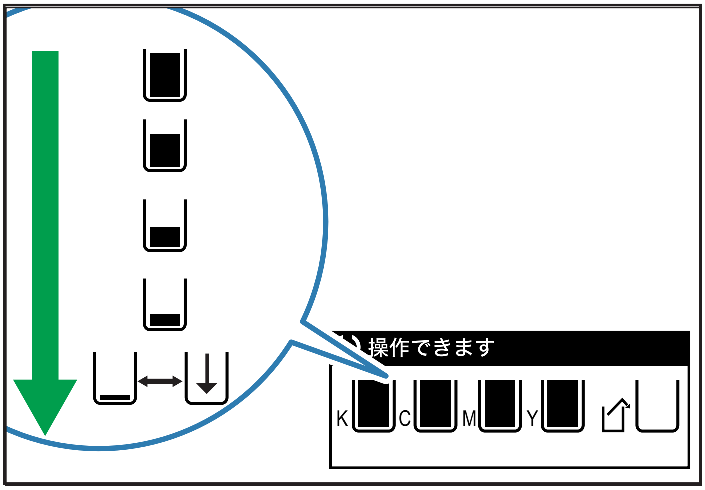
インクの残量を確認する

SG カートリッジの交換時期はディスプレイやステータスモニターで確認できます。

ディスプレイで確認する

インク色対応表示の上のマークの変化によってインクの残量を確認できます。

インク色対応表示の K はブラック、C はシアン、M はマゼンタ、Y はイエローを示しています。



CHV228

インクが残りわずかになると、「インク残りわずか」というメッセージが表示されます。

が表示されている色の SG カートリッジを準備してください。

インクがなくなると、ディスプレイに「前カバーの中の説明に従い、インクカートリッジを交換してください。」というメッセージが表示されます。

ステータスモニターで確認する

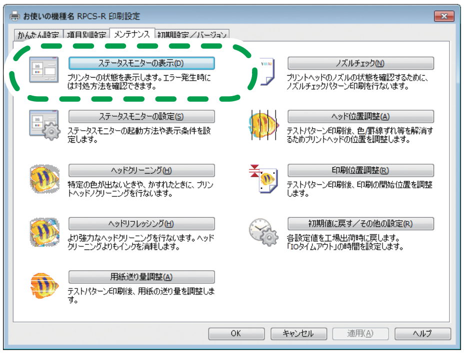
グラフィックの変化によってインクの残量を確認できます。

1. **プリンタードライバーの設定画面を開きます。**

   P.151「プリンタードライバーの設定画面を表示する」

2. **［メンテナンス］タブをクリックします。**

3. **［ステータスモニターの表示］をクリックします。**



CHU226

4. **インク交換時期の目安を確認します。**

補足

- ステータスモニターには、インクが少なくなった時点で通知する設定があります。プリンタードライバーの設定画面の［メンテナンス］タブで［ステータスモニターの設定］をクリックし、［カートリッジ交換通知を行う］にチェックを付けます。

参照

- SG カートリッジは正しくご利用ください。誤った取り扱いをすると、SG カートリッジ内のデータが正しく読めず、ステータスモニターのインク残量の表示が不明になるときがあります。P.351「交換時の注意事項」を参照してください。

9

SG カートリッジの交換

用紙がつまっているときや、用紙なし／セット不良のエラーが発生しているときは、エラーを解除してから SG カートリッジを交換してください。

⚠注意

- インクは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠注意

- インク（使用済みインクを含む）が目に入ったときは、速やかに流水で洗い、異状のあるときは医師に相談してください。

⚠注意

- インクを飲み込んだときは、濃い食塩水を飲ませるなどして吐き出させ、医師に相談してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換するときは、インクで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとインクが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換をするときは、インクで手などを汚さないように注意してください。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- インクカートリッジを外したときは、装着部に手を入れないでください。インクで手が汚れることがあります。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

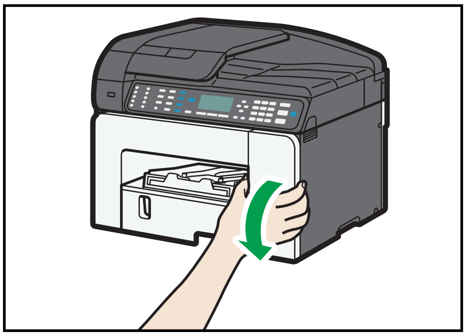
★重要

- SGカートリッジを取り外したときに、内部に手を入れないでください。
- セットするインク色を間違えないようにご注意ください。

9

1. SGカートリッジを箱から取り出します。

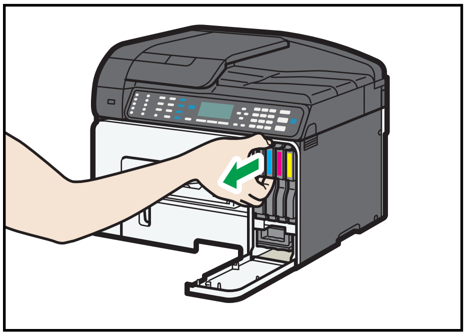
2. 右前カバーを開けます。



CHV077

3. インクがなくなったSGカートリッジを手前に引いて取り出します。

本機がずれないように、しっかりと固定してください。

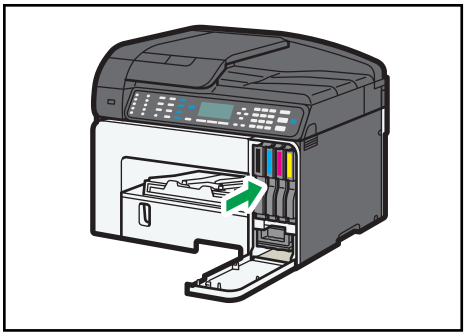


CHV080

4. SG カートリッジの向きを確認し、軽く差し込みます。

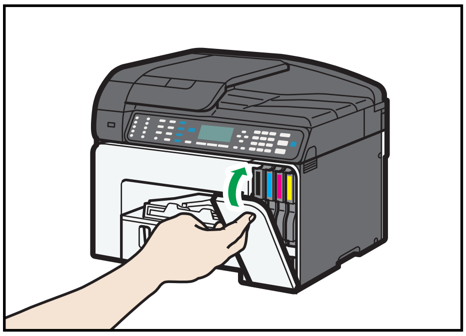
左から順に、K（ブラック）C（シアン）M（マゼンタ）Y（イエロー）をセットします。

5. SG カートリッジを奥まで確実に差し込みます。



CHV081

6. 右前カバーを閉じます。



CHV079

補足

- 交換する SG カートリッジの商品名は、P.458「消耗品一覧」を参照してください。

交換時の注意事項

SG カートリッジを取り扱うときの注意事項です。

⚠警告

- ポリ袋の　WARNING　表示の意味は次のとおりです。
    - 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- インクは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠注意

- インク（使用済みインクを含む）が目に入ったときは、速やかに流水で洗い、異状のあるときは医師に相談してください。

⚠注意

- インクを飲み込んだときは、濃い食塩水を飲ませるなどして吐き出させ、医師に相談してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換するときは、インクで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとインクが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換をするときは、インクで手などを汚さないように注意してください。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- インクカートリッジを外したときは、装着部に手を入れないでください。インクで手が汚れることがあります。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

SG カートリッジ

- SG カートリッジは、リコー指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定の SG カートリッジをご使用ください。
- プリンターを初めて使用するときは、付属の SG カートリッジをセットしてください。
- 付属の SG カートリッジの使い回しはしないでください。

使用上の注意事項

- SG カートリッジは箱に記された期限内に使い切ってください。また、開封後は 180 日以内に使用されることをお勧めします。
- 交換するまでは、SG カートリッジの袋を開封しないでください。
- SG カートリッジのインクの供給部分、チップ部分には触れないでください。
- SG カートリッジを強く振らないでください。中のインクが漏れ出す可能性があります。
- SG カートリッジは分解しないでください。
- 右前カバーは、SG カートリッジを交換するとき以外は開けないでください。交換中は電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- SG カートリッジをセットする前に、必ず色を確認してください。
- 一度セットした SG カートリッジは、むやみに取り外さないでください。
- 印刷中は、SG カートリッジを抜き差ししないでください。印刷が停止します。

保管上の注意事項

- SG カートリッジは、–30℃から+43℃の温度で保管してください。

インクの消費

- プリントヘッドの保護および印刷品質を保つため、電源を入れたときや電源を入れたまま一定期間使用しなかったときに、定期的メンテナンスとしてヘッドクリーニングすることがありますので、印刷しなくても各色のインクを消費します。
- インクの減る割合はカートリッジのサイズによって異なります。

SG カートリッジの回収

- 弊社では、環境保全を経営の優先課題の一つとし、使用済み製品の回収・リサイクルを積極的に行っています。
- SG カートリッジは、弊社の使用済みカートリッジ回収のしくみに基づく回収をしています。回収にご協力ください。

補足

- SG カートリッジの回収の流れは、『安全上のご注意・操作ガイドの使い方』「使用済み製品の回収とリサイクルについて」を参照してください。

- 長期間使用していない本機を使用するときは、P.365「長期間使用しないとき」を参照してください。

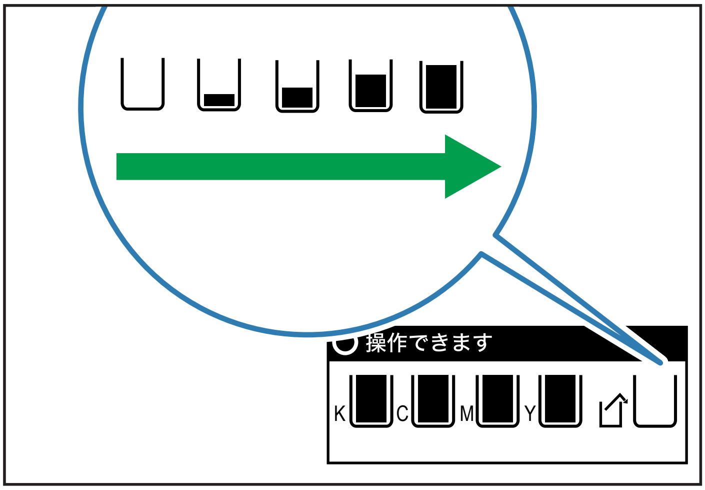
廃インクボックスを交換する

廃インクの量を確認する

廃インクボックスの交換時期はディスプレイやステータスモニターで確認できます。

ディスプレイで確認する

廃インク満杯表示の上のマークの変化によって廃インクの量を確認できます。



CHV227

廃インクボックスがもうすぐ満杯になると、「廃インクボックスもうすぐ満杯」というメッセージが表示されます。

新しい廃インクボックスを準備してください。

廃インクボックスが満杯になると、「廃インクボックスが満杯です。廃インクボックスを交換してください。」というメッセージが表示されます。

廃インクボックスを交換してください。

ステータスモニターで確認する

グラフィックの変化によって廃インクの量を確認できます。

1. プリンタードライバーの設定画面を開きます。

P.151「プリンタードライバーの設定画面を表示する」

2. ［メンテナンス］タブをクリックします。

3. ［ステータスモニターの表示］をクリックします。

4. 廃インクボックス交換時期の目安を確認します。

廃インクボックスの交換

⚠警告

- ポリ袋の　WARNING　表示の意味は次のとおりです。
  - 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- インクは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠注意

- 廃インクボックスを交換するときは、インクで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとインクが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- インク（使用済みインクを含む）が目に入ったときは、速やかに流水で洗い、異状のあるときは医師に相談してください。

⚠注意

- インクを飲み込んだときは、濃い食塩水を飲ませるなどして吐き出させ、医師に相談してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換をするときは、インクで手などを汚さないように注意してください。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

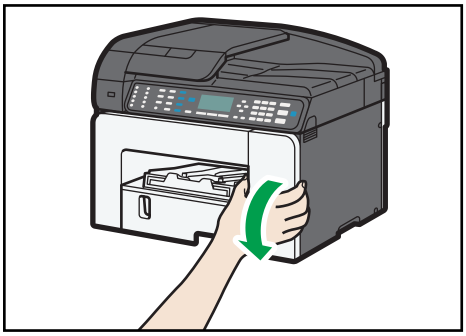
⚠注意

- 廃インクボックスを外したときは、装着部に手を入れないでください。インクで手が汚れることがあります。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

重要

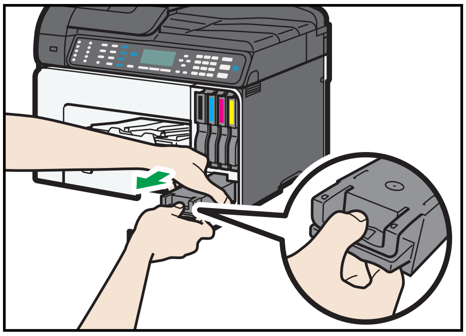
- 廃インクボックスを取り外したときに、内部に手を入れないでください。
- 長期間使用していない廃インクボックスは使用しないでください。
- 廃インクボックスのチップ部分には触れないでください。
- 廃インクボックスを落とさないでください。
- 同梱されているビニール袋に入れるときと入れたあとは、廃インクボックスを落とさないでください。ビニール袋が破れ、インク漏れの原因となります。
- 廃インクボックスはしっかりと奥まで押し込んでセットしてください。機械内部に液体が漏れる原因になります。

1. 廃インクボックスを箱から取り出します。
2. 右前カバーを開けます。



CHV077

3. 5 秒以上待ってから、満杯になった廃インクボックスを取り出します。

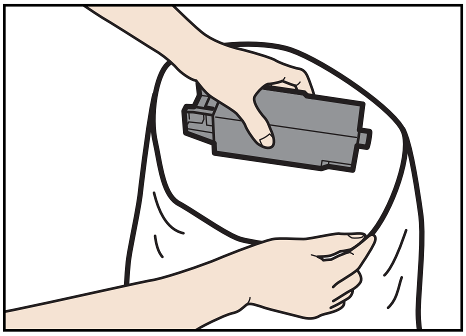


CHV082

「PUSH」部分を押しながら、水平に手前に引き出してください。

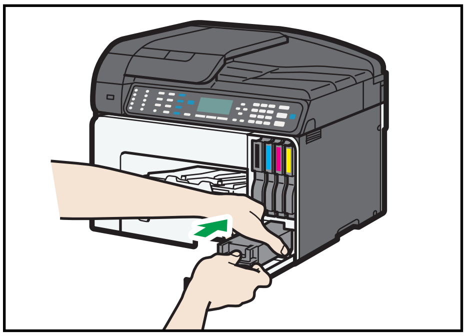
9

4. 使用済みの廃インクボックスを、同梱されているビニール袋に入れます。



CHU047

5. 新しい廃インクボックスを差し込みます。



CHV083

6. カチッと音がして止まるところまで、ゆっくりと押し込みます。



CHV084

7. 右前カバーを閉じます。

補足

- 弊社では、環境保全を経営の優先課題の一つとし、使用済み製品の回収・リサイクルを積極的に行っています。
- 廃インクボックスは、弊社の使用済み廃インクボックス回収の仕組みに基づく回収をしています。回収にご協力ください。

- ご使用後は、配送担当者、ご購入先または保守担当者に連絡のうえ、使用済み廃インクボックスを渡してください。

清掃するとき

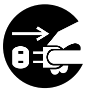
本機の状態を保ち末永くお使いいただくために、定期的に外装を清掃してください。

⚠警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の外装を清掃する際には、柔らかい布で乾拭きするか、水で濡らしてから固く絞った柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちないときは、中性洗剤を含ませた布で拭き取ったあと、水拭きをしてから、乾拭きをして水気を十分に取ってください。

★重要

- **ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、または殺虫剤を本機にかけないでください。変形や変色、ひび割れの原因になります。**
- **中性洗剤を含ませた布で拭き取るときは、外装以外は拭かないでください。**

電源プラグの清掃

電源プラグを清掃するときの注意事項を説明します。

⚠警告



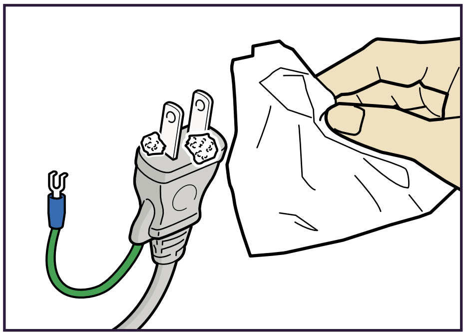
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
    - 電源プラグに焦げ跡がある
    - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードは年 1 回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
  - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
  - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  - 電源コードの一部が熱くなる
  - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。



BPQ206S

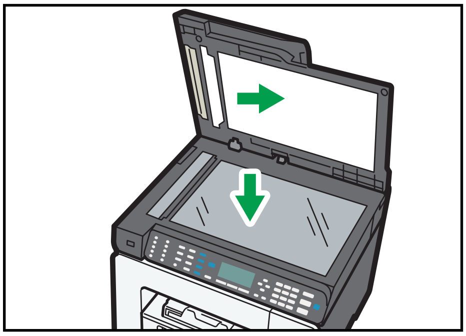
原稿ガラスを清掃する

原稿ガラスが汚れると、印刷面に黒すじ、斑点などが現れます。そのときは、原稿ガラスを清掃します。

1. ADF を持ち上げます。

ADF を上げるときは、ADF 給紙トレイを持たないでください。トレイの損傷の原因になります。

2. 矢印の箇所を水に濡らした柔らかい布で拭き、そのあと乾拭きをして水気を十分に取ってください。



CHV131

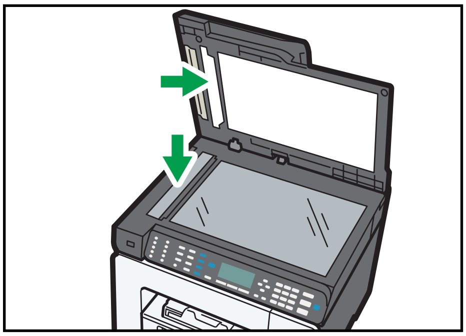
自動原稿送り装置（ADF）を清掃する

ADF が汚れると、印刷面に黒すじ、斑点などが現れます。そのときは、ADF を清掃します。

1. ADF を持ち上げます。

   ADF を上げるときは、ADF 給紙トレイを持たないでください。トレイの損傷の原因になります。

2. 矢印の箇所を水に濡らした柔らかい布で拭き、そのあと乾拭きをして水気を十分に取ってください。



CHV132

移動するとき

本機を近くへ移動するときや、長距離を移動するときの注意事項を説明します。

近くへ移動する

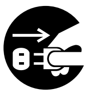
同じ部屋の中での移動など、本機を近くへ移動するときの注意事項を説明します。

⚠注意



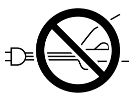
- 本機の重さは約 15.3kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部に手をかけ、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。
- 機械を移動するときは、必ずオプションを取り外してください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

⚠注意



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

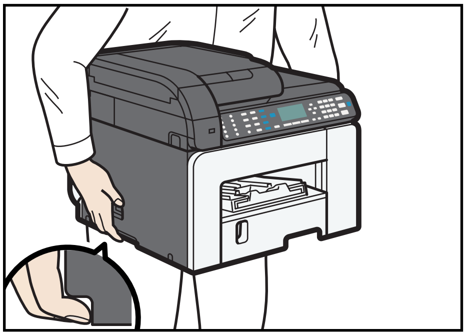
重要

- **移動時に本製品を傾けるとインクが漏れる可能性があります。また機械の故障につながります。**

1. **[電源] キーを長押しして電源を切り、電源コードを抜きます。**
2. **USB ケーブル、またはイーサネットケーブルを取り外します。**
3. **オプションを装着しているときは、取り外します。**

   P.46「着脱可能なユニットとオプションの取り付けかた、取り外しかた」を参照してください。

4. 本機を設置する場所に移動します。



CHV097

本機の両側面の中央下部に手をかけ、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。

補足

- 電源コードは本機からも抜いて移動してください。
- 本機の下に電源コードをはさまないように注意してください。

長距離を移動する

引越しなどで本機やオプションを長距離移動するときは、購入したときの箱に入れて輸送してください。

詳しくは、販売店またはサービス実施店にお問い合わせください。

重要

- **SG カートリッジは取り外さないでください。**
- **用紙は抜いてください。**
- **安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国で異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品などを外国に持ち込むと罰せられることがあります。**

補足

- 移動時に本製品を傾けるとインクが漏れる可能性があります。また機械の故障につながります。
- 電源コードは本機からも抜いて移動してください。
- 本製品は日本国内に向けて製造されています。電源仕様が異なる諸外国では使用できません。

廃棄・回収

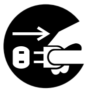
本機を廃棄したいときは、サービス実施店にご相談ください。相談先が不明の場合は、お客様相談センターへお問い合わせください。

個人のお客様がご自身で廃棄される場合、本機は一般廃棄物に該当しますので、お住まいの地域を直轄する自治体にご確認ください。

長期間使用しないとき

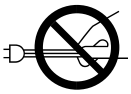
本機を長期間使用しないときは、電源を切り、USB ケーブルまたはイーサネットケーブルを取り外し、電源プラグをコンセントから抜いてください。長期間使用していない本機を使用するときは、定期メンテナンス動作が長くかかることがあり、通常より多くのインクを消費します。30 日に 1 回は印刷することをお勧めします。

⚠注意



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

次のことに注意してください。

- ごみ、ほこり、紙粉などがプリントヘッドに付着し、ノズル抜けが発生することがあります。ノズル抜けを防止するために、定期的に印刷してください。印刷しないときでも、月に 1 回は電源を入れて、数分間放置してください。
- 長期間使用していない本機を使用するときは、必ず「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、ノズル抜けが発生していないか確認してください。P.250「ノズルチェック」を参照してください。必要に応じてヘッドクリーニングをしてから印刷を始めてください。P.252「ヘッドクリーニング」を参照してください。
- 長期間使用していないとき、ヘッドクリーニングを数回繰り返しても、正常に印刷されないことがあります。そのときはヘッドリフレッシングをしてください。P.253「リフレッシング」を参照してください。それでもノズル抜けが解消されないときは、10 分程度放置したあとノズルチェックを実行してください。印刷結果が正常でないときは、本機の電源を切って 8 時間以上放置してください。時間をおくことでノズル抜けが解消することがあります。

補足

- ヘッドクリーニングを繰り返したあと、時間をおくことでノズル内部に発生した可能性のある微小な気泡がインク中に溶け、印刷が正常にできるようになることがあります。
- 上記の手順でも改善されないときは、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。P.456「お問い合わせ先のご案内」を参照してください。

機器のご利用終了にともなう、機器に保存されたお客様の情報資産のお取り扱い

昨今、IT 技術の進展は著しく、データの安全性を高める技術とともに、保護・消去されたデータを解析・復元する技術も飛躍的な進化を遂げています。

このため、複合機・プリンター・ファクスなど弊社製品（以下機器）をお使いのお客様には、返却・廃棄・譲渡などで機器のご利用終了の際に、その機器内に残されたお客様の情報資産を解析され、漏洩する危険を未然に防止する必要があります。

未然に防止するためには、機器のご利用終了後に確実な消去処理を行うことが望ましいといえます。

機器に残存するおもな情報資産は以下になります。

- コピーやファクスの入出力動作のために一時的に作成される画像データ
- 任意に保存された蓄積文書
- アドレス帳
- 各種設定情報 他

※機種により、保持する情報資産は異なります。

上記のような情報資産は、所有者であるお客様の自己責任において処理をする必要があります。

弊社では、機器の情報安全性の強化を進めるとともに、お客様からご返却、お預かりした使用済み機器は、確実な情報消去を実施しています。

しかし、弊社ではない第三者にご返却、お預けされるときには、お客様自身により、情報資産の処理や確認が必要となりますのでご注意ください。

9

また、弊社では有償サービスを行っています。必要に応じてご利用いただけますようお願いします。

サービス・機能と概要

サービス名称	概要
OA 機器廃棄証明発行サービス	機器を物理的に破壊処理したことの証明書を発行します。
OA 機器 HDD 傷入れ証明発行サービス	回収した機器からハードディスクを取り出し、キズ入れを行います。キズ入れ時の写真が入った証明書を発行します。
オンサイトによる HDD 取り外し・キズ入れサービス	カスタマーエンジニアが訪問し、お客様の前で機器からハードディスクを取り外します。取り外したハードディスクはキズ入れ作業により物理的に読めないようにして、お客様に譲渡もしくは回収します。取り出したハードディスクをそのまま譲渡することも可能です。機器返却時にサービス実施店までご相談ください。 ※リース物件の場合はリース会社に所有権があることから、お客様がリース会社から事前に同意を得る必要があります。

※他社製品に対する上記サービスは実施していません。

※地域や機種により対応サービスが異なるときがあります。詳細はコールセンターもしくは販売担当者、サービス担当者にお問い合わせください。

さらに、一部の機種にはデータの上書き消去機能やハードディスクの暗号化機能が用意されています。(オプションの場合もあります。)

機能名称	概要
上書き消去機能	一般的なデータファイルの削除やフォーマット処理とは異なり、ディスク上の実データ部分をダミーデータなどで上書きすることでデータ復旧をも困難にする処理になります。 この機能を利用すればお客様自身でも、機器内の情報のほとんどを確実に消去できます。 上書き消去機能にはメモリー全消去とメモリー自動消去設定の二つの機能があります。機器の使用終了時には機器内のお客様情報のほとんどを一括で上書き消去ができる、メモリー全消去が適しています。
ハードディスクの暗号化機能	ハードディスクに記録される情報を暗号化し、解析を困難にします。 機器からハードディスクが取り外され、悪意ある解析などが行われたときに情報漏えいのリスクを軽減します。 アドレス帳のほか、蓄積文書や一時データの読み書きも暗号化されます。

10. トラブル解決

セットアップがうまくいかないときや印刷ができないとき、思いどおりに印刷されないときの解決方法、紙づまりの対処方法、困ったときの対処方法を説明します。

ソフトウェアがインストールできない

Windows 環境でのセットアップで、ソフトウェアがインストールできないときの対処方法を説明しています。

インストールの結果を確認する

ソフトウェアがインストールされたかどうかの確認をします。

アイコンを確認する

プリンタードライバーが正しくインストールされると、[デバイスとプリンター] に本機のアイコンが表示されます。

- Windows XP/Vista、Windows Server 2008

  [プリンタ] に本機のアイコンが表示されます。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2

  [プリンタと FAX] に本機のアイコンが表示されます。

操作ガイドがインストールされると [スタート] メニューの [すべてのプログラム] の [お使いの機種名] に操作ガイドのアイコンが作成されます。

アイコンが表示されないときは、ソフトウェアはインストールされていません。もう一度インストールしてください。P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」を参照してください。

ポートを確認する

プリンタードライバーのプロパティで、ポートの接続先が USB またはネットワーク上のプリンターになっていることを確認してください。印字テストをして、接続を確認してください。印字テストができないときは、P.373「印字テストができない」を参照してください。

インストールする環境を確認する

ソフトウェアをインストールするための環境を確認します。

「おすすめインストール（USB 接続用）」の場合

CD-ROM が正しくセットされていない

CD-ROM が正しく CD-ROM ドライブにセットされているか確認してください。また、CD-ROM に傷が付いていないか CD-ROM ドライブが正しく動作しているか、確認してください。

電源コード、USB ケーブルが正しく接続されていない

電源コード、USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

対応していないバージョンの OS を使用している、またはインストールに必要なハードディスクの容量が足りない

プリンターと接続するパソコンの環境が条件を満たしているか確認してください。P.58「パソコンと本機の設置環境を確認する」を参照してください。

ほかのアプリケーションソフトを終了していない

インストールするときは、そのほかのアプリケーションソフトをすべて終了してください。

そのほかのアプリケーションソフトを開いていると、インストールの動作が妨げられることがあります。また、ウイルス対策ソフトやほかのプリンターを監視するソフトなど、常駐しているアプリケーションソフトも終了してください。

インストールの前に本機の電源を入れている

一度、本機の電源を切り、再度「おすすめインストール」をしてください。

USB 接続ができない

本機の電源を切り、本機から USB ケーブルを一度抜いてから差し直し、再度「おすすめインストール」をしてください。プリンタードライバー導入前の確認画面で本機の電源を入れてください。それでも解決しないときは、［初期設定］キーを押し、［システム設定］の［管理者用設定］で［USB 速度］を［自動］から［フルスピード］に変更してください。変更後、プリンタードライバーをアンインストールし、デバイスを削除して、再度「おすすめインストール」をしてください。

Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった

Windows のデバイスマネージャーを開き、不正なデバイスを［USB コントローラ］から削除してください。不正なデバイスは、黄色の「!」、または「?」のアイコンで表示されます。誤って必要なデバイスを削除しないようにしてください。操作の方法は、P.377「デバイスを削除する」を参照してください。

不明なデバイスと認識されてインストール中にエラーが発生する

「USB 接続ができない」、または「Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった」の項目を参照してください。

「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」の場合

CD-ROM が正しくセットされていない

CD-ROM が正しく CD-ROM ドライブにセットされているか、確認してください。また、CD-ROM に傷が付いていないか、CD-ROM ドライブが正しく動作しているか、確認してください。

電源コード、イーサネットケーブルが正しく接続されていない

電源コード、イーサネットケーブルが正しく接続されているか確認してください。

対応していないバージョンの OS を使用している、またはインストールに必要なハードディスクの容量が足りない

プリンターと接続するパソコンの環境が条件を満たしているか確認してください。P.58「パソコンと本機の設置環境を確認する」を参照してください。

ほかのアプリケーションソフトを終了していない

インストールするときは、そのほかのアプリケーションソフトをすべて終了してください。

そのほかのアプリケーションソフトを開いていると、インストールの動作が妨げられることがあります。また、ウイルス対策ソフトやほかのプリンターを監視するソフトなど、常駐しているアプリケーションソフトも終了してください。

IP アドレスが設定されていない
パソコンとプリンターが別セグメントにある

プリンターが見つからず、選択画面に「プリンターポート」のみ表示されるときは、IP アドレスが設定されていないか、パソコンとプリンターが別セグメントのネットワークにあります。

IP アドレスとネットワーク環境を確認してからインストールしてください。または、選択画面で「プリンターポート」を選択してインストールしてください。

プリンタードライバーがインストールできない

プリンタードライバーがインストールできないときの対処法を説明します。

プリンタードライバーのインストーラーが起動しない
インストール中にエラーが発生する

- ［SETUP.EXE］アイコンをダブルクリックしても、［ドライバー・操作ガイド・ユーティリティー］画面が開かないときや、インストール中にエラーが発生するときは、［マイ コンピュータ］または［エクスプローラ］から CD-ROM ドライブを開き［DRIVERS］フォルダにある［RP_SETUPXX.EXE］アイコンをダブルクリックし、画面の指示にしたがってプリンタードライバーをインストールしてください。

- 保存先のパスが長いときはエラーが発生します。Web からダウンロードしたプリンタードライバーや、CD からコピーしたプリンタードライバーをインストールするときは、プリンタードライバーの保存先をインストールするドライブの直下に移してからインストールをしてください。
- インストーラーを使用しないでプリンターを追加してください。

  ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］の［プリンタの追加］をクリックし、画面の指示にしたがってインストールしてください。

  - Windows Vista、Windows Server 2008

    ［コントロールパネル］の「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」の［プリンタの追加］をクリックします。

  - Windows XP、Windows Server 2003/2003

    ［プリンタと FAX］の［プリンタのインストール］をクリックします。

プリンタの追加は、Windows のヘルプを参照してください。

USB 接続が自動認識されない

USB 接続が自動認識されないときは、次の手順にしたがって操作してください。

1. インストールしたプリンタードライバーを削除します。

P.375「プリンタードライバーをアンインストールする」

2. デバイスを削除します。

P.377「デバイスを削除する」

3.「おすすめインストール」をします。

P.77「おすすめインストール」

10

問題が解決されないときは、お客様相談センターへご連絡ください。

トラブル発生時にはまずは下記の内容をご確認ください。代表的なトラブルの対処策をまとめています。

- URL: http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/geljet/support/trouble/

印字テストができない

印字テストができないときの対処法を説明します。

電源コード、USB ケーブル、イーサネットケーブルが正しく接続されていない

電源コード、USB ケーブル、イーサネットケーブルが正しく接続されているか確認してください。

ポートの接続先が正しく設定されていない

1. ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。
    - Windows Vista、Windows Server 2008

      ［コントロールパネル］の「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
    - Windows XP

      ［プリンタと FAX］をクリックします。
    - Windows Server 2003/2003 R2

      ［設定］の［プリンタと FAX］をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。
    - Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2008

      ［プロパティ］をクリックします。
3. ［ポート］タブを選んで、印刷先のポートを確認します。

   ポートの接続先が USB またはネットワーク上のプリンター以外に設定されているときは、選択項目から USB またはネットワーク上のプリンターを選んでください。

USB を接続しているのに、選択項目に USB がないときは、プリンタードライバーをアンインストールしてから、もう一度インストールしてください。P.372「USB 接続が自動認識されない」を参照してください。

インクを供給している

SG カートリッジを取り付け、初めて本機の電源を入れたときや、カートリッジを交換したあとは、インクの供給が自動的に開始されます。

インクの供給が終わり、［電源］キーが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

本体でエラーが起こっている。

ディスプレイのエラーメッセージを確認して、対処したあと、再度印字テストをしてください。

問題が解決されないときは、お客様相談センターへご連絡ください。

トラブル発生時にはまず下記の内容をご確認ください。代表的なトラブルの対処策をまとめています。

- URL: http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/geljet/support/trouble/

参照

- ステータスモニターにエラーが表示されているときは、P.422「ステータスモニターのエラー表示」を参照してください。

ソフトウェアをアンインストールする

インストールに失敗したり、不完全な状態で終了したときは、アンインストールし、再度インストールしてください。

重要

- **ソフトウェアをアンインストールするときや、デバイスを削除するときは、本機以外に USB で接続しているプリンターの電源を切るか、USB ケーブルを抜いてから操作をしてください。**

補足

- 表示される画面は、お使いの環境によって異なります。
- ソフトウェアを再度インストールするときは、Windows を再起動してください。

参照

- ソフトウェアを再度インストールするときは、P.73「接続方法に合ったソフトウェアのインストール方法」を参照してください。

プリンタードライバーをアンインストールする

重要

- **プリンタードライバーを削除すると、プリンタードライバーと同時にインストールされたステータスモニターも削除されます。**

1. [電源] キーを長押しして電源を切ります。

2. [スタート] メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 では、[コントロールパネル] の「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

Windows XP では、[プリンタと FAX] をクリックします。

Windows Server 2003/2003 R2 では、[設定] の [プリンタと FAX] をクリックします。

3. 本機のアイコンを右クリックして、[デバイスの削除] をクリックします。

Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 では、[削除] をクリックします。

4. [はい] をクリックします。

プリンタードライバーが削除されます。

5. 任意のプリンターを選択し、［プリントサーバーのプロパティ］をクリックします。

Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 では、［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。

6. ［ドライバー］タブをクリックします。

7. ［インストールされたプリンタードライバー：］ボックスのリストから［お使いの機種名］を選択し、［削除］をクリックします。

Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 では、手順 9 に進みます。

8. ［ドライバーとパッケージを削除する］を選択し、［OK］をクリックします。

9. ［はい］をクリックします。

Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 では、手順 12 に進みます。

10. ［削除］をクリックします。

11. ［OK］をクリックします。

12. ［閉じる］をクリックします。

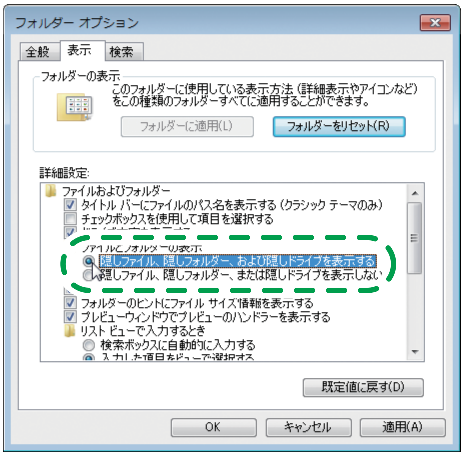
Windows 7、Windows Server 2008 R2 では、手順 21 へ進みます。

Windows Vista では、手順 18 へ進みます。

13. ［ツール］メニューから［フォルダオプション］をクリックします。

14. ［表示］タブをクリックします。

15. ［詳細設定］ボックスのリストから［すべてのファイルとフォルダを表示する］をクリックし、［登録されている拡張子は表示しない］のチェックを外します。



CHU249

16. ［OK］をクリックします。

17. ［スタート］メニューの［検索］をクリックします。

10

18.［ファイルとフォルダすべて］をクリックし、［ファイル名のすべてまたは一部］ボックスに INF ファイル名（oemsetup.inf など）を入力します。

Windows Vista では、［表示項目］の［その他］を選択し、［検索ボックス］に INF ファイル名を入力します。

19.［探す場所］ボックスのリストから Windows がインストールされているハードディスクドライブを選択し、［検索］をクリックします。

20. 検索結果として表示されたファイルを右クリックし、［削除］をクリックします。

INF ファイルが削除されます。

21.［はい］をクリックします。

22. Windows を再起動します。

補足

- プリンタードライバーを更新するときは、インターネットで最新のドライバーをダウンロードしてください。P.456「お問い合わせ先のご案内」を参照してください。

デバイスを削除する

Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまったときに、不正なデバイスを削除します。誤って必要なデバイスを削除しないようにしてください。USB 接続の設定が正常にできているときは、この作業は必要ありません。

1.［電源］キーを押します。

2.［スタート］メニューから、［コントロールパネル］をクリックします。

Windows Server 2003/2003 R2 では、「設定」の「コントロールパネル」をクリックし、手順 4 へ進みます。

3.［システムとセキュリティ］をクリックします。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 では、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。

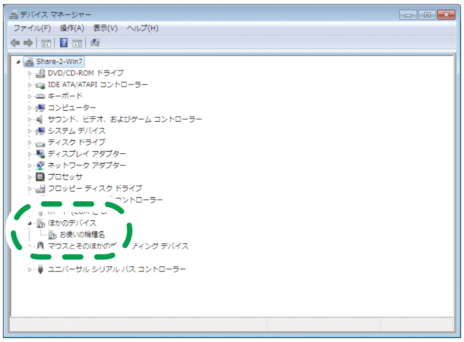
Windows Vista、Windows Server 2008 では、［ハードウェアとサウンド］をクリックします。

4.［システム］の［デバイスマネージャー］をクリックします。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 では、［システム］をクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 では、「デバイスマネージャ」をクリックします。

5. [USB 印刷サポート]、または［お使いの機種名］をクリックします。



CHU160

6. ［操作］を選択し、［削除］をクリックします。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［閉じる］をクリックします。

操作ガイドをアンインストールする

操作ガイドの「アンインストール」で削除する

1. ［電源］キーを長押しして電源を切ります。

2. ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］をクリックします。

   Windows Server 2003/2003 R2 では、「プログラム」をクリックします。

3. 登録されている「お使いの機種名 マニュアル」を選択し、［操作ガイドのアンインストール］をクリックします。

4. メッセージにしたがって、操作ガイドを削除します。

10

［プログラムのアンインストール］で削除する

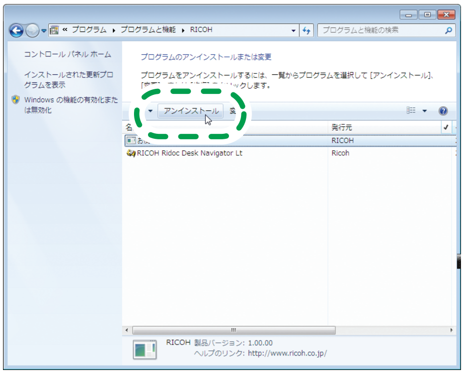
1. ［電源］キーを長押しして電源を切ります。

2. ［スタート］メニューから、［コントロールパネル］をクリックします。

   Windows Server 2003/2003 R2 では、「設定」の「コントロールパネル」をクリックします。

3. ［プログラム］の［プログラムのアンインストール］をクリックします。

   Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 では、［プログラムの追加と削除］をクリックします。

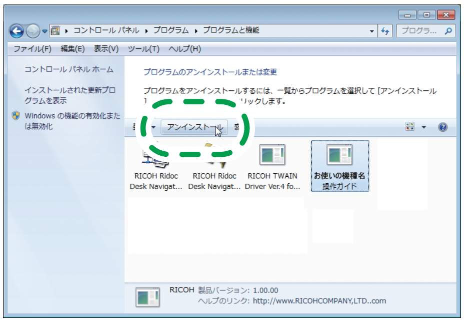


CHU162

4. ［お使いの機種名 操作ガイド］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2/2008 では、［変更と削除］をクリックします。

Windows Vista では、［変更と削除］をクリックし、［はい］をクリックします。



CHU250

5. メッセージにしたがって、操作ガイドを削除します。

10

印刷できない

印刷ができないときは、以下を確認します。

電源の状態を確認する

- ［電源］キーが点灯していない

  電源を入れてください。

  P.53「電源の入れかた、切りかた」

- ［電源］キーを押してもランプが点灯または点滅しない

  電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれているか確認してください。

  正常に動作することがわかっているほかの電気製品をコンセントに接続してコンセントに異常がないか確認してください。

解決しないときは、電源コードを抜いて、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。

エラーメッセージを確認する

- ディスプレイに表示されている

  P.411「ディスプレイにメッセージが表示されたとき」

- ステータスモニターに表示されている

  ステータスモニター上の［操作ガイド］をクリックします。

  P.422「ステータスモニターのエラー表示」

プリンターアイコン名を確認する

プリンターを共有する環境で使用しているときは、プリンターアイコン名が全角 16 文字、半角で 32 文字以上を超えないように設定してください。

プリンタードライバーの設定を確認する

［項目別設定］タブの［印刷品質］をクリックし、［特定アプリケーションのイメージデータ処理を変更］にチェックを付けてください。

プリンタードライバーのバージョンを確認する

最新のバージョンを使用していないときは、ドライバーを更新してください。

- Windows でプリンタードライバーのバージョンを確認する

  1. プリンタードライバーの印刷設定を開きます。

     P.152「印刷設定を表示する」

  2. ［初期設定／バージョン］タブの［バージョン情報］をクリックします。

  3. バージョンを確認します。

- Mac でプリンタードライバーのバージョンを確認する

10

1. ［アップル］メニューの［システム環境設定...］をクリックします。
2. ［プリントとファクス］をクリックします。
3. 使用するプリンターを選択し、［オプションとサプライ...］をクリックします。
4. ［一般］タブでバージョンを確認します。

- インターネットで最新のドライバーのバージョンを確認する

P.456「お問い合わせ先のご案内」

- プリンタードライバーを更新する

Windows ではダウンロードしたドライバーのインストールを開始し、セットアップ方法の選択画面で［利用中のプリンタードライバーを更新する］にチェックを付けます。

Mac では古いプリンタードライバーを削除してから、インストールします。

給紙・排紙が正常にできない

用紙が給紙されないとき、用紙が何度もつまるときは、本機や用紙の状態を確認します。

用紙がうまく給紙されない

- 用紙ガイドが合っていない

  給紙トレイの用紙ガイドが用紙に合っていません。用紙をセットし直してください。

  P.136「用紙をセットする」

- 用紙が正しくセットされていない

  用紙が正しくセットされていません。用紙をセットし直してください。

  P.136「用紙をセットする」

- 用紙がカールしている

  セットしている用紙を取り出し、カールしていないか確認してください。カールしていたときは、カールを 2 mm 以内に直してください。

- 使用できない用紙をセットしている

  セットしている用紙を取り出し、使用できる用紙をセットしてください。

  P.128「使用できる用紙」

用紙が何度もつまる

- 色の濃いデータを両面印刷している

  全画面をベタに塗りつぶしたような、インクを大量に消費するデータを印刷するときは、片面印刷することをお勧めします。

- つまった用紙が残っている

  給紙トレイを引き出し、排紙トレイを上げてつまった用紙が残っていないか確認してください。

用紙が一度に何枚も給紙される

用紙をセットし直します。用紙を給紙トレイから取り出し、よくさばいてから机の上などの平らな面で用紙の端を整えてください。もう一度、給紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、用紙をセットし直してください。

表面が粗い、または摩擦を起こしやすい用紙を手差しトレイで使用すると重送することがあります。何度も重送するときは、トレイ 1、トレイ 2、またはトレイ 3 を使用してください。

P.136「用紙をセットする」

紙づまりを解除したあとに印刷が再開されない

つまった用紙を取り除いたあとに、[強制排紙] を押してください。

P.385「[強制排紙] を押して用紙を取り除く」

トレイ 2/トレイ 3 が選択できない

プリンタードライバーでトレイ 2/トレイ 3 が認識されてない

プリンターのプロパティを開いてください。[オプション構成] タブで [トレイ 2] / [トレイ 3] が認識されているか確認してください。

P.155「オプション構成タブを設定する」

手差しトレイが選択できない

プリンタードライバーで手差しトレイが認識されてない

プリンターのプロパティを開いてください。[オプション構成] タブで [手差し] が認識されているか確認してください。

P.155「オプション構成タブを設定する」

両面ユニットで用紙がつまる

両面ユニット着脱レバーが外れた状態でセットされている

両面ユニットを正しくセットしてください。

P.428「セット不良（両面ユニット）」

補足

- ステータスモニターにエラーが表示されたときは、対処方法にしたがってエラーを解除してください。P.422「ステータスモニターのエラー表示」を参照してください。

用紙がつまったとき

つまった用紙を取り除く方法を説明します。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換するときは、インクで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとインクが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやインクを補給または交換をするときは、インクで手などを汚さないように注意してください。インクが手などの皮膚についたときは、水または石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

ディスプレイ、またはステータスモニターに用紙づまりのメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。

重要

- **オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

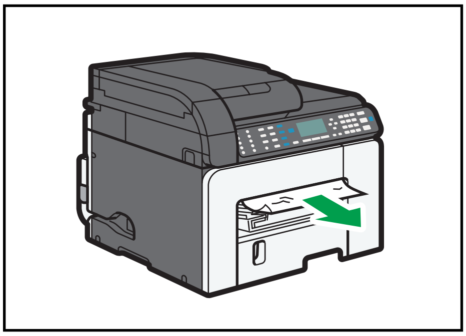
参照

- P.385「[強制排紙] を押して用紙を取り除く」
- P.385「トレイ 1 から用紙を取り除く」
- P.387「トレイ 2/3 で用紙がつまったとき」
- P.387「トレイ 2/3 から用紙を取り除く」
- P.389「マルチ手差しフィーダーから用紙を取り除く」
- P.390「スキャナーユニットを開けて用紙を取り除く」
- P.392「自動原稿送り装置（ADF）から用紙を取り除く」
- P.394「両面ユニットで用紙がつまったとき」
- P.394「両面ユニットカバーを開けて用紙を取り除く」
- P.396「両面ユニットから用紙を取り除く」
- P.396「両面ユニットとトレイ 2/3 で用紙がつまったとき」

• P.397「背面カバーを開けて用紙を取り除く」

[強制排紙]を押して用紙を取り除く

1. [強制排紙]を押します。
2. 用紙を取り除きます。



CHV043

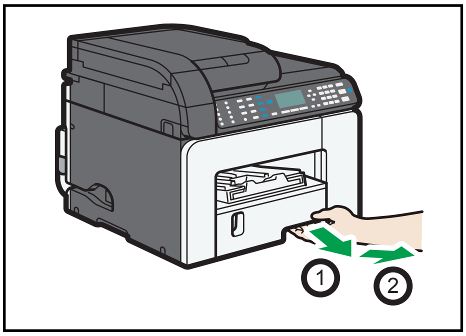
印刷が始まります。

補足

- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

トレイ 1 から用紙を取り除く

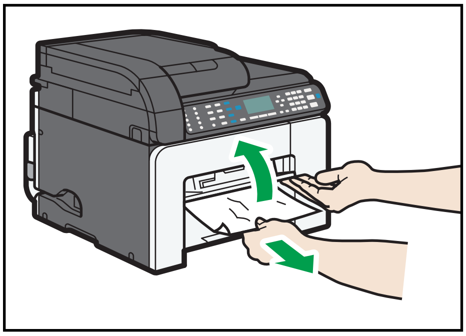
1. トレイ 1 の取っ手をつかんで引き出し(①)、少し持ち上げて本体から取り出します(②)。



CHV036

取り出したトレイを落とさないようにご注意ください。

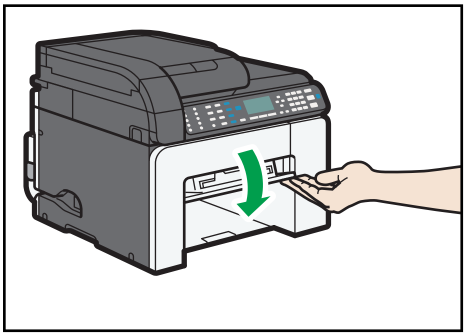
2. 排紙トレイを上げてつまった用紙を取り除きます。



CHV044

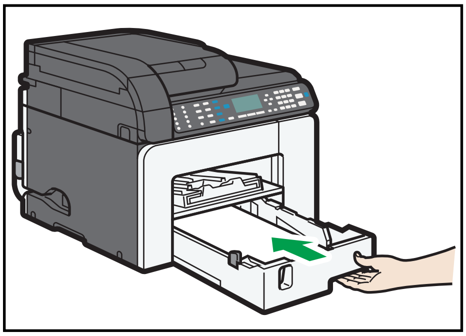
つまった用紙が取り除けない、または取り除きにくいときは、奥でつまっていることがあるので、のぞき込んで取り除いてください。

3. 排紙トレイを下げます。



CHV045

4. トレイを突き当たるまで静かに押し込みます。



CHV037

排紙トレイが閉じた状態でトレイを押し込んでください。

印刷が始まります。

印刷を再開すると、なにも印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

補足

- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

トレイ 2/3 で用紙がつまったとき

1. トレイ 2/3 から用紙を取り除いてください。

P.387「トレイ 2/3 から用紙を取り除く」

2. 背面カバーを開けて用紙を取り除いてください。

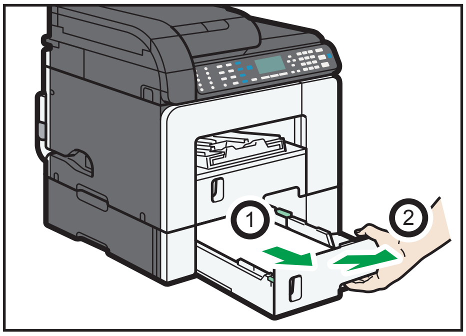
P.397「背面カバーを開けて用紙を取り除く」

補足

- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

トレイ 2/3 から用紙を取り除く

1. トレイ 2/3 の取っ手をつかんで引き出し（①)、少し持ち上げてから本体から取り外します（②)。



CHV072

本体から取り外したトレイを落とさないように注意してください。

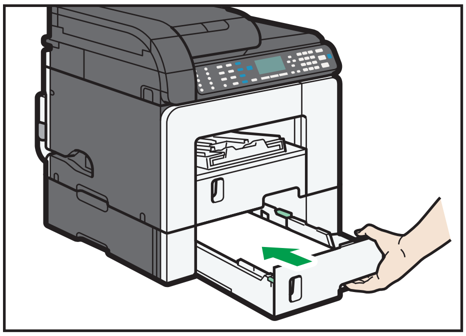
10

2. つまった用紙を取り除きます。



CHV073

3. トレイを突き当たるまで静かに押し込みます。



CHV074

印刷が始まります。

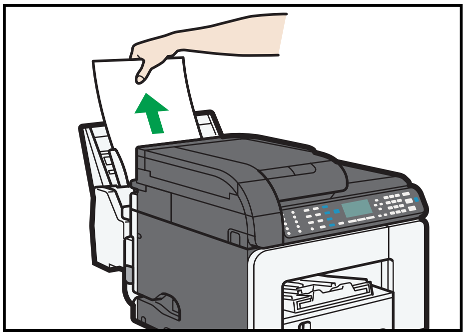
印刷を再開すると、なにも印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

補足

- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

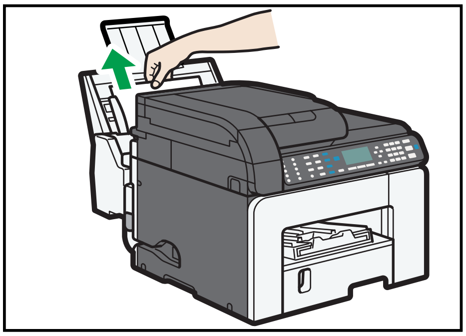
マルチ手差しフィーダーから用紙を取り除く

1. 用紙を取り除きます。



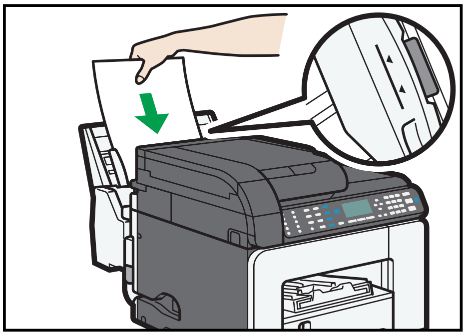
CHV046

2. 手差しトレイからつまった用紙を取り除きます。



CHV047

3. 印刷する面を上にして、上限表示を超えないように手差しトレイに用紙をセットします。



CHV035

印刷が始まります。

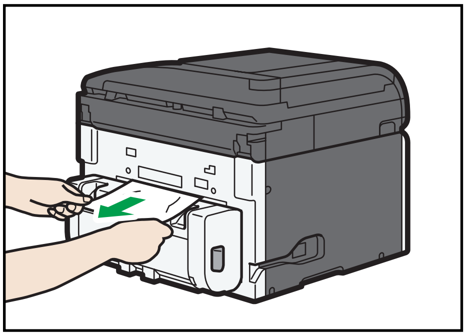
印刷を再開すると、なにも印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

つまった用紙を手差しトレイから取り除きにくいときは、マルチ手差しフィーダーを取り外して、用紙を取り除いてください。

1. **マルチ手差しフィーダーを取り外します。**

   P.50「マルチ手差しフィーダーを取り付ける、取り外す」

2. **背面からつまった用紙を取り除きます。**



CHV144

3. **マルチ手差しフィーダーを取り付けます。**

   P.50「マルチ手差しフィーダーを取り付ける、取り外す」

4. **印刷する面を上にして、上限表示を超えないように手差しトレイに用紙をセットします。**

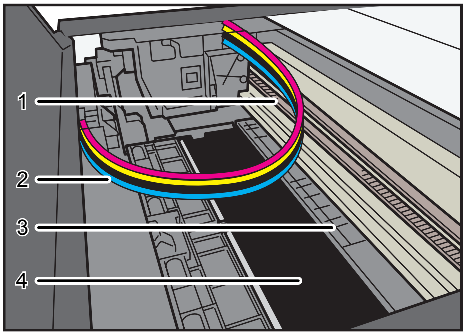
補足

- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

スキャナーユニットを開けて用紙を取り除く

重要

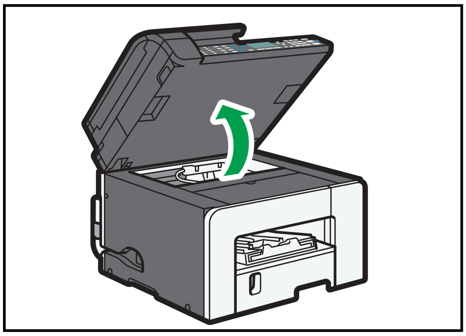
- **歯付きゴムベルト、インクチューブ、黒い紙押さえ板、搬送ベルトには手を触れないでください。また、服の袖などをインクチューブおよびケーブル類にひっかけないように注意してください。**



CHV260

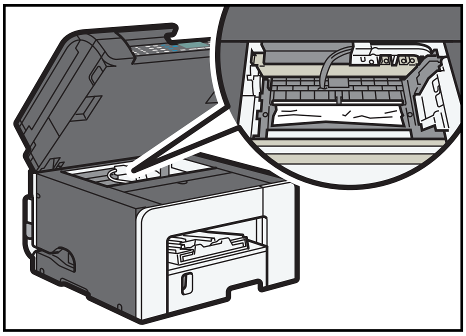
1. 歯付きゴムベルト
2. インクチューブ
3. 黒い紙押さえ板
4. 搬送ベルト

1. スキャナーユニットを開けます。



CHV048

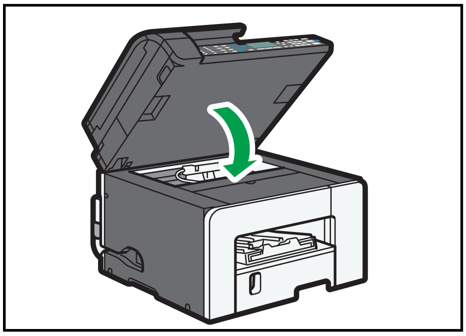
2. スキャナーユニット開口部から、つまった用紙を取り除きます。



CHV049

プリントヘッドが途中で止まっているときは、よせやすい方の端まで動かしてください。

3. スキャナーユニットを閉じます。



CHV071

印刷が始まります。

印刷を再開すると、なにも印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

4. 「ノズルチェック」テストパターンを印刷して、ノズル抜けが発生していないか確認します。

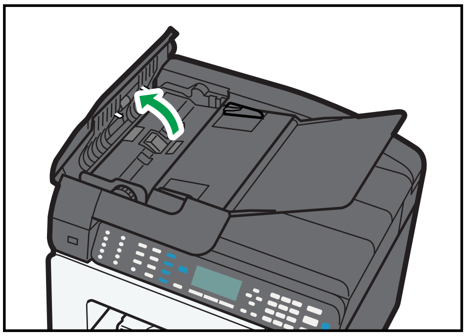
P.250「ノズルチェック」

補足

- 紙片がうまく取り除けないときは、[プリントヘッド移動] をして、つまった用紙を取り除いてください。P.260「プリントヘッド移動」を参照してください。
- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

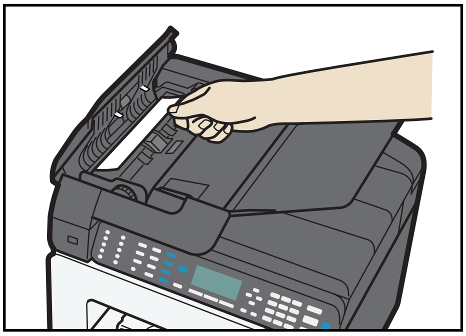
自動原稿送り装置（ADF）から用紙を取り除く

1. ADF カバーを開けます。



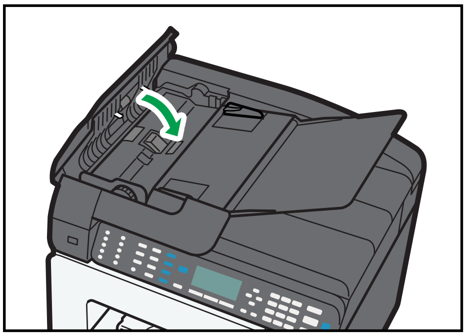
CHV090

2. つまった用紙を取り除きます。



CHV091

3. ADF カバーを閉じます。



CHV092

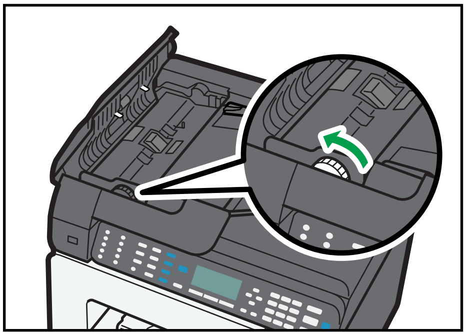
4. ［白黒スタート］キーまたは［カラースタート］キーを押します。

印刷が始まります。

印刷を再開すると、なにも印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

補足

- 用紙を取り除いた後、操作部の画面に「原稿を XX 枚戻してから［再開］を押してください。」と表示されます。表示された枚数の原稿を戻し、［再開］を押して読み取りを再開してください。
- 上記の手順でも用紙を取り除きにくいときは、ADF カバーを開けて、ダイヤルを矢印の方向に用紙が排紙されるまで回転させます。



CHV145

- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

両面ユニットで用紙がつまったとき

1. **両面ユニットカバーを開けて用紙を取り除いてください。**

   P.394「両面ユニットカバーを開けて用紙を取り除く」

2. **両面ユニットを外して用紙を取り除いてください。**

   P.396「両面ユニットから用紙を取り除く」

補足

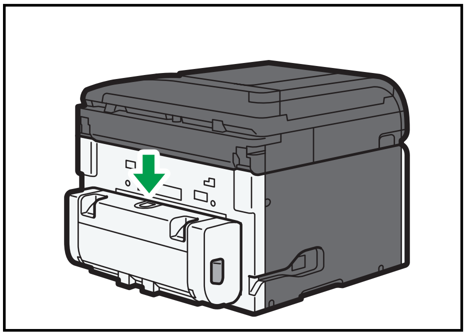
- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

両面ユニットカバーを開けて用紙を取り除く

重要

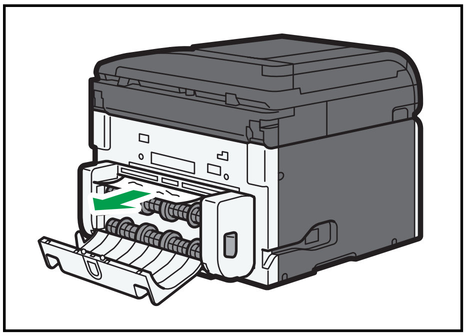
- マルチ手差しフィーダーを取り付けているときは、本機の電源を切り、取り外してから作業を始めてください。P.50「マルチ手差しフィーダーを取り付ける、取り外す」を参照してください。

1. 両面ユニットカバーの中央にある両面ユニットカバー開閉ボタンを押し、両面ユニットカバーを開けます。



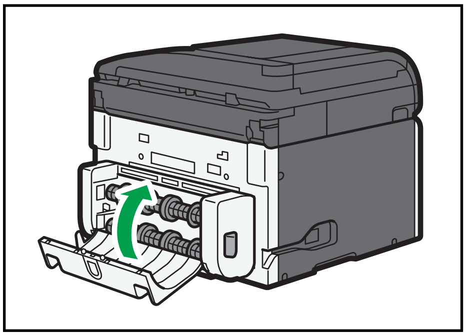
CHV100

2. つまった用紙を取り除きます。



CHV101

3. 両面ユニットカバーを閉じます。



CHV127

印刷が始まります。

印刷を再開すると、なにも印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

補足

- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。

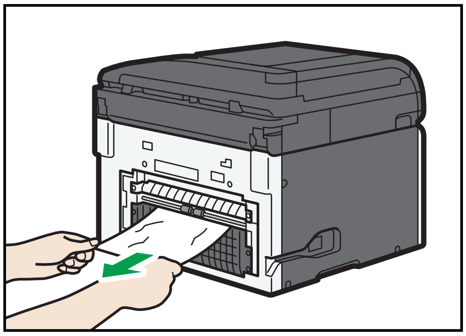
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

両面ユニットから用紙を取り除く

1. **両面ユニットを取り外します。**

   P.48「両面ユニットを取り付ける、取り外す」

2. **背面からつまった用紙を取り除きます。**



CHV116

3. **両面ユニットを取り付けます。**

   P.48「両面ユニットを取り付ける、取り外す」

補足

- 両面ユニットが正しくセットされていないと紙づまりの原因になります。
- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

10

両面ユニットとトレイ 2/3 で用紙がつまったとき

1. **両面ユニットを外して用紙を取り除いてください。**

   P.396「両面ユニットから用紙を取り除く」

2. **背面カバーを開けて用紙を取り除いてください。**

   P.397「背面カバーを開けて用紙を取り除く」

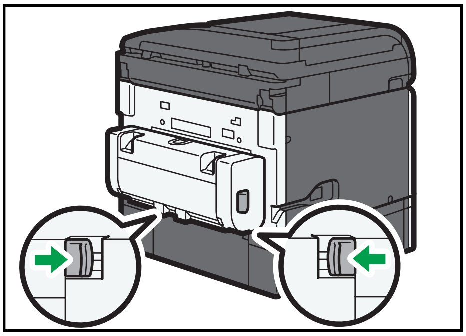
補足

- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。

- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

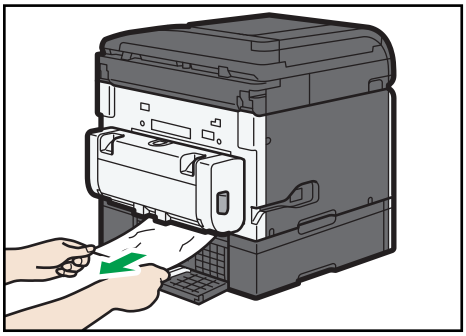
背面カバーを開けて用紙を取り除く

1. 左右 2 カ所のツメを内側にスライドして、背面カバーを開けます。



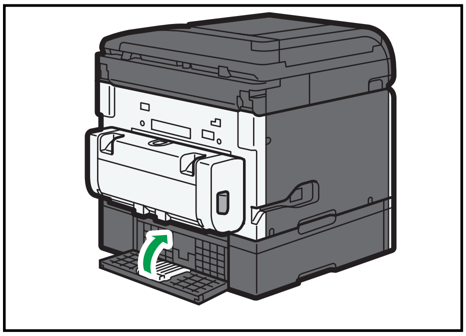
CHV147

2. つまった用紙を取り除きます。



CHV148

3. 背面カバーを閉じます。



CHV149

ツメが元の位置に戻っていることを確認してください。

印刷が始まります。

印刷を再開すると、なにも印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

補足

- エラーメッセージが消えるまで、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。P.384「用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまるときは、P.382「給紙・排紙が正常にできない」を参照してください。

印刷結果がおかしい

印刷の品質に問題があるときは、本機の状態やプリンタードライバーの設定を確認してください。SG カートリッジや用紙などの消耗品の取り扱いによっては、本機やプリンタードライバーの設定が適切なときでも、正常な印刷結果印が得られないことがあります。用紙の取り扱い方法は、P.128「用紙」を参照してください。SG カートリッジの取り扱い方法は、P.351「交換時の注意事項」を参照してください。

補足

- すべての確認結果が正常でも問題が解決できないときは、販売店またはサービス実施店へ連絡してください。

正常な画像出力ができない

ムラがあるなど、印刷のインク量が適切でないときや、用紙が汚れたり、印刷結果がにじんだりするときの確認事項を説明します。

ヘッドクリーニングをしましたか？

「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、印刷結果によりヘッドクリーニング、およびヘッドリフレッシングをしてください。

1. ノズルチェックをしてノズル抜けしたヘッド番号を確認します。
2. ノズル抜けしたヘッドをクリーニングします。
3. ノズルチェックで解決したか確認します。
4. 解決しないときは約 5～10 分放置します。

   時間をおくことで、プリンターヘッドのノズル内部に発生した可能性のある微小な気泡が、インク中に溶け込むなどして消滅し、インクの吐出が正常に回復してノズル抜けが解消するときがあります。
5. ノズルチェックで解決したか確認します。

解決しないときは、手順 1～5 を数回繰り返します。

繰り返したあと、さらに時間をおくことで正常に印刷できるようになることがあります。

解決しないときは、手順 2 のヘッドクリーニングをヘッドリフレッシングにして、手順 1～5 を実行します。

ヘッドリフレッシングはヘッドクリーニングより、より強力なクリーニングのため、大量のインクを消費します。

P.250「ノズルチェック」、P.252「ヘッドクリーニング」、P.253「リフレッシング」

長期間、本機を使わないでいましたか？

プリントヘッドでノズル抜けが発生することがあります。「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、必要に応じてヘッドクリーニングをしてください。

P.250「ノズルチェック」、P.252「ヘッドクリーニング」

ヘッド位置調整をしましたか？

画像がぼやけたり二重線が出るときは、ヘッド位置調整をしてください。それでも直らないときは、「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、必要に応じてヘッドクリーニングをしてください。

P.254「ヘッド位置調整」、P.250「ノズルチェック」、P.252「ヘッドクリーニング」

設置環境に問題はありませんか？

本機が水平に置かれているか確認してください。ぐらつきやすかったり、無理な力が加わったりしない場所に設置してください。

P.58「パソコンと本機の設置環境を確認する」

印刷位置調整をしましたか？

用紙の印刷開始位置がずれるときは、印刷位置調整をしてください。

250 枚増設トレイ、およびマルチ手差しフィーダーを取り付けたあとは、本機との印刷位置合わせが必要です。

P.256「印刷位置調整」

用紙送り量調整はしましたか？

横方向の線がずれて印刷されたり、イメージにムラが発生したり、一定間隔で白いすじや黒いすじが発生するときは、用紙送り量調整をしてください。

P.258「用紙送り量調整」

用紙種類の設定は合っていますか？

セットした用紙の種類とプリンタードライバーで設定した用紙種類が合っているか確認してください。

P.264「用紙設定」

用紙の裏表は合っていますか？

光沢紙に印刷するときは印刷面を確認してください。印刷面でない面に印刷したときは、印刷の品質が低下し、本機の内部が汚れる可能性があります。

P.132「用紙の種類ごとの注意」、P.128「使用できる用紙」

厚すぎるまたは薄すぎる用紙を使っていませんか？

使用できる用紙を確認してください。極端に厚い用紙や薄い用紙を使用すると、プリントヘッドが擦れたり、用紙のインクがにじんだりします。

P.128「使用できる用紙」

用紙の印刷面に触れていませんか？

用紙の印刷面には手を触れないようにしてください。特に印刷直後の光沢紙はインクが乾燥するまで時間がかかります。印刷面に触れないように排紙トレイから一枚ずつ取り出し、十分乾かしてください。

P.132「用紙の種類ごとの注意」

用紙は正しい向きでセットされていますか？

サイズにより、縦方向にはセットできない用紙があります。用紙のセット方向を確認してください。

P.128「使用できる用紙」

色の濃いデータを両面印刷していませんか？

全画面をベタに塗りつぶしたような、インクを大量に消費するデータを印刷するときは、片面印刷することをお勧めします。

郵便はがきに印刷していませんか？

郵便はがきに印刷すると､一定間隔で白いすじが発生することがあります｡「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、必要に応じてヘッドクリーニングをしてください。ノズル抜けが発生していないときは、用紙送り量調整をしてください。

P.250「ノズルチェック」、P.252「ヘッドクリーニング」、P.258「用紙送り量調整」

消耗品を確認する

本機やプリンタードライバーに問題がないときは、消耗品を確認してください。

古くなった SG カートリッジを使っていませんか？

SG カートリッジは箱に記された期限内に使い切ってください。また、開封後は 180 日以内に使用されることをお勧めします。

純正の SG カートリッジを使っていますか？

当社純正以外の SG カートリッジを使用したり、カートリッジにインクを補充して使用すると、印刷品質が低下したり、故障の原因になります。リコー指定の純正 SG カートリッジをお使いください。

P.458「消耗品一覧」

プリンター機能が使えないとき

プリンター機能に関するトラブルの原因と対処方法について説明します。

色が画面と異なる

印刷された結果と画面の表示で、色に差があるときの確認事項を説明します。

色合いの差を調整しましたか？

画面と印刷では発色の方法が異なるため、色合いに差が出ます。カラーマッチング機能を使用して、画面の表示と印刷の色合いを近づけてください。

カラーマッチングの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ノズルチェックをしましたか？

プリントヘッドにてノズル抜けが発生し、インクの量が調節できていない可能性があります。「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、必要に応じてヘッドクリーニングをしてください。

P.250「ノズルチェック」、P.252「ヘッドクリーニング」

白黒で印刷していませんか？

アプリケーションのカラーの設定、プリンタードライバーの印刷カラーの設定を確認してください。

P.152「印刷設定を表示する」

印刷品質の設定をしましたか？

[印刷品質選択:] で [きれい] または [はやい] に設定して印刷してください。

P.152「印刷設定を表示する」

用紙種類の設定は合っていますか？

セットした用紙の種類とプリンタードライバーで設定した用紙種類が合っているか確認してください。

P.152「印刷設定を表示する」、P.264「用紙設定」

光沢紙に印刷してみましたか？

光沢紙に印刷してみてください。印刷結果がより鮮明になります。

位置が画面と異なる

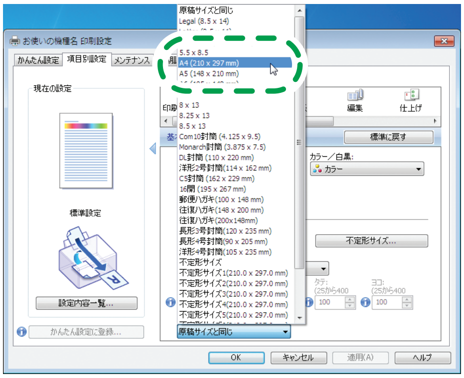
印刷された結果と画面の表示で、印刷の位置に差があるときの確認事項を説明します。

ページレイアウト設定をしましたか？

アプリケーションでページレイアウト設定をしているか確認してください。

用紙サイズの設定は合っていますか？

セットした用紙のサイズとプリンタードライバーで設定した［印刷用紙サイズ］ボックスの設定が合っているか確認してください。



CHU163

ヘッド位置調整をしましたか？

プリントヘッドが双方向印刷（往復両方で印刷）しているときに、線や文字がぶれるときは、ヘッド位置調整をしてください。それでも直らないときは、「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、必要に応じてヘッドクリーニングをしてください。

P.254「ヘッド位置調整」、P.250「ノズルチェック」、P.252「ヘッドクリーニング」

印刷領域の設定を変更してみましたか？

プリンタードライバーの［印刷領域］の設定を変更することで、改善されることがあります。［項目別設定］タブにある［編集］で［印刷領域］を［最大］、または［RPDL 互換］に変更してください。

印刷品質の設定を変更してみましたか？

［項目別設定］タブにある［印刷品質］で［片方向印刷に固定する］をオンにしてください。ただし、この設定にすると印刷に時間がかかります。

印刷位置の設定は合っていますか？

［項目別設定］タブにある［編集］で［印刷位置の設定］をクリックし、［印刷位置の設定］ダイアログにある［印刷位置の調整］を任意の設定に変更してください。

そのほかの現象

プリンタードライバーの設定を変更することで、トラブルを解決できることがあります。

特定のデータ、特定のアプリケーションで正常に印刷できない・イメージグラフィックデータが正常に印刷できない

- ［印刷品質選択］で［きれい］に設定して印刷してください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［ディザリング］を［写真優先］、［文字優先］、または［細線優先］に設定してください。
- ［項目別設定］タブにある［オプション］の［EMF スプール］をオンにしてください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［写真／イメージ画像を補正］、［低解像度画像の補正］をオフにしてください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［特定アプリケーションのイメージデータ処理を変更］をオンにしてください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［普通紙印刷用濃度］を［濃い］、または［淡い］に設定して印刷してください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［グレー印刷方式］を任意の設定に変更してください。

P.151「プリンタードライバーの設定画面を表示する」

一部の文字が化けてしまう・一部の文字が抜けてしまう

- ［項目別設定］タブにある［オプション］の［EMF スプール］をオンにしてください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［特定アプリケーションのイメージデータ処理を変更］をオンにしてください。

P.151「プリンタードライバーの設定画面を表示する」

一部の文字が薄い・一部の文字が印刷されない

- ［印刷品質選択］で［きれい］に設定して印刷してください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［ディザリング］を［写真優先］、［文字優先］、または［細線優先］に設定してください。
- ［項目別設定］タブにある［オプション］の［EMF スプール］をオンにしてください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［太字補正］をオンにしてください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［グレー印刷方式］を任意の設定に変更してください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［文字を黒で印刷］をオンにしてください。

P.151「プリンタードライバーの設定画面を表示する」

印刷スピードやアプリケーションソフトの開放が遅い

- ［印刷品質選択］で［はやい］、または［高速］に設定して印刷してください。
- ［項目別設定］タブにある［オプション］の［EMF スプール］をオンにしてください。
- ［項目別設定］タブにある［印刷品質］の［写真／イメージ画像を補正］、［低解像度画像の補正］をオフにしてください。

10

- 常駐しているアプリケーションソフトを終了してください。

P.151「プリンタードライバーの設定画面を表示する」

印刷が途中で終了してしまう

エラーが発生していないか、ステータスモニターを確認してください。

印刷面に印刷されている用紙や、パンチがされている用紙を印刷するときは、[項目別設定] タブにある [用紙] の [印刷済み紙／パンチ済み紙を使用する] をオンにしてください。

P.422「ステータスモニターのエラー表示」

集約印刷で Excel のシートが分かれて印刷されてしまう

[応用設定] タブにある [アプリケーションが継承する設定の項目を増やす] をオンにしてください。

P.151「プリンタードライバーの設定画面を表示する」

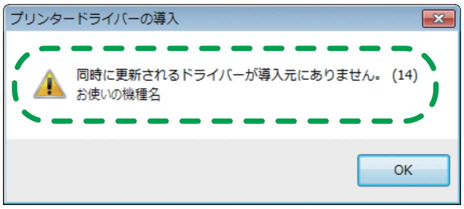
黒地に白抜き文字を印字すると、インクがにじんで白抜き文字がつぶれる

[印刷品質選択] で [はやい]、または [高速] に設定して印刷してください。

P.151「プリンタードライバーの設定画面を表示する」

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

エラーメッセージ(13)、(14)、(34)、(58)が表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。



CHU164

プリンタードライバーをアンインストールしたあと、次の方法でインストールし直してください。

CD-ROM の [DRIVERS] フォルダーの [RP_SETUPXX.EXE] アイコンをダブルクリックし、画面の指示にしたがってプリンタードライバーをインストールしてください。

参照

- プリンタードライバーのアンインストール方法は、P.375「プリンタードライバーをアンインストールする」を参照してください。

10

コピー機能が使えないとき

コピー機能に関するトラブルの原因と対処方法について説明します。

思いどおりにコピーできないとき

順番どおりにコピーされない

原稿をセットする順番が間違っています。

ADF に原稿をセットするとき、原稿の先頭ページが一番上になるようにセットしてください。また［印刷順］を［先頭から最終へ］に設定してください。

P.195「画質詳細や排紙を設定する」

白紙でコピーされる

原稿のセット面が間違っています。

原稿ガラスにセットするときはコピーする面を下に、ADF にセットするときはコピーする面を上にします。

P.145「原稿をセットする」

印刷結果がおかしいとき

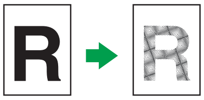
コピーがきれいにとれないときの原因と対処方法を説明します。

原稿が印画紙写真（プリント／現像された写真）のとき、黒い斑点がコピーされる

湿度が高く、印画紙写真が原稿ガラスに貼りついています。以下のどちらかの方法で、印画紙写真をセットし直してください。

- OHP フィルムを原稿ガラスに置き、その上に印画紙写真をセットする。
- 原稿ガラスにセットした印画紙写真の上に白紙を 2、3 枚重ねる。このときは、ADF は閉じないでください。

モアレが発生している



モアレは画像を処理するときに規則正しく配列された網点、または線が重なりあって発生します。

原稿モードが、写真モードのときは文字/写真モードに、文字/写真モードのときは写真モードに変更するとモアレを防げることがあります。

10

原稿にないものがコピーされる

原稿ガラス、読み取りガラス、または ADF が汚れています。

原稿ガラス、読み取りガラス、または ADF を清掃してください。

P.359「清掃するとき」

地肌が汚れている

- コピー濃度が濃く設定されています。

  コピー濃度を調整してください。

  P.192「濃度を調整する」

- コピーした面のインクが乾燥していません。

  コピーした直後には印刷面には手を触れないようにしてください。特に専用光沢紙はインクが乾燥するまで時間がかかります。印刷面に触れないように本体トレイから 1 枚ずつ取り出し、十分乾かしてください。

  P.132「用紙の種類ごとの注意」

拡大コピーした画像の上辺と右辺のふちに黒い線が入る

小さい用紙サイズの原稿を拡大コピーして上辺と右辺のふちに黒い線が入るときは、原稿ガラスへの用紙セット時に、A4 または Letter 等の白紙を原稿に被せてコピーしてください。

スキャナー機能が使えないとき

スキャナー機能に関するトラブルの原因と対処方法について説明します。

思いどおりにスキャナー機能が使えないとき

思いどおりに読み取れないときの原因と対処方法について説明します。

読み取りが始まらない

ADF、または ADF カバーが開いています。

ADF、または ADF カバーが開いているときは、ADF からの読み取りができません。

ADF、または ADF カバーを閉じてください。

読み取ったイメージが汚れる

原稿ガラス、読み取りガラス、または ADF が汚れています。

原稿ガラス、読み取りガラス、または ADF を清掃してください。

P.359「清掃するとき」

イメージがゆがむ、ずれる

読み取り中に原稿が動きました。読み取り中は原稿を動かさないでください。

原稿が原稿ガラスから浮き上がりました。原稿を原稿ガラスに十分押し当ててください。

イメージの上下が逆に読み取られる

原稿が上下逆にセットされました。

原稿の向きを正しくセットしてください。

P.145「原稿をセットする」

イメージが読み取られない

原稿の表と裏が逆にセットされました。

原稿ガラスにセットするときは、読み取りたい面を下に向け、ADF にセットするときは、読み取りたい面を上に向けてください。

P.145「原稿をセットする」

印刷すると画像が切れてしまう

ネットワークスキャナー（メール送信、FTP 送信）で取得した画像をプリンタードライバーの［原稿サイズと同じ］で指定して印刷すると不定形サイズとして認識されるときがあります。

そのときは、［印刷用紙サイズ］で用紙サイズを指定してください。

ファクス機能が使えないとき

ファクス機能に関するトラブルの原因と対処方法について説明します。

思いどおりにファクス機能が使えないとき

思いどおりに送信・受信できないときの原因と対処方法を説明します。

送信できるが受信できない

- SG カートリッジのインクがなくなっています。
  SG カートリッジを交換してください。
  P.347「SG カートリッジを交換する」
- 接続した電話回線の種別が間違っています。
  設定を確認してください。
  詳しくは、『ファクス設定ガイド』を参照してください。

受信した文書が用紙に印刷されない

- 用紙切れなどの理由で印刷できない状態になっています。
  用紙を補給してください。
  P.136「用紙をセットする」
- 用紙サイズが適切ではありません。
  トレイに適切なサイズの用紙をセットしてください。
- 用紙種類が適切ではありません
  用紙種類は「普通紙」または「ハイグレード普通紙」を設定してください。

原稿にないものが送信または印刷される

原稿ガラス、読み取りガラス、または ADF が汚れています。

- 汚れている部分を清掃してください。
  P.359「清掃するとき」
- 修正液やインクなどが完全に乾いた原稿をセットしてください。
  P.132「用紙の種類ごとの注意」

白紙で送信される

原稿をセットする方向が間違っています。

正しくセットし直してください。

P.145「原稿をセットする」

送信・受信ともにできない

電話線が外れている可能性があります。

電話線の接続を確認してください。

詳しくは、『ファクス設定ガイド』を参照してください。

印刷結果がおかしいとき

受信したファクス文書がうまく印刷されないときの原因と対処方法を説明しています。

受信紙の白い地肌部分が黒っぽく汚れる/ 原稿の裏面の画像が透ける

印刷の濃度が濃く設定されています。

濃度を薄く設定してください。

P.226「解像度を設定する」

ディスプレイにメッセージが表示されたとき

メッセージが表示されたときの対処方法を説明します。

管理者用設定の「エラースキップ」の設定によって、表示されないメッセージもあります。P.280「管理者用設定」を参照してください。

メッセージ一覧

IDカードコピーを行うには原稿を原稿ガラスにセットしてください。

IDカードコピーはADFでは使用できません。

原稿ガラスにセットしてください。

P.189「用紙の片面にIDカードの両面をコピーする」

IPアドレスを取得できません：####サーバー

FTP、LDAP、POP3、またはSMTPサーバーからIPアドレスを取得できません。

本機の管理者に確認してください。

FTPサーバーエラー

本機から送信したデータがFTPサーバーに保存されていません。

本機の管理者に確認してください。

SADFコピーを行うには原稿をADFにセットしてください。

SADFコピーに設定されていますが、原稿がADFにセットされていません。

ADFに原稿をセットしてください。

P.182「SADFコピー」

SMBサーバーエラー

本機から送信したデータがSMBサーバーに保存されていません。

本機の管理者に確認してください。

SMTPサーバーのメモリーがいっぱいです。

メール送信中に、SMTPサーバーのメールサイズ容量が一杯になりました。

USB 機器のメモリーが いっぱいです。

USB の容量が一杯になりました。

インクカートリッジを正しく セットしてください。

SG カートリッジがセットされていません。

カートリッジを正しくセットしてください。

P.427「カバーオープン／セット不良（SG カートリッジ）」

インク残りわずか：KCMY

インクが残りわずかになっています。

⊔が表示されている色の SG カートリッジを準備してください。

インク補給：KCMY 前カバーの中の説明に従い、インクカートリッジを交換 してください。

インクがなくなりました。

表示されている色の SG カートリッジを交換してください。

P.347「SG カートリッジを交換する」

温度が高すぎます。今は使用できません。しばらくお待ちください。

使用温度（高温）の範囲外です。

本機が室温に十分なじむまでお待ちください。

P.432「使用可能温度範囲外」

温度が高すぎます。使用できません。電源を入れ直してください。

使用温度（高温）の範囲外です。

使用環境を確認して設置し直してください。

P.432「使用可能温度範囲外」

温度が低すぎます。今は使用できません。しばらくお待ちください。

使用温度（低温）の範囲外です。

本機が室温に十分なじむまでお待ちください。

P.432「使用可能温度範囲外」

温度が低すぎます。
使用できません。
電源を入れ直してください。

使用温度（低温）の範囲外です。

使用環境を確認して設置し直してください。

P.432「使用可能温度範囲外」

過電流保護が作動。
USB 機器を取り外し、電源を
入れ直してください。

過電流保護が作動しました。USB 機器を取り外し、電源を入れ直してください。

グループが登録されている
番号は指定できません。

あて先にグループダイヤルが選択されています。

あて先からグループダイヤルを解除してください。

原稿づまり
用紙を取り除いた後、
スタートキーを押してください。

ADF で不送り、または紙づまりが発生しています。

- 原稿を取り除いて、原稿を元に戻してください。
- 使用している原稿が本機で読み取り可能なものか確認してください。
- ADF カバーの開閉を行ってください。

P.392「自動原稿送り装置（ADF）から用紙を取り除く」

原稿を XX 枚戻してから
[再開] を押してください。

原稿を ADF にセットし直してください。

[再開] を押すと、読み取りを再開します。

この宛先は、すでに登録
されています。

すでにワンタッチキーで指定したあて先を再度指定しようとしています。

サービスコール（XXXXX）
使用できません。
電源を入れ直してください。

エラーが発生しました。

電源を入れ直してください。

繰り返し同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。

指定したコードは登録されている封筒 ID と一致しません。

指定したコードは登録されている封筒 ID と一致しません。

封筒 ID を確認してください。

指定した番号には宛先が登録されていません。

何も登録されていないワンタッチキーを押しました。

ワンタッチキーにあて先を登録すると簡単にファクス送信できます。

P.218「あて先を指定する」

受信データが不正です。

本機で印刷できない種類のデータを受信しました。

受話器を戻してください。

外付け電話機の受話器が上がったままの状態になっています。

使用後は受話器を戻してください。

使用済みインクカートリッジ：KCMY 前カバーの中の説明に従い、インクカートリッジを交換してください。

使用済み SG カートリッジです。

新しい SG カートリッジに交換してください。

P.347「SG カートリッジを交換する」

使用済みの廃インクボックスです。新しい廃インクボックスをセットしてください。

使用済みの廃インクボックスがセットされました。

新しい廃インクボックスに交換してください。

P.354「廃インクボックスを交換する」

使用できない USB 機器です。

サポートしていない USB 機器が接続されました。USB 機器を取り外してください。

USB メモリー、デジタルカメラなどが使用できます。

使用できない USB ハブです。

USB ハブはサポートしていません。

USB ハブを取り外してください。

スキャナーユニットまたは両面ユニットが開いています。閉めてください。

スキャナーユニットが正しくセットされていません。

スキャナーユニットをセットし直してください。

P.425「カバーオープン」

両面ユニットがセットされていません。

両面ユニットをセットし直してください。

P.428「セット不良（両面ユニット）」

接続できません：####サーバー

FTP、LDAP、POP3、SMB、または SMTP サーバーに接続できません。

本機の管理者に確認してください。

接続に失敗しました：####

FTP、LDAP、POP3、SMB、SMTP サーバー、または USB メモリーとの接続に失敗しました。

本機の管理者に確認してください。

送信できるメールサイズの上限に達したため、送信を中止しました。

メールの容量が大きすぎます。

メールを送信することができません。

トレイ#背面カバーが開いています。

トレイ#背面カバーを閉めてください。

トレイ（2、3）の背面カバーが開いています。

トレイ（2、3）の背面カバーを閉めてください。

P.425「カバーオープン」

通信エラー

(####)

ファクスの送信中、または受信中に接続が切断されました。

本機の管理者に確認してください。

通信エラー：####

FTP、LDAP、POP3、SMB、SMTP サーバー、または USB メモリーとの接続が切断されました。

本機の管理者に確認してください。

手差しトレイがセットされていません。手差しトレイを正しくセットしてください。

マルチ手差しフィーダーがセットされていません。

マルチ手差しフィーダーをセットし直してください。

P.50「マルチ手差しフィーダーを取り付ける、取り外す」、P.424「用紙なし／セット不良（手差しトレイ）」

内部ユニットもうすぐ満杯

内部ユニットはサービス交換部品です。

内部ユニットの交換に関しては、サービス実施店にお問い合わせください。

入力桁数の限界です。

ファクス送信先の番号の桁数が多すぎます。

送信先の番号を確認してください。

廃インクボックスがセットされていません。正しくセットしてください。

廃インクボックスが正しくセットされていません。

廃インクボックスを正しくセットしてください。

P.430「セット不良（廃インクボックス）」

廃インクボックスが満杯です。廃インクボックスを交換してください。

廃インクボックスが満杯です。

廃インクボックスを交換してください。

P.354「廃インクボックスを交換する」

廃インクボックスもうすぐ満杯

廃インクボックスがもうすぐ満杯です。

新しい廃インクボックスを準備してください。

廃インクボックスがもうすぐ満杯の状態で、なおかつ SG カートリッジがインク残りわずかの状態になると、アラームランプが点滅し、ディスプレイにはインク残りわずか時のメッセージが優先して表示されます。

パスワードが不正です：
####サーバー

FTP、LDAP、POP3、SMB、または SMTP サーバーに接続するためのパスワードが違います。

パスワードは控えを取るなどして、忘れないようにしてください。

非純正インクカートリッジ

純正でないインクがセットされました。

当社純正以外の SG カートリッジを使用したり、カートリッジにインクを補充して使用すると、印刷品質が低下したり、故障の原因になります。

リコー指定の純正 SG カートリッジをお使いください。

P.458「消耗品一覧」

非純正インクカートリッジ：KCMY
前カバーの中の説明に従い、
インクカートリッジを交換
してください。

純正でないインクがセットされました。

当社純正以外の SG カートリッジを使用したり、カートリッジにインクを補充して使用すると、印刷品質が低下したり、故障の原因になります。

リコー指定の純正 SG カートリッジをお使いください。

P.458「消耗品一覧」

右前カバーが開いています。
右前カバーを閉めてください。

右前カバーが開いています。

右前カバーを閉めてください。

P.427「カバーオープン／セット不良（SG カートリッジ）」

メモリーがいっぱいです。

メモリーが一杯になりました。

原稿枚数を減らしてから印刷、またはコピーしてください。

メモリーの容量が限界に達しました。

メモリー容量が足りないため、ファクス受信できません。

メモリーの容量が限界に達しました。読み取り済みのデータを送信しますか？

メモリー容量が足りないため、ファクス送信できません。

- 解像度を設定し直してください。

  P.226「解像度を設定する」

- 原稿の枚数を減らしてください。

用紙がなくなりました。トレイ#に用紙を補給してください。

トレイ（1、2、3）の用紙がなくなりました。

トレイ（1、2、3）に用紙をセットしてください。

P.423「用紙なし／セット不良（トレイ 1）」、P.423「用紙なし／セット不良（トレイ 2/3）」

用紙がなくなりました。手差しトレイに用紙をセットしてください。

手差しトレイの用紙がなくなりました。

手差しトレイに用紙をセットしてください。

用紙サイズ/種類の不一致 A4 または $8^1/_2$×11 または $8^1/_2$×14 の普通紙をセット。

適切なサイズの用紙がセットされていません。

受信した文書を印刷するには A4 の用紙をトレイ 1 にセットしてください。

用紙サイズ/種類の不一致 給紙トレイ設定を変更し、［強制排紙］を押して下さい。

指定したサイズ・種類の用紙と一致するトレイがありません。

トレイの設定を、指定した用紙サイズ・用紙種類に変更して、［強制排紙］を押してください。

P.425「用紙サイズ・用紙種類エラー（自動トレイ選択時）」

用紙サイズエラー

正しいサイズの用紙を
####にセットしてください。

トレイ（1、2、3、手差し）の用紙サイズが、指定した用紙サイズと違っています。

トレイ（1、2、3、手差し）に指定したサイズの用紙をセットし、用紙のサイズを変更してください。

または、[強制排紙] を押し、指定したサイズの用紙がセットされているトレイを選択して印刷してください。

P.424「用紙サイズ・用紙種類エラー（トレイ 1)」、P.424「用紙サイズ・用紙種類エラー（トレイ 2/3)」、P.425「用紙サイズ・用紙種類エラー（手差しトレイ)」

用紙サイズの不一致
下記の用紙を####に
セットしてください。

トレイ（1、2、3、手差し）の用紙サイズが、指定した用紙サイズと違っています。

トレイ（1、2、3、手差し）に指定したサイズの用紙をセットし、用紙サイズを変更してください。

または、[強制排紙] を押し、指定したサイズの用紙がセットされているトレイを選択して印刷してください。

P.423「用紙なし／セット不良（トレイ 1)」、P.423「用紙なし／セット不良（トレイ 2/3)」、P.424「用紙なし／セット不良（手差しトレイ)」

用紙種類の不一致
下記の用紙を####に
セットしてください。

トレイ（1、2、3、手差し）の用紙種類が、指定した用紙種類と違っています。

トレイ（1、2、3、手差し）に指定した種類の用紙をセットし、用紙の種類を変更してください。

または、[強制排紙] を押し、指定した種類の用紙がセットされているトレイを選択して印刷してください。

P.424「用紙サイズ・用紙種類エラー（トレイ 1)」、P.424「用紙サイズ・用紙種類エラー（トレイ 2/3)」、P.425「用紙サイズ・用紙種類エラー（手差しトレイ)」

用紙づまり：ガイド板
用紙を取り除いてください。

背面カバーまたは両面ユニットで用紙の不送り、または紙づまりが発生しました。

背面カバーまたは両面ユニットから紙づまりした用紙を取り除いてください。

P.396「両面ユニットとトレイ 2/3 で用紙がつまったとき」

用紙づまり：スキャナーユニット
スキャナーユニットをあけて用紙を取り

除き［強制排紙］を押して
下さい。

スキャナーユニットで用紙の不送り、または紙づまりが発生しました。

スキャナーユニットら紙づまりした用紙を取り除いてください。

P.390「スキャナーユニットを開けて用紙を取り除く」

用紙づまり：手差しトレイ
用紙をセットしなおして
ください。

マルチ手差しフィーダーで用紙の不送りが発生しました。

用紙をセットしなおしてください。

P.389「マルチ手差しフィーダーから用紙を取り除く」

用紙づまり：トレイ#
用紙をセットしなおして
ください。

トレイ（1、2、3）で用紙の不送りが発生しました。

用紙をセットしなおしてください。

P.385「トレイ 1 から用紙を取り除く」、P.387「トレイ 2/3 で用紙がつまったとき」

用紙づまり：本体内部
用紙を取り除いて
［強制排紙］を押して
ください。

スキャナーユニットで用紙の不送り、または紙づまりが発生しました。

スキャナーユニットを開け、紙づまりした用紙を取り除いて［強制排紙］を押してください。

P.390「スキャナーユニットを開けて用紙を取り除く」

用紙づまり：内部用紙パス
［強制排紙］を押して下さい。

スキャナーユニットで用紙の不送り、または紙づまりが発生しました。

紙づまりした用紙を取り除いて［強制排紙］を押してください。

P.390「スキャナーユニットを開けて用紙を取り除く」

用紙づまり：背面
トレイ#または両面ユニットを
外して、用紙を取り除いて
ください。

トレイ（2、2/3）または両面ユニットで用紙の不送り、または紙づまりが発生しました。

トレイ（2、2/3）または両面ユニットから紙づまりした用紙を取り除いてください。

P.396「両面ユニットとトレイ 2/3 で用紙がつまったとき」

用紙づまり：両面ユニット
用紙を取り除いてください。

両面ユニットで用紙の不送り、または紙づまりが発生しました。

両面ユニットカバーを開ける、または両面ユニットを取り外して、紙づまりした用紙を取り除いてください。

P.394「両面ユニットで用紙がつまったとき」

両面ユニットカバーが
開いています。
両面ユニットカバーを
閉めてください。

両面ユニットのカバーが開いています。

両面ユニットのカバーを閉めてください。

P.425「カバーオープン」

両面ユニットがセットされて
いません。
両面ユニットを正しくセット
してください。

両面ユニットがセットされていません。

両面ユニットをセットし直してください。

P.428「セット不良（両面ユニット）」

ステータスモニターのエラー表示

本機に問題が起きると、ステータスモニターがエラーメッセージを表示します。また、[操作ガイド] をクリックすると、そのエラーに該当するページが表示され、より詳しく対処方法を確認できます。

管理者用設定の「エラースキップ」の設定によっては、エラーを表示せず印刷できます。P.280「管理者用設定」を参照してください。

ステータスモニターが表示されない

ステータスモニターが起動しないときは、共有の設定を確認してください。

共有の設定は正しいですか？

- プリンターの共有設定を確認してください。一部の OS ではクライアント側にも、プリンタードライバーのインストールが必要です。

  P.84「プリンターを共有する」、P.120「Windows ネットワークプリンターを使用する」

- プリントサーバーに Windows ファイアウォール機能が搭載されているときは、ステータスモニターを使用する前に、Windows ファイアウォールで例外の設定をしてください。

  1. ファイアウォールの［例外］タブをクリックし、[ファイルとプリンタの共有] にチェックを付けます。
  2. [ポートの追加] をクリックし、TCP の［ポート番号］に「55665」を登録します。

通信不可

本機とパソコンの接続とポート設定を確認してください。

1. 本機の電源が入っていることを確認します。

2. 本機とパソコンが USB ケーブルで正しく接続されていることを確認します。

3. [スタート] メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 では、［コントロールパネル］の「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

Windows XP では、[プリンタと FAX] をクリックします。

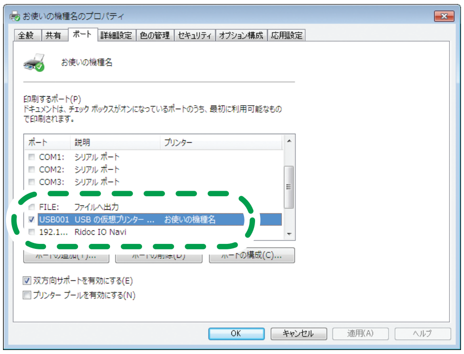
Windows Server 2003/2003 R2 では、[設定] の［プリンタと FAX] をクリックします。

4. 本機のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。

   Windows Vista/XP、Windows Server 2003/2008 では、［プロパティ］をクリックします。

5. ［ポート］タブをクリックします。

6. ［印刷するポート］で USB が選択されていることを確認します。



CHU158

補足

- ネットワーク接続のときは、ご使用の環境を確認してからポートの設定を変更してください。ポートの設定は、P.115「Ridoc IO Navi ポートを使用する（TCP/IP）」、P.105「Standard TCP/IP ポートを使用する」、P.109「LPR ポートを使用する」を参照してください。

用紙なし／セット不良（トレイ 1）

トレイ 1 に用紙がない、またはトレイ 1 が正しくセットされていません。

次のいずれかの方法で解除してください。

- 用紙をセットする。

  P.136「用紙をセットする」

- 印刷を中止する。

  P.158「印刷を中止する」

用紙なし／セット不良（トレイ 2/3）

トレイ 2/3 に用紙がない、またはトレイ 2/3 が正しくセットされていません。

次のいずれかの方法で解除してください。

- 用紙をセットする。

P.136「用紙をセットする」

- 印刷を中止する。

P.158「印刷を中止する」

用紙なし／セット不良（手差しトレイ）

手差しトレイに用紙がない、またはマルチ手差しフィーダーが正しくセットされていません。

次のいずれかの方法で解除してください。

- 用紙をセットする。

P.136「用紙をセットする」

- マルチ手差しフィーダーを正しくセットしてください。

P.50「マルチ手差しフィーダーを取り付ける、取り外す」

- 印刷を中止する。

P.158「印刷を中止する」

用紙サイズ・用紙種類エラー（トレイ 1）

トレイ 1 に指定したサイズ、または種類の用紙がセットされていません。

次のいずれかの方法で解除してください。

- トレイ 1 の用紙設定を変更する。

P.264「用紙設定」

- 強制印刷する。

［強制排紙］を押し、指定したサイズ、または種類の用紙がセットされているトレイを選択して印刷してください。

- 印刷を中止する。

P.158「印刷を中止する」

用紙サイズ・用紙種類エラー（トレイ 2/3）

トレイ 2/3 に指定したサイズ、または種類の用紙がセットされていません。

次のいずれかの方法で解除してください。

- トレイ 2/3 の用紙設定を変更する。

P.264「用紙設定」

- 強制印刷する。

  ［強制排紙］を押し、指定したサイズ、または種類の用紙がセットされているトレイを選択して印刷してください。

- 印刷を中止する。

  P.158「印刷を中止する」

用紙サイズ・用紙種類エラー（手差しトレイ）

手差しトレイに指定したサイズ、または種類の用紙がセットされていません。

次のいずれかの方法で解除してください。

- 手差しトレイの用紙設定を変更する。

  P.264「用紙設定」

- 強制印刷する。

  ［強制排紙］を押し、指定したサイズ、または種類の用紙がセットされているトレイを選択して印刷してください。

- 印刷を中止する。

  P.158「印刷を中止する」

用紙サイズ・用紙種類エラー（自動トレイ選択時）

給紙トレイに指定したサイズと種類の用紙がセットされていません。

次のいずれかの方法で解除してください。

- トレイに登録した用紙設定を変更する。

  P.264「用紙設定」

- 強制印刷する。

  ［強制排紙］を押し、指定したサイズ、または種類の用紙がセットされているトレイを選択して印刷してください。

- 印刷を中止する。

  P.158「印刷を中止する」

カバーオープン

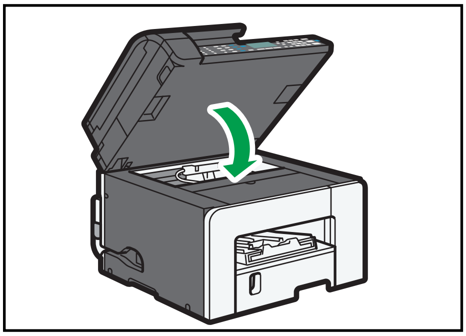
スキャナーユニット、両面ユニットカバー、または背面カバーのいずれかが開いています。

開いているカバーを閉じてください。

カバーが開いていないときでも、一度、開閉してください。

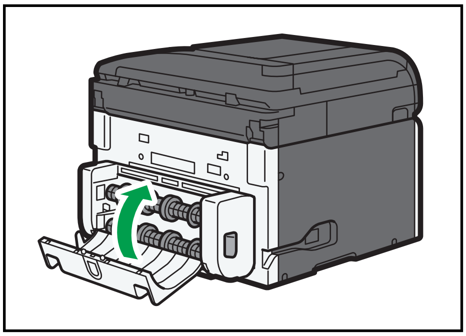
1. カバーを閉じます。

スキャナーユニットのとき



CHV071

両面ユニットカバーのとき

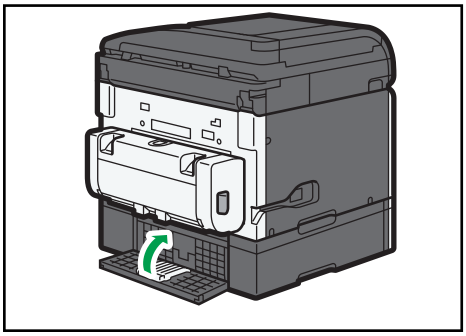


CHV127

両面ユニットカバーを開閉するときは、マルチ手差しフィーダーの着脱が必要です。

マルチ手差しフィーダーを取り付けているときは、本機の電源を切り、取り外してから作業を始めてください。P.50「マルチ手差しフィーダーを取り付ける、取り外す」を参照してください。

背面カバーのとき



CHV149

ツメが元の位置に戻っていることを確認してください。

カバーオープン／セット不良（SG カートリッジ）

右前カバーが開いています。

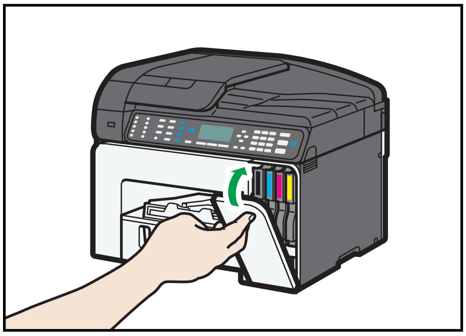
右前カバーを閉じてください。

または、SG カートリッジがないか、正しくセットされていません。

SG カートリッジを正しくセットし直してください。

カバーが開いているとき

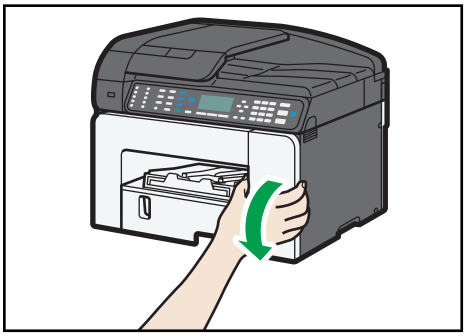
1. 右前カバーを閉じます。



CHV079

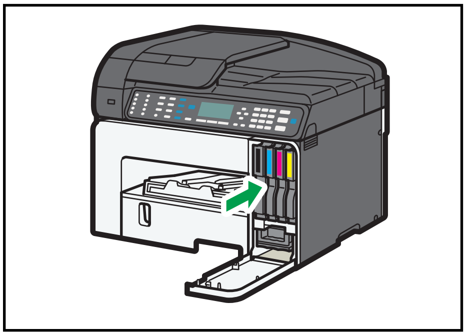
セット不良のとき（SG カートリッジ）

1. 右前カバーを開けます。



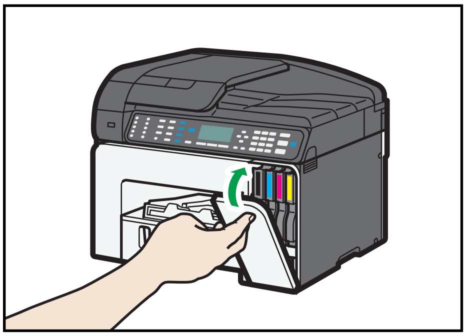
CHV077

2. SG カートリッジを奥まで確実に差し込みます。



CHV081

3. 右前カバーを閉じます。



CHV079

補足

- エラーが解除されないときは、SG カートリッジを取り出し、差し込み直してください。この手順は、繰り返さないでください。
- SG カートリッジに問題が起きているときは、新品の SG カートリッジに交換することで解消されることがあります。
- SG カートリッジの取り扱いは、P.351「交換時の注意事項」を参照してください。

セット不良（両面ユニット）

両面ユニットが正しくセットされていないか、両面ユニットカバーが開いています。

両面ユニットを正しく取り付け直す、または両面ユニットカバーを閉めてください。

P.48「両面ユニットを取り付ける、取り外す」、P.425「カバーオープン」

インク残りわずか

SG カートリッジのインクがもうすぐなくなります。

インクが少なくなったSG カートリッジの色を確認し、新しいカートリッジを準備してください。

補足

- 光沢紙に、全画面をベタに塗りつぶしたような、インクを大量に消費する印刷をすると、ページの途中で印刷が止まってしまう可能性があります。
- ヘッドクリーニングやヘッドリフレッシングをしないでください。インクエンドになり印刷ができなくなることがあります。
- 電源を入れ直したときに内部でインクの調整をします。その結果インクエンドになることがあります。
- インクの残量表示は、インク交換時期の目安です。インク残りわずかの状態にならずにインクエンドとなることがあります。

インクエンド

インクが完全になくなりました。

すぐにSG カートリッジを交換してください。

モノクロ印刷で、かつK（ブラック）のインクがあるときは、緊急印刷ができます。

［強制排紙］を押して、［OK］キーを押し、印刷を再開します。

緊急印刷をすると、次回インクカートリッジ交換時に、大量にインクを消費します。

P.347「SG カートリッジを交換する」

補足

- ヘッドクリーニングやヘッドリフレッシングはできません。
- 印刷中にインクエンドになったとき、印刷途中で用紙が排出されたり、なにも印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

使用済みカートリッジ

使用済みのSG カートリッジがセットされました。

新しいSG カートリッジに交換してください。

P.347「SG カートリッジを交換する」

補足

- ヘッドクリーニングやヘッドリフレッシングはできません。
- SG カートリッジは箱に記された期限内に使い切ってください。また、開封後は180日以内に使用されることをお勧めします。

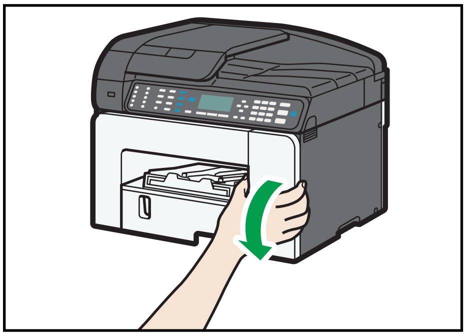
- 使用後の SG カートリッジ内にはインクを残しています。誤って使用済みの SG カートリッジをセットしないでください。
- SG カートリッジは、弊社の使用済みカートリッジ回収の仕組みに基づく回収をしています。回収にご協力ください。

セット不良（廃インクボックス）

廃インクボックスが正しくセットされていません。

廃インクボックスを正しくセットしてください。

1. 右前カバーを開けます。



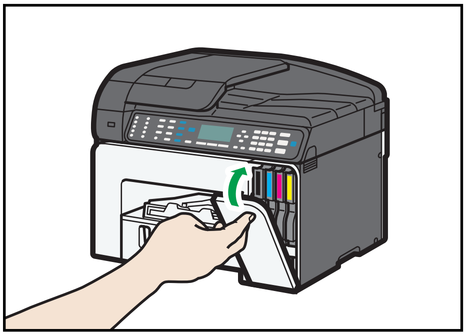
CHV077

2. インクがあふれないように注意して、廃インクボックスをカチッと音がするまで奥に押し込んでセットしてください。



CHV084

3. 右前カバーを閉じます。



CHV079

繰り返し同じメッセージが表示されるときは、販売店またはサービス実施店に連絡してください。

参照

- P.456「お問い合わせ先のご案内」

廃インクボックスもうすぐ満杯

廃インクボックスがもうすぐ満杯になります。

新しい廃インクボックスを準備してください。

補足

- 廃インクボックスがもうすぐ満杯の状態で、なおかつ SG カートリッジがインク残りわずかの状態になると、アラームランプが点滅し、ディスプレイにはインク残りわずかのメッセージが優先して表示されます。

参照

- P.456「お問い合わせ先のご案内」

廃インクボックス満杯

廃インクボックスが満杯になりました。

廃インクボックスを交換してください。

P.354「廃インクボックスを交換する」

使用済み廃インクボックス

使用済み廃インクボックスがセットされました。

新しい廃インクボックスに交換してください。

P.354「廃インクボックスを交換する」

補足

- 廃インクボックスは、弊社の使用済み廃インクボックス回収の仕組みに基づく回収をしています。回収にご協力ください。

使用可能温度範囲外

温度が高すぎる、または低すぎるため、印刷できません。

本機を設置し直してください。

1. **[電源]キーを長押しして電源を切ります。**
2. **温度が 10～32℃の環境に設置し直します。**
3. **電源を入れます。**

補足

- 湿度が 54%を超えるときは、使用できる温度の上限が低くなります。
- 電源を入れたあとも、本機が室温に十分になじむまで印刷待機中になることがあります。[電源]キーが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参照

- 使用環境（温度、湿度の使用範囲）は、P.58「パソコンと本機の設置環境を確認する」を参照してください。

プリンターエラー

プリンターでエラーが発生しました。

電源を一度切って入れ直してください。

補足

- 本機を寒い場所から暖かい場所に移動したり、温度の変化が激しい場所に設置すると、本機の内部に結露が生じ、プリンターエラーが起こることがあります。結露除去をしてください。P.259「結露除去」を参照してください。
- 電源を入れ直したり結露除去をしてもエラーが解除されないときは、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。P.456「お問い合わせ先のご案内」

メンテナンス失敗

ヘッドクリーニングやヘッドリフレッシングなどが失敗しました。

メンテナンス失敗エラーを解除後、再度メンテナンスをしてください。

メンテナンス失敗エラーは、以下の条件で解除されます。

- 次のジョブ要求を検知する
- ［確認］を押す

印刷できなかったページあり

紙づまりなどを解除したあとに印刷を再開すると、一部のページが印刷できないことがあり、メッセージが表示されます。

次のいずれかの方法で解除してください。

- 印刷を再開する。

  ［再開］を押して、印刷できなかった次のページから印刷を再開してください。
- 印刷を中止する。

  P.158「印刷を中止する」

11. 付録

ファームウェアを更新する

ファームウェアのバージョンを確認し、最新バージョンでないときは、更新します。

最新バージョンのファームウェアは、インターネットからダウンロードできます。

補足

- バージョン情報には本機にインストールされたファームウェアのバージョンが記載されます。インターネットで確認したファームウェアのバージョンと比較して、ファームウェアの更新が必要かどうかを確認できます。また、バージョン情報はプリンタードライバーの［印刷設定］から［初期設定／バージョン］タブを開き、［バージョン情報］をクリックしても確認できます。詳細は、P.152「印刷設定を表示する」を参照してください。
- 現在のファームウェアのバージョンは、システム設定リストでも確認できます。詳細は、P.289「テスト印刷する」を参照してください。

ドライバーを更新する

各種ドライバーが最新バージョンでないときは、更新します。最新バージョンのドライバーは、インターネットからダウンロードできます。

現在使用している各種ドライバーのバージョンは、以下の手順で確認します。

RPCS ラスタープリンタードライバーのバージョンを確認する

1. **プリンタードライバーの印刷設定を開きます。**

   詳細は、P.152「印刷設定を表示する」を参照してください。

2. **[初期設定/バージョン] タブにある [バージョン情報] をクリックします。**
3. **バージョンを確認します。**
4. **[OK] をクリックします。**

TWAIN ドライバーのバージョンを確認する

1. **TWAIN ダイアログボックスを開きます。**
2. **[バージョン情報...] をクリックします。**
3. **バージョンを確認します。**
4. **[OK] をクリックします。**

PC FAX ドライバーのバージョンを確認する

1. **[スタート] メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。**

   Windows XP では、[プリンタと FAX] をクリックします。

   Windows Vista または Windows Server 2008 では、[コントロールパネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] をクリックして [プリンタ] をクリックします。

   Windows Server 2003/2003 R2 では、[設定] の [プリンタと FAX] をクリックします。

2. **PC FAX ドライバーの印刷設定を開きます。**
3. **[バージョン情報] をクリックします。**
4. **バージョンを確認します。**
5. **[OK] をクリックします。**

CD-ROM 収録ソフトウェア

ファイル一覧

CD-ROM に収録されているファイルです。

- Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 用プリンタードライバー
- Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 用 TWAIN ドライバー
- Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 用 PC FAX ドライバー
- Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 用機器設定ユーティリティー
- 各種使用説明書（HTML/PDF ファイル）
- RsInfo.exe（PC 情報取得ツール）
- ICM（プリンター用カラープロファイルデータ）
- InstMan.exe（インストールマネージャ）
- Setup.exe

RPCS ラスタープリンタードライバー

RPCS ラスタープリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境を説明します。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- 32-bit Windows 用 RPCS ラスタープリンタードライバー

  DRIVERS¥X86¥RPCS_R¥XP_VISTA¥DISK1

- 64-bit Windows 用 RPCS ラスタープリンタードライバー

  DRIVERS¥X64¥RPCS_R¥X64¥DISK1

プリンタードライバーの動作環境

- パソコン

  USB インターフェース、もしくはネットワークインターフェースを持つ PC/AT 機および互換機

- 対象 OS

  Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版

- ディスプレイ解像度

  SVGA 800×600 ドット以上

補足

- クラスター構成環境では、オートランでのプリンタードライバーインストールはできません。
- プリンタードライバーの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 付属の CD-ROM や「RP_SETUPXX.EXE」ファイルは、Windows Server 2008 の Server Core 環境には対応していません。

TWAIN ドライバー

TWAIN ドライバーのファイル格納場所と動作環境を説明します。

スキャナーから原稿を読み取るために必要なドライバーです。

本機を TWAIN スキャナーとして利用するためには、インストールする必要があります。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- 32-bit Windows 用 TWAIN ドライバー

  DRIVERS¥X86¥TWAIN¥XP_VISTA

- 64-bit Windows 用 TWAIN ドライバー

  DRIVERS¥X64¥TWAIN¥X64

動作環境

- パソコン

  ハードディスク容量 100 MB 以上の IBM PC（Pentium II 互換機）

- 接続インターフェース

  USB 2.0

  ネットワーク（TCP/IP プロトコル）

- 対象 OS

  Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版

PC FAX ドライバー

PC FAX ドライバーのファイル格納場所と動作環境を説明します。

PC ファクス機能を使用するために必要なドライバーです。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- 32-bit Windows 用 PC FAX ドライバー

  DRIVERS¥X86¥PCFAX¥XP_VISTA

- 64-bit Windows 用 PC FAX ドライバー

  DRIVERS¥X64¥PCFAX¥X64

動作環境

- パソコン
  - 最低仕様

    CPU 処理速度：Pentium 200 MHz

    RAM：128 MB

  - 推奨仕様

    CPU 処理速度：Pentium 4/1.6 GHz

    RAM：256 MB

- 接続インターフェース

  USB 2.0

  ネットワーク（TCP/IP プロトコル）

- 対象 OS

  Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版

機器設定ユーティリティー

機器設定ユーティリティーでは電話番号やメールアドレスなどを登録できます。ここでは機器設定ユーティリティーのファイル格納場所と動作環境について説明しています。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

DEVSET

動作環境

- 対象 OS

  Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版

- パソコン

  ハードディスク容量 100 MB 以上の IBM PC（Pentium II 互換機）

- 接続インターフェース

  USB 1.1 および 2.0

各種使用説明書

各種使用説明書のファイル格納場所を説明します。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- HTML 使用説明書

  MANUAL_HTML

- PDF 使用説明書

  MANUAL_PDF

仕様

本機とオプションの仕様を説明します。

本体

ノズル数

各色 192 ノズル

用紙サイズ

A4、A5、A6、B5

Letter（$8^1/_2$ × 11）、$5^1/_2$ × $8^1/_2$、Executive（$7^1/_4$ × $10^1/_2$）、16 開

郵便はがき、往復はがき、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 4 号封筒

Com10 Envelope（$4^1/_8$ × $9^1/_2$）、Monarch Envelope（$3^7/_8$ × $7^1/_2$）、C6 Envelope、C5 Envelope、DL Envelope

不定形サイズ：

縦 139.7〜297.0 mm × 横 88.0〜216.0 mm

両面印刷可能用紙サイズ

A4、A5、A6、B5

Letter（$8^1/_2$ × 11）、$5^1/_2$ × $8^1/_2$、Executive（$7^1/_4$ × $10^1/_2$）、16 開

郵便はがき、往復はがき

用紙厚

52〜135 kg（60〜163 g/m^2）

給紙量

250 枚

最大給紙量

850 枚（250 枚増設トレイ 2 段、およびマルチ手差しフィーダー装着時）

排紙容量

100 枚

150 枚（一般オフィス環境）

画像によっては排紙容量が少なくなることがあります。

電源

100-120 V: 50/60 Hz 1.2 A（フルシステム時）

消費電力

動作時平均：30.4 W（本体のみ）

省エネモード時平均：4.0 W

※電力消費を完全になくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください（電源プラグは、電源キーの消灯を確認してから抜いてください）。

消費電力は、使用環境、使用状況によって変わる場合があります。

使用環境

温度：10～32℃

湿度：15～80%RH（最大湿球温度 25℃）

上記範囲外では機械保護のため、印刷を停止することがあります。

保存環境

温度：−30～43℃

湿度：15～80%RH

外形寸法

（幅 × 奥 × 高）399 × 436.5 × 329.5 mm

（幅 × 奥 × 高）399 × 571 × 507.5 mm（フルオプション）

質量

15.3 kg（本体、カートリッジを含む）

27.6 kg（フルオプション）

騒音*1

音響

	本体のみ
印刷時	はやい：59.7 dB(A)
待機時	45.3 dB(A)

音圧*2

	本体のみ
印刷時	はやい：50.4 dB(A)
待機時	33.7 dB(A)

*1 ISO7779 に準拠した実測値です。

*2 バイスタンダ位置における測定値です。

自動両面原稿送り装置（ADF）

原稿サイズ（幅）：139.7～216 mm

原稿サイズ（長さ）（片面）：139.7～355.6 mm

原稿サイズ（長さ）ファクス使用時（片面）：139.7～1000 mm

原稿サイズ（長さ）（両面）：155～355.6 mm

セット枚数：30 枚（80 g/m^2）

紙厚：50～110 g/m^2

プリンター機能仕様

プリント方式

GELJET テクノロジー

連続プリント速度

弊社 A4 測定パターン、高速モード

モノクロ印刷：29.0 ppm 以上

カラー印刷：29.0 ppm 以上

ファーストプリント速度

A4 カラー原稿（JEITA 標準 J6 パターン）、はやいモード：6.5 秒以下

印刷解像度

最大 1200 × 1200 dpi 相当

インターフェース

USB2.0 Hi-Speed

イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX）

無線 LAN（IEEE 802.11 b/g/n）

無線 LAN

- インターフェース

  IEEE 802.11b/g/n 準拠、Wi-Fi 準拠

- 伝送速度
  - 802.11b

    1、2、5.5、11（Mbps）

  - 802.11g

    1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54（Mbps）

  - 802.11n

    6.5、13、13.5、15、19.5、26、27、30、39、40.5、45、52、54、58.5、60、65、78、81、90、104、108、117、120、121.5、130、135（Mbps）

- 周波数範囲（中心周波数表示）
  - 802.11b/n

    2412～2472 MHz（5 MHz 間隔 13 波）

- 802.11g
  2412～2472 MHz（20/40 MHz 間隔 13 波）

プリンターコマンド

RPCS ラスター、PictBridge

SG カートリッジ

- Mサイズ
  SG カートリッジ ブラック GC 41K
  SG カートリッジ シアン GC 41C
  SG カートリッジ マゼンタ GC 41M
  SG カートリッジ イエロー GC 41Y
- S サイズ
  SG カートリッジ ブラック GC 41KS
  SG カートリッジ シアン GC 41CS
  SG カートリッジ マゼンタ GC 41MS
  SG カートリッジ イエロー GC 41YS

廃インクボックス

SG 廃インクボックス IC 41

コピー機能仕様

拡大/縮小コピー

- 原稿とコピーされる用紙サイズの関係は次のとおりです。
  400%: -
  200%（面積比４倍）: A6→A4
  141%（面積比 2 倍）: A5→A4、A6→A5
  122%: A5→B5、A6→B6
  115%: B5→A4
  100%
  93%: -
  87%: A4→B5、A5→B6
  82%: B5→A5
  71%（面積比 $^1/_2$ 倍）: A4→A5、A5→A6、B5→B6
  61%: A4→B6
  50%（面積比 $^1/_4$ 倍）: A4→A6

- ズーム倍率: 25〜400%

ソート

原稿をメモリーに蓄積し、指定部数分を蓄積順に出力します。

両面コピー

次の用紙には両面コピーできません。

- 厚紙
- 封筒
- 専用光沢紙
- はがき（ADF に原稿をセットしたとき）

ハイグレード普通紙は、[用紙種類] を [普通紙] に設定するとコピーできます。

集約

用紙サイズと集約数に合わせて自動的に倍率を設定し、用紙にまとめてコピーします。

ID カードコピー

- 免許証など身分証明書の表面を読み取り、そのあと裏面を読み取って、1 枚に集約してコピーします。
- ADF に原稿をセットすると、この機能を使用できません。

スキャナー機能仕様

原稿セット形式

本体: 原稿台固定式・左奥コーナー基準

ADF: シートスルー方式センター基準

読み取り速度

- シロクロ

  300 × 300 dpi: 11.6 ipm

  600 × 300 dpi: 5.8 ipm

  600 × 600 dpi: 3.2 ipm

- カラー

  300 × 300 dpi: 5.8 ipm

  600 × 300 dpi: 2.9 ipm

  600 × 600 dpi: 1.6 ipm

原稿の種類

シート、ブック、立体物

インターフェース

- 操作部使用時

  イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX）、無線 LAN（IEEE 802.11 b/g/n）、USB2.0 Hi-Speed（USB メモリー送信）

- パソコン使用時

  イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX）、無線 LAN（IEEE 802.11 b/g/n）、USB2.0 Hi-Speed

最大原稿サイズ

A4（210 × 297 mm）/Letter（8$^1/_2$ × 11 インチ）

原稿ガラスセット時に自動検知可能な原稿サイズ

なし

ADF セット時に自動検知可能な原稿サイズ

なし

基本読み取り解像度

600 × 600 dpi

メール送信/フォルダー送信/USB メモリー送信使用時の読み取り解像度可変範囲

シロクロ（1bit）: 150、300、600 dpi

グレー（8bit）: 150、300 dpi

カラー（8bit）: 150、300 dpi

TWAIN スキャナー使用時の読み取り解像度可変範囲

100、150、200、300、400、600、1200 dpi

送信が可能なファイル形式

TIFF、JPEG、PDF

白黒 2 値のときの画像圧縮形式

TIFF（MH、MR、MMR）

グレースケール/フルカラーのときの画像圧縮形式

JPEG

ネットワーク接続時の使用プロトコル

TCP/IP

メール送信時の使用プロトコル

SMTP、POP3

FTP 送信時の使用プロトコル

FTP

フォルダー送信時の使用プロトコル

SMB

蓄積枚数

スキャナー（メール送信/FTP 送信/フォルダー送信/USB メモリー送信）の蓄積できる画像枚数（参考値）は以下のとおりです。

原稿種類	読み取りサイズ	解像度	蓄積枚数
シロクロ	A4	300 dpi	9 枚
カラー	A4	300 dpi	2 枚
グレー	A4	300 dpi	4 枚

ファクス機能仕様

ファクス送受信

規格

G3

走査線密度

8 × 3.85 本/mm（ふつう字）

8 × 7.7 本/mm（小さな字/写真）

8 × 15.4 本/mm（細かい字）

伝送時間

G3: 3 秒台

符号化方式

MH、MR、MMR

最大原稿サイズ

A4（210 × 297 mm）/Legal（8$^{1}/_{2}$ × 14 インチ）

通信速度

G3: 33.6 k～2400 bps（オートシフトダウン方式）

識別番号

000224 AD11

アドレス帳

あて先

150 件（ワンタッチダイヤル：20 件）

インターネットファクス送受信

適用回線

イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX）

無線 LAN（IEEE 802.11 b/g/n）

USB2.0 Hi-Speed

伝送機能

電子メール

走査線密度

8 × 3.85 本/mm（ふつう字）

8 × 7.7 本/mm（小さな字/写真）

8 × 15.4 本/mm（細かい字）

最大原稿サイズ

A4（210 × 297 mm）/Legal（$8^1/_2$ × 14 インチ）

伝送手順

- メール送信

  SMTP、TCP/IP

- メール受信

  POP3、TCP/IP

メール形式

シングル/マルチパート、MIME 交換

添付ファイル形式: TIFF-F（MH、MR、MMR 圧縮）

インターネットとの相互交信

メールアドレスを持ったパソコンとメールの送受信ができます。

認証方法

SMTP 認証、POP before SMTP 認証

メール送信機能

メールアドレス指定時、送信原稿を自動的にメール形式に変換して送信します。

すべてメモリー送信となります。

メール受信機能

TIFF-F の添付ファイル形式を自動認識して印字出力します。

ひらがな、カタカナ、英数字および第一水準、第二水準漢字のテキストメールの文字を自動認識して印字出力します。

すべてメモリー送信となります。

250 枚増設トレイ

用紙サイズ

A4、A5、A6、B5

Letter（$8^{1}/_{2}$ × 11）、Legal（$8^{1}/_{2}$ × 14）、Executive（$7^{1}/_{4}$ × $10^{1}/_{2}$）、$8^{1}/_{2}$ × 13、$8^{1}/_{4}$ × 13、8 × 13、16 開

不定形サイズ：

縦 148.0～356.0 mm × 横 105.0～216.0 mm

用紙厚

52～90 kg（60～105 g/m^2）

給紙量

250 枚（70 kg（80 g/m2）の標準紙で用紙サイズが A4 のとき）

マルチ手差しフィーダー

用紙サイズ

A4、A5、A6、B5

Letter（$8^{1}/_{2}$ × 11）、Legal（$8^{1}/_{2}$ × 14）、$5^{1}/_{2}$ × $8^{1}/_{2}$、Executive（$7^{1}/_{4}$ × $10^{1}/_{2}$）、$8^{1}/_{2}$ × 13、$8^{1}/_{4}$ × 13、8 × 13、16 開

郵便はがき、往復はがき、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 4 号封筒

Com10 Envelope（$4^{1}/_{8}$ × $9^{1}/_{2}$）、Monarch Envelope（$3^{7}/_{8}$ × $7^{1}/_{2}$）、C6 Envelope、C5 Envelope、DL Envelope

不定形サイズ：

縦 127.0～1295.4 mm × 横 55.0～216.0 mm

用紙厚

52～220 kg（60～256 g/m^2）

給紙量

100 枚

各種シートの一覧

本機の操作部から印刷できるシートの一覧は次のとおりです。

補足

- *印のついたシートは［白黒スタート］キーでのみ印刷できます。［カラースタート］キーでは印刷できません。

印刷シート名	印刷方法	給紙トレイ	用紙サイズ	用紙種類
システム設定リスト/メニューリスト/カラーサンプル/エラー履歴	［初期設定］→［プリンター設定］→［テスト印刷］→［システム設定リスト］、［メニューリスト］、［カラーサンプル］または［エラー履歴］	トレイ 1	A4	普通紙
カウンターリスト	［初期設定］→［カウンター］→［印刷］	トレイ 1	A4	普通紙
ノズルチェックパターン印刷	［初期設定］→［メンテナンス］→［ノズルチェックパターン印刷］	トレイ 1	A4	普通紙
ヘッド位置調整	［初期設定］→［メンテナンス］→［ヘッド位置調整］（高速、標準、高画質、封筒）	トレイ 1	A4	普通紙
印刷位置調整	［初期設定］→［メンテナンス］→［印刷位置調整］	指定したトレイ	A4	普通紙
用紙送り量調整	［初期設定］→［メンテナンス］→［用紙送り量調整］	トレイ 1	A4	普通紙
宛先リスト*	［初期設定］→［システム設定］→［管理者用設定］→［アドレス帳リスト印刷］→［宛先リスト］	トレイ 1	A4	普通紙
グループ宛先リスト*	［初期設定］→［システム設定］→［管理者用設定］→［アドレス帳リスト印刷］→［グループ宛先リスト］	トレイ 1	A4	普通紙
設定一覧リスト	［初期設定］→［システム設定］→［インターフェース設定］→［設定一覧リスト印刷］	トレイ 1	A4	普通紙
通信管理レポート	［初期設定］→［ファクス設定］→［管理者用設定］→［通信レポート印刷］	トレイ 1	A4	普通紙
送信待機リスト	［初期設定］→［ファクス設定］→［管理者用設定］→［送信待機リスト印刷］	トレイ 1	A4	普通紙

印刷シート名	印刷方法	給紙トレイ	用紙サイズ	用紙種類
送信履歴*	[初期設定] → [スキャナー設定] → [送信設定] → [送信履歴印刷]	トレイ 1	A4	普通紙
パラメーター設定リスト	[初期設定] → [ファクス設定] → [管理者用設定] → [パラメーター設定] → [パラメーター設定リスト印刷]	トレイ 1	A4	普通紙
カウンター一覧	[初期設定] → [システム設定] → [管理者用設定] → [カウンター表示/印刷] → [印刷]	トレイ 1	A4	普通紙

入力文字一覧

ファクス番号

キー	キーを押す回数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1									
2	2									
3	3									
4	4									
5	5									
6	6									
7	7									
8	8									
9	9									
0	0									
*	*									
#	#									
ポーズ	−									
トーン	T									

CHV232

メールアドレス/ユーザー名/パスワードなど

<table>
<tr><th rowspan="2">テンキー</th><th colspan="21">キーを押す回数</th></tr>
<tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th><th>15</th><th>16</th><th>17</th><th>18</th><th>19</th><th>20</th><th>21</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>2</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>4</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>5</td><td>J</td><td>K</td><td>L</td><td>j</td><td>k</td><td>l</td><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>6</td><td>M</td><td>N</td><td>O</td><td>m</td><td>n</td><td>o</td><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>7</td><td>P</td><td>Q</td><td>R</td><td>S</td><td>p</td><td>q</td><td>r</td><td>s</td><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>8</td><td>T</td><td>U</td><td>V</td><td>t</td><td>u</td><td>v</td><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>−</td><td>.</td><td>!</td><td>,</td><td>_</td><td>=</td><td>/</td><td>|</td><td>’</td><td>?</td><td>$</td><td>@</td><td>%</td><td>&</td><td>+</td><td>{</td><td>}</td><td>~</td><td>^</td><td>`</td></tr>
<tr><td>*</td><td>*</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>#</td><td>#</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

CHV177

11

フォルダーパス

テンキー	キーを押す回数																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	1																				
2	A	B	C	a	b	c	2														
3	D	E	F	d	e	f	3														
4	G	H	I	g	h	i	4														
5	J	K	L	j	k	l	5														
6	M	N	O	m	n	o	6														
7	P	Q	R	S	p	q	r	s	7												
8	T	U	V	t	u	v	8														
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9												
0	0	–	.	!	_	=	¥	/	|	'	?	$	@	%	&	+	{	}	~	^	`
*	*																				
#	#																				

CHV183

名前

テンキー	キーを押す回数																															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1																					
2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	a	b	c	2																				
3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	d	e	f	3																				
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	g	h	i	4																			
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	j	k	l	5																				
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	m	n	o	6																				
7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	p	q	r	s	7																		
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	T	U	V	t	u	v	8																			
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9																		
0	ワ	ヲ	ン	0	–	.	!	"	,	;	:	^	`	_	=	/	|	'	?	$	@	%	&	+	(	)	[	]	{	}	<	>
*	*																															
#	゛	゜	。	「	」	、	・	ー	#																							

CHV184

ファイル名

テンキー	キーを押す回数																								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1	1																								
2	A	B	C	a	b	c	2																		
3	D	E	F	d	e	f	3																		
4	G	H	I	g	h	i	4																		
5	J	K	L	j	k	l	5																		
6	M	N	O	m	n	o	6																		
7	P	Q	R	S	p	q	r	s	7																
8	T	U	V	t	u	v	8																		
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9																
0	0	–	.	!	,	;	^	`	_	=	'	$	@	%	&	+	(	)	[	]	{	}			
*																									
#	#																								

CHV185

無線 LAN 設定：ID/ユーザー名/キー（16 進数以外）

テンキー	キーを押す回数																														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1	1																															
2	A	B	C	a	b	c	2																									
3	D	E	F	d	e	f	3																									
4	G	H	I	g	h	i	4																									
5	J	K	L	j	k	l	5																									
6	M	N	O	m	n	o	6																									
7	P	Q	R	S	p	q	r	s	7																							
8	T	U	V	t	u	v	8																									
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9																							
0	0	Space	–	.	!	“	,	:	;	_	=	/	|	’	?	$	@	%	&	+	(	)	[	\	]	{	}	<	>	~	^	`
*	*																															
#	#																															

CHV186

無線 LAN 設定：ユーザーパスワード

テンキー	キーを押す回数																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1	1																			
2	A	B	C	a	b	c	2													
3	D	E	F	d	e	f	3													
4	G	H	I	g	h	i	4													
5	J	K	L	j	k	l	5													
6	M	N	O	m	n	o	6													
7	P	Q	R	S	p	q	r	s	7											
8	T	U	V	t	u	v	8													
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9											
0	0	–	.	!	,	:	_	=	/	^	’	?	$	@	%	&	+	{	}	~
*	*																			
#	#																			

CHV187

無線 LAN 設定：キー（16 進数）

テンキー	キーを押す回数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1									
2	A	B	C	a	b	c	2			
3	D	E	F	d	e	f	3			
4	4									
5	5									
6	6									
7	7									
8	8									
9	9									
0	0									
*										
#										

CHV188

11

SMTP/POP3/FTP/LDAP サーバアドレスなど

テンキー	キーを押す回数																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	1																				
2	A	B	C	a	b	c	2														
3	D	E	F	d	e	f	3														
4	G	H	I	g	h	i	4														
5	J	K	L	j	k	l	5														
6	M	N	O	m	n	o	6														
7	P	Q	R	S	p	q	r	s	7												
8	T	U	V	t	u	v	8														
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z	9												
0	0	–	.	:	!	_	=	/			'	?	$	@	%	&	+	{	}	~	^	`
*	*																				
#	#																				

CHV189

お問い合わせ先のご案内

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

NetRICOH のホームページからもご購入できます。

http://www.netricoh.com/

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。

http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル)」にお問い合わせください。

050-3786-1666

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0919 をご利用ください。

- 受付時間：平日（月～金）9 時～12 時、13 時～17 時　（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）
- 050 ビジネスダイヤルは、一部の IP 電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7 年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。また、製品寿命（15 万ページまたは 5 年間の使用）を超えた場合も修理をお引き受けできない場合があります。

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

FAQ

本機についての疑問や質問は、よくある質問をまとめたFAQをご覧ください。

リコーのホームページ（http://www.ricoh.co.jp/）で、よくある質問に対する回答集をご覧いただけます。

また、トラブルシューティングは、ジェルジェットプリンタートラブルシューティング（http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/geljet/support/trouble/）を参照してください。

補足

- インターネットに接続しているときに利用できます。
- インターネットの通信料金がかかります。
- FAQページ：http://www.ricoh.co.jp/support/qa/

株式会社 リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

消耗品一覧

消耗品の商品名をご確認ください。

印刷中に SG カートリッジのインクがなくなったり、廃インクボックスが満杯になったりしないように、早めにご購入ください。SG カートリッジや廃インクボックスのご注文は、本機をご購入された販売店へご連絡ください。

SG カートリッジ

種類	商品
シアン	SG カートリッジ シアン GC 41C（M サイズ） SG カートリッジ シアン GC 41CS（S サイズ）
マゼンタ	SG カートリッジ マゼンタ GC 41M（M サイズ） SG カートリッジ マゼンタ GC 41MS（S サイズ）
イエロー	SG カートリッジ イエロー GC 41Y（M サイズ） SG カートリッジ イエロー GC 41YS（S サイズ）
ブラック	SG カートリッジ ブラック GC 41K（M サイズ） SG カートリッジ ブラック GC 41KS（S サイズ）

廃インクボックス

SG 廃インクボックス IC 41

補足

- 消耗品のご注文は、販売店へお問い合わせください。
- 本機では、グリーン購入法適合用紙「マイリサイクルペーパー 100」が使用できます。
- 各種用紙の情報は、リコーホームページ（http://www.ricoh.co.jp/supply/paper/geljet/）を確認するか、本機をご購入された販売店へご連絡ください。

参照

- SG カートリッジを取り扱うときは、P.351「交換時の注意事項」を参照してください。
- 長期間、使用していない本機を使用するときは、P.365「長期間使用しないとき」を参照してください。

搭載されているソフトウェアの著作権などに関する情報

本製品に搭載されているソフトウェアの著作権などに関する情報を記載しています。

無線 LAN ユニットで使用しているソフトウェア（GPLv2、LGPLv2.1、BSD ライセンス、OpenSSL、Original SSLeay）の著作権情報については、付属の CD-ROM「OSS(Wireless LAN)」から確認できます。

expat

本製品に搭載しているコントローラなどのソフトウェア（以下、ソフトウェア）には expat を下記の条件のもとで使用しています。

- expat を含むソフトウェアに関するサポートと保証等は株式会社リコーが行うものであり、expat の作者および著作権者には一切の責任および義務はありません。

補足

- expat に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。http://expat.sourceforge.net/

JPEG LIBRARY

- The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

IPS™ print language emulations

NetBSD

Copyright Notice of NetBSD

For all users to use this product:

This product contains NetBSD operating system:

For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.

The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted.

A full source code can be found at http://www.netbsd.org/.

Copyright © 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

   This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

- This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
- This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
- This product includes software developed by Manuel Bouyer.
- This product includes software developed by Charles Hannum.
- This product includes software developed by Charles M. Hannum.
- This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.
- This product includes software developed by TooLs GmbH.
- This product includes software developed by Terrence R. Lambert.
- This product includes software developed by Adam Glass and Charles Hannum.
- This product includes software developed by Theo de Raadt.
- This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
- This product includes software developed by Christos Zoulas.
- This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Paul Kranenburg.

- This product includes software developed by Adam Glass.
- This product includes software developed by Jonathan Stone.
- This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.
- This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.
- The software was developed by the University of California, Berkeley.
- This product includes software developed by Chris Provenzano, the University of California, Berkeley, and contributors.

newlib

The newlib subdirectory is a collection of software from several sources.

Each file may have its own copyright/license that is embedded in the source file. Unless otherwise noted in the body of the source file(s), the following copyright notices will apply to the contents of the newlib subdirectory:

(1) Red Hat Incorporated

Copyright (c) 1994-2009 Red Hat, Inc. All rights reserved.

This copyrighted material is made available to anyone wishing to use, modify, copy, or redistribute it subject to the terms and conditions of the BSD License. This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY expressed or implied, including the implied warranties of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. A copy of this license is available at http://www.opensource.org/licenses. Any Red Hat trademarks that are incorporated in the source code or documentation are not subject to the BSD License and may only be used or replicated with the express permission of Red Hat, Inc.

(2) University of California, Berkeley

Copyright (c) 1981-2000 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(3) David M. Gay (AT&T 1991, Lucent 1998)

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991 by AT&T.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR AT&T MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (C) 1998-2001 by Lucent Technologies

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that the copyright notice and this permission notice and warranty disclaimer appear in supporting documentation, and that the name of Lucent or any of its entities not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

LUCENT DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS.

IN NO EVENT SHALL LUCENT OR ANY OF ITS ENTITIES BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

(4) Advanced Micro Devices

Copyright 1989, 1990 Advanced Micro Devices, Inc.

This software is the property of Advanced Micro Devices, Inc (AMD) which specifically grants the user the right to modify, use and distribute this software provided this notice is not removed or altered. All other rights are reserved by AMD.

AMD MAKES NO WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, WITH REGARD TO THIS SOFTWARE. IN NO EVENT SHALL AMD BE LIABLE FOR INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES IN CONNECTION WITH OR ARISING FROM THE FURNISHING, PERFORMANCE, OR USE OF THIS SOFTWARE.

So that all may benefit from your experience, please report any problems or suggestions about this software to the 29K Technical Support Center at 800-29-29-AMD (800-292-9263) in the USA, or 0800-89-1131 in the UK, or 0031-11-1129 in Japan, toll free. The direct dial number is 512-462-4118.

Advanced Micro Devices, Inc.

29K Support Products

Mail Stop 573

5900 E. Ben White Blvd.

Austin, TX 78741

800-292-9263

(5) C.W. Sandmann

Copyright (C) 1993 C.W. Sandmann

This file may be freely distributed as long as the author's name remains.

(6) Eric Backus

(C) Copyright 1992 Eric Backus

This software may be used freely so long as this copyright notice is left intact. There is no warrantee on this software.

(7) Sun Microsystems

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

(8) Hewlett Packard

To anyone who acknowledges that this file is provided "AS IS" without any express or implied warranty:

permission to use, copy, modify, and distribute this file for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice and this notice appears in all copies, and that the name of Hewlett-Packard Company not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

Hewlett-Packard Company makes no representations about the suitability of this software for any purpose.

(9) Hans-Peter Nilsson

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that the above copyright notice, this notice and the following disclaimer are preserved with no changes.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

(10) Stephane Carrez (m68hc11-elf/m68hc12-elf targets only)

The authors hereby grant permission to use, copy, modify, distribute, and license this software and its documentation for any purpose, provided that existing copyright notices are retained in all copies and that this notice is included verbatim in any distributions. No written agreement, license, or royalty fee is required for any of the authorized uses.

Modifications to this software may be copyrighted by their authors and need not follow the licensing terms described here, provided that the new terms are clearly indicated on the first page of each file where they apply.

(11) Christopher G. Demetriou

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(12) SuperH, Inc.

Copyright 2002 SuperH, Inc. All rights reserved

This software is the property of SuperH, Inc (SuperH) which specifically grants the user the right to modify, use and distribute this software provided this notice is not removed or altered. All other rights are reserved by SuperH.

SUPERH MAKES NO WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, WITH REGARD TO THIS SOFTWARE. IN NO EVENT SHALL SUPERH BE LIABLE FOR INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES IN CONNECTION WITH OR ARISING FROM THE FURNISHING, PERFORMANCE, OR USE OF THIS SOFTWARE.

So that all may benefit from your experience, please report any problems or suggestions about this software to the SuperH Support Center via e-mail at softwaresupport@superh.com.

SuperH, Inc.

405 River Oaks Parkway

San Jose

CA 95134

USA

(13) Royal Institute of Technology

Copyright (c) 1999 Kungliga Tekniska Högskolan

(Royal Institute of Technology, Stockholm, Sweden).

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions

are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of KTH nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY KTH AND ITS CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL KTH OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(14) Alexey Zelkin

Copyright (c) 2000, 2001 Alexey Zelkin <phantom@FreeBSD.org>

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(15) Andrey A. Chernov

(16) FreeBSD

CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(17) S. L. Moshier

Author: S. L. Moshier.

Copyright (c) 1984,2000 S.L. Moshier

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, THE AUTHOR MAKES NO REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

(18) Citrus Project

Copyright (c)1999 Citrus Project,

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(19) Todd C. Miller

Copyright (c) 1998 Todd C. Miller <Todd.Miller@courtesan.com>

All rights reserved.

11

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(20) DJ Delorie (i386)

Copyright (C) 1991 DJ Delorie

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms is permitted provided that the above copyright notice and following paragraph are duplicated in all such forms.

This file is distributed WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied

warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

(21) Free Software Foundation LGPL License (*-linux* targets only)

Copyright (C) 1990-1999, 2000, 2001 Free Software Foundation, Inc.

This file is part of the GNU C Library.

Contributed by Mark Kettenis <kettenis@phys.uva.nl>, 1997.

The GNU C Library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

The GNU C Library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with the GNU C Library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

(22) Xavier Leroy LGPL License (i[3456]86-*-linux* targets only)

Copyright (C) 1996 Xavier Leroy (Xavier.Leroy@inria.fr)

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.

(23) Intel (i960)

Copyright (c) 1993 Intel Corporation

Intel hereby grants you permission to copy, modify, and distribute this software and its documentation. Intel grants this permission provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. In addition, Intel grants this permission provided that you prominently mark as "not part of the original" any modifications made to this software or documentation, and that the name of Intel Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software or the documentation without specific, written prior permission.

Intel Corporation provides this AS IS, WITHOUT ANY WARRANTY, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Intel makes no guarantee or representations regarding the use of, or the results of the use of, the software and documentation in terms of correctness, accuracy, reliability, currentness, or otherwise; and you rely on the software, documentation and results solely at your own risk.

IN NO EVENT SHALL INTEL BE LIABLE FOR ANY LOSS OF USE, LOSS OF BUSINESS, LOSS OF PROFITS, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND. IN NO EVENT SHALL INTEL'S TOTAL LIABILITY EXCEED THE SUM PAID TO INTEL FOR THE PRODUCT LICENSED HEREUNDER.

(24) Hewlett-Packard (hppa targets only)

(c) Copyright 1986 HEWLETT-PACKARD COMPANY

To anyone who acknowledges that this file is provided "AS IS" without any express or implied warranty:

permission to use, copy, modify, and distribute this file for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice and this notice appears in all copies, and that the name of Hewlett-Packard Company not be used in advertising or publicity pertaining to distribution

of the software without specific, written prior permission.

Hewlett-Packard Company makes no representations about the suitability of this software for any purpose.

(25) Henry Spencer (only *-linux targets)

Copyright 1992, 1993, 1994 Henry Spencer. All rights reserved.

This software is not subject to any license of the American Telephone and Telegraph Company or of the Regents of the University of California.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose on any computer system, and to alter it and redistribute it, subject to the following restrictions:

1. The author is not responsible for the consequences of use of this software, no matter how awful, even if they arise from flaws in it.

2. The origin of this software must not be misrepresented, either by explicit claim or by omission. Since few users ever read sources, credits must appear in the documentation.

3. Altered versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software. Since few users ever read sources, credits must appear in the documentation.

4. This notice may not be removed or altered.

(26) Mike Barcroft

Copyright (c) 2001 Mike Barcroft <mike@FreeBSD.org>

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL

DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)

ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(27) Konstantin Chuguev (--enable-newlib-iconv)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

iconv (Charset Conversion Library) v2.0

(28) Artem Bityuckiy (--enable-newlib-iconv)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR

CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(29) IBM, Sony, Toshiba (only spu-* targets)

(C) Copyright 2001,2006,

International Business Machines Corporation, Sony Computer Entertainment, Incorporated, Toshiba Corporation,

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the names of the copyright holders nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(30) - Alex Tatmanjants (targets using libc/posix)

Copyright (c) 1995 Alex Tatmanjants <alex@elvisti.kiev.ua>

at Electronni Visti IA, Kiev, Ukraine.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS

OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(31) - M. Warner Losh (targets using libc/posix)

Copyright (c) 1998, M. Warner Losh <imp@freebsd.org>

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY

WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(32) - Andrey A. Chernov (targets using libc/posix)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(33) - Daniel Eischen (targets using libc/posix)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(34) - Jon Beniston (only lm32-* targets)

Contributed by Jon Beniston <jon@beniston.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(35) - ARM Ltd (arm and thumb variant targets only)

Copyright (c) 2009 ARM Ltd

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. The name of the company may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ARM LTD ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL ARM LTD BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(36) - Xilinx, Inc. (micrroblaze-* and powerpc-* targets)

Copyright (c) 2004, 2009 Xilinx, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or withoutmodification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of Xilinx nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenSSL

OpenSSL ツールキットはデュアルライセンスとなっており、OpenSSL ライセンスとオリジナル SSLeay ライセンスの条件は、両方ともツールキットに適用されます。

実際のライセンスについては以下を参照してください。

ライセンスは両方とも BSD スタイルオープンソースライセンスです。OpenSSL に関連するライセンスに問題がある場合は、openssl-core@openssl.org に連絡してください。

OpenSSL License

WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

補足

- この製品には、Eric Young（eay@cryptsoft.com）によって書かれた暗号ソフトウェアが含まれています。
- この製品には、Tim Hudson（tjh@cryptsoft.com）によって作成されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

補足

- このコードのすべての公的に利用可能なバージョンまたは派生物のライセンスおよび配布条件は変更できません。すなわち、このコードを単にコピーし、別の配布ライセンスの下に置くことはできません［GNU 一般公衆利用許諾書を含む］。

Zilb

Copyright notice:

(C) 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly

jloup@gzip.org

Mark Adler

madler@alumni.caltech.

商標

Acrobat、Adobe、PostScript、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

Apple、AppleTalk、Bonjour、ColorSync、Macintosh、Mac OS、Power Mac、Safari、Tiger、TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Citrix、Citrix Presentation Server、Citrix XenApp は、Citrix Systems, Inc.の登録商標です。

Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel は、米国および他の国々で登録された Intel Corporation の商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®、Internet Explorer®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

NTT グループ各社の総称を NTT と表記しています。

PictBridge は商標です。

PowerPC®は、米国および他の国々で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

Presto! PageManager は、NewSoft Technology Corporation の登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国々における登録商標です。

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® XP Professional

  Microsoft® Windows® XP Home Edition

  Microsoft® Windows® XP Media Center Edition

  Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Vista® Ultimate

  Microsoft® Windows Vista® Business

  Microsoft® Windows Vista® Home Premium

  Microsoft® Windows Vista® Home Basic

  Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 7 Home Premium

  Microsoft® Windows® 7 Professional

  Microsoft® Windows® 7 Ultimate

  Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 Datacenter Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

  Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter

  Microsoft® Windows Server® 2008 for Itanium-basedSystems

  Microsoft® Windows® Web Server 2008

  Microsoft® Windows® HPC Server 2008

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 for Datacenter

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 for Itanium-based Systems

  Microsoft® Windows® Web Server 2008 R2

  Microsoft® Windows® HPC Server 2008 R2

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

索引

アルファベット

あ

か

さ

た

な

わ

JA (JP) 2013年2月 J032-6610A